秋田県文化財調査報告書第247集

桂の沢遺跡発掘調査報告書

－小滝阿仁前田停車場線地方道改良事業に係る埋蔵文化財発掘調査－

1994・3

文化財センター

秋田県教育委員会

桂の沢遺跡発掘調査報告書

－小滝阿仁前田停車場線地方道改良事業に係る埋蔵文化財発掘調査－

1994・3

秋田県教育委員会

序

本県には、先人の遺産である埋蔵文化財が豊富に残されています。これらの埋蔵文化財は、未来を展望し、香り高い地域文化を創造するための基礎となるものであります。

一方、県民生活を豊かにする開発事業の進展は、県民全体の要望であります。埋蔵文化財の保護と地域開発の調和は、今日の重要な課題となっており、本教育委員会も鋭意この課題に取り組んでまいりました。

このたび、地方道小滝阿仁前田停車場線の改良事業に伴って路線の一部が桂の沢遺跡を通過することになりました。工事に先立って本教育委員会は、原因者である秋田県土木部と協議の結果、道路工事対象範囲について遺跡の記録保存を目的とする発掘調査を実施いたしました。

調査の結果、縄文時代早期から晩期の集落跡や、祭祀、葬送に関わる多様な遺構・遺物が大量に検出され、この地域の拠点的な遺跡のひとつであることが分かりました。また、晩期の大型土偶は遮光器土偶としては国内最大級であります。

本報告書は、これらの調査成果をまとめたものであります。本書が埋蔵文化財の保護のために広く活用され、郷土の歴史資料として役立てば幸いです。

最後になりましたが、本調査の実施並びに本報告書の刊行に当たりご援助、ご協力をいただきました秋田県土木部北秋田土木事務所、建設省森吉山ダム工事事務所、森吉町教育委員会をはじめ関係各位に対し、厚く御礼申し上げます。

平成6年3月

秋田県教育委員会

教育長　橋　本　顕　信

例　言

1．本報告書は、小滝阿仁前田停車場線地方道改良事業に係る桂の沢遺跡の埋蔵文化財発掘調査報告書である。

2．本書の執筆は、第２章第１節と第３章を藤岡光男が行い、谷地薫が補筆した。それ以外は谷地薫が行った。

3．遺構の写真実測は（有）ＮＲＣ岩手空撮に、配石遺構の残存脂肪分析は（株）ズコーシャに委託した。

4．発掘調査および遺物整理にあたって、下記の方々からご指導・ご助言を賜った。記して感謝の意を表する次第である。（敬称略、五十音順）

石井寛（横浜市埋蔵文化財センター）　和泉昭一（二ツ井町教育委員会）　小山内透（㈶岩手県埋蔵文化財センター）　小林達雄（國學院大學）　福田裕二（南茅部町教育委員会）　三宅敦気（月夜野町教育委員会）

凡　例

1．グリッド設定の原点（ＭＡ50）は、秋田県土木部北秋田土木事務所の打設した路線中心杭Ｎｏ.98で、座標値は、Ｘ座標;3943.396、Ｙ;－33734.400である。

2．遺構実測図における方位は国家座標第Ｘ系による座標北を示す。グリッド設定の原点（ＭＡ50）における座標北と磁北との偏角は西に8°06′である。

3．本書で使用している遺構の略記号は以下のとおりである。

ＳＩ（竪穴住居跡）　ＳＫ（土坑）　ＳＮ（焼土遺構）　ＳＱ（配石遺構）　ＳＲ（土器埋設遺構）　ＳＤ（溝状遺構）

4．遺構番号は検出順に連番としたが、精査段階で欠番となったものもある。

5．挿図中及び図版中の遺物実測図・拓本・写真は、土器・土製品と石器類に分け、それぞれ通し番号とした。石器類の番号にはＳを付した。

6．遺物図版のスケールは不同である。法量は一覧表で掲載した。

7．土層註記中の色調は、農林水産省農林水産技術会議監修　財団法人日本色彩研究所色票監修『新版標準土色帖』に拠った。

8．土器・石器実測図に使用する１点鎖線は、破断・折損面を表している。

9．使用した25,000分の１地形図は、『秋田県遺跡地図（県北版）』（1991年）である。

10．挿図中のスクリーン・トーンは、アスファルト付着部分である。

目　次

序
例言・凡例
目次・表目次・挿図目次・図版目次
第１章　はじめに …… 1
　第１節　調査に至るまで …… 1
　第２節　調査の組織と構成 …… 1
第２章　遺跡の立地と環境 …… 2
　第１節　遺跡周辺の地形・地質 …… 2
　第２節　歴史的環境 …… 3
第３章　発掘調査の概要 …… 10
　第１節　遺跡の概観 …… 10
　第２節　調査の方法 …… 12
　第３節　調査の経過 …… 13
第４章　調査の記録 …… 15
　第１節　基本層序 …… 15
　第２節　検出遺構と遺物 …… 18
　第３節　遺構外出土遺物 …… 55
　　１．土器・土製品 …… 55
　　２．石器 …… 56
第５章　残存脂肪分析 …… 118
第６章　まとめ …… 125
　　１．遺物について …… 125
　　２．遺構群の変遷について …… 126
図版１～30
付図１・２

表目次

第１表　周辺遺跡一覧表…… 9
第２表　検出遺構一覧表①～㉕…… 24～48
第３表　土器分類表①Ⅰ～Ⅲ群…… 60
　　土器分類表②～⑤Ⅳ群 …… 61～63
　　土器分類表⑥～⑧Ⅴ群 …… 63～68
　　土器分類表⑨Ⅵ群、土製品…… 68
第４表　Ⅳ群、Ⅴ群各類別型式対応表…… 69
第５表　土器計測表①～⑧ …… 84～91
第６表　その他の石器出土分布表①１層…… 115
　　その他の石器出土分布表②２層以下… 116
第７表　器種別・地点別石器類出土数一覧表… 117
第８表　残存脂肪分析関係表…… 124

挿図目次

第１図　遺跡周辺の頁岩を含む地層の分布…… 7
第２図　桂の沢遺跡の位置と周辺の遺跡…… 8
第３図　調査範囲図…… 10
第４図　調査区区分図…… 11
第５図　工事計画と調査範囲…… 14
第６図　基本土層図（１）Ｋ区…… 16
第７図　基本土層図（２）Ｌ区・Ｍ区 …… 17
第８図　検出遺構図（１）
　　ＳＩ42竪穴住居跡①…… 20
第９図　検出遺構図（２）ＳＩ42竪穴住居跡②、
　　ＳＫ69・86・89・92土坑…… 21
第10図　検出遺構図（３）
　　ＳＩ159竪穴住居跡 …… 22
第11図　検出遺構図（４）ＳＲ158土器埋設遺構、
　　ＳＱ520・538・709配石遺構、ＳＫ653土坑
　　…… 23
第12～17図　遺構内出土土器（１）～（６）……49～54
第18～20図　土器出土分布図（１）～（３）……57～59
第21図　遺構外出土土器・土製品（１）Ｋ区… 70
第22～28図　遺構外出土土器・土製品
　　（２）～（８）Ｌ区①～⑦……71～77
第29～34図　遺構外出土土器・土製品

(9)～(14)M区①～⑥……78～83
第35～45図　遺構外出土石器(1)～(11)　…92～102
第46図　器種別石器出土分布図（1）石鏃…… 103
第47図　器種別石器出土分布図（2）石槍…… 104
第48図　器種別石器出土分布図（3）石錐…… 105
第49図　器種別石器出土分布図（4）
　　篦状石器…… 106
第50図　器種別石器出土分布図（5）
　　ピエス・エスキーユ…… 107
第51図　器種別石器出土分布図（6）
　　縦型石匙…… 108
第52図　器種別石器出土分布図（7）
　　横型石匙…… 109
第53図　器種別石器出土分布図（8）
　　不定形石器…… 110
第54図　器種別石器出土分布図（9）
　　微小剥離痕のある剥片…… 111
第55図　器種別石器出土分布図（10）石剣…… 112
第56図　器種別石器出土分布図（11）
　　二次加工のある剥片…… 113
第57図　器種別石器出土分布図（12）石核…… 114
第58図　残存脂肪分析関係図…… 124
付図1　M区配石遺構配置図
付図2　遺構配置図

図版目次

図版1－1　桂の沢遺跡の立地状況と調査区（上が南東）
　　2　ＳＩ159竪穴住居跡の埋土上の配石（南から）
　　3　ＳＩ159竪穴住居跡（南西から）
　　4　ＳＩ42竪穴住居跡（北西から）
　　5　ＳＩ555竪穴住居跡（北西から）
図版2－1　ＳＩ588竪穴住居跡（南西から）
　　2　ＳＩ572竪穴住居跡（南西から）
　　3　M区配石遺構群（上が南西）
　　4　M区配石遺構群ＳＱ524・532・533・526（東から）
　　5　M区配石遺構群ＳＱ514・538（南から）
図版3－1　M区配石遺構群ＳＱ280・527・528・529（南から）
　　2　ＳＱ208配石遺構（南から）
　　3　ＳＱ19配石遺構（西から）
　　4　ＳＱ709配石遺構と下部の土坑（北から）
　　5　ＳＱ547配石遺構断面土層（南西から）
　　6　ＳＱ716配石遺構断面土層（南から）
　　7　ＳＱ702配石遺構断面土層（南から）
図版4－1　M区遺構群（上が北西）
　　2　ＳＱ538配石遺構と下部の土坑（南西から）
　　3　ＳＱ547配石遺構と下部の土坑（南東から）
図版5－1　M区遺構群南東部（上が南西）
　　2　A建物跡（ＳＫ69・86・89・92）（南から）
　　3　B建物跡（ＳＱ520・538・ＳＫ653・884）
　　D建物跡（ＳＫ661・854・868・975）（上が北西）
　　4　C建物跡（ＳＱ258、ＳＫ761・1010・1023）（上が北）
　　5　ＳＩ566竪穴住居跡（上が北）
図版6－1　ＳＫ62土坑断面土層（南から）
　　2　ＳＫ62土坑完掘状況（南から）
　　3　ＳＫ70土坑確認状況（南西から）
　　4　ＳＲ158土器埋設遺構精査状況（北から）
　　5　ＳＲ158土器埋設遺構側面の状況（西から）
　　6　ＳＲ619土器埋設遺構精査状況（北東から）
　　7　ＬＮ39グリッドⅣ群土器出土状況（南から）
図版7－1　L区遺物集中出土区域（南から）
　　2　L区土層A－B（北東から）
　　3　LM35グリッド付近遺物出土状況（西から）
　　4　ＬＰ38グリッド遺物出土状況（南から）
　　5　LM34グリッド付近遺物出土状況（東から）
　　6　LM36グリッド付近遺物出土状況（北から）
　　7　K区土層B－C（南東から）
　　8　発掘調査風景
図版8～10　遺構内出土土器（1）～（3）
図版11～30　遺構外出土土器（1）～（20）

第１章 はじめに

第１節 発掘調査に至るまで

県道小滝阿仁前田停車場線は、北秋田郡森吉町小滝から同町阿仁前田の国道105号に至る全長13.5㎞の道路である。県道改良工事は森吉山ダム建設に関連する工事として行われ、昭和63年度着工、平成５年完工予定である。

本道路改良工事の計画路線内には埋蔵文化財が包蔵されている可能性があることから、県土木部北秋田土木事務所は、秋田県教育委員会に遺跡調査の依頼を行った。秋田県教育委員会はこれを受けて、平成２年度に遺跡分布調査を行い、路線内に係る周知の遺跡を１箇所確認した。この遺跡分布調査の結果を受けて、平成３年度には桂の沢遺跡の範囲確認調査を実施し、遺跡の範囲内を計画路線が通ることが明らかになった。この遺跡の保存について、秋田県教育委員会は原因者と協議した結果、記録保存の措置をとることで合意し、平成４年５月11日から10月23日まで桂の沢遺跡の発掘調査を実施した。

第２節　調査の組織と構成

所　在　地	秋田県北秋田郡森吉町根森田字桂ノ沢19－２外
調査期間	平成４年５月11日～平成４年10月23日
調査面積	4,700㎡
調査主体者	秋田県教育委員会
調査担当者	谷地　　薫　（秋田県埋蔵文化財センター学芸主事、現調査課学芸主事）
	柴田　陽一郎（　　〃　　文化財主任、現調査課文化財主査）
	藤岡　　光男　（　　〃　　非常勤職員、現盛岡市教育委員会文化財主事）
総務担当	皆川　　清　（　　〃　　主査、現南教育事務所仙北出張所主査）
	佐々木　真　（　　〃　　主任、現総務課主査）
	佐藤　　広文　（　　〃　　総務課主事）
調査協力機関	秋田県土木部北秋田土木事務所
	建設省森吉山ダム工事事務所
	森吉町教育委員会

第２章　遺跡の立地と環境

第１節　遺跡周辺の地形・地質

桂の沢遺跡のある森吉町は、秋田県の北部中央やや西寄りに位置する（第２図）。東は鹿角市と仙北郡田沢湖町、西は北秋田郡合川町と上小阿仁村、南は北秋田郡阿仁町、北は北秋田郡比内町と鷹巣町に接している。南の阿仁町との町境は、町名の由来となった森吉山（標高1454.2ｍ）である。町域は奥羽脊梁山脈の支脈である森吉火山地と、太平山山地に連なる標高500ｍ以上の山地地帯に立地し、南部の森吉山、北部の小繋ノ森（標高1010.2ｍ）、東部の柴倉岳（標高1178.0ｍ）・ヒバクラ岳（標高1326.0ｍ）といった奥羽山系の比較的低い山々に囲まれ、山地が町域総面積のおよそ70％を占める。

遺跡の東側を流れる小又川は、放射状を呈する細かな水脈が集う太平湖を主たる源流とし、源五郎岳山地、高畑山地、そして遺跡の所在する大久保山地を開析しつつ、町域をほぼ東西に流れ、遺跡から北西に3.9㎞下った阿仁前田で阿仁川と合流する。阿仁川は、森吉町西域を北上し、北端に立地する大野台丘陵地南西部を経て合川町に至り、米代川と合流する。

桂の沢遺跡は蛇行して西流する小又川の左岸に形成された河岸段丘上に立地する（図版１－１）。この段丘は、東側を小又川が区切り、西側は小侵食谷によって南西から北東に斜めに開析され、北西に向かって張り出す舌状台地となっている。台地の規模は、北西－南東約200ｍ、北東－南西約130ｍである。地形区分によれば、遺跡の大部分は、大久保山を中心とする中起伏山地（起伏量400～200ｍ）の下位丘陵地（起伏量100ｍ未満）に分類され、調査区の南東側のみ砂礫段丘に属する。標高は99～100ｍで、ほぼ平坦である。小又川の沖積段丘面に所在する巻渕集落との比高は約18～20ｍである。

遺跡の経緯度は北緯40°2′15″、東経140°26′16″である。ほぼ西方に大久保山（標高353.4ｍ）、南方に尽森（標高290.0ｍ）、北東に遠く森吉山を臨む。

本遺跡の表層地質は、第四紀更新世における低位段丘堆積物層に属し、基本的には砂・礫を主とした段丘構成層に鳥越軽石質火山灰層が載っているものである。調査区中央部においても表土面から浅い所で約50㎝程で礫層に達する。

剝片石器の原石として利用されている頁岩を含む地層は、遺跡周辺ではいずれも新第三紀－中新世の、①硬質頁岩（含珪藻質泥岩）を含む岩谷層、②硬質頁岩を含む小猿部川層、③頁岩を含む桐内層の３種が分布する（第１図）。①の硬質頁岩は岩谷層の組成のほとんどを占める固結堆積物で、極めて良好に発達した層理を特徴とする。遺跡の西方約４㎞の阿仁川の対岸に

ある大森山丘陵地とそれに連続する折渡丘陵地に広く分布帯が存在する。②の硬質頁岩は火山性岩石にともなう泥質岩で、遺跡のある大久保山山地を取囲むように点在し、七日市丘陵地から大畑山地へと分布が続く。遺跡から最も近距離に分布し、遺跡の東約3.5kmには大規模な地滑り地帯があって、硬質頁岩が露頭や転石として入手しやすい環境にある。③の頁岩は基本的に玄武岩質岩石に挟まれており、砂岩や細礫岩とともに、桐内層を構成する主要固結堆積物である。大久保山山地、源五郎岳山地にわずかに分布する。一部は小又川上流にも分布し、遺跡周辺では転石として入手できる可能性がある。今後、原石採集遺跡の発見や石質鑑定の集積によって、石器原石の移動過程が明らかにされることが期待される。

参考文献

秋田県農政部農地整備課『大野台開発計画地域　土地分類基本調査　米内沢』1978（昭和53年）3月.

第２節　歴史的環境

桂の沢遺跡の発掘調査では、縄文時代早期～晩期中葉の遺構・遺物を検出した。ここでは各時期毎に桂の沢遺跡が営まれた頃の米代川流域の状況を概観する。

米代川流域にあっては早期以前の遺跡は少ないが、草創期の爪形文土器が鹿角市飛鳥平遺跡[(1)]から、早期の貝殻文土器の良好な資料が大館市鳶ケ長根Ⅳ遺跡[(2)]、山館上ノ山遺跡[(3)]等で発掘調査によって出土している。

前期の遺跡は多く知られており、遺跡の様相が発掘調査によって詳しく明らかにされている例も多い。この時期の遺跡は米代川中流域・上流域に発見例が多く、小坂町はりま館遺跡[(5)]、大館市山館上ノ山遺跡、池内遺跡[(6)]、萩ノ台Ⅱ遺跡[(7)]、福館橋桁野遺跡[(8)]、芋掘沢遺跡[(9)]、田代町茂屋下岱遺跡[(4)]、赤川遺跡[(10)]、鷹巣町藤株遺跡[(11)]等が発掘調査されている。奥山潤氏は、大館市福館橋桁野遺跡、田代町赤川遺跡、茂屋下岱遺跡の発掘調査を行って円筒下層ａ式に先行する「茂屋下岱式土器群」を設定した[(4)]。その後この土器群に関する研究は進展しておらず独立した土器型式として認知されているとは言い難い。しかし、編年的位置付けはともかく「茂屋下岱式土器群」とされた土器が米代川流域の前期遺跡から普遍的に出土し、他地域にも散見されることは事実であり、一つの土器型式として成立するかどうかを円筒下層ａ式・ｂ式及びそれに先行する諸型式と共に再検討する必要がある。桂の沢遺跡の発掘調査では「茂屋下岱式土器群」をも含む前期前葉の土器を検出し、「茂屋下岱式土器群」の土器が、土器埋設遺構として用いられ、そのすぐ近くには竪穴住居跡も存在する。このように「茂屋下岱式土器群」の土器が単独で遺構に伴って出土した例は初めてであり、前期前葉の土器編年上のみならず、前期前葉の居住形態や

埋葬様式等を研究する上でも重要な発見である。

米代川流域では前期中葉～中期前葉の集落遺跡が多く知られており、国指定史跡能代市杉沢台遺跡[12]、県指定史跡八竜町萱刈沢貝塚[13]、阿仁町上岱Ⅰ遺跡[14]、上小阿仁村不動羅遺跡[15]、大館市池内遺跡、小坂町はりま館遺跡等では、長径が10ｍをこえる大型住居跡も検出されている。大型住居が盛行するこの時期の遺構・遺物は桂の沢遺跡ではきわめて少なく、次に桂の沢遺跡に人が居住したのは中期中葉の円筒上層ｂ式期である。この時期は前期をピークとする気候の温暖化に伴う、縄文海進とその後の寒冷化の時期にあたり、杉沢台遺跡の廃絶原因をこの気候変動に起因する自然環境の変化にもとめる見解もある[16]。中期中葉に内陸部の狭隘な谷に立地する桂の沢遺跡を再び人々が居住地として選択したのも、新たな自然環境に適応すべく移住を繰り返す中での選択のひとつであったろう。

中期中葉以降も居住地として桂の沢遺跡は継続する。円筒上層ｃ式、ｄ式、大木９式、中の平Ⅲ式、大木10式並行の土器が出土し、各期の竪穴住居跡が検出された。米代川中流域で中期中葉以降継続して営まれた集落には二ツ井町烏野遺跡[17]、森吉町狐岱遺跡[18]、阿仁町上岱Ⅰ遺跡等がある。烏野遺跡は米代川に面した河岸段丘上に立地する。桂の沢遺跡、狐岱遺跡、上岱Ⅰ遺跡は、米代川の支流が形成した内陸部の河岸段丘上にある。烏野遺跡と狐岱遺跡では、長期間にわたる居住に伴う廃棄物や、竪穴住居跡等の残土が幾層にも重なり合って盛り上がり土手状になった部分が発見され、注目される。桂の沢遺跡は長期間居住地として利用されてはいるが、一時期の住居数は多くなく、短い断絶を繰り返しており、このような拠点集落と呼ぶべき集落とは異なっている。

中期後葉に特有の炉として複式炉がある。土器埋設部、石囲部、掘り込み部を複数組み合わせた炉であるが、米代川流域でも大木９～10式並行期の竪穴住居跡内から検出されることが多い。その中で、土器埋設部と石囲部を組み合わせた形態は南東北から秋田県の中央部までは多いが、米代川流域では検出例が少なく、これまで大館市鳴滝遺跡[19]、阿仁町上岱Ⅰ遺跡、二ツ井町烏野遺跡で発見されていたにすぎなかった。桂の沢遺跡では複式炉をもつ竪穴住居跡が10軒検出され、複式炉自体をみれば県南部のものとほとんど変わらない構造であった。各遺跡の位置を考慮すれば、米代川流域への複式炉の伝播経路は河口から米代川沿いにさかのぼるルートの他に、大覚野峠を越える内陸部ルートも想定できるのではないだろうか。また、大木９式並行期の長径10ｍを越える大型住居跡は、鹿角市天戸森遺跡[20]で検出例があるが、複式炉が盛行する秋田市御所野台地の遺跡群[21]にはない。桂の沢例は稀少である。

後期前葉の遺跡では、鹿角市の国指定特別史跡大湯環状列石[22]や、同様な構造の遺跡と考えられる高屋館跡[23]、目にアスファルトを埋め込んだ土偶が出土した大館市塚の下遺跡[24]をはじめ、多くの遺跡が分布する。これらの遺跡からは大湯式または「十腰内Ⅰ群」類似土器が出土してい

るが、桂の沢遺跡ではこの種の土器はほとんどない。桂の沢遺跡の後期遺物の主体は、後期中葉から後葉で、特に「十腰内Ⅳ群」類似土器が多い。後期中葉から後葉の遺跡は前葉に比べて少なく、鷹巣町の藤株遺跡、小坂町の中小坂遺跡[25]等がある。中小坂遺跡では発掘調査によって集落跡が検出され、良好な一括出土土器が把握されている。

桂の沢遺跡で最も多く出土したのは晩期中葉の遺物である。後期末から晩期前葉の遺跡は、能代市の県指定史跡柏子所貝塚[26]、琴丘町高石野遺跡[27]、鷹巣町藤株遺跡、森吉町白坂遺跡[28]、田代町矢石館遺跡[29]、大館市家ノ後遺跡[30]、鹿角市玉内遺跡[31]等があり、墓域や豊富な遺物が検出されている。今回の調査ではこの時期の遺物が少なく、台地の利用が途絶えていたとさえ思えるほどである。一転して、米代川流域では例がないほどの大量の晩期中葉の遺物が出土した。直線距離で約6.7kmの近距離にあって晩期前葉の遺物が大量に出土した白坂遺跡とは好対照である。そして、工字文系の土器が皆無であったことは、調査区が晩期中葉で一度完全に廃絶した区域であったことを物語っている。このように、米代川流域では晩期の拠点的な遺跡が時期によって移動していることが推測される。桂の沢遺跡はこれまで未発見であった晩期中葉の拠点的な遺跡の一つであると言える。

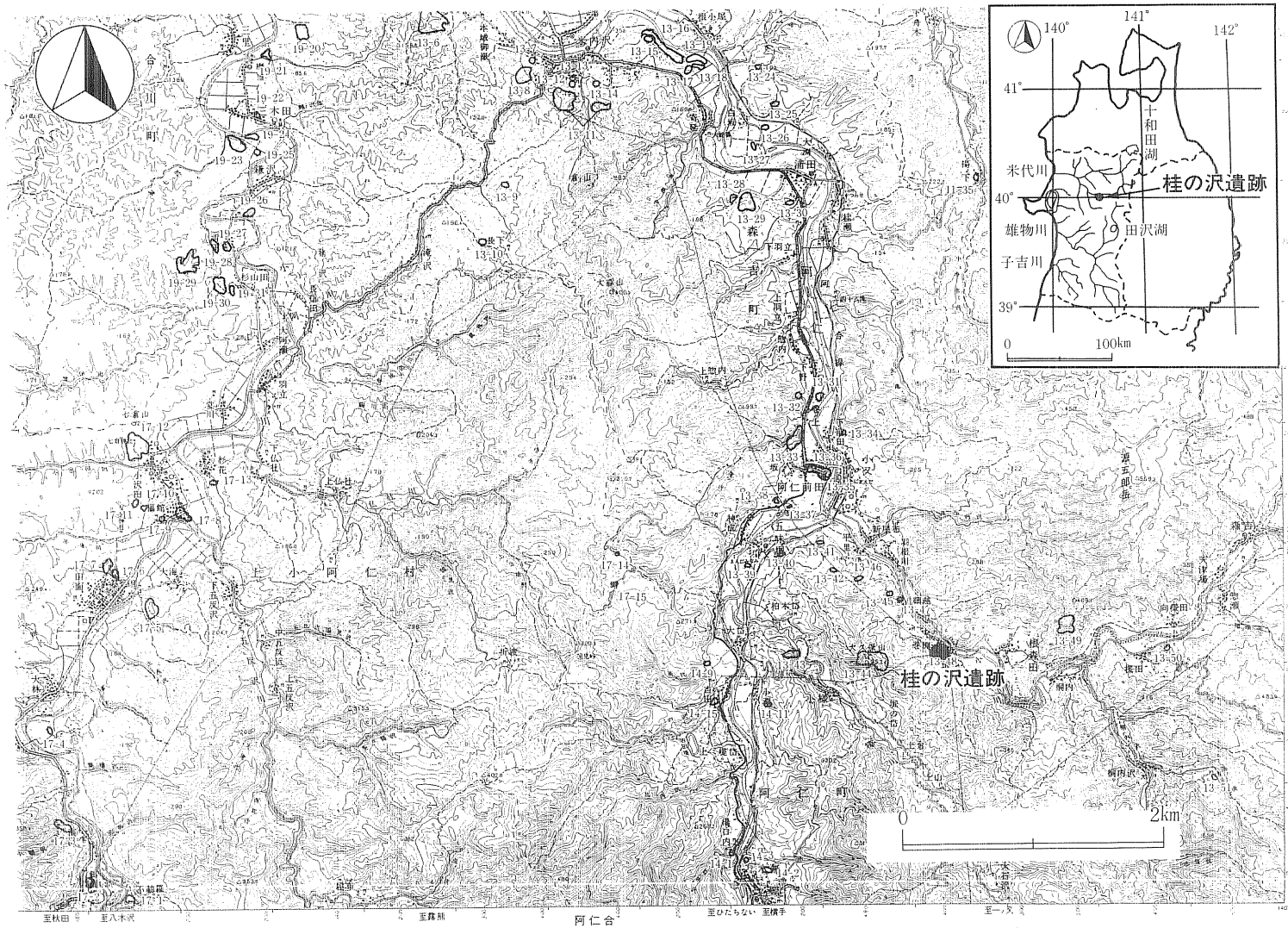
さて、森吉町には59箇所[32]の遺跡があり（第２図）、これまでに、大和久震平氏が仮称狐岱式を提唱した狐岱遺跡をはじめ、塚の岱遺跡[33]、長野岱Ⅰ遺跡[34]、吉野Ⅰ遺跡[35]、吉野Ⅱ遺跡[35]、山崎遺跡[35]、諏訪岱遺跡[36]、白坂遺跡、桂の沢遺跡の９遺跡が発掘調査されている。これらの発掘調査の多くは開発行為に伴う事前調査で、桂の沢遺跡も調査した部分は既に消滅している。また、森吉山ダム建設工事による遺跡への影響も予想される。今後も埋蔵文化財の保護に留意した開発が望まれる。

註・文献
(1)　秋田県教育委員会　「飛鳥平遺跡」『東北縦貫自動車道発掘調査報告書Ⅲ』　秋田県文化財調査報告書第89集　1982（昭和57年）
(2)　秋田県教育委員会　『国道103号線バイパス工事関係遺跡発掘調査報告書』　秋田県文化財調査報告書第84集　1981（昭和56年）
(3)　山館上ノ山遺跡は合計７回の発掘調査が行われ、様々な遺跡名で報告されている。本書は最近の大館市教育委員会による詳細分布調査及び秋田県教育委員会作成の遺跡地図に拠った。
大館市教育委員会　『大館市山館「上ノ山遺跡」発掘調査報告書』大館市史編さん調査資料第15集　1975（昭和50年）
秋田県教育委員会　『秋田県遺跡地図』1976（昭和51年）
大館市史編さん委員会　『大館市史』第一巻　1979（昭和54年）
秋田県教育委員会　『国道103号大館南バイパス建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅰ－上ノ山Ⅰ遺跡・上ノ山Ⅱ遺跡－』秋田県文化財調査報告書第173集　1988（昭和63）
秋田県教育委員会　『国道103号道路改良事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅱ－上ノ山Ⅱ遺跡第２次調査－』秋田県文化財調査報告書第193集　1990（平成２年）
大館市教育委員会　『秋田県大館市遺跡詳細分布調査報告書』1990（平成２年）
秋田県教育委員会　『国道103号道路改良工事に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅳ－上ノ山Ⅰ遺跡第２次調査－』秋田県文化財調査報告書第211集　1991（平成３年）
秋田県教育委員会　『秋田県遺跡地図（県北版）』1991（平成３年）
秋田県教育委員会　『味噌内農免農道整備事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書－袖ノ沢遺跡・横沢遺跡－』秋田県文化財調査報告書第169集　1988（昭和63年）
(4)　秋田県立大館鳳鳴高等学校社会部考古学班　『茂屋下岱式土器群』　1971（昭和46年）
(5)　秋田県教育委員会　「はりま館遺跡」『東北縦貫自動車道発掘調査報告書Ⅹ』　秋田県文化財調査報告書第109集　1984（昭和59年）
秋田県教育委員会　『はりま館遺跡発掘調査報告書－東北自動車道小坂インターチェンジ建設工事に係る埋蔵文化財発

掘調査－』　秋田県文化財調査報告書第192集　1990（平成２年）
(6)　秋田県埋蔵文化財センター　「池内遺跡」『秋田県埋蔵文化財センター年報11（平成４年度）』　1993（平成５年）
(7)　秋田県教育委員会　『国道103号道路改良事業に係る埋蔵文化財調査報告書Ⅶ－萩ノ台Ⅱ遺跡－』　秋田県文化財調査報告書第236集　1993（平成５年）
(8)　奥山潤　『福館遺物包含地　橋桁野竪穴住居跡発掘調査概報』　大館市史編さん調査資料第７集　大館市史編さん委員会　1973（昭和48年）
(9)　奥山潤　『芋掘沢遺跡発掘調査報告書』　大館市教育委員会　1972（昭和47年）
(10)　秋田県立大館鳳鳴高等学校社会部考古学班『赤川遺跡発掘調査報告２』　1969（昭和44年）
(11)　秋田県教育委員会　『藤株遺跡発掘調査報告書』　秋田県文化財調査報告書第85集　1981（昭和56年）
秋田県鷹巣町教育委員会　発掘調査報告書Ⅰ　藤株遺跡　1992（平成４年）
秋田県鷹巣町教育委員会　発掘調査報告書Ⅱ　藤株遺跡　1993（平成５年）
(12)　秋田県教育委員会　『杉沢台・竹生遺跡　発掘調査報告書』　秋田県文化財調査報告書第83集　1981（昭和56年）
(13)　八竜町教育委員会　『萱刈沢貝塚　山本郡八竜町萱刈沢貝塚発掘調査報告書』　1979（昭和54年）
秋田県教育委員会　『一般国道７号琴丘能代道路建設事業に係る埋蔵文化財調査報告書Ⅳ－萱刈沢Ⅰ遺跡・萱刈沢Ⅱ遺跡－』　秋田県文化財調査報告書第231集　1993（平成５年）
(14)　秋田県教育委員会　『上岱Ⅰ遺跡発掘調査報告書－国道105号改良工事に係る埋蔵文化財調査－』　秋田県文化財調査報告書第184集　1989（平成元年）
(15)　上小阿仁村教育委員会　『上小阿仁村不動羅遺跡発掘調査概報』　1971（昭和46年）
(16)　永瀬福男　「秋田県における円筒土器文化」　『考古風土記』　第９号　1984（昭和59年）
(17)　二ツ井町教育委員会　『エヒバチ長根窯跡・大川口館跡・鳥野遺跡』　二ツ井町埋蔵文化財調査報告書第１集　1990（平成２年）
秋田県山本郡二ツ井町教育委員会　鳥野遺跡第２・３次発掘調査概報　二ツ井町埋蔵文化財調査報告書第２集　1992（平成４年）
(18)　大和久震平　「北秋田郡森吉町米内沢狐岱遺跡調査報告」　『昭和32年度調査研究報告書』　秋田県文化財保護協会　1958（昭和33年）
大和久震平　「円筒上層式の細分」　『秋田考古学』　第16号　秋田考古学協会　1960（昭和35年）
秋田県教育委員会　『遺跡詳細分布調査報告書』　秋田県文化財調査報告書第201集　1990（平成２年）
大野憲司　『狐岱遺跡について－1989年の範囲確認調査から－』　秋田県埋蔵文化財センター研究紀要第５号　1990（平成２年）
(19)　秋田県立大館鳳鳴高等学校社会部　『秋田県大館市鳴滝遺跡発掘調査報告書』　1977（昭和52年）
(20)　鹿角市教育委員会　『天戸森遺跡発掘調査報告書』　鹿角市文化財調査資料26　1984（昭和59年）
鹿角市教育委員会　『天戸森の土器－天戸森遺跡出土縄文土器図録－』　鹿角市文化財調査資料41　1990（平成２年）
(21)　安田忠市　「秋田市御所野丘陵部遺跡群について－縄文時代・中期の住居跡－」『よねしろ考古』　第７号　よねしろ考古学研究会　1991（平成３年）
秋田市教育委員会　『秋田市秋田臨空港新都市開発関係埋蔵文化財発掘調査報告書』　1983（昭和58年）～1985（昭和60年）［３冊］
秋田市教育委員会　『秋田市秋田新都市開発整備事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書』
1986（昭和61年）～1992（平成４年）［５冊］
(22)　文化財保護委員会　『大湯町環状列石』　1953（昭和28年）
鹿角市教育委員会　『特別史跡大湯環状列石周辺遺跡発掘調査報告書（１）～（９）』
鹿角市文化財調査資料29・31・32・33・35・38・42・43・45　1985～1993（昭和60～平成５年）
(23)　秋田県教育委員会　『西山農免農道整備事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅵ－高屋館跡－』　秋田県文化財調査報告書第198集　1990（平成２年）
(24)　秋田県教育委員会　『塚の下遺跡発掘調査報告書』　秋田県文化財調査報告書第61集　1979（昭和54年）
(25)　秋田県教育委員会　『中小坂遺跡発掘調査報告書－高速交通関連道路整備事業に係る埋蔵文化財発掘調査－』　秋田県文化財調査報告書第177集　1988（昭和63年）
(26)　秋田県教育委員会、能代市教育委員会　『秋田県史跡能代市所在　柏子所貝塚発掘調査報告書』　秋田県文化財調査報告書第８集　1966（昭和41年）
(27)　秋田県山本郡琴丘町教育委員会　高石野発掘調査概報　1983（昭和58年）
秋田県山本郡琴丘町教育委員会　文化財調査報告書「高石野」　1992（平成４年）
(28)　秋田県埋蔵文化財センター　「白坂遺跡」『秋田県埋蔵文化財センター年報11（平成４年度）』　1993（平成５年）
(29)　奥山潤　「縄文晩期の組石棺」『考古学雑誌』第40巻２号　日本考古学会　1953（昭和28年）
(30)　秋田県教育委員会　『曲田地区農免農道整備事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅱ－家ノ後遺跡－』　秋田県文化財調査報告書第229集　1992（平成４年）
(31)　秋田県教育委員会　『玉内遺跡発掘調査報告書－国道282号改良工事に係る埋蔵文化財発掘調査－』　秋田県文化財調査報告書第171集　1988（昭和63年）
(32)　秋田県教育委員会　『秋田県遺跡地図（県北版）』　1991（平成３年）
(33)　加賀利男　「塚ノ岱遺跡の発掘調査について」『広報もりよし』　第131号森吉町1969（昭和44年）
(34)　森吉町教育委員会　『長野岱Ⅰ遺跡』1967（昭和42年）
(35)　秋田県教育委員会　『遺跡詳細分布調査報告書』　秋田県文化財調査報告書第201集　1990（平成２年）
(36)　森吉教育委員会　『～堤沢川流路溝工事に係る発掘調査報告～　諏訪岱遺跡』　1992（平成４年）

参考文献
秋田県教育委員会　『秋田県遺跡地図』　1976（昭和51年）
秋田県教育委員会　『秋田県遺跡地図（中央版）』　1990（平成２年）
秋田県教育委員会　『秋田県の中世城館』秋田県文化財調査報告書第86集　1981（昭和56年）
大館市史編さん委員会　『大館市史』第一巻　1979（昭和54年）

第１図　遺跡周辺の頁岩を含む地層の分布



第2図　桂の沢遺跡の位置と周辺の遺跡

地図番号	遺跡名	種別	遺構・遺物
鷹巣町			
11-35	若木台	遺物包含地	縄文土器片、石器
森吉町			
13-6	阿仁城	館跡	空堀
13-7	御嶽	遺物包含地	土師器片
13-8	御嶽館	館跡	空堀、土塁
13-9	長下A	遺物包含地	縄文土器片（後期）
13-10	長下B	遺物包含地	縄文土器片（後期）
13-11	米内沢城	館跡	土塁、空堀、井戸址
13-12	寺の上II	遺物包含地	土師器片
13-13	寺の上I	遺物包含地	縄文土器片（晩期）石鏃、石匙
13-14	伊勢の森	遺物包含地	土師器片
13-15	冷水台	遺物包含地	縄文土器片（前期・中期）、土師器、石器
13-16	狐台	遺物包含地	縄文竪穴住居跡、配石墓、土坑配石遺構、平安時代竪穴住居跡、縄文土器（前期・中期・晩期）、土師器、石鏃、石匙、石錘、磨製石斧他
13-17	山崎	遺物包含地	土坑、配石遺構、縄文土器片
13-18	吉野I	遺物包含地	縄文時代土坑、弥生土器片
13-19	吉野II	遺物包含地	
13-24	浦田うるし沢	遺物包含地	縄文土器片、石器
13-25	比内道下山根	遺物包含地	縄文土器片、（後期）、石器
13-26	塚の台	遺物包含地	縄文土器（晩期・大洞B式、大洞BC式）注口土器、鉢形土器、壺形土器、土偶、岩偶他
13-27	白坂	遺物包含地	縄文時代竪穴住居跡、土坑、配石遺構、捨て場、縄文土器片(大洞B、BC式)、注口土器、石鏃

地図番号	遺跡名	種別	遺構・遺物
13-28	愛宕堂	遺物包含地	縄文土器片（中期）石器小片
13-29	浦田館	館跡	
13-30	石倉坂	遺物包含地	縄文土器片（前期・中期）石器
13-31	下野上野台	遺物包含地	縄文土器片
13-32	焼山	遺物包含地	縄文土器片
13-33	高館	館跡	空堀
13-34	下前田下山根	遺物包含地	縄文土器片、石器
13-35	八幡森	遺物包含地	縄文土器片（前期、中期）、石器
13-36	前田館	館跡	
13-37	陣場台I	遺物包含地	縄文土器片（前期、中期）、石鏃、石匙、石槍
13-38	陣場台II	遺物包含地	縄文土器片
13-39	五味堀	遺物包含地	縄文土器片、石器
13-40	ボサツ堂	遺物包含地	縄文土器片（晩期・大洞B、BC式）
13-41	五味堀高屋布	遺物包含地	縄文土器片
13-42	五味堀大保苔	遺物包含地	縄文土器片（後期）、独鈷石
13-43	花館	館跡	空堀
13-44	天館	館跡	
13-45	小又小平里A	遺物包含地	縄文土器片（後期）、石器
13-46	小又小平里B	遺物包含地	縄文土器片（後期）、石器
13-47	片平館	遺物包含地	縄文土器片（後期）、石器
13-48	桂の沢	遺物包含地	縄文土器片、石器
13-49	仲ノ又館	館跡	空堀
13-50	様田	遺物包含地	縄文土器片、石器
13-51	桐内沢清兵衛台	遺物包含地	縄文土器片（後期・晩期）
阿仁町			
14-1	熊堂	遺物包含地	縄文土器片（中期）、石鏃
14-2	上台I	遺物包含地	縄文土器片（中期、後期）
14-3	上台II	遺物包含地	縄文土器片（中期）
上小阿仁村			
17-1	不動羅集落	集落	縄文時代竪穴住居跡、小竪穴遺構、石囲炉、埋甕炉、縄文土器片（中期・大木8b式、大木9式、円筒上層b～d式）、石鏃

地図番号	遺跡名	種別	遺構・遺物
17-2	餌刺台	遺物包含地	縄文土器片（中期）
17-3	南沢館	館跡	
17-4	小袋台	遺跡包含地	大形石棒、石皿、独鈷石
17-5	新館	館跡	
17-6	野中	館跡	空堀、須恵器片
17-7	ウトヒラ館	館跡	空堀
17-8	福館	館跡	
17-9	上台	遺跡包含地	縄文土器片（円筒下層a式、d式、円筒上層a式、b式）石匙、石鏃
17-10	上の台	遺跡包含地	縄文土器片、石器
17-11	林台	遺跡包含地	縄文土器片、石器片
17-12	七倉城	館跡	
17-13	杉花	遺物包含地	縄文土器片（晩期）、石鏃
17-14	冷水沢A	遺物包含地	縄文土器片（後期）、石器
17-15	冷水沢B	遺物包含地	縄文土器片（後期）、石器
合川町			
19-20	芹沢館	館跡	
19-21	摩当沢	遺物包含地	縄文晩期土器、注口土器、香炉形土器、土偶、石鏃、磨製石斧、石匙、石槍、異形石器
19-22	伊勢の台	遺物包含地	縄文土器片、石器破片
19-23	孫七沢館	館跡	空堀、鉄刀
19-24	石渕	遺物包含地	縄文土器片（中期）
19-25	石渕堂の前	遺物包含地	縄文土器、石器小片
19-26	林台	遺物包含地	縄文土器片（前期・中期）、石皿
19-27	雪田台A	遺物包含地	縄文土器片、石器
19-28	雪田台B	遺物包含地	縄文土器、石器小片
19-29	鎌沢館	館跡	空堀、段築
19-30	アメフリ台	遺物包含地	縄文土器片（後期）、石鏃
19-31	杉山田	遺物包含地	縄文土器片、石槍

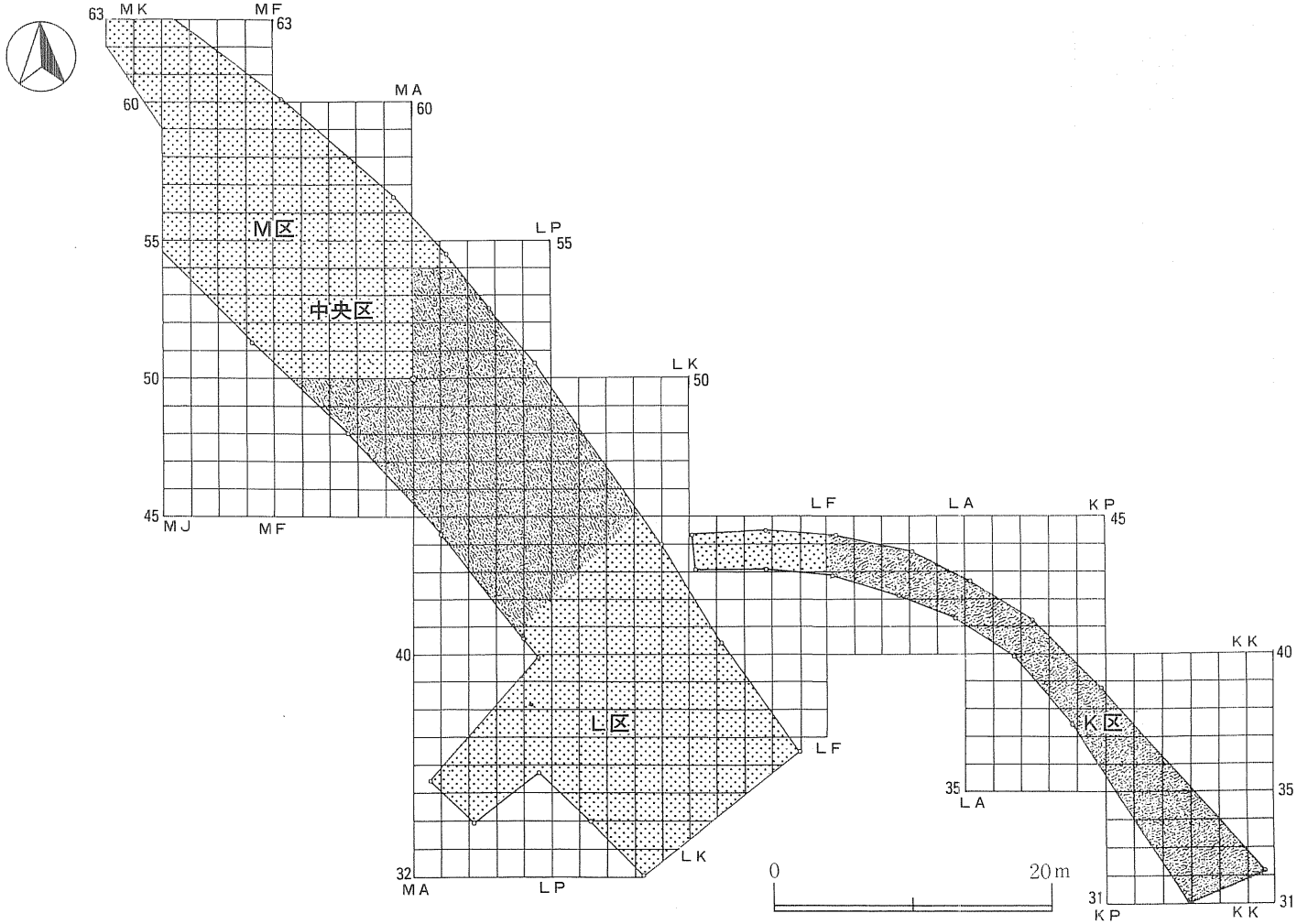
第1表　周辺遺跡一覧表

第３章　発掘調査の概要

第１節　遺跡の概観

北秋田郡と仙北郡を結ぶ国道105号を北上し、森吉町阿仁前田の森吉山県立自然公園入り口から太平湖方向へ小又川の右岸を約2.7km進むと、川向かいに巻渕・堺田両集落が見えてくる。川を渡り巻渕集落から上手にある堺田集落へと登る途中の、右側にある段丘上に桂の沢遺跡がある。標高99～100ｍの平坦な段丘は北西－南東約200ｍ、北東－南西約130ｍ、面積はおよそ26haである。発掘調査前は牧草地に利用している休耕田と水田・畑地・墓地等であった（第３図、図版１－１）。

第３図　調査範囲図


63
MK
MF
63
60
MA
60
M区
55
LP
55
中央区
50
LK
50
45
MJ
MF
LF
LA
KP
45
40
KK
40
L区
K区
LF
35
LA
35
LK
32
MA
LP
0
20m
31
KP
KK
31

第4図　調査区区分図

発掘調査をしたのは、この平坦な台地の北西部の一部である。遺跡の範囲は台地全体と考えられるが、南東部は過去に耕地整理のために削平と盛土を繰り返しており、今回の発掘調査区より南東側は遺構、遺物がほとんど残っていないことが範囲確認調査で判明している 。したがって現存する遺跡のほぼ中央部を発掘調査したことになる。

土層、遺構、遺物の状況から、調査区内を便宜的に次のように４区分する（第４図)。

Ｌ区（調査区南東部）　：ＬＦラインから西側、ＬＭ45グリッド杭とＬＱ41グリッド杭を結ぶ線より東側の区域。多量の遺物が集中して出土した区域である。

中央区（調査区中央部）：ＬＭ45グリッド杭とＬＱ41グリッド杭を結ぶ線より西側、ＬＳ54－ＭＡ54－ＭＡ50－ＭＦ50の各グリッド杭を結ぶ線より東側の区域。多数の土坑、柱穴群を検出した。

Ｍ区（調査区北西部）　：ＬＳ54－ＭＡ54－ＭＡ50－ＭＦ50の各グリッド杭を結ぶ線より西側の区域。配石遺構・複式炉を伴う竪穴住居跡・土坑群・大型の柱穴等が重複して密集する。

Ｋ区（取付け道路部分）：ＬＦラインから東側の区域。晩期の遺物包含層があった。

このうち、中央区は重機により地山上面まで削平されており、当該層に含まれる大礫とそこに掘込まれた土坑プランが露出していた状況であった。その他の区域は、表土が遺構、遺物を覆っており、遺構の保存は比較的良好であった。調査区とその周辺は以前から遺物が多く採集される場所であったという。

第２節　調査の方法

調査はグリッド法で行った（第３図)。対象範囲全域にグリッドを設定するため、まず原因者が設置した路線中心杭のNo.98を原点とする、国家座標第Ｘ系の南北方向に南北基準線Ｙ軸を設定した。この基準線と直交して原点の基準杭を通る線を東西基準線Ｘ軸とし、これらＸ・Ｙ両軸に４ｍ×４ｍ方形メッシュを割り付けた。原点をＭＡ50とし、東西方向には、Ｘ軸上を西に４ｍ進む毎にＭＢ・ＭＣ・ＭＤ･･･と正順に、東に４ｍ進む毎にＬＴ・ＬＳ・ＬＲ･･･と逆順に各々Ａ～Ｔまでの２文字のアルファベットの組み合わせを付した。南北方向には、Ｙ軸を北に４ｍ進む毎に51・52・53･･･と増加し、南に向かう毎に49・48・47･･･と減少する２桁のアラビア数字を付した。各グリッドの呼称は、南東隅を通るＸ軸とＹ軸の組み合わせで、ＭＡ50・ＭＢ51・ＭＣ52･･･のように呼ぶこととした。

遺構は種類を略号で付し、検出順に連番で遺構番号を付けた。原則として半截または十字に土層断面観察用のベルトを残して、２または４分割法による精査を行った。

遺物はグリッド単位に取り上げ、出土した層位、グリッド名または遺構名、年月日を記入した耐水性荷札を添付した。なお、遺構によっては埋土で一括して取り上げたり、微小なチップ片や炭化物等が確認された場合は、埋土に篩をかけ選別を行うためにサンプリングを実施した。なお、ＳＱ547配石遺構の下部の土坑からは、残存脂肪分析用の土壌サンプルを採取した。

平面図及び断面図は、原則として1/20、細部状況を表すために適宜1/10の縮尺で作成し、それぞれにレベルを記入した。作図にあたっては、グリッド杭を利用した簡易遣り方測量によった。断面図には土色・堅さ・しまり・土性・混入物を注記している。必要に応じてはエレベーション図も作成した。その他、ラジコンヘリコプターに搭載したカメラによる写真測量と、リフティングケーブル上のリモートコントロールカメラによる写真測量を随時併用した。

発掘調査における写真撮影は、遺跡や遺構・遺物を対象とする地上撮影と、主に捨て場の膨大な遺物や配石遺構、土坑群を写真実測によって図化する目的の空中撮影とを行った。写真は、モノクロ、カラーリバーサル（スライド用）、カラープリントの３種類があり、各々35㎜判を用いた。

土器・土製品及び石器類は、基本的に1/1で実測図を作成し、報告書に掲載するにあたって適宜縮尺してトレースした。実測図にはスケールを入れて示してある。

図面記録は、現場で実測した図を第１原図とし、これを基に平面図と断面図を組み合わせた図を第２原図とした。

第３節　調査の経過

発掘調査は平成４年５月11日から10月23日まで行った。初日の機材搬入に続き翌日からは南東部東側から調査を開始した。

６月３日、客土層の除去を終了し、南西側から第Ⅱ層を掘り下げ開始。６月４・５日、原因者に依頼して南東部と中央部とを画する農道の表土除去を重機により行った。６月14日中央部のわずかに残った表土の除去作業を開始した。土取り跡の窪みを利用し、当面の排土置場とした。17日、リフティングケーブル使用の撮影を捨て場を中心に始めた。29日から中央部を調査開始した。表土はほとんどなく、確認された順に土坑の半截を行った。

７月13日、南東部の土坑を中心とする遺構はほぼ精査完了した。16日、北西部の表土除去を開始した。20日、調査区北端の沢から、地元では「アオシシ」と呼ぶ大型の雌カモシカが出現。調査区を横切り悠々と山の中に戻って行った。22日より夏休み期間中、地元高校生アルバイトで遺物の洗浄を行った。28日で北西部の表土除去を終了した。

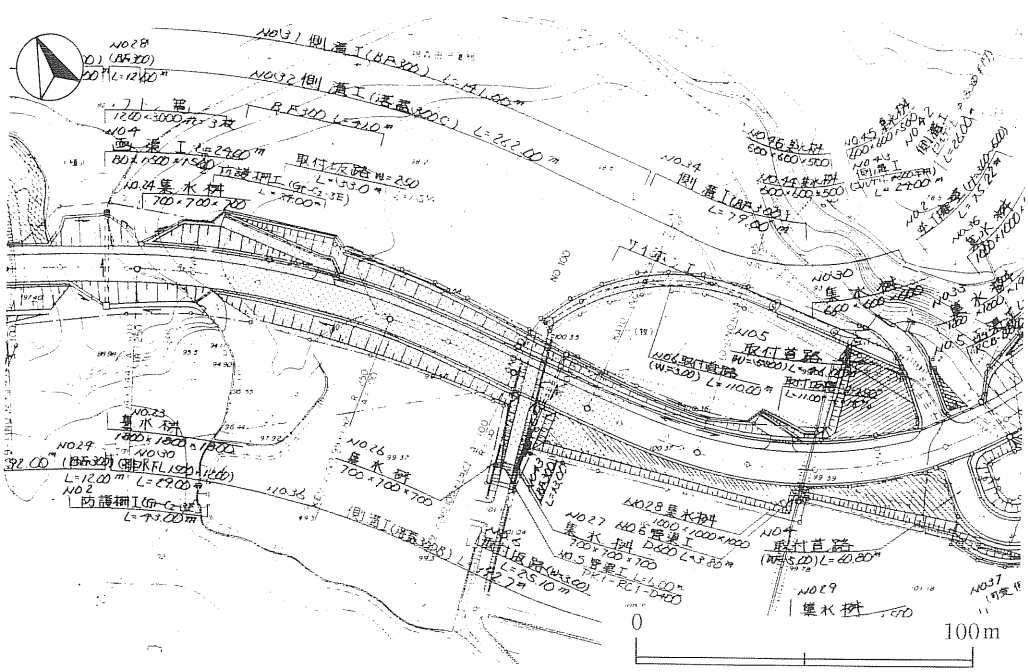
８月３日、カナダのブリティシュコロンビア大学大学院生のBRIAN THOM氏が本日より約

１箇月間現場研修のため調査に参加した（図版７－８）。17日、記録的な猛暑の中を取付け道路部に着手した。24日、ＬＪ43グリッドから取り付け道路の路線に沿ってトレンチを設定したが、遺構、遺物は検出されなかった。26日、国學院大學の小林達雄教授からご教示をいただいた。28日、捨て場の掘り下げ以外は、南東部の調査はほぼ終了した。

９月２日、遺構検出のため北西部のジョレン掛けを行った。多数の配石遺構を検出した。14日、調査区のすぐ下にある根森田児童館の児童が見学に来跡した。18日、ＭＡ50グリッド付近で完掘状況写真を撮影し中央部の調査を終えた。21日、ＫＯ35グリッドで第Ⅱ～Ⅲ層に高密度の遺物包含層を確認した。22日、遺跡北端にある沢への作業員及び土砂転落防止のために、原因者側でネットを設置した。24日、（有）ＮＲＣ岩手空撮のラジコンヘリコプターによって、遺構の写真実測及び遺跡の航空写真を兼ねた撮影が行われた。取り付け道路部分は西側壁面の土層を撮影した後、安全確保のため適宜埋戻しを行い終了した。

10月２日、北西部の配石遺構を撤去して、下部検出の土坑を順次半截～完掘を進めた。23日、遺物や機材等をセンターに送り、調査区内の清掃と並行し最終の精査を行った。調査終了の写真を撮影して、発掘調査を全て完了した。

この後、埋蔵文化財センターで遺物、図面等の整理作業を行い、報告書を作成した。



第５図　工事計画と調査範囲図

第４章　調査の記録

第１節　基本層位

調査区の調査前の状況は山林・水田・休耕田の牧草地であった。範囲確認調査の結果から、遺跡の覆土は地区によってかなり異なることが分かっていたので、第３章第１節で述べたように、調査区を４区分した。各区域毎の土層は次のとおりである。

◎Ｋ区（東部の取り付け道路部分）（第６図、図版７－７）

休耕田の牧草地部分である。地山までの深さが約１ｍ40㎝～１ｍ80㎝で、覆土の厚い区域である。覆土の厚さの半分以上は表土と客土で、遺物包含層は最も厚い部分でも60㎝程である。２層（黒褐色土）は、１－ｂ層の削土と客土によって上部を欠失しており、南東側ではそれが３層上部にまで及ぶ。南東端では地山にまで達し、包含層は完全に途切れる。３層の中で遺物が集中するのは、図中のポイントＢ～Ｄの間である。完形注口土器（図版11－93）は３層下部から４層上部にくいこんで出土した。

◎Ｌ区（南東部）（第７図、図版７－２）

水田及び農道の部分である。耕作土の下に耕地整理による10～50㎝の客土層が厚く堆積する。客土は、台地の南西側（尽森側）が薄く、北東側になるにつれて厚くなる。第７図のＥ－Ｆ断面では、北東側（小又川側）で、地山土に達する削土と盛土によって、遺物包含層である２層と３層が消滅している。

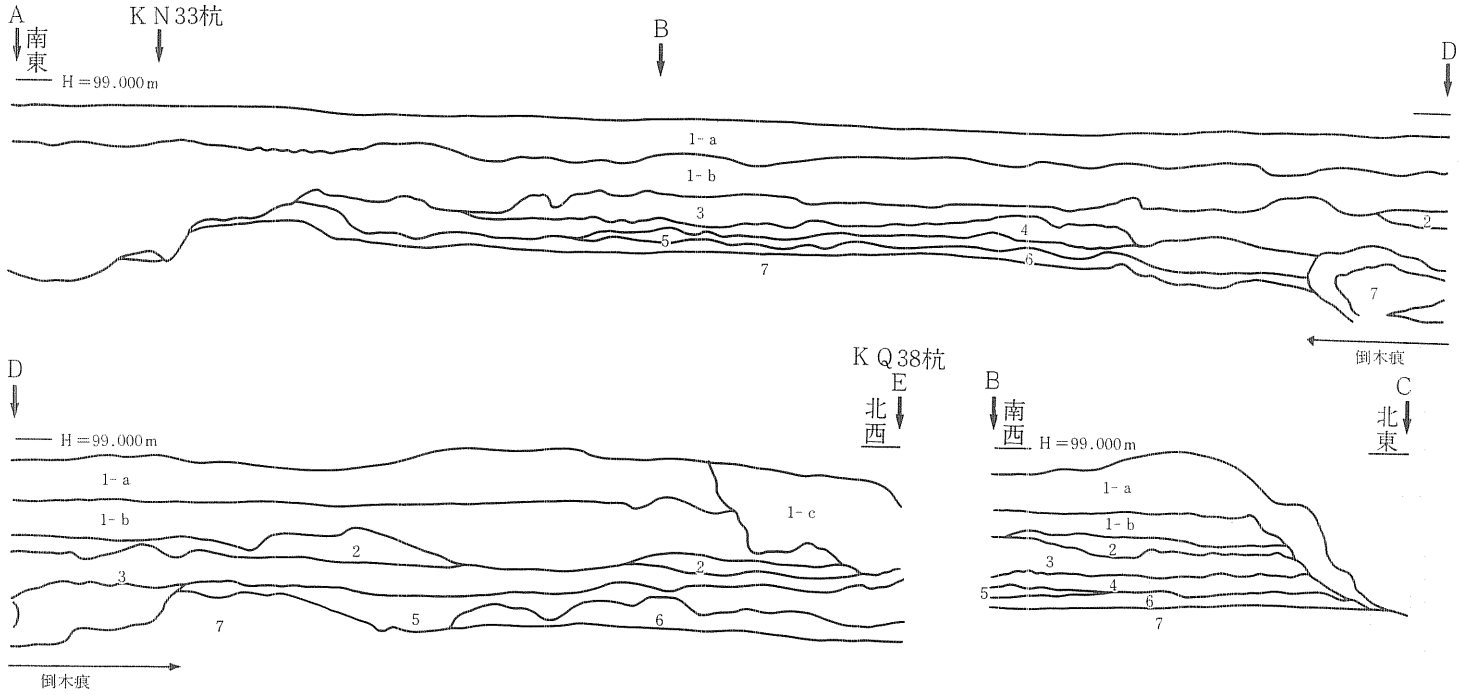
２層はＬＭ35グリッド付近で約35㎝と最も厚く、南東側及び北西側でしだいに薄くなり、南東端では調査区内で消滅している。２層の上部を覆うはずの旧表土はなく、直接１－ｂ層によって覆われており、本来の層厚はもっと厚く、範囲も広かったと思われる。この層の範囲が後期～晩期の「捨て場」の範囲である。２層の下面のレベルは南側が高く、北になるにしたがって低くなる。捨て場は、当初は北に傾斜するゆるやかな斜面に形成されていたことがわかる。

３層はＬ区全体を厚さ20～40㎝で覆う砂質土である。包含する遺物量は少ないが、ＳＩ159竪穴住居跡の周辺では前期の土器が含まれる。４層は無遺物層で、５層の地山とは漸移する。

４層と５層には径50㎝以下の大円礫が含まれており、特に５層は下部になるにつれて大円礫の包含頻度が増し、砂礫層となる。

◎中央区

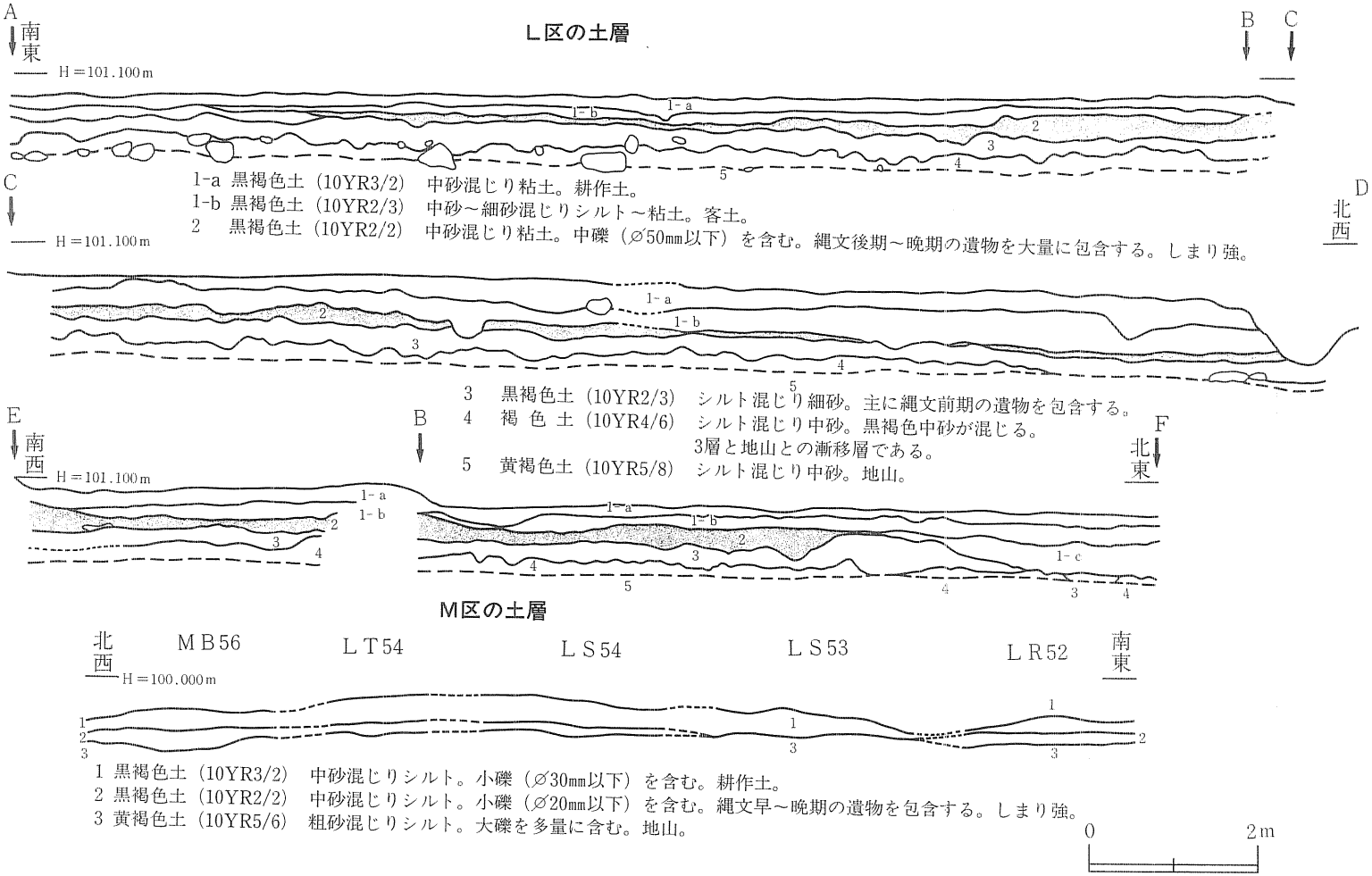
休耕田を牧草地としていた所であるが、用地買収直前に全面的に黒ボク土が採取されたため、覆土はなく地山が露出していた。地山面での遺構検出を行ったが、覆土に含まれていたはずの遺物のほとんどは失われ、出土量はきわめて少なかった。



1-a 暗褐色土（10YR3/3）　シルト。耕作土。
1-b 黒褐色土（10YR3/1）　シルト。小～大礫を多く含む。客土。
2　黒褐色土（10YR3/2）　シルト。小～中礫を多く含む。炭化物をきわめて多く含む。縄文晩期の遺物を包含する。
3　黒褐色土（10YR3/2）　シルト。大～中礫を多く含む。炭化物を多く含む。縄文時代晩期の遺物を多量に包含する。
4　黒褐色土（10YR2/2）　シルト。粘性あり。地山粒子を多量に含む。炭化物と小礫を少量含む。縄文晩期の遺物を少量包含する。
5　黒褐色土（10YR2/3）　シルト。粘性ややあり。遺物をきわめて少量包含する。
6　にぶい黄褐色土（10YR4/3）　粘土質シルト。粘性あり。地山土を多量に含む。遺物は包含しない。5層と地山の漸移層である。
7　黄褐色土（10YR5/8）　小礫混じり細砂。地山。

0　2m

第６図　基本土層図(1)　K区



第7図　基本土層図(2)　L区・M区

◎M区（北西部）（第７図）

山林だった部分で、耕地整理による削土、客土は免れているが、土壌の発達は顕著ではなく、地山までの深さはおよそ40～50cmである。重複する遺構の密度が極めて高く、土層の乱れが著しい。

１層の表土をとり除くと配石遺構群が現われ、２層から地山にかけて多数の遺構が検出された。２層は厚い所で20～30cm、薄い所では10cm程となる。地山は段丘礫層の砂礫層で径30cm以下の大円礫を多量に含んでいる。遺構の多くはこの層を掘り込んでおり、埋土にも多量の大円礫が混じっていた。

第２節　検出遺構と遺物

検出した遺構の総数は1,380基である。その内訳は、竪穴住居跡（ＳＩ）48軒、土坑（ＳＫ）1,141基、配石遺構（ＳＱ）169基、焼土遺構（ＳＮ）18基、土器埋設遺構（ＳＲ）３基、溝状遺構（ＳＤ）１条である。当初、柱穴状ピット（ＳＫＰ）としていた遺構は、直径や深さで土坑（ＳＫ）としたものとの明瞭な差がなく規模が連続すること、規模が大きく土坑としたものの中にその機能が柱穴と推定されるものがあることから、柱穴状ピットと土坑を区分せず、すべてを土坑とした。

M区では、当初の予想をはるかに上回るおびただしい数の遺構が、著しく重複し密集して検出された。個々の遺構の概要は一覧表で掲載する。遺構図は付図１・２の遺構配置図を参照されたい。一部の遺構については個別の図と検出状況、出土遺物を掲載する（第８～17図、第２表、図版１～10）。

ここでは遺構群の分布状況と若干の遺構の概略を述べる。

K区では晩期の遺物包含層（「捨て場」）はあったが、遺構は検出されなかった。

Ｌ区では、晩期の遺物包含層（「捨て場」）の平面的な広がりの外側に中期の竪穴住居跡、土坑が分布する。前期の竪穴住居跡と土器埋設遺構は晩期の「捨て場」と完全に重複し、「捨て場」の掘り下げを終了した後に３層上面で確認された。

ＳＩ159（第10図、図版１－2･3）はＬＫ・ＬＬ35グリッドで検出した。３層上面では大礫が１辺約1.6ｍの不正方形に集中し、配石遺構と思われたが、礫群の周囲を精査したところ、礫群を取り囲むような１辺が約2.4ｍの不整隅丸方形プランが検出された。礫群を取り除いて掘り下げたところ、床面までの深さは約20cmであった。床面は地山土に含まれる礫によって凹凸がある。ほぼ中央に径約30cm、深さ約10cm浅いピットがあり、ピットの壁の一部に土器片が立てられていた。中央ピットと壁の中間には２箇所に深さ約２cmと３cmの浅いピットがあり、これら

３つのピットは隅丸部の対角線上に並ぶ。このピットのうちの一つと中央ピットの周囲の床面には礫が置かれていた。埋土の上部に礫群が存在すること、埋土には周囲からの自然流入土がないことから、ＳＩ159竪穴住居跡は放棄されたのではなく、積極的に埋め立てられたものと考えられる。中央ピットと埋土下部からは、胎土に少量の繊維を含み、縄文が施文された土器が出土した。

ＳＩ159竪穴住居跡から北西に約５ｍ離れた同一面で、ＳＲ158土器埋設遺構（第11図、図版６－４・５・10）を検出した。３個体分の土器片と偏平な礫によって構築されている。土器の入れられた土坑の断面形は台形を呈し、上部径約60㎝、下部径約50㎝、深さ約35㎝である。土坑底面に偏平な大円礫を２個、中礫を２個、深鉢の底部を置き、その上に深鉢の上半部を倒立させて置く。しかし倒立深鉢(270)の約1/3は当初から欠失していたようで、この部分には別の土器の底部が入れられている。この底部と、倒立深鉢と土坑壁面の間に立てて入れられた土器の大破片とが接合した(271)。土坑内の土壌はきわめてしまりがあり、遺構が掘り込まれている基本層位の第３層よりも固い。

中央区は、土坑が密集する。北西側には、長軸方向が東－西ないし南東－北西の楕円形土坑群がある（図版６－１～３）。また、埋土の土層観察から明らかに柱穴と考えられる土坑も多い（図版５－２）。ＳＫ69、86、89、92は一辺が約3.2ｍのほぼ正方形プランの建物跡の柱穴と考えられる。これを仮にＡ建物跡とする。

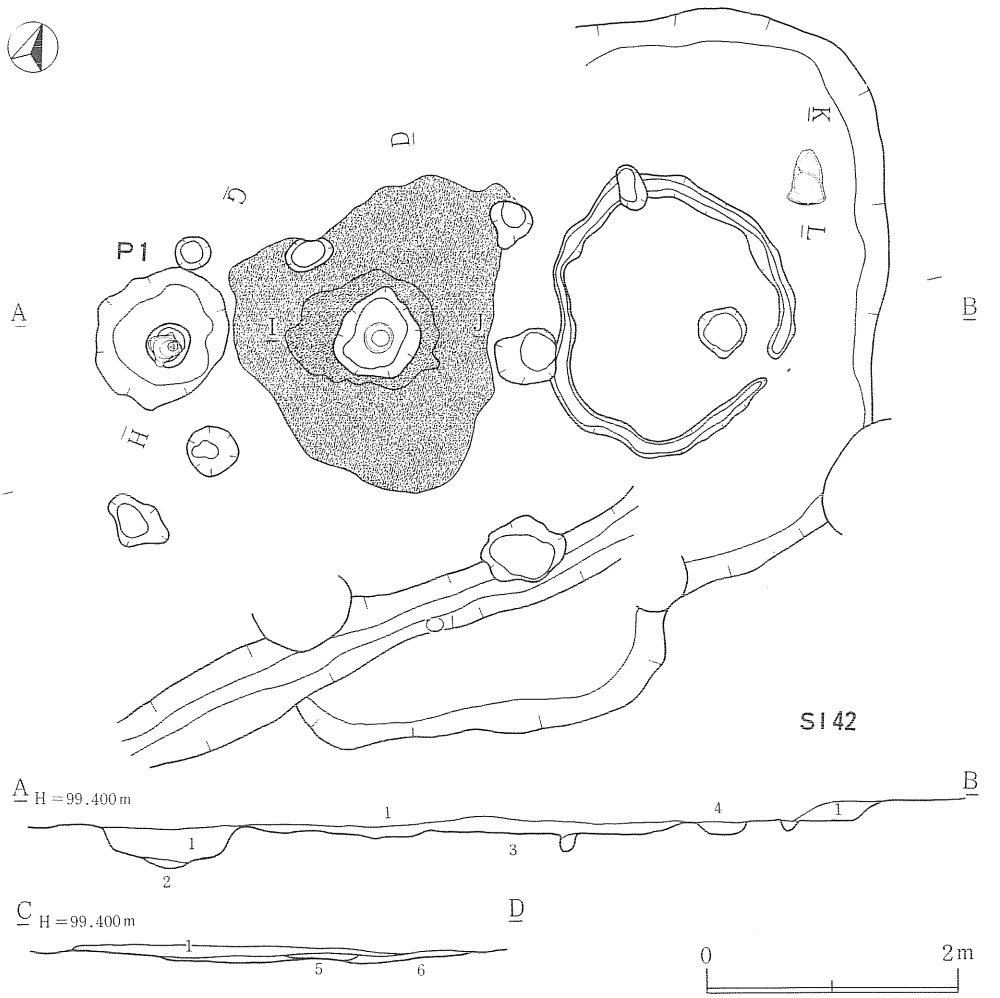
Ｍ区は、最も遺構の集中していた区域である（図版４-１、５-１）。複式炉、地床炉、石囲炉のある各竪穴住居跡、大小さまざまの土坑、配石遺構、焼土遺構、土器埋設遺構が重複していた。

中期後葉の複式炉が10基検出され、集落跡であったことが判明した。炉の周辺は踏み締められて堅くなっている所があり（図版２－１）、床面と考えられるが、後の時期の土坑などが多数重複しＳＩ555竪穴住居跡以外はプランが明らかではない。ＳＩ555竪穴住居跡は、推定長径約12ｍの楕円形の竪穴住居跡である（図版１－５）。壁の高さは約60㎝ 複式炉以外の壁際に壁溝が巡る。埋設土器はないが、石組部と掘り込み部からなる複式炉がある。

表土を除去して２層上面を精査した時点で、配石遺構と思われる石のまとまりが確認でき、漸移層上面では配石遺構と多数の土坑のプランが検出された（図版２－３）。配石遺構には平石を立てて並べたもの（図版３－２・３・７）、下部に土坑のあるもの（図版３－４・５・７、４－２・３）、礫を詰め込んだもの（図版３－４・６）等がある。土坑は円筒形の形態が多いが、袋状土坑もある。配石遺構の下部に袋状土坑のあったＳＱ547配石遺構（第58図、図版３－５、４－３）の埋土の残存脂肪分析結果によれば、ＳＱ547配石遺構は墓坑である（第５章参照）。

土坑のうち直径が１ｍを超え、深さ１ｍ50㎝を超える円筒形の土坑、または下部に同様の土坑のある配石遺構（ＳＱ520、538、ＳＫ653、884）がほぼ正方形のプランに配置されており（図

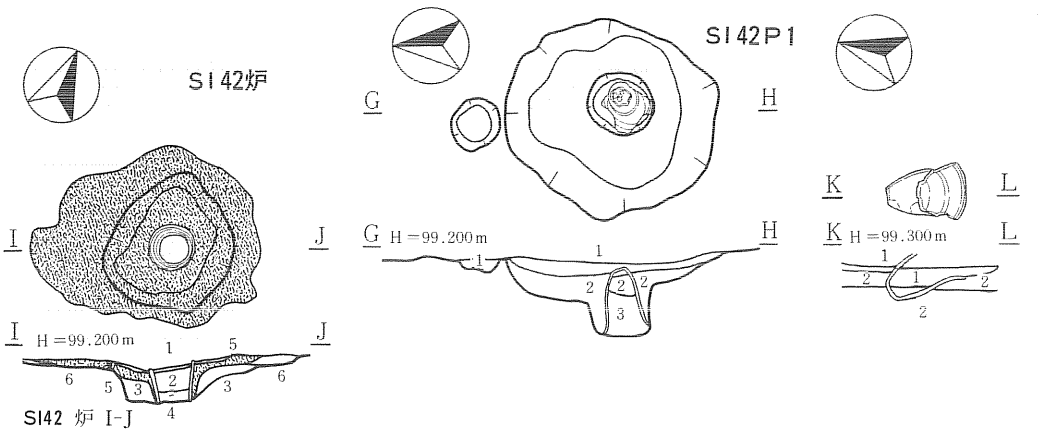
(→51ページへ)



SI42A-B、C-D

1	暗褐色土（10YR3/4）	しまりあり。細砂質シルト。微細な炭化物粒少量。黄褐色粗砂。小石（1mm以下）少量含む。
2	暗褐色土（10YR3/4）	しまりなし。粗砂、倒立土器と共に一括して埋まった土。
3	褐　色　土（10YR4/6）	しまりなし。細砂質シルト。周溝の埋土。深さは均等でない。
4	暗褐色土（10YR3/3）	しまりあり。細砂質シルト。黄褐色細砂少量。炭化物粒（2mm以下）少量含む。下部ほど褐色に近くなる。
5	赤　色　土（10R4/8）	極めて固くしまる。粗砂。小石（2mm大）多量に含む。霜降状に、i土を含むが、表面の凸凹に自然堆積したもの。炉の埋設土器の周辺がこの色。
6	明赤褐色（5YR5/6）	しまりあり。細砂質シルト。混入物はAと同じ。加熱の及ばない分、色が淡いと思われる。

第８図　検出遺構図(1)　SI42竪穴住居跡①



SI42 炉 I-J

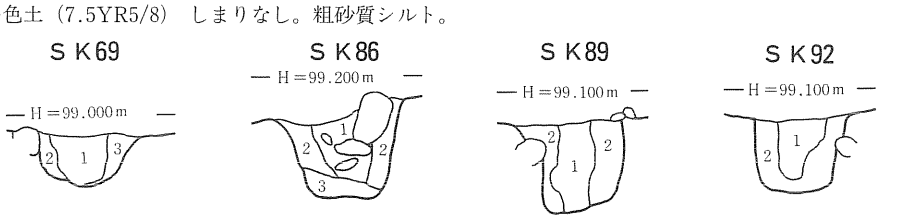
1 暗褐色土（10YR3/4）　しまりあり。細砂質シルト。微細な炭化物粒少量。黄褐色粗砂少量。小石（1cm以下）少量含む。
2 灰白色土（5Y8/2）　しまりなし。粗砂質シルト。上部が加熱を受けたため、若干赤みがかかっている。
3 明褐色土（7.5YR5/6）　しまりあり。細砂質シルト。
4 明褐色土（7.5YR5/6）　しまりあり。細砂質シルト。小石（2cm大）少量含む。
5 赤褐色土（10R4/8）　極めて固く締まる。粗砂質シルト。小石（2cm大）多量含む。10YR3/4暗褐色土を、霜降り状に含む。
6 明赤褐色土（5YR5/6）　極めて固く締まる。粗砂質シルト。含有物は、5と同じ。加熱源から遠い分色が淡いものか。

SI42 P1 G-H

1 暗褐色土（10YR3/4）　しまりあり。細砂質シルト。微細な炭化物粒少量。小石（1mm以下）少量含む。
2 暗褐色土（10YR3/4）　しまりなし。粗砂質シルト。倒立土器と共に一括して埋められた土。土器内部の堆積土は、底部損壊後に、割れ口から流入した砂土。
3 黒褐色土（10YR3/1）　しまりなし。シルト質細砂。土器片・チップ各数点ずつ含む。小石（1cm以下）少量含む。

SI42 K-L

1 暗褐色土（10YR3/4）　しまりあり。細砂質シルト。微細な炭化物粒少量。黄褐色粗砂少量。小石粒（1cm以下）少量含む。
2 明褐色土（7.5YR5/8）　しまりなし。粗砂質シルト。



SK69

1 黒褐色土（10YR2/3）　シルト、小礫を多量に含む。しまりややあり。
2 暗褐色土（10YR3/3）　シルト、小礫を少量含む。しまりあり。
3 暗褐色土（10YR3/3）　砂質シルト、大礫混じり、しまりあり。

SK86

1 黒褐色土（10YR2/3）　砂質シルト、しまりややあり。大礫を少量含む。小礫を多量に含む。
2 にぶい黄褐色土（10YR4/3）　粗砂、しまりなし。おお礫を多量に含む。
3 暗褐色土（10YR3/3）　シルト混じり粗砂、しまりややあり。小礫を少量含む。

SK89

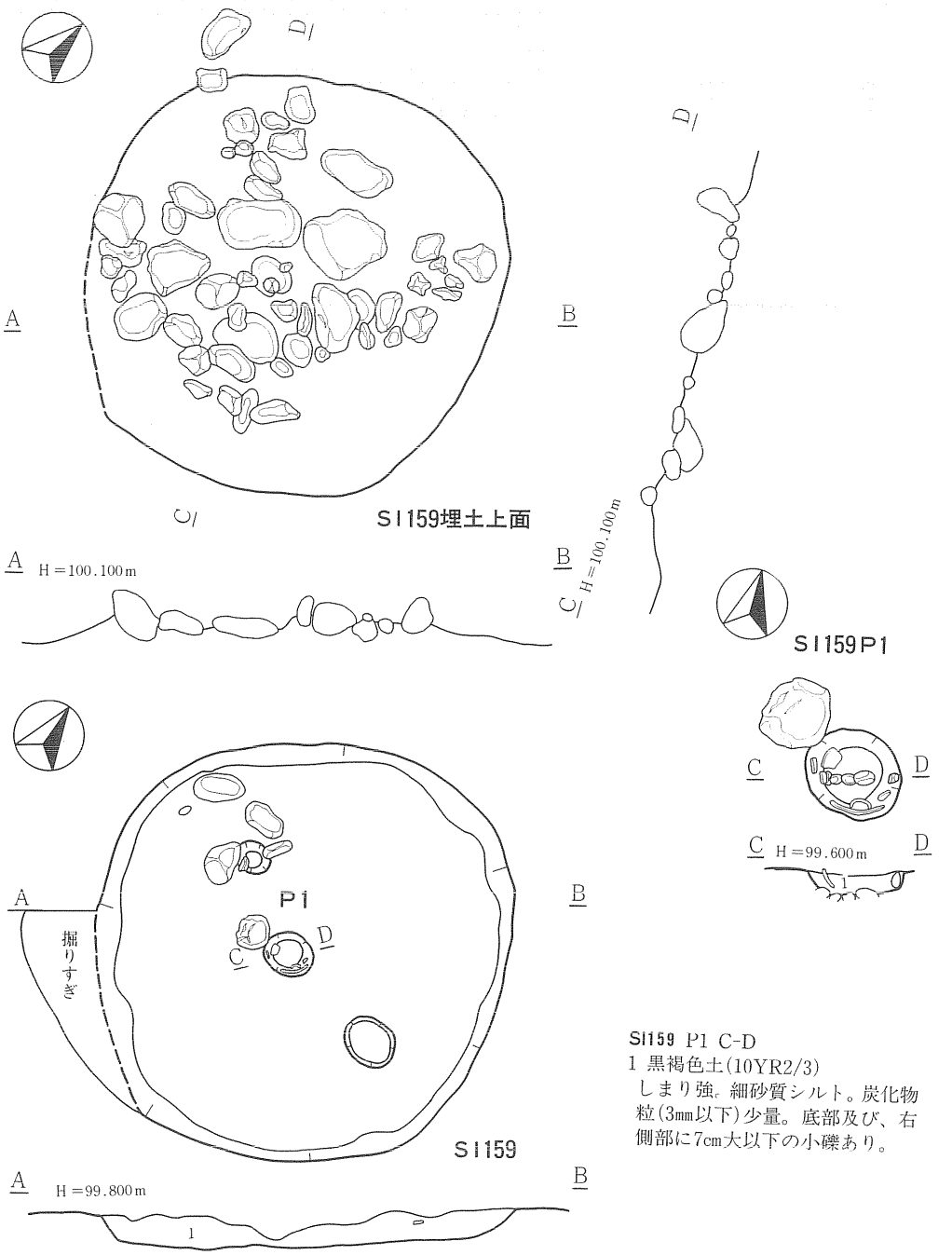
1 黒褐色土（10YR2/2）　シルト、しまりあり。小礫を多量に含む。
2 暗褐色土（10YR3/3）　シルト、しまりあり。小礫を少量含む。

SK92

1 黒褐色土（10YR2/3）　シルト、しまりあり。小礫を多量に含む。
2 暗褐色土（10YR3/3）　シルト、しまりあり。小礫を少量含む。

0　1m

第９図　検出遺構図(2)　SI42竪穴住居跡②、SK69・86・89・92土坑

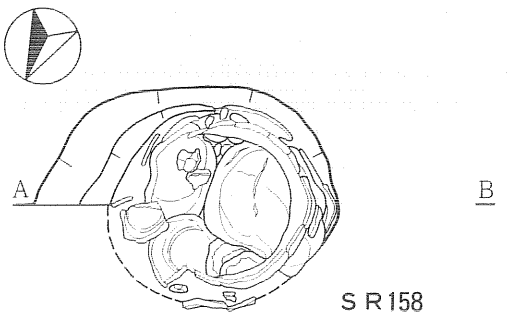


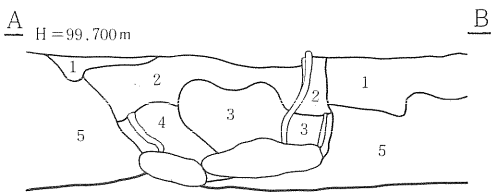
SI159 P1 C-D
1 黒褐色土(10YR2/3)
しまり強。細砂質シルト。炭化物粒(3mm以下)少量。底部及び、右側部に7cm大以下の小礫あり。

SI159　A-B
1 黒褐色土（10YR2/3）　しまりあり。粗砂混シルト。黄褐色細砂少量。小礫（3cm以下）微量。
灰白色粗砂少量、炭化物粒微量含む。

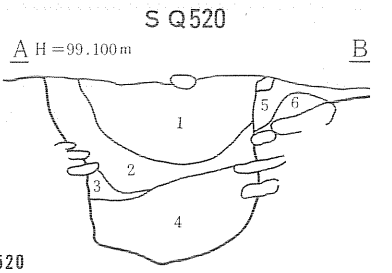
0　1m

第10図　検出遺構図(3)　SI159竪穴住居跡

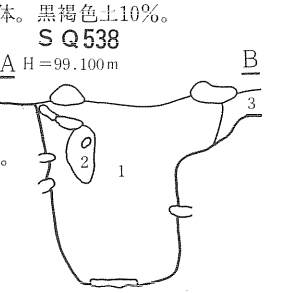




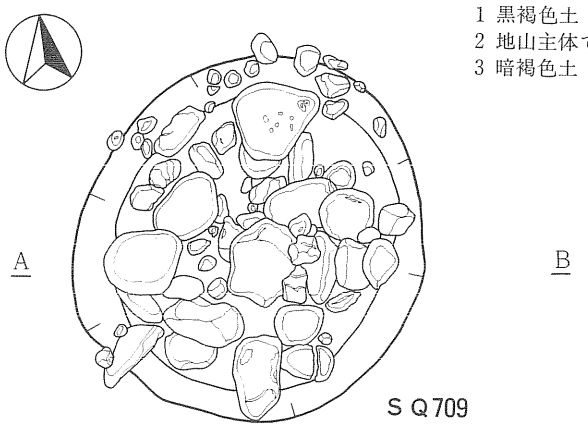
SR158 A-B
1 暗褐色土（10YR2/3）　しまりあり。粗砂混シルト。黄褐色粗砂少量含む。
2 褐色土（10YR4/6）　しまりあり。粗砂混シルト。黄褐色粗砂少量含む。
3 にぶい黄褐色土（10YR4/3）強く締まる。
4 褐色土（10YR4/6）　しまりあり。小石（1mm大）少量含む。
5 黄褐色土（10YR5/8）　しまりあり。孔隙多し。粗砂。

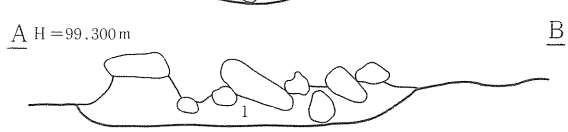


SQ520
1 黒褐色土（10YR2/2）　地山中～大粒5%。
2 黒褐色土（10YR3/2）　ボソボソして粘性、しまりなし。
3 黒褐色土（10YR3/2）
4 黒褐色土（10YR2/2）　やや粘性あり。地山小粒10%。
5 暗褐色土（10YR3/3）
6 地山主体。黒褐色土10%。

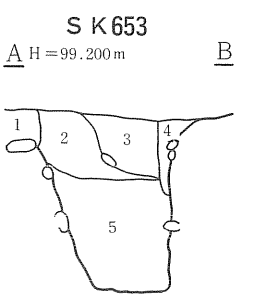


SQ538
1 黒褐色土（10YR3/2）　しまりあり。地山小～中粒10%。
2 地山主体で暗褐色土（10YR3/3）　30%。
3 暗褐色土（10YR3/3）





SQ709 A-B
1 黒褐色土（10YR2/3）　しまりあり。細砂質シルト。大礫（50cm大）～礫（拳大以下）まで様々の礫を多量充填している。



SK653
1 暗褐色土（10YR3/3）
2 暗褐色土（10YR3/3）
　地山ブロック（径10～30mm）30%混入。
3 黒褐色土（10YR2/3）
　しまりなし。地山小～中粒20%。
4 黒褐色土（10YR2/3）
5 暗褐色土（10YR3/4）
　地山小～中粒5%。小礫2～3%混入。

0　1m

第11図　検出遺構図(4)　SR158、SQ520・538・709、SK653

遺構記号	番号	検出グリッド	深さ(m)	底面標高(m)	出土土器と推定帰属時期	出土石器	剥片	備考
SI	1	LI35			晩、J、無	縦1、不1、礫1	5	
欠	2							
SK	3	LJ37・38	0.42	99,625	J	縦1		N 9° E
〃	4	LJ38	0.21	98,674	晩、J	凹1	3	N-19°-W
〃	5	LI38	0.27	98,666	J		1	N-80°-W
〃	6	LI・LJ38、LI・LJ39	0.34	98,715				N-45°-E
〃	7	LI37	0.32	98,744				N-73°-W
欠	8							
SK	9	LI37	0.22	98,825				
欠	10							
SQ	11	LL33・34、LK33	0.36	98,632				
〃	12	LK33・34	0.13	98,999				
〃	13	LK33・34、LJ33	0.12	99,003				
SK	14	LK38	0.23	98,877				N-12°-E
〃	15	LK38	0.34	98,642				N-80°-E
〃	16	LK38	0.61	98,574				N-26°-E
〃	17	LJ39	0.28	99,224	J		2	N-83°-E
欠	18							
SQ	19	LJ40	0.43	98,660	前、中(円上C)			
SK	20	LL36・37			晩、J			
SQ	21	LM・LL37	0.19	98,856	中(円上D)、晩	不1	2	
〃	22	LK37	0.21	98,890			2	
SN	23	LH37・38	0.25	98,752				N-50°-W
SK	24	LI37	0.20	98,912				N-55°-W
〃	25	LK40	0.74	98,249	晩、J			N-35°-W
欠	26							
欠	27							
SK	28	LJ・LI39	0.30	98,664				N-15°-W
欠	29							
SK	30	LK38・39	0.33	98,609			3	N-72°-E
SQ	31	LL41	0.16	98,725	後、晩、J、無	鏃1、不1、U1	12	
SN	32	LL41	0.21	98,796			1	
欠	33						6	
SK	34	LL41・42	0.28	98,746				N-50°-W
〃	35	LL・LK41	0.19	98,745		篦1		
〃	36	LL41	1.08	97,850	中(円上C)、後、J	不1	1	
〃	37	LL37・38	0.41	98,534	摩			N-16°-W
〃	38	LL37・38	0.33	98,577				
〃	39	LM41	1.16	97,741				N-23°-E
〃	40	LM42	0.19	98,646				N-47°-W
〃	41	LM37	0.19	98,720				N-24°-E
SI	42	LL41・42、LM41・42・43、LN41・42			中(円上C)	鏃2、槍1、不1、U4、凹1、分1	38	
〃	43	LO42			中(円上B)		4	
SK	44	LL42・43	0.27	98,511	後、J、無			N-20°-W
〃	45	LL42・43	0.26	98,566				N-27°-W
〃	46	LL42	0.36	99,136				N-22°-W
〃	47	LJ・LK41、LJ・LK40	0.28	99,655	前（早稲田6類）			
〃	48	LM41	0.28	99,191	後、晩			N-45°-W
〃	49	LL40	0.62	98,680	中、前		5	
〃	50	LL・LM42	0.33	99,200	J			
〃	51	LL42	0.31	99,096				N-73°-W
〃	52	LS45						
〃	53	LT46					3	
〃	54	LS47	0.05	98,927				
〃	55	LS46	0.12	98,845				
〃	56	LK42	0.17	98,918	中			N-71°-W
〃	57	LK41・42	0.16	98,865	前	不1		N-32°-W
〃	58	LS45				U2		
〃	59	LS・LT45						
〃	60	LT45						

第2表　検出遺構一覧表　①

遺構記号	番号	検出グリッド	深さ(m)	底面標高(m)	出土土器と推定帰属時期	出土石器	剥片	備考
SK	61	LT45						
〃	62	LT・MA45						
〃	63	LT45・46						
〃	64	LR45						
〃	65	LR45						
〃	66	LR45	0.11	98,952				
〃	67	LR44	0.17	98,881	J、無			
〃	68	LR44	0.18	98,935				
〃	69	LR46			J、無			
欠	70							
SK	71	LL42	0.24	99,145		R1	2	N-77°-E
〃	72	LJ・LK40、LJ・LK41	0.28	99,655			3	
〃	73	LT47					1	
〃	74	MA46・47						
〃	75	LS43	0.10	99,010				
欠	76							
SK	77	LQ43・44			摩			
〃	78	LQ44	0.20	98,848				
〃	79	LQ44	0.14	98,879				
〃	80	LQ44	0.13	98,920	Y、無			
欠	81							
SK	82	LQ44・45	0.12	99,000	後(条痕)、摩	不1、R1	3	
〃	83	LQ45	0.30	98,788	J、摩		1	
〃	84	LQ45	0.37	98,791				
〃	85	LQ46	0.40	98,741				
〃	86	LQ46						
〃	87	LQ46						
〃	88	LQ46	0.26	98,856				
〃	89	LQ47			摩			
〃	90	LQ47						
〃	91	LQ47						
〃	92	LQ46	0.50	98,675				
〃	93	LP47	0.40	98,843				
〃	94	LP46・LQ46	0.16	99,036				
〃	95	LP45	0.23	98,949				
〃	96	LP45	0.17	98,966	後、前、無	R1	2	
〃	97	LP45	0.33	98,809	後、前、J	分1		
〃	98	LT・MA46	0.47	98,558				
〃	99					磨1		
〃	100	LT47					1	
〃	101	LS44・45、LT44・45	0.09	98,987				
〃	102	LR44			J			
〃	103	LR44						
欠	104							
〃	105							
〃	106							
SK	107	LQ44	0.10	99,022				
欠	108							
SK	109	LQ47						
欠	110							
SK	111	LQ43	0.08	98,950				
〃	112	LO45	0.14	99,073				
〃	113	LP・LQ46	0.35	98,893				
〃	114	LP46	0.31	98,849	晩、J	U1	2	
〃	115	LP45・46、LQ46	0.39	98,758				
〃	116	LQ42	0.10	99,075				
〃	117	LQ44・45	0.10	98,926				
〃	118	LQ42・43	0.18	98,907				
〃	119	LQ42	0.13	98,999				
〃	120	LQ41・42	0.24	98,899				

第2表　検出遺構一覧表　②

遺構記号	番号	検出グリッド	深さ(m)	底面標高(m)	出土土器と推定帰属時期	出土石器	剥片	備考
SK	121	LO41・42、LP41・42						
〃	122	LQ42	0.23	98,953	後(条痕)			
〃	123	LJ40	0.12	99,276	晩、J			N-65°-W
〃	124	LR42・43	0.18	98,899	中、J			
〃	125	LR43	0.10	98,982	晩			
〃	126	LQ43	0.14	98,930				
〃	127	LQ43	0.15	98,902				
〃	128	LQ43	0.08	98,947				
〃	129	LO・LP43			J		2	
〃	130	LP43	0.26	98,860			1	
〃	131	LO・LP43	0.30	98,818				
〃	132	LO43	0.19	99,001	後、無			
〃	133	LS44	0.08	99,001				
〃	134	LR44	0.17	98,936				
〃	135	LQ44	0.24	98,850	J			
〃	136	LP44	0.24	98,888	J、無			
〃	137	LO・LP44	0.36	98,817	中、晩	横	2	
〃	138	LO44	0.23	98,949				
〃	139	LO43・44	0.12	99,024				
〃	140	LO44	0.18	98,976	後、J、無	縦1	2	
〃	141	LN44・45、LO44・45	0.28	98,976				
〃	142	LP44	0.16	99,010				
〃	143	LS45						
〃	144	LQ・LR45	0.27	98,856				
〃	145	LQ・LR45	0.21	98,848				
〃	146	LQ・LR45	0.24	98,955				
〃	147	LQ・LR46						
〃	148	LP・LQ45	0.81	98,358				
〃	149	LQ44・45	0.19	98,905				
〃	150	LP45・46	0.56	98,548				
〃	151	LP46						
〃	152	MA46						
〃	153	LP46・47	0.35	98,893	J、無			
〃	154	LO46・47	0.43	98,787				
欠	155							
SK	156	LO44	0.22	98,980				
	157	LO44	0.31	98,878				
SR	158	LM・LL36	0.74	98,960	前(茂屋下岱)、晩	核1	3	N-61°-E
SI	159	LK・LL35			前、J			
欠	160							
欠	161							
SK	162	LO37	0.25	99,292				
欠	163							
SK	164	LN40	0.12	99,029	前(茂屋下岱)、晩			N-63°-E
〃	165	LN40	0.07	99,060	前(茂屋下岱)、無			N-15°-W
〃	166	LO40	0.48	98,716	後、J、無			N-55°-W
欠	167							
欠	168							
欠	169							
欠	170							
欠	171							
SK	172	LN・LO39	0.19	99,110	後、条、J	錐1、不1	5	N-49°-W
〃	173	LM44・45	0.20	98,996	後、無			
〃	174	LM44・45	0.40	98,777	J、無			
〃	175	LM44	0.25	99,015	J、無	磨1	2	
〃	176	LM45	0.13	99,035				
〃	177	LM45	0.17	99,046				
〃	178	LM・LN44	0.46	98,770	J、無		3	
〃	179	LN44	0.33	98,932	後、J	不1		
〃	180	LN43	0.58	98,570	J、無			

第2表　検出遺構一覧表　③

遺構記号	番号	検出グリッド	深さ(m)	底面標高(m)	出土土器と推定帰属時期	出土石器	剥片	備考
SK	181	LN44	0.35	98,798				
〃	182	LN44	0.35	98,837	J、無	ピエス1、核1	2	
〃	183	LN44	0.40	98,818	後、J、無		1	
〃	184	LN45	0.36	98,798	無	不1	1	
〃	185	LN45	0.17	98,944				
〃	186	LM・LN45	0.22	98,894				
〃	187	LN45	0.14	99,022				
〃	188	LN45			無			
〃	189	LN45			無			
〃	190	LN・LO45	0.17	99,036	摩			
〃	191	LN45・46	0.11	99,083	後、無、摩			
欠	192							
SK	193	LN・LO39	0.44	98,860	J			N-59°-W
〃	194	LN・LO39	0.50	97,800	J、無			N-47°-W
〃	195	LN・LO39	0.52	98,780				N-40°-W
〃	196	LN・LO39	0.43	98,645				
〃	197	LM43・44	0.68	98,622				
〃	198	LM43・44、LN43・44	0.52	98,788	後、J、無		5	
〃	199	LN43	0.24	98,980				
〃	200	LN43・44、LO43	0.56	98,667	後、J、無	鏃1、錐1、核3	15	
SQ	201	MF59・60、MG60						
〃	202	MG60						
〃	203	ME59・60						
〃	204	MF58・59						
欠	205							
SQ	206	ME59						
〃	207	MD58・59、ME58						
〃	208	MD57・58						
SI	209	MG54・55・56、MH54・55・56			前、J、無		3	
SQ	210	MG57						
欠	211							
欠	212							
SQ	213	MI55						
〃	214	ME・MF55						
〃	215	ME55						
〃	216	ME55・56						
〃	217	MF59・60						
〃	218	MF56				皿1		
〃	219	MF56						
〃	220	MF56			後(十腰内IV)、中(円上E)、前、J	不3	12	
〃	221	MF56						
〃	222	MF55・56			後(条痕)、中(大木8a)			
〃	223	MB55・56、MF55、MC55・56			後、前	不	7	
〃	224	MC55	0.16	98,856	後、前、無	磨1	4	
〃	225	MC55・54	0.13	99,170				N-31°-W
〃	226	MC55						
〃	227	MB56						
〃	228	MC56・57	0.36	98,691	早(赤御堂)、J		3	
〃	229	ME56・57						
〃	230	MF57・58	0.16	98,698				
〃	231	MD57・58						
〃	232	MC・MD57						
〃	233	MB56						
〃	234	MA55	0.17	98,876				
〃	235	MA55	0.59	98,530				
〃	236	MC55・56						
〃	237	ME56						
〃	238	ME55						
〃	239	ME54						
〃	240	MD54			無			

第2表　検出遺構一覧表　④

遺構記号	番号	検出グリッド	深さ(m)	底面標高(m)	出土土器と推定帰属時期	出土石器	剥片	備考
SQ	241	MD54						
〃	242	MD54						
〃	243	MD53·54						
〃	244	MC53·54						
〃	245	MD53·ME52						
〃	246	MC53	0.23	98,765				
〃	247	MC53						
〃	248	MD53						
〃	249	ME53						
〃	250	ME53						
〃	251	LT54						
〃	252	ME52						
〃	253	MF52						
〃	254	ME52						
〃	255	MC53						
〃	256	MB54·55	0.49	98,530				
〃	257	MB54	0.36	98,716	後、J、無	鎌1	2	
〃	258	MA·MB54						
〃	259	MA54						
〃	260	LT·MA54						
〃	261	MB54	0.23	98,879	中、前、J、無		1	
〃	262	MD53						
〃	263	MC52、MD53						
〃	264	MC52·53						
〃	265	MC52						
〃	266	MC51·52						
〃	267	MC51						
〃	268	MC50·51						
〃	269	MB·MC51						
〃	270	MB·MC51						
〃	271	MB·MC52	0.19	98,677	前、後	黒剥1	5	
〃	272	MB51	0.30	98,697				
〃	273	MB51	0.41	98,653				
〃	274	MB51·52	0.18	98,771				
〃	275	LT·MA51						
〃	276	MA50·51						
〃	277	MA51						
〃	278	MA51	0.17	98,721				
〃	279	MA51	0.36	98,663				
〃	280	MA·MB54						
〃	281	MB53·54						
〃	282	MA·MB53						
〃	283	MB53						
〃	284	MA·MB53	0.12	98,847				
〃	285	MB53						
〃	286	MA53·54						
〃	287	MA53						
〃	288	MA53			無	縦I	4	
〃	289	MA54	0.30	98,818	中、J			
〃	290	MA53						
〃	291	MA53			前、J		2	
〃	292	MA53	0.39	98,580	後、J、無		3	
〃	293	LT·MA52	0.43	98,686	無	剣1、磨1	2	
〃	294	LT·MA53	0.22	98,867	後、J、無		11	
〃	295	LT53·54						
〃	296	LT53·54	0.34	98,723				
〃	297	LS53·54、LT53、LT54	0.46	98,708	前、後、J、無		7	
〃	298	LS·LT53	0.30	98,887	無		1	
〃	299	LS53	0.43	98,716				
〃	300	LS53						

第2表　検出遺構一覧表　⑤

遺構記号	番号	検出グリッド	深さ(m)	底面標高(m)	出土土器と推定帰属時期	出土石器	剥片	備考
SK	301	LL・LK44	0.21	98,994				
〃	302	LL・LK44	0.17	98,964				
〃	303	LM44	0.32	98,849				
〃	304	LM・LN44	0.43	98,814				
〃	305	LN44	0.29	98,857				
〃	306	LN44	0.28	98,900				
〃	307	LN44	0.19	99,073				
〃	308	LN44	0.62	98,590	後、J、無	篦1、U1、R1		
〃	309	LN44	0.45	98,723	後、J	不1		
〃	310	LN44	0.20	98,997				
〃	311	LO44	0.26	98,890				
〃	312	LO44	0.34	98,804				
〃	313	LO44	0.18	98,997				
〃	314	LO44	0.23	98,934				
〃	315	LP44	0.21	98,850				
〃	316	LO44	0.22	98,948				
〃	317	LO45	0.33	98,893		凹1		
〃	318	LO45	0.18	99,050				
〃	319	LO45	0.42	98,800	後、J			
〃	320	LO45	0.24	98,909				
〃	321	LO45	0.30	98,900				
〃	322	LO45	0.50	98,702				
〃	323	LP45	0.31	98,839	前	核1	9	
〃	324	LO45	0.16	99,016				
〃	325	LO・LN45	0.30	98,921				
〃	326	LN45	0.31	98,930				
〃	327	LN44・45、LO44・45	0.35	98,847	晩、J	核1	1	
〃	328	LN45	0.37	98,838	晩、無	U1		
〃	329	LN45	0.30	98,906				
〃	330	LN45	0.26	98,899				
〃	331	LN45	0.53	98,579				
〃	332	LN45	0.19	98,980				
〃	333	LM44・45、LN45	0.40	98,768				
〃	334	LN45	0.37	98,795	後、J		4	
〃	335	LN45	0.21	98,980	後、無		1	
〃	336	LN46	0.39	98,801				
〃	337	LN46	0.44	98,738				
〃	338	LN46	0.29	98,880				
〃	339	LN46・47	0.17	99,011	摩		2	
〃	340	LN46	0.41	98,806				
〃	341	LO46	0.50	98,720				
〃	342	LO46	0.16	99,061				
〃	343	LO46	0.35	98,863				
〃	344	LO・LN46	0.42	98,820				
〃	345	LO47	0.48	98,725	J、無、摩		3	
〃	346	LO・LN47	0.37	98,810				
〃	347	LO・LN47	0.20	99,001				
〃	348	LO47	0.42	98,776				
〃	349	LO・LP46	0.41	98,772	前、後、無、摩		9	
〃	350	LO46	0.30	98,918				
〃	351	LO45・46	0.23	98,990				
〃	352	LO45・46	0.20	99,011				
〃	353	LO45	0.36	98,871				
〃	354	LO・LP45	0.25	98,951	J、摩	R1	5	
〃	355	LO・LP45	0.13	99,101				
〃	356	LO48	0.16	99,070				
〃	357	LO・LP48	0.23	98,972				
〃	358	LO・LP48	0.15	99,065				
〃	359	LO48、LP47・48	0.25	98,942				
〃	360	LO47・48、LP47・48	0.16	99,008				

第2表　検出遺構一覧表　⑥

遺構記号	番号	検出グリッド	深さ(m)	底面標高(m)	出土土器と推定帰属時期	出土石器	剥片	備考
SK	361	LO47	0.23	98,930	J、無			
〃	362	LO47	0.26	98,933				
〃	363	LO・LP47	0.27	98,941				
〃	364	LP47	0.28	98,953	前、後			
〃	365	LP46	0.36	98,856				
〃	366	LP46	0.30	98,908				
〃	367	LP46	0.30	98,907				
〃	368	LO・LP46	0.24	98,975			3	
〃	369	LP46	0.28	98,902				
〃	370	LP46	0.43	98,729				
〃	371	LP45・46	0.42	98,790				
〃	372	LP45	0.24	98,913				
〃	373	LP49			後、無			
〃	374	LP49	0.34	98,881				
〃	375	LP・LQ48	0.41	98,840				
〃	376	LP48	0.74	98,473	前、摩			
〃	377	LP48	0.24	98,971				
〃	378	LP48	0.31	98,878				
〃	379	LP47・48	0.16	99,016				
〃	380	LP48	0.26	98,963				
〃	381	LP47	0.25	98,928				
〃	382	LQ47・48、LP47	0.29	98,875				
〃	383	RQ47	0.18	99,016	無			
〃	384	LP・LQ48	0.28	98,946	無、摩			
〃	385	RQ47・48			後、摩			
〃	386	RQ47	0.19	98,954				
〃	387	LP47	0.20	99,008	前、J、無、摩		1	
〃	388	LP47	0.24	98,957	後、Y			
〃	389	LP47	0.25	98,959	後、無			
〃	390	LP47	0.43	98,785	後、J、摩			
〃	391	LP47	0.18	99,046				
〃	392	LP47	0.25	98,921				
〃	393	LQ48			晩、無、摩			
〃	394	LQ・LR48				不1		
〃	395	LR48			無			
〃	396	LQ48			後、J、無			
〃	397	LQ48	0.18	99,056				
〃	398	LQ48	0.28	98,968				
〃	399	LQ・LR49	0.13	99,124	後、J、無、摩		4	
〃	400	LQ49、LR48・49			後、J、無			
〃	401	LR49						
〃	402	LR49	0.23	99,018				
〃	403	LQ・LR49	0.33	98,934	後、J、無、摩		4	
〃	404	LQ49・50・51	0.40	98,861	前、後、J、摩			
〃	405	LQ49	0.30	98,926	後、J、無	凹1		
〃	406	LP・LQ49	0.16	99,061				
〃	407	LQ49	0.47	99,085	前、後、J	不1	2	
〃	408	LQ49・50	0.35	98,862	後、J、無、摩	不1	1	
〃	409	LQ49・50	0.39	98,854	前、後、条、J、無	不1	9	
〃	410	LQ49	0.35	98,846				
〃	411	LQ49・50	0.29	98,931	後、無			
〃	412	LQ50・51	0.33	98,858				
〃	413	LQ50	0.36	98,828	後、J、無			
〃	414	LR50	0.41	98,755	後、J			
〃	415	LR49	0.31	98,890	後、J、無		4	
〃	416	LR49	0.35	98,872				
〃	417	LQ51	0.51	98,700	中(中の平III)、J、無		3	
〃	418	LQ・LR51	0.53	98,663		U2、R1		
〃	419	LR51	0.46	98,750	前、後、無	U1、核1	8	
〃	420	LR51	0.59	98,616	後、J、無			

第2表　検出遺構一覧表　⑦

遺構記号	番号	検出グリッド	深さ(m)	底面標高(m)	出土土器と推定帰属時期	出土石器	剥片	備考
SK	421	LR50・51	0.54	98,644				
〃	422	LR50	0.39	98,808				
〃	423	LR49・50、LS50・51	0.51	98,746	後、J、無			
〃	424	LS50・51	0.22	98,956	後、J、無、摩	R 1	1	
〃	425	LS50・49	0.14	99,031		凹 1		
〃	426	LS49	0.36	98,893				
〃	427	LR48・49						
〃	428	LQ47			後、J、無			
〃	429	LQ50	0.21	99,007	後、無			
〃	430	MB47	0.34	98,756	後、無	不 1	8	
〃	431	MB47・48、MA48	0.14	98,938				
〃	432	MB47	0.10	98,957				
〃	433	MD48・49、MC48・49	0.23	99,005	後、J、無、摩	不 1	3	
〃	434	MB48	0.05	99,055				
〃	435	MB47、MC48	0.29	98,899				
〃	436	MB47	0.22	98,837				
〃	437	MB48						
〃	438	MC48	0.12	99,076				
〃	439	MB39、MC39	0.15	99,045				
〃	440	MC48・49	0.16	99,025				
〃	441	MC49	0.11	99,080			1	
〃	442	MC49	0.17	99,024				
〃	443	MC49	0.19	99,000				
〃	444	MC49	0.37	98,800				
〃	445	MC49	0.36	98,870				
〃	446	MB49	0.45	98,750	前、後、J	不 1	1	
〃	447	MC49	0.13	99,090				
〃	448	MC50	0.55	98,658				
〃	449	MC49・50	0.19	99,020				
〃	450	MC49・50	0.15	99,030	中(中の平III、大木9)、J		1	
〃	451	MC49	0.17	98,997				
〃	452	MC49・50	0.22	98,950				
〃	453	MB50						
〃	454	MB50			J、無	U	1	
〃	455	MB49・50			前、中(大木9)			
〃	456	MB50						
〃	457	MB50						
〃	458	MA49・50						
〃	459	MA50						
〃	460	MA49・50						
〃	461	MA49・50						
〃	462	LT・MA50	0.29	98,898				
〃	463	LT50						
〃	464	LQ51	0.43	98,732	前、J	U 1		
〃	465	LQ・LR51	0.57	98,640	前、中(大木9)、後、J、無	不 1	1	
〃	466	LR51・52	0.53	98,633	前、中(大木10)、後、摩	不 1	2	
〃	467	LR52	0.40	98,776	後			
〃	468	LR51・52、LS51・52	0.64	98,532				
〃	469	LS52	0.46	98,756				
〃	470	LS52	0.46	98,677	後、無、磨			
〃	471	LR・LS52	0.36	98,854	前(茂屋下層)		1	
〃	472	LS52・53	0.19	98,876				
〃	473	LS52・53	0.40	98,770	前、中(大木9)、J、無	核 1	8	
〃	474	LS53	0.16	99,041				
〃	475	LS52	0.27	98,914				
〃	476	LS51	0.47	98,640				
〃	477	LS50・51、LT50・51	0.61	98,576	後、J、無		7	
〃	478	LT52	0.30	98,783				
〃	479	LT52・53	0.26	98,859	中(大木9)、無		1	
〃	480	LS53	0.24	98,892				

第2表　検出遺構一覧表　⑧

遺構記号	番号	検出グリッド	深さ(m)	底面標高(m)	出土土器と推定帰属時期	出土石器	剥片	備考
SK	481	LT52						
〃	482	LT52						
〃	483	LT52	0.37	98,754				
〃	484	LT52	0.26	98,889				
〃	485	LT・MA52	0.34	98,728	中(大本9)、無			
〃	486	LT52	0.16	98,898				
〃	487	LT・MA53	0.27	98,847				
〃	488	LS・LT54	0.59	98,534	J			
〃	489	LT52	0.18	98,883				
〃	490	LT53	0.24	98,882				
〃	491	LS・LT53	0.21	98,890				
〃	492	MA54・55	0.33	98,812				
〃	493	MA55	0.71	98,320				
〃	494	MA55	0.41	98,565	前、後、J			
〃	495	MB・MC55	0.41	98,671	後、前、無	縦1、R1	5	
〃	496	MB55	0.76	98,298				
〃	497	MB55	0.12	98,885				
〃	498	MA55・56、MB55・56	0.11	98,974				
〃	499	MC56	0.45	98,538	後、前、無	不4	4	
〃	500	MC55・56	0.77	98,338				
SQ	501	LS53	0.24	98,924				
〃	502	LS53	0.12	98,980				
〃	503	LT50						
〃	504	LT・MA50						
〃	505	LT50						
〃	506	MF・MG57						
〃	507	MG56						
〃	508	MF57						
〃	509	MG・MH57						
欠	510							
SQ	511	MH58	0.13	99,170	前	縦1	2	N-10°-W
〃	512	MG56						
〃	513	MG56						
〃	514	ME52			前、無			
〃	515	MF52						
〃	516	ME53						
〃	517	ME53						
〃	518	ME52・53						
〃	519	MD52						
〃	520	MD53、ME52	0.14	98,825				
〃	521	LT・MA54	0.30	98,797				
〃	522	LT54	0.27	98,815				
〃	523	LT53	0.24	98,860	後、J、無	凹1	2	N-87°-W
〃	524	MA54	0.17	98,896				
〃	525	MA54	0.24	98,870				
〃	526	MA54	0.22	98,912				
〃	527	MA・MB54	0.95	98,101	後(十腰内III)			
〃	528	MB55・54	0.49	98,710	J、無	不1	4	N-61°-E
〃	529	MB54・55、MC55	0.75	98,260	後、無、J	不1	10	
〃	530	MB55	0.23	98,777				
〃	531	MB55	0.29	98,725	中、後、J		1	
〃	532	MA54	0.36	98,775				
〃	533	MA54	0.30	98,823				
〃	534	MB53	0.36	98,673				
〃	535	MB53	0.19	98,876				
〃	536	MB53	0.22	98,750				
〃	537	MA・MB54	0.36	98,708	無			N-18°-W
〃	538	ME51	1.43	97,528				
〃	539	MA54	0.36	98,754				
〃	540	MC54	0.61	98,481	前	縦1、核1	2	

第2表　検出遺構一覧表　⑨

遺構記号	番号	検出グリッド	深さ(m)	底面標高(m)	出土土器と推定帰属時期	出土石器	剥片	備考
SQ	541	MC53･54	0.50	98,526	前、後、J	錐１、不１	3	
〃	542	MB54･53						
〃	543	ME52	0.53	98,540				
SI	544	MI59	0.28	98,650	中(大木９)、J	磨１		
SQ	545	ME52	0.39	98,580				
〃	546	LS53	0.40	98,774	後、J、無			
〃	547	MA52	0.57	98,463	後、J		1	N-77°-W
〃	548	MA52	0.71	98,319	前、中、晩、J	不１	1	
〃	549	MB54	0.29	98,731				
SI	550	ME54	0.43	98,555	早(条痕文)、前、中(中の平Ⅲ)、J、無	不９、核１、R１、磨１、凹１	120	
〃	551	MH56･57、MI56･57			早(条痕文)、中(大木９)、J、無	篦１、凹２	22	
〃	552	MH55･56			早(条痕文)、前、J、無	不１、U１	10	
〃	553	MH57･58、MI57･58			前、中、条、J	鐵１、不１、U１、分３	25	
〃	554	MH58･59、MI58･59			前、中(大木10)、J	槍１、錐１、不４、核１、分１	40	
〃	555	MG60･61、MH60･61･62、MI60･61･62			早(条痕文)、前(早稲田６類)、中(大木10)、後	トラ１、ピエス１、不１	54	
〃	556				中			
〃	557	MH58･59、MI59						
〃	558	ME51･52、MF51･52･53･54						
〃	559	MG52･53	0.64	98,222	中(大木10)、後	R１	13	
〃	560	MF･MG52						
〃	561	ME52･53、MF52･53	0.15	98,848				
〃	562	MF･MG54、MF･MG55	0.03	99,006	前、中(大木10)、後(十腰内Ⅱ)、J	縦１、不３、核１、R１	36	
〃	563	MF56	0.25	98,792	前、中(大木８ａ、９円上ｄ)後、J	不３、U３、核２	44	
〃	564	MG53	0.24	98,632	中、後(十腰内Ⅲ)、J	U１		
〃	565	MC53			前、中(大木10)、後、J	U１	5	
〃	566	MD･ME･MF55、MD･ME･MF56			早(条痕文)、前、中、J	鐵１、篦１、不１	22	
〃	567	MF･MG54	0.40	98,681	前、中(大木10)、J	磨斧１、磨１	7	
〃	568	MF55	0.06	98,971	前(大木２ｂ)、中、後、J	不３、磨１	18	
〃	569	MG55･56、MH55･56	0.03	99,074				
〃	570	MG56	0.28	98,808	前、中、後(十腰内Ⅳ)、J	縦１、錐１、不２、U１、凹１、R１、核２	37	
〃	571	MF56･57、MH56、MG56･57			中			
〃	572	ME54･55、MF54･55	0.24	98,728	早(条痕文)、前(大木２ｂ、茂屋下岱)、中、後(十腰内Ⅳ、Ⅴ)、条、J	縦２、横１、篦１、不６、U６、剣１、磨斧１、磨２、凹２、核４	94	
〃	573	MC･MD51	0.20	98,680				
〃	574	MD･ME55、MD･ME･MF56	0.56	98,500				
〃	575	MB55･56	0.27	98,763				
〃	576	MB･MC57	0.22	98,683	前、後、J、無	不４、篦１、U１	27	
〃	577	ME52･53･54	0.28	98,665	早(貝殻沈線、貝殻条痕文)、前、後、J、無		10	
〃	578	ME56、MF55･56･57						
〃	579	MF57･58、MG57･58	0.09	98,900	前、後、J		2	
〃	580	MF57･58、MG57･58						
〃	581	ME59･60、MF59･60			前(茂屋下岱)、中、後	槍１、不２、U１	31	
〃	582	LS･LT53			前、中(円上ｄ、大木９)、後	篦１、不１	2	
〃	583	MB56	0.26	98,805	前(茂屋下岱)、中、後	不１、凹１、磨１、R１	23	
〃	584	MD53						
〃	585	MD56･57、ME56･57						
〃	586	MF54･55、MG54･55	0.14	97,770	早、前(大木２ｂ)、中(円上ｄ)	錐１、不３、U２、凹２	40	
〃	587	MF56	0.23	98,735	前、中(大木９)、条、J	縦１、錐１、不１、U１、核１	27	
〃	588	ME53･54、MF53･54	0.15	98,814	後	縦１、核２	8	
〃	589	MF54･55、MG54･55	0.14	98,864				
〃	590	MA52、ME54･55、MF55	0.05	98,942				
〃	591	MA52、MF56･57、MG56･57						
欠	592							
欠	593							
欠	594							
欠	595							
欠	596							
欠	597							
欠	598							
欠	599							
欠	600							

第２表　検出遺構一覧表　⑩

遺構記号	番号	検出グリッド	深さ(m)	底面標高(m)	出土土器と推定帰属時期	出土石器	剥片	備考
SN	601	MF56	0.17	98,850				
〃	602	MF55	0.50	99,210				N-72°-W
〃	603	MG・MF55	0.31	98,697				N-85°-E
〃	604	MG54	0.25	98,845	後、J			N 11° W
〃	605	ME52・53	0.11	98,860	後	篦1	1	N-17°-E
〃	606	MD52	0.24	98,761				N-74°-W
〃	607	MC53・54						
〃	608	LT52・53、MA52・53	0.26	98,823				
〃	609	MG53	0.18	98,869				N-12°-E
〃	610	MG53	0.70	98,156				N-10°-E
〃	611	MD53	0.19	99,810	晩、J、無	U1	1	N-17°-W
〃	612	MD54	0.22	98,841				N-64°-W
〃	613	ME57	0.12	98,895	前、J	不1	2	N-30°-E
〃	614	MF54	0.06	99,010	後、J		3	
〃	615	MF56	0.34	98,733				
〃	616	MD52	0.47	98,517				
欠	617							
SR	618	MC54	0.18	98,901	後、J、無			
〃	619	MF51・52			後（加曽利B）			
SD	620	MH・MI55			早、前(大木2a、茂屋下岱、円下d)、中(円上b、大木8a、9)、後(十腰内Ⅲ)	鏃1、篦2、不3、U2、磨斧1、磨1、核7、R2	94	
欠	621							
欠	622							
欠	623							
欠	624							
欠	625							
欠	626							
欠	627							
欠	628							
欠	629							
欠	630							
欠	631							
欠	632							
欠	633							
欠	634							
欠	635							
欠	636							
欠	637							
欠	638							
欠	639							
欠	640							
欠	641							
欠	642							
欠	643							
欠	644							
欠	645							
欠	646							
欠	647							
欠	648							
欠	649							
欠	650		0.22	98,780				
SK	651	MF51	0.20	98,750	前、後、J、無		2	
〃	652	MF51	0.29	98,754				
〃	653	MF52	1.30	97,638	前			
〃	654	MG51・52	0.27	98,796	前、後、J、無	U2、R1	9	
〃	655	MF51	0.39	98,615	J、無			
〃	656	ME・MF51						
〃	657	MB・MC55	0.36	98,589	J、無			
〃	658	MD54	0.25	98,817	後、J、無		3	
〃	659	MC56	0.12	98,825	前、無		3	
〃	660	MC56						

第2表　検出遺構一覧表　⑪

遺構記号	番号	検出グリッド	深さ(m)	底面標高(m)	出土土器と推定帰属時期	出土石器	剥片	備考
SK	661	ME・MF52	0.96	98,035	後、J、無		3	
〃	662	ME・MF52	0.37	98,570	後、J、無	不1	4	
〃	663	ME・MF52	0.30	98,649				
〃	664	MC52	0.64	98,373	前、後、J	縦1		
〃	665	MC52	0.09	98,910	後、J、無	U1	2	
〃	666	MC52	0.31	98,732				
〃	667	MF52	0.16	98,860				
〃	668	LS50	0.31	98,854				
〃	669	LS・LT50	0.46	98,684	後、無	凹2	2	
〃	670	LS・LT50	0.34	98,769				
〃	671	LR・LS52	0.37	98,854				
〃	672	LR52	0.53	98,683				
〃	673	LR51	0.30	98,876				
〃	674	LR51・52	0.35	98,827				
〃	675	LR51・52	0.42	98,775				
〃	676	LR51	0.36	98,783				
〃	677	LS52	0.29	98,926	中、J			
〃	678	LS52	0.20	98,934				
〃	679	LS53	0.20	98,943				
〃	680	LS53	0.27	98,886				
〃	681	LS・LT53	0.16	98,960				
〃	682	LT53	0.19	98,887	中、後			
〃	683	LS54	0.37	98,808	J、無		2	
〃	684	LT53・54	0.25	98,863	前、後、J、無		6	
〃	685	LT53	0.24	98,826	中(大木9)、後、J、無		2	
〃	686	LT52・53	0.35	98,788				
〃	687	LT53						
〃	688	LT52・53	0.26	98,863	前、中(大木10)、後、J	鎌1	1	
〃	689	LT53	0.63	98,462	無	不1		
〃	690	LT52	0.25	98,804				
〃	691	LT52	0.69	98,393				
〃	692	LT52	0.28	98,856				
〃	693	LT53	0.37	98,745				
〃	694	LT52・53, MA52・53	0.22	98,824	早、J、無	不1	4	
〃	695	MA52	0.15	98,906	前、無			
〃	696	LT・MA51	0.46	98,612				
〃	697	MB51	0.23	98,830				
〃	698	MA52	0.19	98,805	前、J		5	
〃	699	MA51・52	0.19	98,853				
〃	700	MA52	0.30	98,692				
SQ	701	ME54	0.31	98,530	前、後、J、無			
〃	702	MD53	0.36	98,572	前、後、J、無	錐1、縦1	13	
〃	703	ME53	0.14	98,805				
〃	704	MD51・52	0.33	98,650	J、無		1	
〃	705	ME52	0.21	98,729				
〃	706	MF53・54	0.26	98,726	後、J、無	不2	9	
〃	707	ME54・55, MF54・55	0.29	98,788	後、J	縦1、不1、ピエス1	3	
〃	708	MF56・57	0.24	98,789	前		1	
〃	709	MD54	0.51	98,545	前、後、無		1	N-25'-E
〃	710	MD54	0.15	98,882				
〃	711	MC・MD56	0.33	98,726				
〃	712	MC・MD56	0.31	98,785	前、中(円上c)		2	
〃	713	MC・MD56	0.33	98,761				
〃	714	MA51	0.34	98,671				
〃	715	MA51	0.39	98,630				
〃	716	MB52・53	0.30	98,747	前、後、J、無		3	
〃	717	ME59	0.25	98,473			1	
〃	718	ME57・58						
〃	719	MB55・56	0.18	98,890				
欠	720							

第2表　検出遺構一覧表　⑫

遺構記号	番号	検出グリッド	深さ(m)	底面標高(m)	出土土器と推定帰属時期	出土石器	剥片	備考
欠	721							
欠	722							
欠	723							
欠	724							
欠	725							
欠	726							
欠	727							
欠	728							
欠	729							
欠	730							
欠	731							
欠	732							
欠	733							
欠	734							
欠	735							
欠	736							
欠	737							
欠	738							
欠	739							
欠	740							
欠	741							
欠	742							
欠	743							
欠	744							
欠	745							
欠	746							
欠	747							
欠	748							
欠	749							
欠	750							
SK	751	MA・MB52	0.43	98,532				
〃	752	MB52	0.45	98,449	J、無	核1	2	
〃	753	MA52・53	0.60	98,417				
〃	754	MB52・53	0.11	98,907				
〃	755	MA・MB54	0.29	98,767	中(大木9)	核1	3	
〃	756	MB53	0.29	98,801				
〃	757	MB53	0.32	98,788				
〃	758	MA・MB53	1.05	98,000				
〃	759	MA53	0.83	98,293	晩(大洞B)			
〃	760	MA53	0.90	98,232				
〃	761	MA53	0.18	98,790	後、J、無	U2	3	
〃	762	MB54	0.29	98,782				
〃	763	MB53	0.36	98,681				
〃	764	MB53	0.21	98,843				
〃	765	MB53・54	0.32	98,696				
〃	766	MA53・54	0.71	98,417	晩(大洞B)、J	篦1、U1、R1	3	
〃	767	LT54	0.33	98,800				
〃	768	LT54	0.30	98,837				
〃	769	LT54	0.36	98,796	前、晩、J	磨1	2	
〃	770	LT54	0.43	98,718				
〃	771	LT54	0.23	98,874	後(条痕)	篦1、凹1		
〃	772	MA55	0.62	98,327	前、晩、J、無		3	
〃	773	MA55	0.53	98,518				
〃	774	MA55	0.48	98,610				
〃	775	MA55	0.18	98,803				
〃	776	MA55	0.55	98,531				
〃	777	MA55	0.37	98,699				
〃	778	MB55	0.31	98,761				
〃	779	MA・MB56	0.78	98,366	前			
〃	780	MD57	0.23	98,744	前、J		2	

第2表　検出遺構一覧表　⑬

遺構記号	番号	検出グリッド	深さ(m)	底面標高(m)	出土土器と推定帰属時期	出土石器	剥片	備考
SK	781	ME57	1.07	97,850	前		2	
〃	782	MC53	0.56	98,473	中(大木９)		6	
〃	783	MD53･54, ME53･54	0.15	98,857	中、後、J		3	
欠	784							
SK	785	MF51	0.44	98,530				
〃	786	MF51	0.99	98,066				
〃	787	ME57	0.26	98,736				
〃	788	MF51	0.88	98,146				
〃	789	MF51	0.02	98,772				
〃	790	MF･MG51	0.25	98,778				
〃	791	MF51	0.41	98,585				
〃	792	ME52	1.14	97,843				
〃	793	ME51･52	0.19	98,780				
〃	794	ME51･52	0.22	98,725				
〃	795	ME52	0.26	98,710				
〃	796	MF51	0.25	98,724				
〃	797	ME52	0.28	98,670				
〃	798	ME52	0.25	98,715				
〃	799	MD52	1.23	97,770	後、J		2	
〃	800	MD52	0.29	98,695				
〃	801	MD52	0.17	98,824				
〃	802	MD51･52	0.99	97,994	J、無		3	
〃	803	ME53	0.31	98,610				
〃	804	ME53	0.62	98,275	前、後		8	
〃	805	MC･MD53	1.18	97,734	中、後			
〃	806	MC･MD50						
〃	807	MC50	0.91	97,900				
〃	808	MC51	0.18	98,648				
〃	809	MC51	0.39	98,569				
〃	810	MC51	0.23	98,652				
〃	811	MC51	0.07	98,569				
〃	812	MD51	0.25	98,644				
〃	813	MC･MD51	0.23	98,604				
〃	814	MC･MD51	0.31	98,641				
〃	815	MD51･52	0.31	98,710				
〃	816	MD51･52	0.84	98,150				
〃	817	MD51	0.20	98,640				
〃	818	MD51	0.13	98,734				
〃	819	MD51	0.50	98,510				
〃	820	MD50･51	0.98	98,010				
〃	821	MD51、MD･ME52	0.42	98,550				
〃	822	MD･ME50、MD51	0.93	98,069				
〃	823	ME50･51	0.51	98,506	J			
〃	824	ME51	0.36	98,655			1	
〃	825	ME51	0.26	98,784	無、J			
〃	826	ME51						
〃	827	ME51	0.41	98,661	無		1	
〃	828	ME51	0.23	98,827	後、J、無			
〃	829	ME51	0.29	98,770				
〃	830	MD･ME51	0.17	98,856				
〃	831	MD･ME51	0.45	98,600				
〃	832	MD51･52	0.28	98,724				
〃	833	MD51	0.32	98,615				
〃	834	MD51	0.21	98,690				
〃	835	MD51、MD･ME52	0.29	98,705				
〃	836	MD51･52	0.25	98,774				
〃	837	MD51･52	0.33	98,680	後、J、無	不1		
〃	838	MD52	0.97	98,024	後、J、無	不1、U2		
〃	839	MD52	0.33	98,655	後、J、無			
〃	840	MD52	0.35	98,660				

第２表　検出遺構一覧表　⑭

遺構記号	番号	検出グリッド	深さ(m)	底面標高(m)	出土土器と推定帰属時期	出土石器	剥片	備考
SK	841	MD52	0.26	98,738				
〃	842	MC・MD52	0.19	98,830	前			
〃	843	MC・MD52	1.00	98,045				
〃	844	MC52	0.36	98,675	無			
〃	845	MC52	0.50	98,526	無		7	
〃	846	MC52	0.24	98,775				
〃	847	MB・MC52	0.42	98,670	前、中、J、無	不1	3	
〃	848	MC52	0.40	98,709				
〃	849	MC52			J、無		2	
〃	850	MC52	0.30	98,775	後、J、無		2	
〃	851	MC53	0.86	98,150				
〃	852	MC51・52	0.31	98,715	晩、J、無			
〃	853	MC53	0.35	98,686				
〃	854	ME52	1.08	97,842				
〃	855	ME52	0.28	98,740	中(円上d)、J、無			
〃	856	MC・MD52	0.18	98,745				
〃	857	LT54	0.33	98,826	J、無	核1	2	
〃	858	MA54	0.21	98,939	後、条、J、無			
〃	859	MD・ME55	0.24	98,845	中(大木9)、J、無	核1	1	
〃	860	MD55	0.47	98,583				
〃	861	MD51	0.33	98,735	中、後、J、無	不1、R1		
〃	862	MD55	0.27	98,845	無			
〃	863	MD55			前、後、J		6	
〃	864	MC・MD55	0.19	98,915				攪乱坑
〃	865	MC・MD55	0.22	98,653	後、条、J、無		6	
〃	866	MD55	0.39	98,686	前、後、J、無		6	
〃	867	MD55	0.53	98,555	前、J		1	
〃	868	MD・ME53	0.64	98,308	後、J、無			
〃	869	MF52	0.29	98,708				
〃	870	MF52	0.32	98,634	前、中		1	
〃	871	MF52	0.17	98,819				
〃	872	MF52	0.37	98,648	前		1	
〃	873	MF52	0.41	98,527	中、J、無		1	
〃	874	MF52	0.16	98,780				
〃	875	MF52	0.23	98,700	前、J			
〃	876	MF52・53			前、後、無		2	
〃	877	MF52	0.19	98,792	後、J、無		2	
〃	878	MF52	1.05	97,900				
〃	879	MF52	0.15	98,839	後、J		3	
〃	880	MF52・53	0.37	98,617				
〃	881	MF53	0.28	98,735	前	不1		
〃	882	MF53	0.20	98,808	J			
〃	883	MF53	0.38	98,600	後、条、J、無	不1	11	
〃	884	MF52・53	0.33	98,719				
〃	885	MF52・53	0.50	98,505	後、J、無		7	
〃	886	MF53	0.20	98,830	後、J、無	不2	1	
〃	887	ME・MF53	1.16	97,850	後、J、無		4	
〃	888	MF52	0.39	98,638	J			
〃	889	MC・MD55	0.20	98,826	前		1	
〃	890	MC54・55	0.32	98,668	前		1	
〃	891	ME51	0.52	98,533				
〃	892	ME51	0.23	98,823				
〃	893	ME51	0.18	98,853	中、無			
〃	894	MD52	0.30	98,660				
〃	895	MD52	0.85	98,099				
〃	896	MD51・52	0.14	98,800				
〃	897	MD52	0.41	98,518				
〃	898	MC52・53	0.27	98,750				
〃	899	MC52	0.99	98,039				
〃	900	MC52	0.39	98,712	後、無			

第2表　検出遺構一覧表　⑮

遺構記号	番号	検出グリッド	深さ(m)	底面標高(m)	出土土器と推定帰属時期	出土石器	剥片	備考
SK	901	MC51	0.24	98,756	無			
〃	902	MC51	0.45	98,586				
〃	903	MC51	0.28	98,780				
〃	904	MC51	0.28	98,764	後、J	U1	1	
〃	905	MB51・52	0.25	98,795				
〃	906	MB51・52	0.29	98,751				
〃	907	MB・MC51	0.20	98,825				
〃	908	MB51	0.34	98,748				
〃	909	MB・MC51	0.40	98,595				
〃	910	MC51	0.37	98,681	J、無	U1		
〃	911	MB・MC51	0.39	98,685				
〃	912	MB51	0.29	98,789				
〃	913	MB51	0.48	98,580				
〃	914	MB51	0.37	98,676				
〃	915	MB51	0.45	98,633	J、無			
〃	916	MB51	0.23	98,843				
〃	917	MB51	0.24	98,850				
〃	918	MB52	0.21	98,806				
〃	919	MB52・53	0.37	98,681				
〃	920	LT・MA52	0.28	98,754				
〃	921	MA55	0.46	98,624				
〃	922	MA54	0.41	98,680				
〃	923	MA54	0.20	98,881				
〃	924	MB・MC55	0.68	98,434				
〃	925	MB56	0.54	98,550	無		1	
〃	926	MB55・56	0.33	98,740				
〃	927	MB55	0.18	98,833				
〃	928	MC56・57、MD56・57	0.14	98,870				
〃	929	MB・MC56	0.36	98,693	J			
〃	930	MC56	0.64	98,433				
〃	931	MC56	0.16	98,817	前、後、J			
〃	932	MC56	0.17	98,774				
〃	933	MC56	0.34	98,618	後、無			
〃	934	MB56	1.28	97,600				
〃	935	MB56	0.48	98,592	J、無			
〃	936	MB56	0.25	98,720				
〃	937	MB56	0.37	98,606				
〃	938	MD51・52	0.16	98,825	後(十層内V)			
〃	939	MD52	0.17	98,818				
〃	940	MD52	0.43	98,560				
〃	941	MD52	0.36	98,520				
〃	942	MD52	0.44	98,532				
〃	943	MD52	0.43	98,550				
〃	944	MD54	0.42	98,600				
〃	945	MD52	0.32	98,656	無			
〃	946	MD52	0.42	98,580			2	
〃	947	MD52	0.43	98,512	後			
〃	948	MD53・54	1.04	97,931	後、J、無	植1、凹1	5	
〃	949	MC53	0.43	98,590	中、後、J		2	
〃	950	MC53	0.30	98,733				
〃	951	MC54	0.32	98,737				
〃	952	MC54	0.89	98,148				
〃	953	MC54	0.31	98,727				
〃	954	MC・MD54	0.98	98,066	J、無	不1		
〃	955	MD54	0.24	98,829			1	
〃	956	MD54	0.25	98,782				
〃	957	MC・MD54	0.42	98,628				
〃	958	MD54	0.18	98,906	後、J、無	不1		
〃	959	MD54	0.36	98,718				
〃	960	MD55	0.67	98,353				

第2表　検出遺構一覧表　⑯

遺構記号	番号	検出グリッド	深さ(m)	底面標高(m)	出土土器と推定帰属時期	出土石器	剥片	備考
SK	961	MD55						
〃	962	MC・MD55	0.50	98,617				
〃	963	MD56	0.40	98,705				
〃	964	MD55・56	0.18	98,907	前、J		4	
〃	965	MD56	0.35	98,719				
〃	966	MD56	0.47	98,572				
〃	967	MD55	0.66	98,491				
〃	968	MD55	0.18	98,895	J		1	
〃	969	MD55	0.19	98,876	後、J、無	U1、R1	6	
〃	970	MD55	0.19	98,864				
〃	971	MD・ME55	0.20	98,834				
〃	972	MD・ME56	1.40	97,713				
〃	973	ME57	0.33	98,655	後、J、無			
〃	974	ME53	0.82	98,000	後、J、無		2	
〃	975	ME53	0.94	98,078				
〃	976	MF53	0.35	98,608				
〃	977	MF54・55	0.46	98,533	前(大木2b、茂屋下岱、円下d)、中(円上b)、後	鏃1、縦1、不2、U4、凹2、核2	65	
〃	978	MB55	0.64	98,427				
〃	979	MB55	0.46	98,538				
〃	980	MB54・55	0.75	98,232	後、J、無			
〃	981	MD54	0.34	98,646	中、J、無	凹2	7	
〃	982	MF53	0.22	98,789	前、J	槍1		
〃	983	MF53	0.23	98,825	J、無		1	
〃	984	MF53	0.23	98,806	前(早稲田6類)			
〃	985	MF53	0.15	98,898				
〃	986	ME53・54	0.19	98,776	前、後		2	
〃	987	ME53	0.25	98,715	前、後		4	
〃	988	ME・MF55	0.27	98,800	前		1	
〃	989	ME56	0.50	98,565	前	不1		
〃	990	MF56	0.03	98,714			7	
〃	991	MF56	0.40	98,564	J			
〃	992	MB50・51	0.22	98,737	前、後	U3、核1	8	
〃	993	ME56・57	0.33	98,744	前、条		1	
〃	994	ME56	0.19	98,840	前、無		2	
〃	995	ME56	0.27	98,700	前、後(十腰内III)	U1	1	
〃	996	MB50・51	0.38	98,668				
〃	997	MB51	0.49	98,540	後、J、無	不1		
〃	998	MB51	0.25	98,776				
〃	999	MB51	0.43	98,623				
〃	1000	MB52	0.28	98,771				
〃	1001	MB51・52、MC51・52	0.28	98,810				
〃	1002	MB51、MB・MC52	0.51	98,553				
〃	1003	MB52	0.22	98,820				
〃	1004	MA52	0.33	98,710				
〃	1005	MA52	0.25	98,624				
〃	1006	MA51・52、MB51・52	0.25	98,751				
〃	1007	MB52	0.31	98,754				
〃	1008	MB52	0.58	98,432				
〃	1009	MB52	0.37	98,726				
〃	1010	MB52・53	1.01	98,037				
〃	1011	MB・MC53	0.79	98,286				
〃	1012	MB53	0.27	98,778				
〃	1013	MB53	0.26	98,720				
〃	1014	MB53	0.57	98,468	前、後、J		5	
〃	1015	MB53	0.27	98,773				
〃	1016	MB53	0.28	98,783				
〃	1017	MB53	0.44	98,593				
〃	1018	MB53・54	0.32	98,705				
〃	1019	MB54	0.38	98,644				
〃	1020	MB・MC53	0.23	98,833				

第2表　検出遺構一覧表　⑰

遺構記号	番号	検出グリット	深さ(m)	底面標高(m)	出土土器と推定帰属時期	出土石器	剥片	備考
SK	1021	MC53	0.62	98,305				
〃	1022	MC53	0.76	98,226				
〃	1023	MC54	0.94	98,093	後、無			
〃	1024	MC54	1.04	98,050				
〃	1025	MB53	0.19	98,830				
〃	1026	MB54	0.27	98,812				
〃	1027	MC53	0.19	98,850				
〃	1028	MC53	0.22	98,832	前、J		3	
〃	1029	MC53·54	0.28	98,771				
〃	1030	MC53·54	0.50	98,567				
〃	1031	MC53	0.22	98,840				
〃	1032	MB·MC54	0.63	98,437			3	
〃	1033	MB·MC54	0.43	98,610				
〃	1034	MC54	0.90	98,210	前、後、J	縦1	1	
〃	1035	MB·MC54	0.65	98,414	前、後、J、無			
〃	1036	MB54	0.57	98,532				
〃	1037	MB54	0.40	98,695	後、J、無		2	
〃	1038	MA·MB54	0.25	98,833	後、J		4	
〃	1039	MA·MB54	0.40	98,707	前、J			
〃	1040	MB54	0.52	98,594	前、J、無		3	
〃	1041	MB54	0.58	98,498	後、無	不1	3	
〃	1042	MB54·55	0.33	98,760				
〃	1043	MB55	0.65	98,270				
〃	1044	MB55	0.30	98,754				
〃	1045	MB54·55	0.81	98,251	後、J		2	
〃	1046	MB54·55, MC54·55	0.30	98,748				
〃	1047	MC55·54	0.45	98,607	後、J、無		2	
〃	1048	MC54	0.32	98,741				
〃	1049	MD54	0.33	98,750				
〃	1050	MD54	0.24	98,835				
〃	1051	MD54	0.18	98,906				
〃	1052	MD54	0.30	98,787	無			
〃	1053	MD54	0.24	98,826				
〃	1054	MC·MD53	0.29	98,721	J、無		2	攪乱坑
〃	1055	MC53·54, MD53·54	0.48	98,588				
〃	1056	MC·MD53	0.13	98,886				
〃	1057	MC53	0.20	98,819				
〃	1058	MD54	0.14	98,939				
〃	1059	MD55	0.45	98,636				
〃	1060	MC55			無			
〃	1061	MC·MD55	0.41	99,076	無			
〃	1062	MC55	0.33	98,689				
〃	1063	MC55·56	0.12	99,134	無		1	
〃	1064	MC55	0.23	98,906	無			
〃	1065	MC55	0.78	98,238				
〃	1066	MC56	0.26	98,830	J、無		3	
〃	1067	MC·MD56	0.27	98,814				
〃	1068	MD56	0.49	98,605				
〃	1069	MD55·56	0.24	98,847	前(茂屋下層)、J、無			
〃	1070	MD56	0.37	98,729				
〃	1071	MD55	0.28	98,795				
〃	1072	MD55	0.26	98,825				
〃	1073	ME55	0.26	98,830				
〃	1074	MD55	0.30	98,785				
〃	1075	MC53	0.19	98,857				
〃	1076	MD54	0.23	98,838				
〃	1077	MD54	0.32	98,716				
〃	1078	MD53·54	0.19	98,815				
〃	1079	MD53	0.41	98,616				
〃	1080	ME53	0.90	98,037	前(大木2a)		3	

第2表　検出遺構一覧表 ⑱

遺構記号	番号	検出グリッド	深さ(m)	底面標高(m)	出土土器と推定帰属時期	出土石器	剥片	備考
SK	1081	ME53			前、無	鏃1	1	
〃	1082	ME53	0.36	98,597				
〃	1083	ME52	0.27	98,708				
〃	1084	ME52	0.28	98,696				
〃	1085	MD56	0.30	98,785				
〃	1086	MD56	0.25	98,827				
〃	1087	MC56	0.29	98,728				
〃	1088	MC56	0.27	98,756				
〃	1089	MC・MD56	0.24	98,821	前		4	
〃	1090	MC56	0.31	98,776				
〃	1091	MD57	0.17	98,877				
〃	1092	MD57	0.26	98,672				
〃	1093	MB51・52、MC・MD57	0.25	98,739				
〃	1094	MD57	0.25	98,684	後(条痕)			
〃	1095	ME57	0.30	98,619	早(条痕文)、後		6	
〃	1096	MF57	0.24	98,740				
〃	1097	MF57	0.32	98,600	前		1	
〃	1098	MF57	0.38	98,564				
〃	1099	MF57・58	0.36	98,558				
〃	1100	MF58	0.35	98,570				
〃	1101	MF58	0.34	98,505	J	凹1		
〃	1102	MF58	0.33	98,525				
〃	1103	MF57・58	0.36	98,506				
〃	1104	MF58	0.13	98,648				
〃	1105	MF57	1.08	97,740				
〃	1106	MF58	0.24	98,528				
〃	1107	MF58	1.10	97,698				
〃	1108	ME55・56、MF55・56	0.36	98,734				
〃	1109	MF56	0.34	98,675				
〃	1110	ME・MF56	0.13	98,851				
〃	1111	ME56	0.20	98,779				
〃	1112	ME56	0.34	98,767				
〃	1113	ME56	0.09	98,966				
〃	1114	ME56	0.26	98,741				
〃	1115	ME56	0.22	98,817	J			
〃	1116	ME56	0.32	98,735				
〃	1117	ME56	0.18	98,819				
〃	1118	MD55・56	0.12	98,887				
〃	1119	MD56	0.30	98,733				
〃	1120	MD56	0.22	98,722				
〃	1121	ME55	0.32	98,711				
〃	1122	ME・MF55	0.17	98,925				
〃	1123	MF55	0.70	98,299				
〃	1124	MF・MG55	0.47	98,532				
〃	1125	MF54・55	0.36	98,600				
〃	1126	MF54・55	0.35	98,636				
〃	1127	MF55	0.14	98,863				
〃	1128	MF54	0.30	98,816				
〃	1129	MF54	0.26	98,822				
〃	1130	MG54・55	0.41	98,756				
〃	1131	MF・MG55	0.15	98,895				
〃	1132	MF・MG55	0.30	98,759				
〃	1133	MF・MG54	0.22	98,656				
〃	1134	MF54	0.19	98,639	J			
〃	1135	MF・MG54	0.53	98,520				
〃	1136	MF54	0.52	98,606				
〃	1137	ME・MF54	0.15	98,761				
〃	1138	MF54	0.16	98,792				
〃	1139	MF54	0.20	98,761				
〃	1140	MF54	0.23	98,746	J			

第2表　検出遺構一覧表 ⑲

遺構記号	番号	検出グリッド	深さ(m)	底面標高(m)	出土土器と推定帰属時期	出土石器	剥片	備考
SK	1141	MF54	0.25	98,723				
〃	1142	ME・MF53	0.20	98,827				
〃	1143	MF53	0.18	98,849				
〃	1144	ME・MF53	0.19	98,830				
〃	1145	MF53	0.12	98,900				
〃	1146	MF53	0.24	98,790				
〃	1147	MF53	0.12	98,886				
〃	1148	MF53	0.17	98,816				
〃	1149	MF53	0.30	98,660				
〃	1150	MF52	0.55	98,382				
〃	1151	MG53						
〃	1152	MF・MG52	0.24	98,525				
〃	1153	MF52・53, MG52・53	0.73	98,156				
〃	1154	ME・MG52	0.39	98,217				
〃	1155	MD53・54	0.54	98,461				
〃	1156	MD53	0.95	98,068				
〃	1157	MD53	0.39	98,638				
〃	1158	ME53・54	0.21	98,755				
〃	1159	MD53, ME52	0.23	98,715	後		2	
〃	1160	MD・ME52, MD53	0.24	98,756				
〃	1161	ME52	0.22	98,775				
〃	1162	MD52	0.18	98,809				
〃	1163	MF52	0.25	98,700				
〃	1164	MF52	0.19	98,745				
〃	1165	ME52	0.24	98,713				
〃	1166	ME52	0.30	98,728			1	
〃	1167	ME52	0.03	98,741				
〃	1168	ME・MF51	0.17	98,845				
〃	1169	MC52	0.41	98,610				
〃	1170	MC52	0.53	98,420	前			
〃	1171	MC52	0.22	98,780				
〃	1172	MC52	0.32	98,678				
〃	1173	MC52・53, MD52・53	0.28	98,726				
〃	1174	MC53	0.60	98,435				
〃	1175	MC52・53	0.14	98,938				
〃	1176	MD53	0.24	98,738	前、後		1	
〃	1177	MD53	0.21	98,706				
〃	1178	MD53	0.10	98,828	中、J、無	槍1	5	
〃	1179	MD53	0.21	98,760				
〃	1180	MD54	0.23	98,795				
〃	1181	ME55	0.38	98,606				
〃	1182	MD55	0.32	98,745				
〃	1183	ME52・53	0.23	98,758				
〃	1184	ME55	0.24	98,765				
〃	1185	MF56	0.38	98,617				
〃	1186	MF55・56	0.22	98,810				
〃	1187	MG55	0.21	98,800				
〃	1188	MG56	0.27	98,622				
〃	1189	MC52	0.65	98,250				
〃	1190	MG56	0.32	98,545				
〃	1191	MG56	0.19	98,711				
〃	1192	MH55	0.33	98,690				
〃	1193	MH56	0.35	98,721				
〃	1194	MH57	0.26	98,626				
〃	1195	MH56	0.38	98,665				
〃	1196	MH56	0.21	98,715				
〃	1197	MH・MI56	0.16	98,709				
〃	1198	MH56	0.12	98,754				
〃	1199	MH・MI56	0.20	98,695				
〃	1200	MH56・57	0.19	98,708				

第２表　検出遺構一覧表　⑳

遺構記号	番号	検出グリッド	深さ(m)	底面標高(m)	出土土器と推定帰属時期	出土石器	剥片	備考
SK	1201	MH57	0.35	98,540				
〃	1202	MH57	0.46	98,411				
〃	1203	MI56·57	0.36	98,469				
〃	1204	MH58	0.26	98,619				
〃	1205	MG56	0.21	98,741				
〃	1206	MG57	0.54	97,846				
〃	1207	MG57	0.72	98,247				
〃	1208	MG57	0.26	98,664				
〃	1209	MG57	0.36	98,495				
〃	1210	MG57	0.03	98,834				
〃	1211	MG57	0.35	98,545				
〃	1212	MF57	0.26	98,635				
〃	1213	MF57	0.36	98,525				
〃	1214	MF57	0.33	98,501				
〃	1215	MF57	0.26	98,567				
〃	1216	MF57	0.18	98,654				
〃	1217	MF·MG58	0.29	98,556				
〃	1218	MG·MH58	0.17	98,680				
〃	1219	MG58	0.31	98,530				
〃	1220	MG58	0.23	98,539				
〃	1221	MG58	0.27	98,515				
〃	1222	MF58	0.41	98,344				
〃	1223	MF58	0.19	98,564				
〃	1224	MF58	0.42	98,334				
〃	1225	MG58	0.54	98,236				
〃	1226	MF58	0.15	98,574				
〃	1227	MF58	0.14	98,617				
〃	1228	MF58	0.23	98,545				
〃	1229	MF58	0.18	98,589				
〃	1230	MF58·59	0.16	98,676				
〃	1231	ME58	0.32	98,500				
〃	1232	ME58	0.20	98,558				
〃	1233	ME58	0.37	98,405				
〃	1234	ME58	0.33	98,430				
〃	1235	ME·MF59	0.34	98,394				
〃	1236	ME59	0.34	98,457				
〃	1237	ME59	0.29	98,480				
〃	1238	ME59	0.25	98,505				
〃	1239	ME59	0.29	98,438				
〃	1240	ME·MF59	0.35	98,336				
〃	1241	MF58	0.62	98,528				
〃	1242	MF58	0.51	98,254				
〃	1243	MF58·59	0.23	98,500				
〃	1244	MF59	0.28	98,495				
〃	1245	MG58	0.46	98,314				
〃	1246	MG58·59	0.44	98,301				
〃	1247	MF58·59,MG58	0.38	98,322				
〃	1248	MF58	0.37	98,365				
〃	1249	MF59	0.39	98,284				
〃	1250	MF58·59	0.43	98,294				
〃	1251	MF59	0.39	98,307				
〃	1252	MF59	0.25	98,474				
〃	1253	MF59	0.26	98,445				
〃	1254	MF59	0.24	98,426				
〃	1255	MF59	0.28	98,389				
〃	1256	MF59	0.29	98,460				
〃	1257	MF58·59	0.25	98,545				
〃	1258	MF59	0.21	98,455				
〃	1259	MF59	0.23	98,386				
〃	1260	MF59	0.21	98,391				

第2表　検出遺構一覧表　㉑

遺構記号	番号	検出グリッド	深さ(m)	底面標高(m)	出土土器と推定帰属時期	出土石器	剥片	備考
SK	1261	MF59	0.23	98,400				
〃	1262	MF59	0.34	98,274				
〃	1263	MF59	0.19	98,406				
〃	1264	MG59	0.22	98,451				
〃	1265	MG59	0.24	98,475				
〃	1266	MG59	0.35	98,309				
〃	1267	MG59	0.38	98,281				
〃	1268	MH58	0.50	98,335				
〃	1269	MH58	0.24	98,575				
〃	1270	MH59	0.19	98,612				
〃	1271	MH59	0.29	98,490				
〃	1272	MG・MH59	0.34	98,410				
〃	1273	MH59	0.32	98,415				
〃	1274	MG・MH59	0.19	98,547				
〃	1275	MG59	0.27	98,495				
〃	1276	MG59	0.37	98,344				
〃	1277	MG・MH59	0.12	98,608				
〃	1278	MH59	0.13	98,594				
〃	1279	MG・MH59	0.14	98,574				
〃	1280	MG59	0.12	98,586				
〃	1281	MG・MH59	0.30	98,336				
〃	1282	MH59	0.10	98,589				
〃	1283	MH59	0.27	98,395				
〃	1284	MH59	0.26	98,441				
〃	1285	MG59・60	0.25	98,385				
〃	1286	MG60	0.15	98,464				
〃	1287	MH60	0.91	98,320				
〃	1288	MH60	0.29	98,341				
〃	1289	MG60	0.12	98,496				
〃	1290	MG60	0.14	98,519				
〃	1291	MH60	0.24	98,370				
〃	1292	MI58	0.35	98,457				
〃	1293	MI58	0.40	98,392				
〃	1294	MI58・59	0.30	98,362				
〃	1295	MI58・59	0.31	98,309				
〃	1296	MI58	0.41	98,161				
〃	1297	MI58	0.17	98,389				
〃	1298	MI58	0.38	98,372				
〃	1299	MH58・59	0.53	98,137				
〃	1300	MH58	0.23	98,319				
〃	1301	MH58	0.42	98,305				
〃	1302	MH58	0.31	98,445				
〃	1303	MH58	0.49	98,315				
〃	1304	MH58・59	0.23	98,350				
〃	1305	MH59	0.17	98,477				
〃	1306	MH59	0.25	98,555				
〃	1307	MH59	0.41	98,236				
〃	1308	MG59	0.46	98,271				
〃	1309	MG59	0.49	98,196				
〃	1310	MG59	0.46	98,189				
〃	1311	MG59	0.28	98,335				
〃	1312	MH59・60	0.21	98,428				
欠	1313							
SK	1314	MG59	0.23	98,389				
〃	1315	MG59	0.30	98,322				
〃	1316	MH・MI59	0.53	98,141				
〃	1317	MG59・60、MH59・60	0.38	98,300				
〃	1318	MI59	0.35	98,400				
〃	1319	MI59	0.46	98,257				
〃	1320	MI59	0.24	98,420				

第2表　検出遺構一覧表　㉒

遺構記号	番号	検出グリッド	深さ(m)	底面標高(m)	出土土器と推定帰属時期	出土石器	剥片	備考
SK	1321	MI59	0.48	98,150				
〃	1322	MI59	0.34	98,325				
〃	1323	MI59	0.47	98,200				
〃	1324	MI59	0.50	98,284				
〃	1325	MI59	0.26	98,374				
〃	1326	MI59	0.37	98,274				
〃	1327	MI59	0.40	98,359				
〃	1328	MI59	0.45	98,170				
〃	1329	MI59·60	0.30	98,402				
〃	1330	MI60	0.39	98,318				
〃	1331	MI60	0.33	98,360				
〃	1332	MG57	0.17	98,686				
〃	1333	MG57	0.08	98,754				
〃	1334	MG·MH57	0.11	98,748				
〃	1335	MH57	0.28	98,590				
〃	1336	MF·MG57	0.19	98,704				
〃	1337	ME57	0.22	98,725				
〃	1338	ME56	0.23	98,825				
〃	1339	ME56	0.33	98,700				
〃	1340	ME56	0.25	98,705				
〃	1341	ME56	0.46	98,596				
〃	1342	ME56	0.49	98,515				
〃	1343	ME·MF56	0.13	98,781				
〃	1344	ME56	0.24	98,740				
〃	1345	ME56	0.18	98,854				
〃	1346	ME56	0.15	98,847				
〃	1347	ME56	0.15	98,900				
〃	1348	ME55·56	0.36	98,690				
〃	1349	ME57	0.10	98,916				
〃	1350	ME57	0.12	98,851				
〃	1351	MC56	0.19	98,711				
〃	1352	MC56	0.22	98,725				
〃	1353	MC56	0.24	98,669				
〃	1354	MB56	0.26	98,648				
〃	1355	MB56	0.09	98,797				
〃	1356	MB57	0.21	98,701				
〃	1357	MB57	0.19	98,695				
〃	1358	MB57	0.12	98,735				
〃	1359	MB57	0.26	98,676				
〃	1360	MC57	0.24	98,662				
〃	1361	MC57	0.18	98,648				
〃	1362	MC57	0.24	98,618				
〃	1363	MC·MD57	0.24	98,688				
〃	1364	MC·MD57	0.18	98,635				
〃	1365	MC·MD57	0.18	98,677				
〃	1366	MC57	0.23	98,632				
〃	1367	MC57	0.10	98,780				
〃	1368	MC57·58	0.36	98,360				
〃	1369	MC57·58	0.27	98,530				
〃	1370	MC57·58	0.15	98,727				
〃	1371	MC57	0.20	98,688				
〃	1372	MC57	0.11	98,732				
〃	1373	MC57	0.24	98,599				
〃	1374	MC57	0.27	98,571				
〃	1375	MC57·58	0.21	98,646				
〃	1376	MC57	0.11	98,657				
〃	1377	MC57	0.24	98,648				
〃	1378	MC56	0.23	98,821				
〃	1379	MC56	0.21	98,813				
〃	1380	MC56	0.29	98,768				

第 2 表　検出遺構一覧表 ㉓

遺構記号	番号	検出グリット	深さ(m)	底面標高(m)	出土土器と推定帰属時期	出土石器	剥片	備考
SK	1381	MD57	0.34	98,554				
〃	1382	MD57	0.19	98,681				
〃	1383	MD57	0.26	98,670				
〃	1384	MD57	0.16	98,614				
〃	1385	MD57	0.38	98,478				
〃	1386	MD57・58	0.19	98,637				
〃	1387	MD57・58	0.24	98,629				
〃	1388	MD57・58	0.27	98,593				
〃	1389	MD57	0.19	98,690				
〃	1390	MD57	0.09	98,748				
〃	1391	MD58	0.25	98,536				
〃	1392	MD58	0.09	98,701				
〃	1393	MD57	0.13	98,750				
〃	1394	MD・ME57	0.13	98,733				
〃	1395	MD57・58	0.32	98,535				
〃	1396	MD58	0.19	98,623				
〃	1397	MD58	0.31	98,561				
〃	1398	MD58	0.17	98,640				
〃	1399	MD58	0.31	98,484				
〃	1400	MD58	0.14	98,693				
〃	1401	MD58	0.14	98,665				
〃	1402	MD58	0.16	98,616				
〃	1403	MD58	0.21	98,615				
〃	1404	MD58	0.15	98,670				
〃	1405	ME57・58	0.37	98,481				
〃	1406	ME58	0.27	98,510				
〃	1407	ME58	0.29	98,489				
〃	1408	ME58	0.22	98,560				
〃	1409	ME58	0.35	98,434				
〃	1410	MD58	0.19	98,569				
〃	1411	ME59	0.22	98,450				
〃	1412	ME59	0.16	98,544				
〃	1413	ME59	0.16	98,364				
〃	1414	ME59	0.25	98,299				
〃	1415	ME59	0.18	98,480				
〃	1416	ME59	0.22	98,510				
〃	1417	ME59	0.09	98,550				
〃	1418	ME53・54	0.31	98,653				
〃	1419	MF54	0.21	98,527				
〃	1420	ME54	0.18	98,582				
〃	1421	ME54	0.25	98,559				
〃	1422	ME54	0.31	98,491				
〃	1423	ME54	0.32	98,464				
〃	1424	MF53	0.17	98,849				
〃	1425	MC53	0.40	97,545	後、J、無		1	P 1
〃	1426	MB57	0.35	97,736	J		1	P 2
〃	1427	MD57	0.21	98,660	前、後、後(条痕)、無		8	P 3
〃	1428	MC57	0.28	98,671	前		2	P 4
〃	1429	MC・MD57	0.33	97,769	前		4	P 5
〃	1430	ME55	0.29	97,813	後、無			P 6
〃	1431	ME55	0.44	97,605	後、J			P 7
欠	1432							P 8
SK	1433	ME55	0.23	97,641	前、無			P 9
〃	1434	ME56			前、後(条痕)	不1、U2	5	P10
〃	1435	ME55			前、中、後、J	不1	3	P11
欠	1436							P12
SK	1437	MD55・56			無		1	P13
〃	1438	MD56			前、無			P14
〃	1439	MD57			前、中、後(条痕)		8	P15
〃	1440	MD57			前、後		2	P16

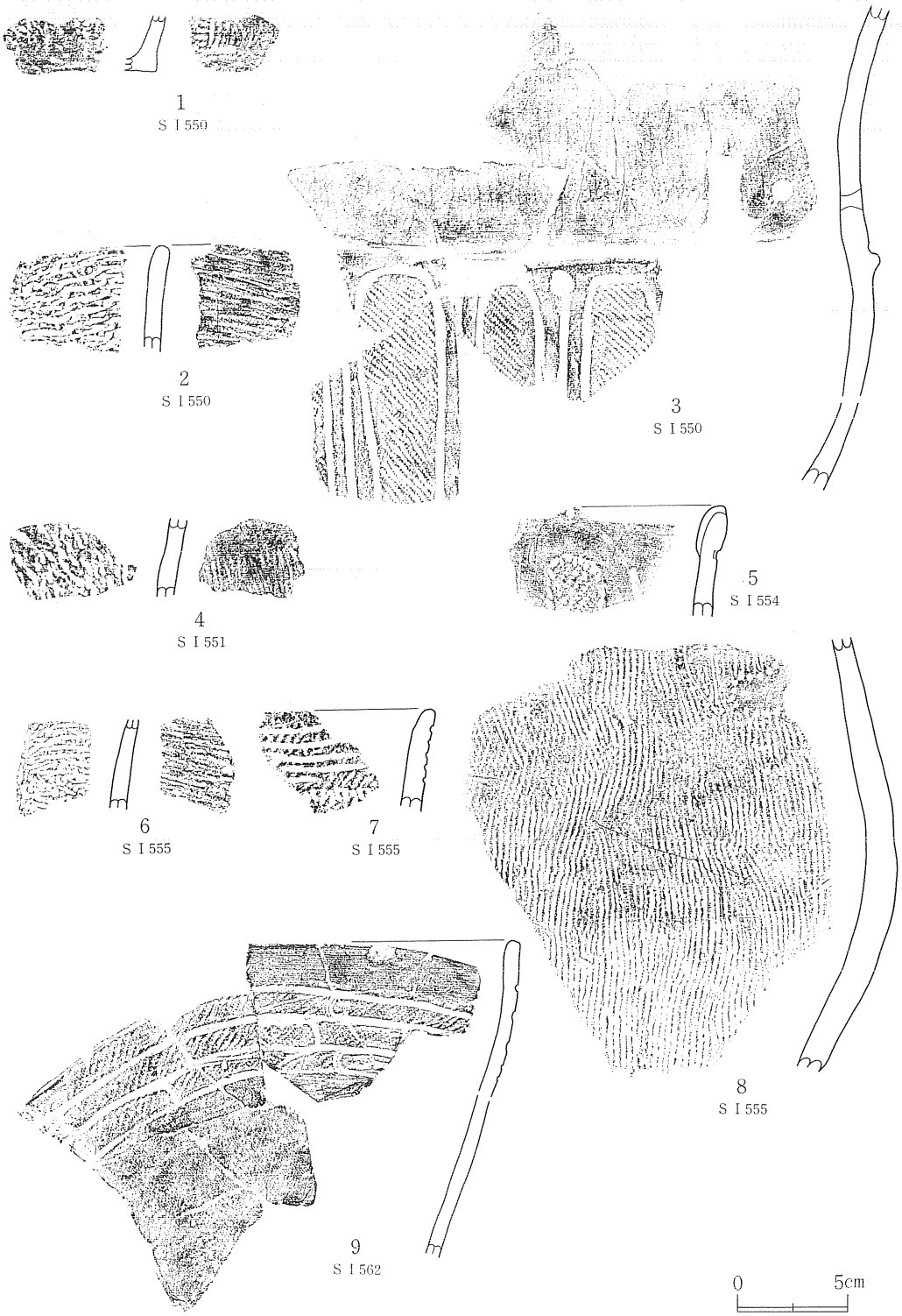
第2表　検出遺構一覧表　㉔

遺構記号	番号	検出グリッド	深さ(m)	底面標高(m)	出土土器と推定帰属時期	出土石器	剥片	備考
SK	1441	MD56			前			P17
〃	1442	MD56			前、後、無			P18
〃	1443	MF55・56			前			P19
〃	1444	MF55・56			J		1	P20
〃	1445	MF56			前			P21
〃	1446	MF56			前、中(大木9)	不1、核1	1	P22
〃	1447	MF55			中(円上d)			P23
〃	1448	MG55			無	不1	2	P24
〃	1449	MF55			前(大木2b)	U1	4	P25
〃	1450	MF55	1.20	97,831	前	不2	3	P26
〃	1451	MG55	0.15	98,806	前、後、J		3	P27
〃	1452	MF57			J			P28
〃	1453	MG56			前、後、J、無		2	P29
〃	1454	MG56			前	不1	4	P30
〃	1455	MG56			J		2	P31
〃	1456	MG56			J			P32
〃	1457	MG56			前、後、J	U1	2	P33
〃	1458	MG56			前、中(大木10)、後(十腰内II)	不2	14	P34
〃	1459	MH56			中、J			P35
〃	1460	MH56			前、中、J			P36
〃	1461	MH56			前、中			P37
〃	1462	MH57					3	P38
〃	1463	MG56			前、J			P39
〃	1464	MG56			前、後、J	不2	8	P40
〃	1465	MG56			前、後			P41
〃	1466	MG55			前、中、後、無		5	P42
〃	1467	MG57			早(貝殻沈線文、条痕文)、前、中(大木8a)・(中の平III)、後	不3、U2、核2	24	P43
〃	1468	MG57			前		2	P44
〃	1469	MG57			前		2	P45
〃	1470	MF57	0.38	98,500	前	U1	2	P46
〃	1471	MF57	0.13	98,666	早、晩	不1、U3、核1	11	P47
〃	1472	MF57	0.13	98,680	前	凹1	6	P48
〃	1473	MH57・58	0.28	98,550	前	U1	3	P49
〃	1474	MH58	1.21	97,704	前		3	P50
〃	1475	MF58	0.29	98,550	前、後		1	P51
〃	1476	MF58	0.22	98,599	前、無		24	P52
〃	1477	MC・MD58	0.19	98,685	早(条痕文)	鏃1、篦2、U2	4	P53
〃	1478	ME59	0.30	98,565	前、無	不1、核1、分1	6	P54
〃	1479	MG60	0.27	98,344	前、後、無		6	P55
〃	1480	MI57	0.72	98,062	J			P56
〃	1481	MF53	0.18	98,391	前			P57
〃	1482	MF53	0.22	98,554	前	篦1	7	P58
〃	1483	MF53	0.25	98,505	後、J、無			P59
〃	1484	MF53	0.51	98,285	前、後、J、無			P60
〃	1485	MF52	0.56	98,420	前、J			P61

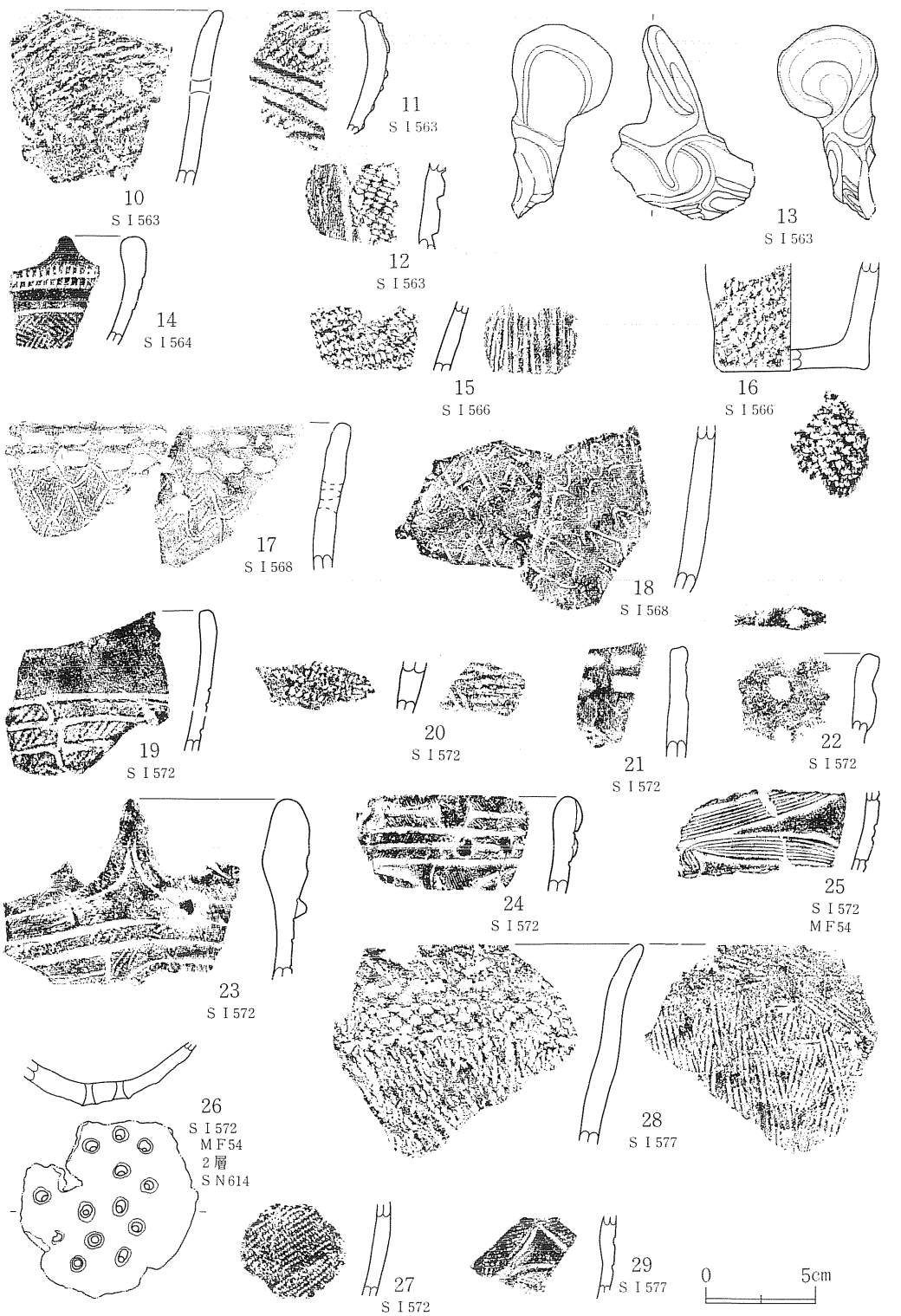
凡例

早、前、中、後、晩－早期、前期、中期、後期、晩期
J－縄文のみの土器片　Y－撚糸文のみの土器片　無－無文の土器片
摩－表面が摩滅して文様の不明な土器片
円下d－円筒下層d式　円上b、c、d－円筒上層b、c、d式
鏃－石鏃　槍－石槍　錐－石錐　篦－篦状石器　トラートランシェ様石器
ピエスーピエス・エスキーユ　縦－縦型石匙　横－横型石匙　不－不定形石器
U－微小剥離痕のある剥片　磨斧－磨製石斧　礫－礫器　磨－磨石　凹－凹石
皿－石皿　剣－石剣　R－二次加工のある剥片　黒剥－黒曜石剥片　核－石核　分－分割礫

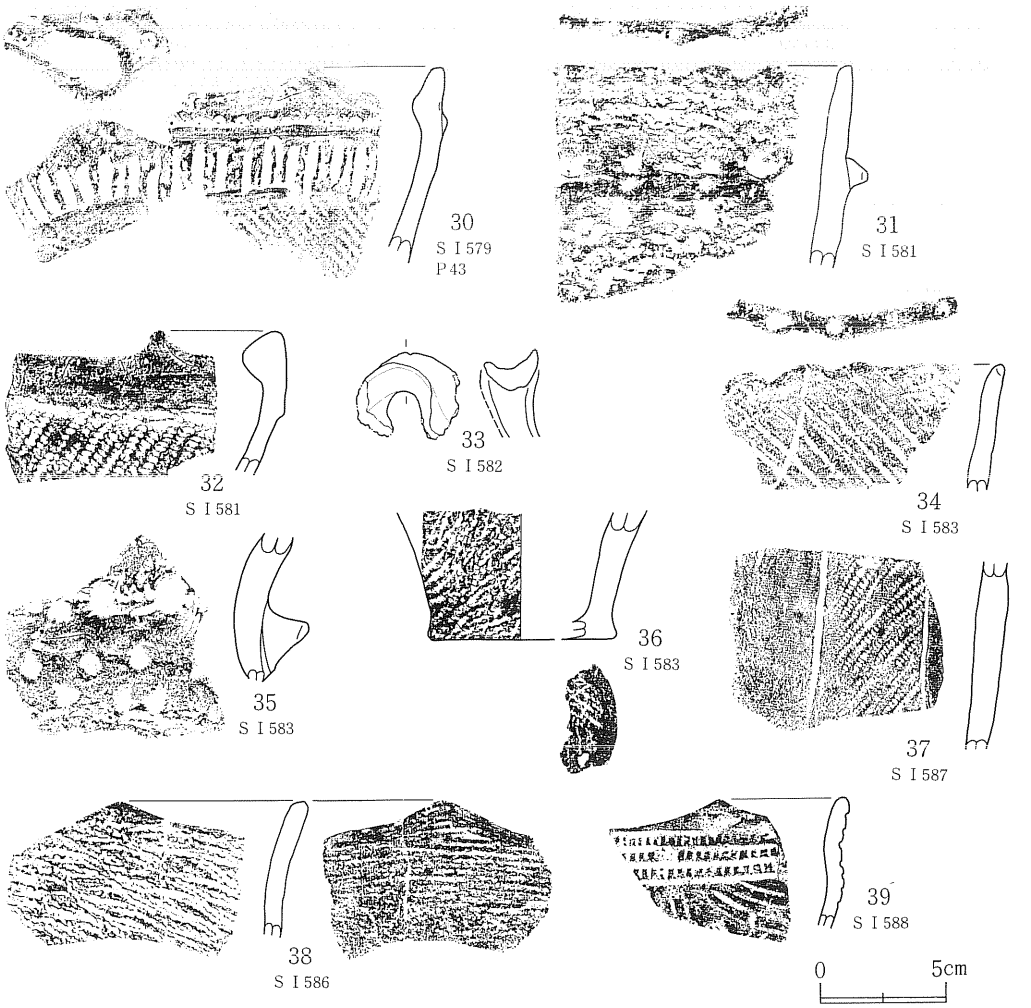
第2表　検出遺構一覧表 ㉕



第12図　遺構内出土土器(1)



第13図　遺構内出土土器(2)

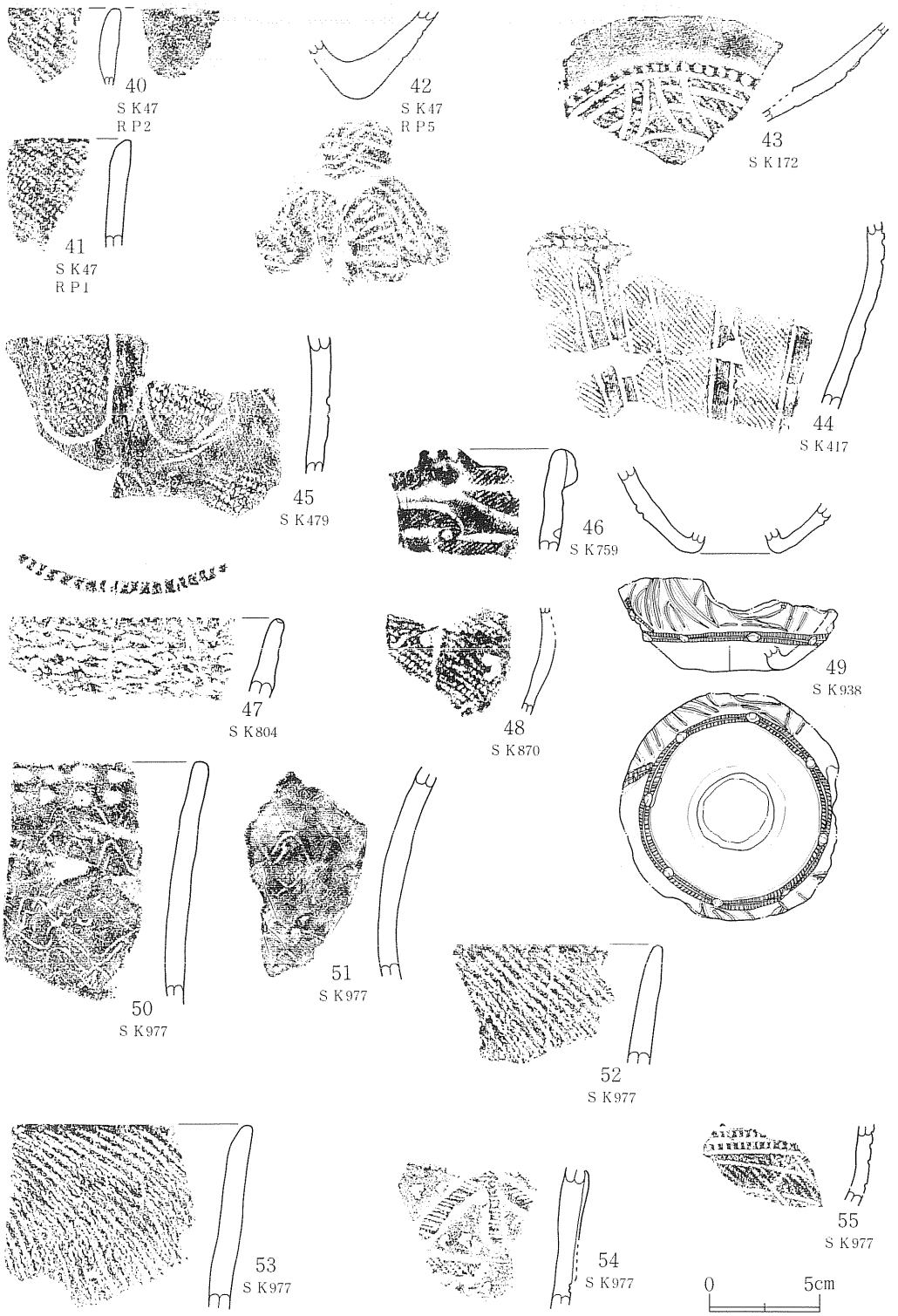


第14図　遺構内出土土器(3)

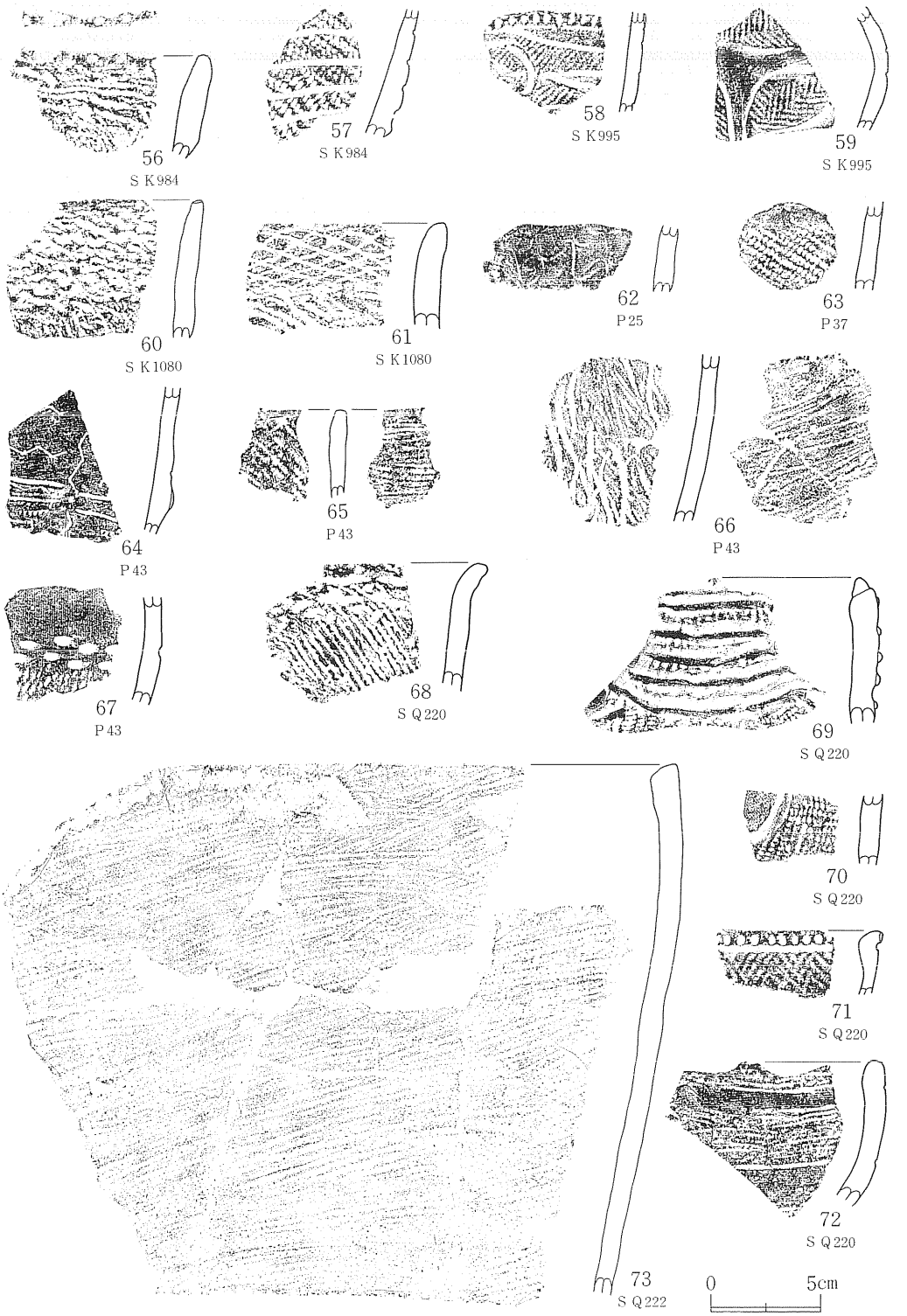
版５－３)、１辺約４ｍ60cmの大型の建物跡と考えられる。これを仮にＢ建物跡とする。同様にＳＱ258、ＳＫ761、1010、1023もほぼ同じ規模（１辺約４ｍ80cm）の大型建物跡（Ｃ建物跡）であろう（図版５－３)。さらに、ＳＫ661、854、868、975も１辺約３ｍ20cmの正方形プランとなり（図版５－３）建物跡と考えられる（Ｄ建物跡)。このように多数の土坑の中で正方形あるいは長方形の建物跡の柱穴となるものもある。

ＳＲ619土器埋設遺構は、ＭＦ52グリッドのＳＫ653土坑の上部を精査中に検出した（図版６－６)。推定直径約20cm、深さ約30cmの小ピット内に有孔土器が倒立して埋置されていた遺構である。ＳＫ653土坑との新旧は不明である。ＳＫ653土坑を掘り下げ地山土の壁を検出中、壁上部の一部が地山土ではなく黒褐色土であったので、掘り足りない部分と考えてさらに掘り進め

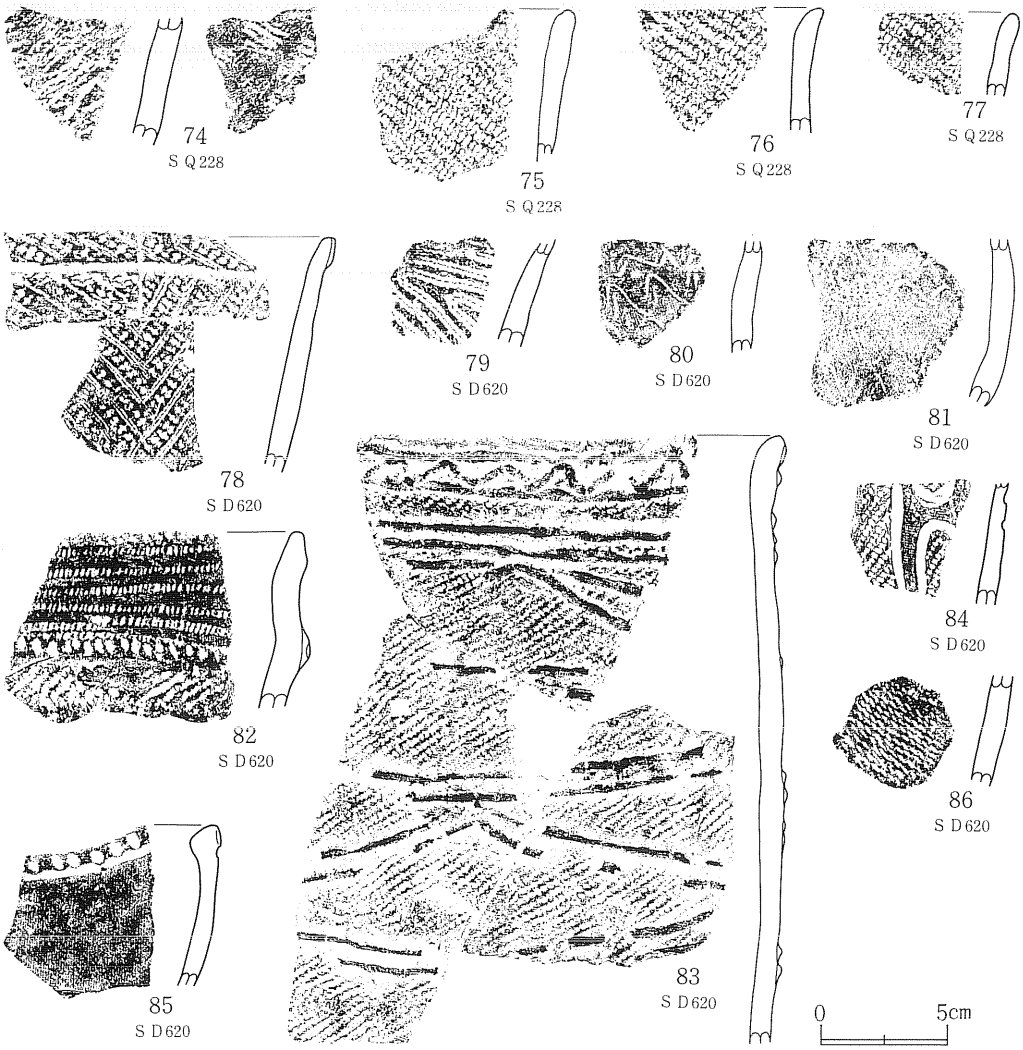
(→54ページへ)



第15図　遺構内出土土器(4)



第16図　遺構内出土土器(5)



第17図　遺構内出土土器(6)

たところ、土器底部の一部が現れた。土器の輪郭を表し、小ピットの中に倒立していることが分かった。この時点で既にＳＫ653土坑はほとんど完掘状態で、ＳＲ619のピットとの切り合い関係を確かめることはできなかったのである。土器（図版10－273）は、大きく外反する無文の口縁部をもち、最大径が胴下半部にある楕円球形の器形で、比較的大きい平底である。頸部には、斜縄文を施文した後に刻み目を施した隆帯を貼りめぐらす。胴部の文様は横位に連続する鍵形の区画文で、区画内にＬＲ縄文を充塡する。縄文は同一原体によって回転方向を変えて施文する。部分的に羽状になるところもある。底部から約８㎜上の部位に焼成前に穿った直径７㎜の円孔がある。

第３節　遺構外出土遺物

遺構内出土土器は全体の約10％で、遺構外土器が90％と圧倒的に多い。遺構外からは大コンテナで土器約310箱、石器約85箱の遺物が出土した。その約70％がＬ区に集中し、中央区はほとんどない。Ｋ区が約10％、Ｍ区が約20％の割合である。これらの３区域は包含層の状況が大きく異なる。特にＬ区とＫ区は晩期の「捨て場」としてそれぞれまとまりのある包含層なので、土器・土製品の記載は各区域毎に行う（第21～34図、図版11～30）。

土器の分類にあたっては、遺構内・外を含めた全体を時期毎に次のⅠ～Ⅵ群に大別した。

Ⅰ群：早期以前、Ⅱ群：前期、Ⅲ群：中期、Ⅳ群：後期、Ⅴ群：晩期、

Ⅵ群：後期または晩期

さらにⅠ～Ⅲ群は器種が深鉢のみのため、文様、胎土、焼成等により、それぞれ類別した。Ⅳ・Ⅴ群は器種が多様なので、まず器種毎に分け、同一器種内の器形の特徴と文様等により細分した。各類の中にはすでに型式名の与えられているものもあるので、判明した分はⅠ～Ⅲ群は表中に、Ⅳ・Ⅴ群は第４表に記載した。文・表中「」付きの名称は、型式として設定されてはいないが当該土器群を指して通例として呼称されている名称である。

石器類については器種毎に分類した。各器種内での詳細な分類を行う時間的余裕がなかったので、出土地点の区域分けをせず、全体を通して代表的な器種の実測図を掲載し、グリッド単位の器種毎の出土分布図と表を作成した。

１．土器・土製品（第18～34図、第３～５表、図版11～30）

第18～20図に各群毎の出土分布を示した。早期以前ではＬ区、Ｍ区ともに少量の条痕文土器が出土している。図示したように１類（爪形文土器）、２類（貝殻沈線文土器）、３類（条痕文土器）はそれぞれ地点を違えており分布域は重ならない。

前期では、Ｍ区にまとまりのある１類（押し引き沈線文土器）は前葉の「早稲田６類」類似土器である。３類（指頭圧痕隆帯のある土器）は茂屋下岱式土器群の土器で、遺溝のあるＬ区でまとまって出土し、Ｍ区とＫ区にも散在する。Ｍ区では米代川流域ではほとんど例のない大木２式土器が出土している。５類（網目状撚糸文土器）、６類（横位木目状撚糸文土器）は大木２ａ式、８類（Ｓ字状連鎖撚糸文土器）は大木２ｂ式である。２類（綾絡文を施文する土器）や９類（撚糸文を施文する土器）もこれらの土器とを共伴して大木２式に含まれるものがある可能性がある。しかし、３類にも綾絡文、撚糸文は使用されるので破片資料では同定が困難である。

中期では竪穴住居跡が検出されたＬ区に２類の円筒上層ｂ式土器、３類の円筒上層ｃ式土器が集中し、６類の大木９式土器、７類の中の平Ⅲ式土器、８類の大木10式並行の土器は該期の

竪穴住居跡のあるM区に集中する。しかし、M区でも４類の円筒上層ｄ式土器の完形土器が出土したＳＩ563竪穴住居跡の周辺は、４類が多い。居住地点の移動に伴う生活域の変遷がうかがわれる。

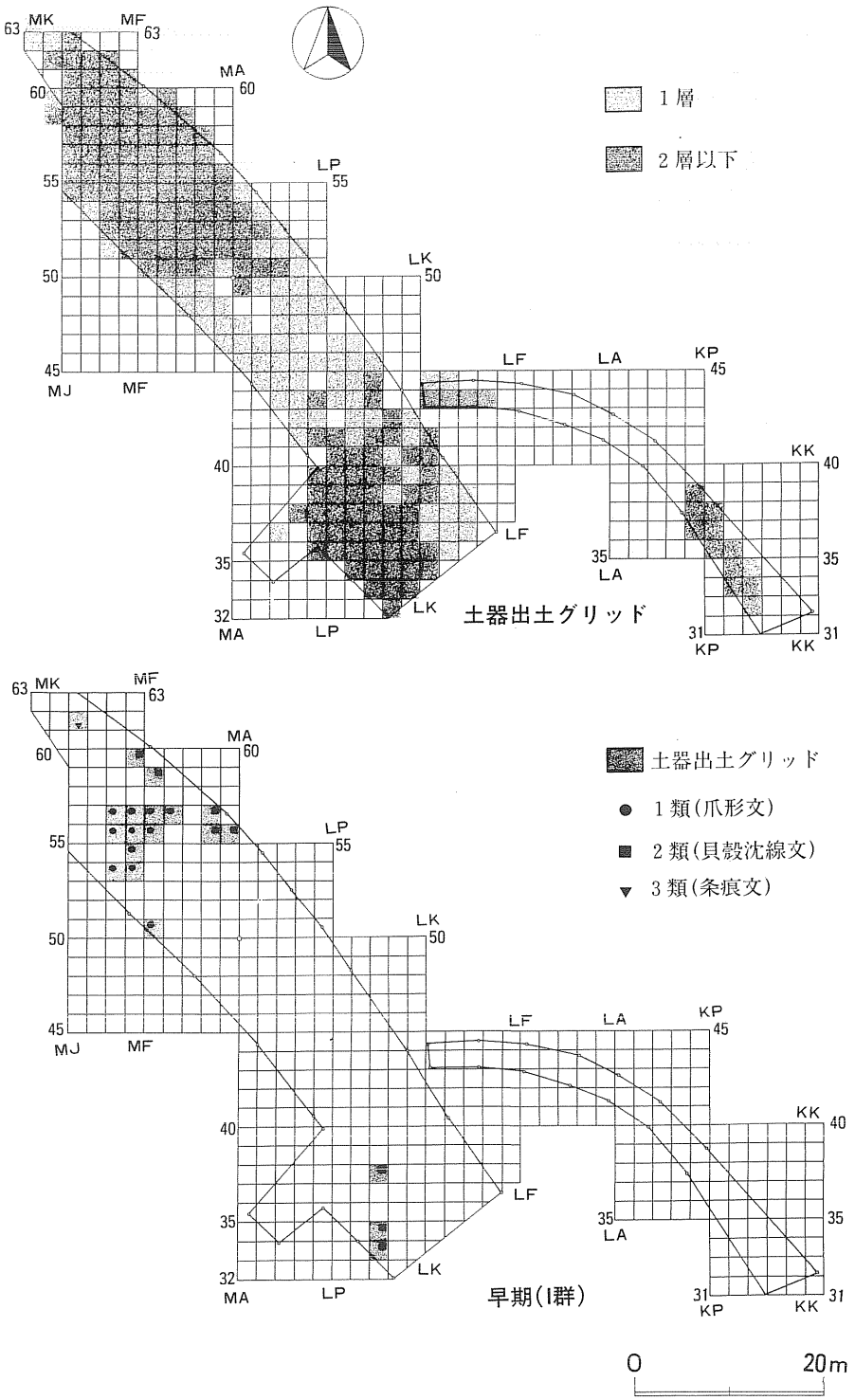
後期の土器の主な分布範囲はＬ区西側とM区である。「十腰内Ⅲ群」、「十腰内Ⅳ群」と瘤付き土器の「十腰内Ｖ群」は分布域がほぼ重なる。Ｌ区西側のＬＮ39、ＬＯ39グリッド付近では「十腰内Ⅳ群」が約10個体まとまって出土した（図版６－７）。

晩期の遺物はＬ区とＫ区で多量に出土した。特にＬ区では東西約30ｍ、南北約30ｍの範囲から大コンテナで約220箱の土器が出土した（図版７－１～６）。後期の土器が多いM区では、晩期の土器は少量が散在するにすぎず、後期の土器のほとんどないＫ区で多量に出土したことは、生活域がかなり明瞭に変化したことを示している。また、どの区域にも、入組帯状文を体部上半及び下半に描き装飾突起のある後期終末期の台付大型深鉢がなく、晩期初頭～晩期前葉の大洞Ｂ式土器、大洞ＢＣ式土器も多くない。これは、調査区内では後期末～晩期初頭頃に人間活動が途絶えたことを暗示している。

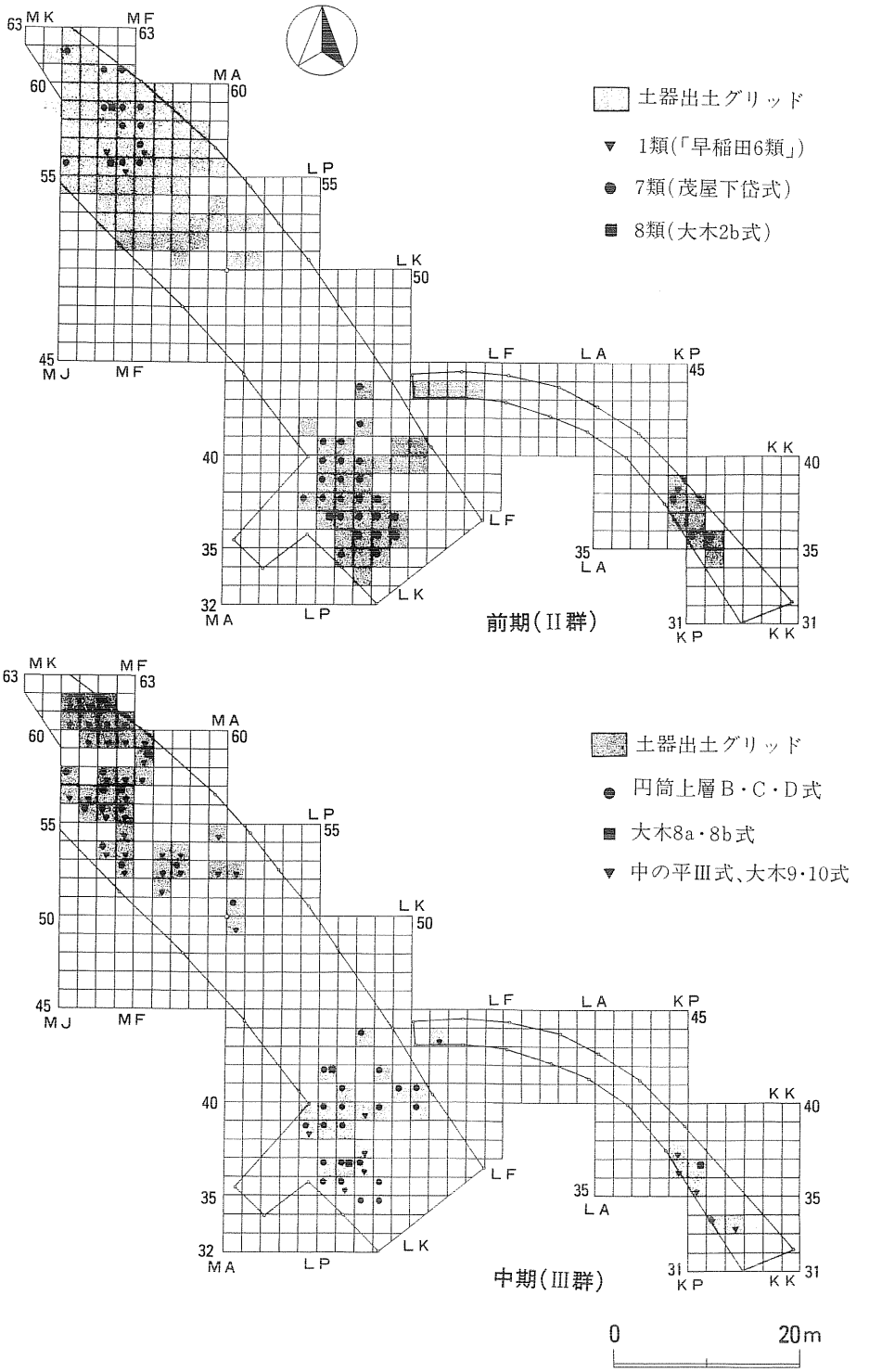
Ｌ区で出土した大型中空土偶（図版30－461）は頭部から胴部下半までの現存長が26.5cm、全長は40cm以上と推定される。上腕部は長径約13cm、短径約12cmの筒形である。上腕部における復元幅は約39cmで、晩期の遮光器土偶では国内最大級である。全面に赤色塗彩されている。

２．石器類（第35～45図）

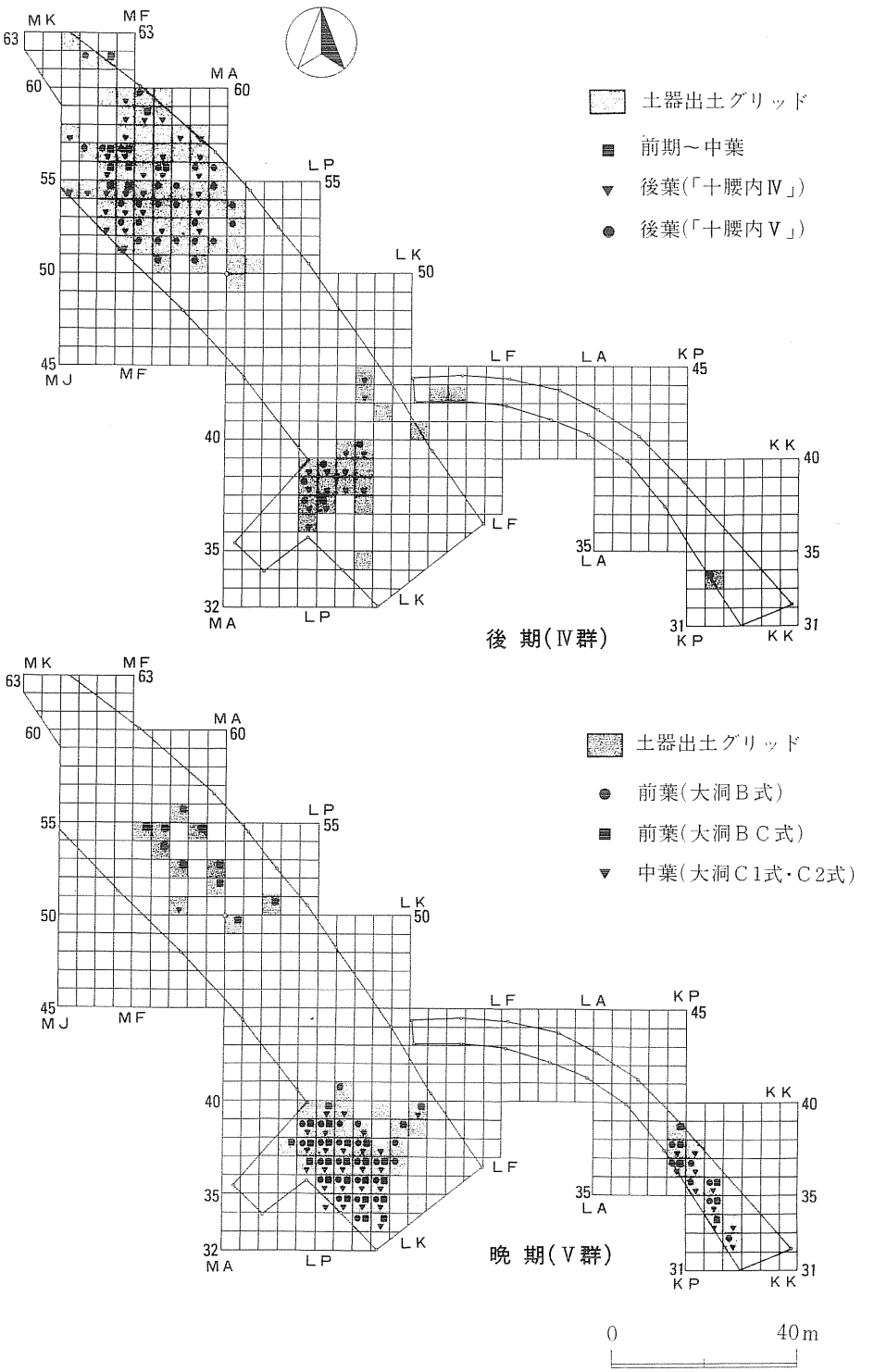
各器種ともに多様な形態を含む。石鏃には基部にアスファルトが付着しているものがある（Ｓ１～７・９）。Ｓ５には、表裏ともに中央の稜線に合わせて基部から先端に近いところまで付着している。挟み込む着柄の痕跡である。縦型石匙、横型石匙ともにくびれ部分にアスファルトが付着しているものがある。Ｓ36には両側縁の刃部と思われる部位に付着しており注目される。Ｓ38はくびれのある基部をもつ尖頭器の折れた尖端部側に再加工を施し、側縁を刃部として利用した石器である。Ｓ44～50は各種の異形石器である。Ｓ44・46は形態が石匙に似る。Ｓ44は下部に刃部があって石匙の一種とも考えられるが、Ｓ46は両側とも刃部がない。Ｓ61は大型の磨製石斧で、長さ23.4cm、幅8.0cm、厚さ3.2cmである。Ｓ63は青竜刀形石器の一部で、全面に擦痕がある。刃部の稜は鋭く丁寧に作出している。岩版は２点出土した。Ｓ73、Ｓ74ともに表裏両面に渦巻文を描く。Ｓ74は表面と側面にアスファルトが付着する。



第18図　土器出土分布図(1)



第19図　土器出土分布図(2)



第20図　土器出土分布図(3)

群	類	文様等の特徴	胎土・焼成等の特徴	遺構内出土土器	遺構外出土土器	型式名等
I（早期以前）	1	平口縁で、全面に爪形文を施文した土器。	砂粒が少なく、きめの細かい胎土。焼成は良好。胎土・焼成とも2類に似る。		159～181	
	2	波状口縁で、貝殻腹縁圧痕と沈線で施文した土器。	砂粒が少なく、きめの細かい胎土。繊維は含まない。焼成は良好。	64	182～184	明神裏3式
	3	貝殻条痕文を両面または内・外面の一面に施文した土器。条痕は横位が主で、縦位は少ない。尖底と平底がある。	胎土に繊維を少量含むものと多量に含むものがある。焼成は良好で硬質である。	1、2、4、6、15、20、28、38、65、66、74	94、185、187	「表館VI群」～赤御堂式
	4	折返し口縁で、付加条縄文を施文した土器。	細砂を含み胎土のきめも粗い。繊維を少量含む。焼成はやや良。	78		「表館VI群」～「早稲田5類」
	器種は1～4類とも深鉢。1類は胴下半の傾きから尖底もしくはきわめて径の小さい平底。1類の器厚は5～8㎜で、2類とほぼ同じ。					
II（前期）	1	波状口縁で、尖底である。縄文の上に押し引き沈線または沈線で施文した土器。ループ文が併用されるものもある。	繊維を多く含み、軽い感じがする。微砂を少量含む。焼成は良好。	7、42、57	87、195～197	「早稲田6類」
	2	横位の綾絡文帯のある土器。綾絡文帯は口縁部の他、胴部に施文されるものもある。	繊維を多量に含む。細砂～中砂を含み、器表がザラザラするものが多い。焼成は良好。	60、68		
	3	指頭圧痕のある隆帯が頸部に1～2条めぐる土器。隆帯間や隆帯の上下にも指頭圧痕列を沿わせるものがある。口唇部に指頭圧痕やキザミを施すものが多い。	繊維を多量に含む。細砂～中砂を少量含み、器表面はきめの細かい粘土で仕上げてある。器表面の焼成は良好だが、器壁内部はややもろい。	22、31、35、270	95、96、204	茂屋下岱式
	4	口縁部に撚紐原体の側面圧痕によって文様が施文される土器。	繊維を含む。細砂を少量含み、ややザラザラした感じがする。焼成は良好。	82		円筒下層d式
	5	網目状撚糸文を施文した土器。口縁部に施文したものと胴部に施文したものがある。	繊維を多量に含む。焼成は良好。	61	190	大木2a式
	6	横位に木目状撚糸文を施文した土器。軸にL撚紐を2本一組で巻くものと1本巻くものがある。	繊維を含む。細砂を少量含む。焼成はきわめて良好で、硬質感がある。	77,189		大木2a式
	7	非結束羽状縄文を施文した土器。横位回転の異種原体使用。	繊維を含む。細砂を少量含む。焼成はやや良。		192、193	「長七谷地III群」～「早稲田6類」
	8	S字状結束撚糸文を施文した土器。口縁部は大きく外反する平縁で、棒状工具端部の斜位刺突による刺突列が2段めぐる。	繊維を少量含む。石英質の細砂～中砂を多く含み、器表がザラザラする。	17、18、21、50、51、62、80、81	198	大木2b式
	9	全面に撚糸文を施文した土器。口唇部に指頭圧痕やキザミを施すものと施さないものがある。	繊維を多量に含むもの、中程度に含むものがある。細砂を少量含む。焼成は良好。	34、52、53、56、271	199～201	
	10	全面に縄文を施文した土器。口縁部は平縁と波状口縁がある。丸底と平底があり、平底の底面には縄文を施文したものもある。	繊維を多量に含む。細砂～中砂を少量含み、器表がややザラザラするものが多い。焼成は良好。	10、16、36、40、41、75、76、77	188、194、202、203	
	器種は1～10類とも深鉢で、1類が尖底、10類に丸底もあるが、他は平底である。3類は口縁部が外反し胴部が膨らむ器形が多い。 I群3類とII群1～10類は次のように分けた。まず条痕文のある土器をI群3類とした。次に地文と組み合わされる装飾的文様に着目してII群1～4類を分離した。その次に地文によってII群5～10類を分けた。5・6類の撚糸文は、地文としても装飾的文様としても使われているようである。					
III（中期）	1	胴上半部に縄文を施文した太い隆線を貼付けて文様を描く土器。	微砂～細砂を多量に含み器面はザラザラする。焼成は良好で硬質感がある。器壁内部まで均質に焼成されている。	245、246		円筒上層b式～円筒上層c式
	2	胴上半部に縄文を施文した太い隆線を貼付けて文様を描き、隆線間に撚紐原体による馬蹄形の圧痕を充填する土器。	微砂～細砂を多量に含み器面はザラザラする。焼成は良好。	54、247		円筒上層b式
	3	胴上半部に太い隆線を貼付けて文様を描き、隆線間に半截竹管による斜位刺突文を充填する土器。隆線上に縄文を施文するものが多いが、施文しないものも少数ある。	細砂～中砂を多量に含み器面はザラザラする。焼成は良好。	244		円筒上層c式
	4	胴上半部に細い粘土紐を貼付けて文様を描く土器。	細砂を含む。器面はややザラザラする。貼付けた隆線の胎土にはほとんど砂を含まない。焼成は良好。	69、83、253		円筒上層d式
	5	口縁部に細い粘土紐の貼付によって渦巻状のモチーフを描く土器。	細砂～中砂を含む。貼付けた隆線の胎土には砂を含まない。焼成は良好。	11、273		大木8a式
	6	胴部に沈線で縦位のU字形、逆U字形、円形、楕円形の区画文を描く土器。区画文内が縄文部になるものと逆のものがある。	細砂を少量含む。焼成はきわめて良好で硬質感がある。	37、45、84、250	459	大木9式
	7	外反する無文の口縁部の下端に刺突列がめぐり、胴部に沈線で縦位の逆U字形区画文等を描く土器。	細砂を少量含む。焼成は良好。	3、44、67		中の平III式
	8	胴上半部に沈線で円形、S字形等の区画文を描き、区画文内に縄文を充填した土器。沈線に刺突を組み合わせるものもある。	細砂を含む。焼成は良好。	5、8、12、70		(大木10式並行)
	9	全面に縦位回転の縄文を施文した土器。口縁部に無文帯があるものと明瞭でないものがある。	細砂を含む。焼成は良好。	248、249、254、256、259、260、261		大木9式～(大木10式並行)
	器種は1～9類とも深鉢。1～4類の口縁部には4単位の大波状口縁が多いが、朝顔形に大きく外反する平縁のものもある。1～5類の隆線による文様は胴上半部に施文され、下半部は斜縄文または結束羽状縄文で、いずれも横位回転施文である。5類はキャリパー形の深鉢。6類、8類、9類は胴部がやや膨らみ口縁部が外反する器形。					

第3表　土器分類表①　I～III群

群	器種	器形	器形の特徴	類	文様等の特徴	縄文原体と回転方向	遺構内出土土器	遺構外L区	遺構外M区
Ⅳ（後期）	皿	A	丸底または径の小さい平底で、胴部は内湾気味に立ち上がる器形。	1	無文。口唇部が平坦に面取りされている。（ミニチュア）	－		277、278	
				2	無文。口唇部の面取りなし。（ミニチュア）	－	252	279	
	鉢	A	丸底または径の小さい平底で、胴部は内湾気味に立ち上がる器形。	1	無文。研磨されている。（ミニチュア）	－	266	280、281	
				2	口唇部に小突起が付く。口縁部と胴上半部に沈線で区画された横位帯状文を描く。区画内は縦～不整方向の条痕文。	－	72		
		B	平底で、胴下半部から上半部まで直線的に外傾し、口縁部がやや内湾する器形。	1	口縁部は無文帯。それより下位に3～5条の横位平行沈線をめぐらし、沈線間に縄文を施文する。沈線の右端を下方に折り曲げて下段の沈線に接続させる部分が6～8箇所ある。胴部は無文。	LR横位。	9、19		210
				2	口唇部に突起が付く。口縁部は無文帯。それより下位は縄文を施文する。	LR横位。	32		
		C	平底で、胴下半部から上半部まで直線的に外傾し、胴上半部で内湾し、口縁部が屈曲して外反する器形。	1	波状口縁。口縁部に3段の刻目文帯をめぐらす。胴部は2本一組の沈線によって文様を描く。	－	39		
				2	口縁部は無文帯で、それより下位の縄文部とは1段の刻目文帯によって区切られる。縄文部は縄文を施文した後、その上に重ねて沈線文を描く。	LR横位。	43、55		
		D	平底で、胴部は内湾気味に立ち上がり、短い口縁部が屈曲して外反する器形。	1	口唇部を刻目列で縁取り、1条の横位沈線によって区切った下位には縦方向の羽状縄文を施文する。	LRを縦位と横位に交互に回転した羽状縄文。	71		
		E	底部に直立する低い台が付く。底部から口縁部まで大きく開く器形。	1	無文。	－	265		
		F	平底で、胴下半部は直立気味に立ち上がる。上半部は屈曲して大きく開く器形。	1	無文。	－			217
	深鉢	A	平底で、胴部はあまり開かずにやや外湾気味に立ち上がり、胴上部で内湾し、口縁部がわずかに外反気味に直立する器形。底径と胴上部の最大径、頸部径、口径の差があまり大きくなく円筒形の器形である。	1	全体に縄文を施文した後に、口縁部の上端と下端は、横位の竹管刺突列を沈線で囲った帯状文をめぐらして区画する。その間の8箇所をS字型～くの字型に同手法の帯状文で連結する。上部の帯状文との接続部には蕨手状の渦巻をつける。胴上半部には、2単位の山形沈線区画文を描き、それに沿わせたV字型の3本一組の沈線を配して区画文間を充填する。この沈線の端部は蕨手状の渦巻とする。胴部中央に2本の沈線をめぐらして上下を区切り、胴下半部にも2本一組の沈線によって波状文をめぐらす。	LR縦位。			205
		B	平底で、胴下半部は外湾して開き気味に立ち上がり、上半部で内湾し屈曲して口縁部が大きく外反する器形。	1	口縁部には内部に縄文が施文された円形の区画文を描く。肩部には3条の平行沈線をめぐらし、沈線の右端は下方に折れ曲がって下段の沈線に接続させる部分が8箇所ある。沈線間には縄文を施文し、それより下位は無文。	LR横位。			460
				2	口縁部上端は2段の刻目文帯によって縁取る。口縁部以下は沈線による区画文内に羽状縄文を充填する。	LR横位とRL横位の組み合わせによる羽状縄文。	14		
		C	平底で、胴下半部は内湾しながら立ち上がり、口縁部は屈曲して大きく開く器形。屈曲部は器高の中央または下から3分の2程の部位にある。口縁部は突起の付く大波状口縁。	1	大突起の内面に刺状の瘤が付く。屈曲部にめぐらす2本の縄文帯より上位、下位とも内部に縄文を充填した木の葉状入組文を描く。底辺部には縄文を施文する。	LR横位とRL横位を併用。またはその組み合わせによる羽状縄文。	29、98	282	
				2	内面の中心に縦位沈線のある山形突起が付く。屈曲部にめぐらす1本の縄文帯より上位、下位とも内部に縄文を充填した入組帯状文。底辺部には縄文を施文する。	LR横位とRL横位の併用。底辺部はいずれか一方のみ。	100	283～285	
				3	大突起がなく平縁の口唇部に瘤状の小突起が並ぶ。屈曲部にめぐらす2本の縄文帯より上位、下位ともに内部に縄文を充填した入組帯状文。底辺部は縄文を施文する。	LR横位とRL横位の併用。底辺部はLR横位のみ。		286	
				4	平縁の口唇部に大小2種の瘤状の突起が並ぶ。屈曲部にめぐる1本の縄文帯より上位は無文。下位には内部に縄文を充填したタスキがけ状入組帯状文。底辺部には縄文を施文する。	LR横位とRL横位の併用。底辺部はLR横位のみ。		287	
				5	小さい瘤が貼付けられた大突起内に入組帯状文を描く。（胴上半部以下は不明。）	LR横位とRL横位の併用。	23、24		
				6	内面に細い隆線を網目状に貼付けた大突起がある。大突起の表裏両面に小さい瘤を貼付ける。（胴上半部以下は不明。）	－		99、101	
				7	胴下半部に2本一組の沈線で曲線文を描く。（胴上半部、底辺部は不明。）	－			214
				8	瘤を貼付けた細い縄文帯で胴部の上下を区画する。胴下半部に網目状の沈線文を充填する。（口縁部、胴上半部は不明。）	LR横位。			215

第3表　土器分類表②　Ⅳ　群

群	器種	器形	器形の特徴	類	文様等の特徴	縄文原体と回転方向	遺構内出土土器	遺構外L区	遺構外M区
Ⅳ（後期）	深鉢	D	平底で、胴下半部から口縁部まで直線的に外傾して立ち上がり、屈曲部のない器形。	1	平縁の口唇部に小突起が付く。胴下半部にめぐらす1本の縄文帯より上位にタスキがけ状入組帯状文。下位は無文。	RL横位。		288	
		E	平底で、胴下半部から口縁部までゆるやかに内湾気味に立ち上がる器形。	1	口唇部は肥厚し上面を平坦に面取りする。全面に縄文を施文する。	LR横位。		289	
				2	口唇部は肥厚し上面を内側に斜めに面取りする。全面に横位の条痕文を施文する。	―	73、258、263	290	
				3	無文。	―	257		
		F	平底で、胴部は直線的に開いて立ち上がり、口縁部が内湾する器形。	1	口唇部外側に張り出す突起が付く。口縁部に竹管刺突列をめぐらし、突起上に連続させ、突起の中心で渦巻状の凹みとする。口縁部の竹管刺突列より下位には、上下を隆線で区画して太い縦位の沈線を充填した文様帯がめぐる。（胴上半部以下は不明。）	LR縦位。	30		
		G	平底で、低部から口縁部まで外反して立ち上がる器形。	1	縄文のみを施文する。	LR横位。	251		
		H	深鉢であると思われるが全体の器形が不明なものを一括する。	1	突起から口縁部に渦巻状の隆線を接続する。口縁部以下には沈線文。（胴上半部以下は不明。）	―	13、33		
				2	口縁部の波頂部に突起が付く。大波状口縁部内に縄文を充填した連続するS字文状の区画文を描く。（胴上半部以下は不明。）	LR横位とLR縦位の併用。			213
				3	口縁部上端を刻目文によって縁取る。口縁部は無文。（胴上半部以下は不明。）	―	85		
				4	中空の大突起。（口縁部、胴上半部等は不明。）	―			207
				5	連続指頭押圧痕を施文する。（口縁部、胴下半部等は不明。）	―			206
	壺	A	平底で、胴部は球形を呈し、直立気味の口縁部のある器形。	1	横位に連続する入組帯状文内に羽状縄文を施文する。（口縁部は不明。）	LR横位とRL横位の組み合わせの羽状縄文。			462
				2	縦位の逆S字状区画文内に羽状縄文を施文する。（口縁部、底部は不明。）	LR横位とRL横位の組み合わせの羽状縄文。	59		463
				3	無文。	―		291	
		B	底部に低い台が付く。胴部は球形を呈し、直立気味の口縁部のある器形。	1	縦位のS字状区画文内に羽状縄文を施文する。底辺部に1本の縄文帯をめぐらす。（口縁部は不明。）	LR横位とRL横位の組み合わせの羽状縄文。	267		464
		C	平底で、胴部は球形を呈し、直立する細長い口縁部のある器形。	1	胴部に3本一組の沈線でタスキがけ状入組文を描く。4箇所の入組部に瘤を貼付ける。	―		292	
				2	無文。	―			465
		D	底部は不明。胴部は球形に近いが最大径は胴上部にあり、直立する口縁部のある器形。	1	口縁部に削り出しによる2～3本一組の細い隆線で2段の入組帯状文を描く。帯状部が上下に重なる部分の中央に瘤を貼り付け、瘤に向かって隆線を集中させ、この部分では帯状部がX字状となる。胴部にも同様の文様を描く。器面は研磨され光沢がある。	―	25	97、293	
		E	底部、胴部は不明。口縁部直下に算盤玉形または袋形の膨らみ部分を有する器形。	1	算盤玉状の膨らみ部分と口縁部及び肩部との境界には刻目文帯をめぐらす。膨らみ部分の頂部にも4箇所に瘤を貼付けた刻目文帯をめぐらす。（口縁部、胴部は不明。）	―			466
				2	横位刻目文帯を袋状の膨らみ部分の上端、下端及び上部にめぐらす。（口縁部、袋状の膨らみ部分以下は不明。）	―			208、209
		F	直立する口縁部の直下が袋形に膨らむ器形で、膨らみ部に焼成前の穿孔が1箇所ある。有孔土器の一種か。	1	口唇部に小突起が付く。口縁部は小さい瘤を付けた3本一組の横位沈線をめぐらす。口縁部下端には小さい瘤を付けた2本一組の横位沈線をめぐらす。袋状の膨らみ部分にも3条一組の沈線文を描き、沈線文の交叉部に瘤を貼付ける。（袋状の膨らみ部分以下は不明。）	―		299	
	注口	A	径の小さい平底またはあげ底で、胴部は球形を呈する。胴中央部付近で最大径となり、この部位に瘤と注口部がつく。直立気味の短い口縁部がある器形。	1	4単位の波状口縁。全面に横位の羽状沈線を施文する。胴部の最大径部分の3箇所に瘤を貼付ける。	―		294	
				2	無文。胴部の最大径部分の3箇所に瘤を貼付ける。	―		295	
				3	口唇部に突起が付く。口縁部に横位沈線と縄文帯をめぐらす。胴部にはタスキがけ状入組文を描き、入組部の3箇所に瘤を貼付ける。	LR横位とRL横位を併用。	264		

第4表　土器分類表③　　Ⅳ　群

群	器種	器形	器形の特徴	類	文様等の特徴	縄文原体と回転方向	遺構内出土土器	遺構外L区	遺構外M区
Ⅳ（後期）	注口	B	径の小さい平底またはあげ底で、胴部は球形に近いが最大径は胴上部にあり、この部位に瘤と注口部がつく。直立気味の短い口縁部がある器形。	1	波状口縁。口縁部には8箇所に瘤を貼付けた横位5条の沈線をめぐらす。胴部にはタスキがけ状入組文を描き、入組部の3箇所に瘤を貼付ける。底辺部は縄文を施文する。	LR横位。	255	296	
				2	無文。胴部の最大径部分の4箇所に瘤を貼付ける。	−			467
				3	胴上半部は、瘤を貼付けた帯状文。下半部は無文。胴部の中央には4箇所に大きい瘤を貼付ける。	RL横位			468
		C	径の小さい平底またはあげ底で、胴下半部は大きく開きながら内湾気味に立ち上がり、胴上部で最大径となる。この部位に瘤と注口部がつく。胴部と口縁部の間に内傾する短い頸部がある器形。口縁部は不明。	1	胴上半部には、細かいキザミを入れたミミズばれ状の細隆線を2～3本集合して入組帯状文を描く。3箇所の入組部には大きいボタン状の瘤を貼付ける。胴下半部は無文。頸部にも同様の細隆線で文様を描き、4箇所に瘤を貼付ける。器面は研磨され光沢がある。（口縁部は不明。）	−			212
				2	無文。	−			469
		D	径の小さいあげ底で、胴部は球形に近いが最大径は胴上部にある。下部に2個の膨隆のある注口部が胴中央部につく。直線的に外反する口縁部がある器形。	1	無文。	−		297	
		E	径の小さいあげ底で、横に押しつぶした球形の胴部に直立気味の口縁部がある器形。	1	無文。	−		298	
		F	環状注口土器。胴下半部はほぼ直線的に開いて立ち上がる。注口部は胴中央部より下位に付く。	1	胴下半部は削り出した細い隆線を縦方向に施文し、その下段に細かいキザミを入れたミミズばれ状の細隆線を2本一組にしてめぐらし、8個の瘤を貼付ける。底辺部は無文。（胴上半部、口縁部は不明。）	−	49		
	有孔土器		平底で、胴部は縦長の楕円球形を呈する。口縁部は外反し大きく開く。	1	体部には横位に連続する3単位の区画文を描き区画内に縄文を充填する。底辺部に焼成前の穿孔が1個ある。	LR横位～不整方向。	272		
	香炉形土器		二又に分かれる吊り手状の天井部のある器形。（胴部は不明。）	1	吊り手状の天井部の上面に3本の横位沈線を描く。頂部の付け根には2条の沈線をめぐらす。（天井部以外は不明。）	−			216

群	器種	器形	器形の特徴	類	文様等の特徴	縄文原体と回転方向	遺構内土器	K区	L区	M区
Ⅴ（晩期）	皿	A	丸底または底径の小さい平底で、胴部が内湾しながら立ち上がる器形。	1	口唇部の1箇所に2個一対のB突起がつく。口縁部には羊歯状文を施文する。胴部は地文の縄文の上に入組沈線文と菱形文を描く。	LR横位。			104	
				2	口唇部に2個一対のB突起がつく。やや外反気味の口縁部には2段の横位刻目文帯、胴部には地文の縄文の上に入組沈線文を描く。	LR横位。			105	
				3	胴部全体に雲形文を施文する。	LR横位。			106～109 300～302	
				4	口縁部は雲形文帯をめぐらす。胴部は無文か、または2～3条の沈線をめぐらす。	LR横位。			110, 111 303, 304	
				5	口唇部にB突起がつくものとつかないものがある。口縁部には2段または1段の横位刻目文帯、または2本の沈線をめぐらす。	−			103 305～308	
				6	口唇部に2個一対のB突起が2組つくものもある。無文。	−			309～311	
		B	底径の大きい平底で、胴部は直線的または外湾気味に立ち上がる器形。	1	口唇部にはB突起が連続し、器内面で連結する装飾を施す。胴部は雲形文を施文する。	LR横位。		90	112～115 312～314	
				2	口唇部に1条の沈線、または連続する短沈線をめぐらす。胴部は雲形文を施文する。	LR横位。		91	116,117,315	
		C	ゆるやかな丸底または径の大きい平底で、胴下半部は内湾しながら立ち上がり、上半部が外反する器形。	1	口縁部、胴部はともに羊歯状文を施文する。胴下半部の1箇所に縦のB突起を1個貼付ける。	−			118	
				2	口唇部の4箇所にB突起を4個組み合わせた突起部がある。口縁部、胴部ともに雲形文を施文する。口縁部内面にも雲形文を施文する。	LR横位。			119	
		D	底面に4箇所の突起部による脚部をもつ器形。	1	口縁部に三叉文や短孤線文を組み合わせた文様を沈線で施文する。	−			316	
				2	口縁部には1段の刻目文帯をめぐらす。胴部には三叉文、入組沈線文、孤線文等を組み合わせた文様を描く。	−			120	
				3	無文。	−	268			
		E	低い胴部がゆるやかに内湾気味に立ち上がり、底面には短い棒状の脚をもつ器形。	1	口唇部には頂部に刻目の入る突起がつく。無文。	−			141	
	台付皿	A	皿部の胴部が内湾して立ち上がり、口縁部は外反する器形。	1	口唇部の1箇所に大突起がつく。口縁部には玉抱き三叉文を施文する。胴部は無文。	−			121	
		B	皿部の胴部は水平に近い角度で広がり、口縁部が直立する器形。	1	口縁部に変形羊歯状文、台部の上部に羊歯状文を施文する。他は無文。	−			317	
		C	皿部の胴部が内湾しながら立ち上がる器形。	1	口縁部の4箇所に玉抱き三叉文を描いた突起部がつく。口縁部には三叉文を施文する。胴部は縄文を施文する。	LR横位。			318	
				2	口唇部にはB突起が連続し、器内面で連結する装飾を施す。胴部は雲形文を施文する。台部は沈線で入組文を描く。台部に透かし孔をあけるものもある。	LR横位。			122～125 319	
	鉢	A	丸底または径の小さい平底で、胴部は内湾し、口縁部が大きく外反する器形。	1	口唇部の1箇所に2個一対のB突起が5対一組となってつく。2個1対のB突起が3箇所つくものもある。口縁部に入組三叉文、胴部には縄文を施文する。	LR横位。			320,321	

第3表　土器分類表④　　Ⅳ　群、Ⅴ　群

群	器種	器形	器形の特徴	類	文様等の特徴	縄文原体と回転方向	遺構内土器	K区	L区	M区
V（晩期）	鉢	A		2	口縁部に入組帯状文の沈線部分が変形したモチーフを沈線で描く。胴部には縄文を施文する。	LR横位。			322	
				3	口唇部に刻目を施す。口縁部は変形羊歯状文、胴部には縄文を施文する。	LR横位。			323	
				4	口唇部にはB突起が連続する装飾がある。口唇部内面に沈線を1条めぐらす。口縁部は無文。口縁部下端の1箇所に突起を1個つける。胴上半部には三叉文等を沈線で描く。	―			324	
				5	口唇部内側に1条の沈線をめぐらす。口縁部は無文。胴上半部は地文の縄文の上に三叉文、孤状文等の沈線文を描く。胴下半部は縄文を施文する。	LR横位。			325	
				6	口唇部に大突起が付く。全体に無文。	―			326	
				7	口縁部が平縁のものと波状口縁のものがある。全体に無文。	―			327～329	
				8	口縁部には地文の縄文の上に二重連弧文を描き、縄文の一部を磨消する。頸部に隆線を2条貼付け、隆線間に等間隔の瘤を貼付ける。胴部には、縄文を施文する。	LR横位。			330	
		B	平低で、胴下半部は外反して立ち上がり、上半部で内湾し屈曲して口縁部が強く外反する器形。	1	口唇部の1箇所に3個一組のB突起がつく。口縁部に縄文を施文し、縦に弧線で区切る。胴部には縄文を施文する。	LR横位。			331	
				2	口唇部に8個のB突起がつく。口縁部上部に間欠刻目文、下部には横位に沈線をめぐらす。胴部との境界の1箇所に縦のB突起を貼付ける。胴部には縄文を施文する。	LR横位。			332	
				3	口唇部に細かい刻目を施す。口縁部は無文帯。胴部には縄文を施文する。	RL横位～不整方向。			333	
				4	口唇部と肩部に角棒状工具の端部による三角形刺突痕列を施す。口唇部内側に沈線を1条めぐらす。口縁部は無文。胴部には縄文を施文する。	LR横位。			334	
				5	口縁部は無文。胴部には縄文を施文する。	LR横位。			335	
		C	平低で、胴下半部から口縁部まで内湾気味に立ち上がり、屈曲部分のない器形。	1	口唇部の16箇所（推定）にB突起がつく。口縁部に連結玉抱き三叉文、胴部には縄文を施文する。底辺部は無文帯とする。	LR横位。			336	
				2	口唇部に細かい刻目を施し、口縁部の上部にかけては変形羊歯状文を描く。口縁部は2段の刻目文帯と2条の沈線をめぐらす。胴部には縄文を施文する。底辺部は無文帯とする。	LR横位。			337～342	
				3	口唇部に細かい刻目を施す。口縁部に羊歯状文、胴部には縄文を施文する。底辺部は無文帯とする。	LR横位とLR縦位。			343	
				4	口唇部に細かい刻目を施す。口縁部に間欠刻目文をめぐらす。胴部には縄文を施文する。底辺部は無文帯とする。	LR横位。			344	
				5	口唇部の8～16箇所（推定）にB突起がつく。口縁部は連続短沈線、不整沈線と横位沈線をめぐらす。胴部には縄文を施文する。底辺部は無文帯とする。	LR横位、またはLR縦位。			345･346	
				6	口唇部の1箇所に3個のB突起。口縁部には1段の刻目文帯をめぐらす。胴部は無文。	―			347	
				7	口縁部に2状の沈線をめぐらす。胴部は無文。	―			348	
				8	口唇部の1箇所に山形の突起が1個つく。胴部は無文。	―			349	
				9	無文。	―			350～355	
				10	全面に縄文を施文する。	LR横位。			356～363	
		D	平底で、胴下半部から口縁部まで内湾気味に立ち上がり、屈曲部分のない器形。底部に4箇所の突起部による脚部をもつ器形。	1	口縁部は1段の刻目文帯と1条の沈線をめぐらす。胴部は無文。	―			364	
		E	平底で、胴下半部は直線的に外反して立ち上がり、口縁部が内湾する器形。	1	口唇部に刻目を施す。口縁部に2条の沈線をめぐらす。沈線上に横位のB突起が1個つくものもある。胴部には縄文を施文する。	LR横位。			365～367	
				2	口唇部に刻目を施す。口縁部には幅の狭い無文帯があり、胴部には縄文を施文する。	LR横位。			368	

第3表　土器分類表⑤　　V　群

群	器種	器形	器形の特徴	類	文様等の特徴	縄文原体と回転方向	遺構内土器	K区	L区	M区
V（晩期）	台付鉢	A	胴部は強く内湾して立ち上がり、屈曲して口縁部が強く外反する器形。	1	小波状口縁で、口縁部には三又文、胴部には縄文を施文する。	LR横位。			369	
				2	口唇部は8箇所（推定）に山形の突起部がある。口縁部には入組三又文、胴部には縄文を施文する。	LR横位。			370	
				3	口唇部に細かい刻目を施す。口縁部には3段の刻目文帯をめぐらす。胴部には縄文を施文する。	LR横位。			371	
		B	胴部は内湾して立ち上がり、口縁部は直立気味にやや外反する器形。	1	小波状口縁で、口縁部は2本の刻目文帯の間に連続二重連弧文をめぐらす。胴部には沈線で縦に区画された中に花弁状の縄文部分がはめ込まれる。台部下端にも刻目文帯をめぐらす。	LR横位。			372	
				2	小波状口縁で、口縁部には羊歯状文、胴部には縄文を施文する。胴部下端と台部上部に刻目文帯をめぐらす。	LR横位。			373	
				3	口唇部に細かい刻目を施す。口縁部に2条の沈線にはさまれて、間欠刻目文帯が1段入る。胴部には縄文を施文する。台部は無文。	LR横位。			374	
		C	胴部は直線的に外反して立ち上がり、上部で内湾し、屈曲してやや長めの口縁部が直線的に外反する器形。	1	口唇部の1箇所に3個一組のB突起がつく。口縁部内側に沈線を1本めぐらす。口縁部には刻目文帯を斜めに配置する。肩部には斜めの刻目を入れた隆帯を貼付け、隆帯直下の11箇所にB突起を縦に貼付ける。胴上半部の広い無文帯の中に、平行四辺形の縄文部を区画して設け、その中に入組三又文・菱形の沈線文を描く。胴下半部には縄文を施文する。	LR横位。胴下半部の上位のみLR斜位で条が縦走。			375	
				2	口唇部に細かい刻目を施す。口縁部には沈線で入組三又文に似た文様を描く。肩部の1箇所にB突起を縦に貼付ける。胴上半部には雲形文、下半部には縄文を施文する。	LR横位。			376	
				3	平縁で、口縁部は無文帯とする。胴上半部に雲形文、下半部には縄文を施文する。	LR横位。			377	
				4	口唇部は連続するB突起がつく。口縁部は無文帯とする。肩部の1箇所にB突起を縦に貼付ける。胴上半部には雲形文、下半部には縄文を施文する。	RL横位。			378	
				5	口唇部には連続するB突起がつく。口縁部内側に沈線を1本めぐらす。口縁部は無文帯とする。胴上半部には雲形文、下半部には縄文を施文する。	LR横位。			379	
		D	胴部は直線的に外反して立ち上がり、上部で内湾し、屈曲して短い口縁部が直立または外反する器形。	1	口唇部に細かい刻目を施し、8箇所（推定）にB突起がつく。口縁部の内側に1本の沈線をめぐらす。口縁部から肩部にかけて間欠刻目文帯と3本の沈線をめぐらす。胴部には縄文を施文する。	LR横位。			380	
				2	口唇部に細かい刻目を施す。内側に1本の沈線をめぐらす。口縁部は幅の狭い無文帯とし、肩部に2～3条の沈線をめぐらす。肩部の1箇所にB突起を縦に貼付ける。胴部には縄文を施文する。	LR横位、またはRL横位。			381～383	
				3	口唇部に細かい刻目を施す。口縁部は幅の狭い無文帯とし、胴部には縄文を施文する。	LR横位。			384	
		E	胴部は内湾して立ち上がり、短い口縁部がゆるやかに外反する器形。	1	口唇部の6箇所にB突起がつく。口縁部は無文帯とし、胴部には縄文を施文する。	LR横位。			385	
		F	胴下半部から口縁部まで内湾して立ち上がり、屈曲部分のない器形。	1	口縁部に刻目文帯と沈線をめぐらし、胴部には縄文を施文する。台部下端にも縄文帯をめぐらす。	LR横位。			386	
				2	口唇部に細かい刻目を施す。口縁部には間欠刻目文帯と横位沈線をめぐらす。胴部には縄文を施文する。	LR横位。			387	
				3	口唇部に細かい刻目を施す。口縁部には刻目文帯と沈線文をめぐらす。胴部は無文。台部下端は刻状の透かしを入れるものもある。	－	269		388	
		G	屈曲のある高い台がつき、胴部が内湾気味に立ち上がる器形。	1	胴部には縄文を施文する。台部の8箇所に円孔の透かしを入れる。	LR横位。			389	
	深鉢	A	平底で、胴部が直線的に外反して立ち上がり、口縁部がさらに外反する器形。	1	口唇部に細かい刻目を施す。口縁部に3本の沈線をめぐらし、胴部には縄文を施文する。	LR横位。			390	
		B	平底で、胴部が内湾して立ち上がり、口縁部が外反する器形。	1	小波状口縁。口縁部には変形三又文、胴部には縄文を施文する。	LR横位。			391	
				2	口唇部の1箇所に2個一対のB突起がつく。口縁部は無文帯とし、胴部には縄文を施文する。	LR横位。			392	
				3	小波状口縁。全面無文。	－			393	
				4	口唇部には部分的に刻目を施す。口縁部には上下に向き合う連続二重連弧文を施文する。弧線の接続部分に沿わせて三又文を充填する。連弧線部分には縄文を施文する。胴部との境界は短沈線列をはさむ2本の沈線をめぐらす。胴部には縄文を施文する。	RL横位。			394	

第3表　土器分類表⑥　　V　群

群	器種	器形	器形の特徴	類	文様等の特徴	縄文原体と回転方向	遺構内土器	K区	L区	M区
V（晩期）	深鉢	B		5	口唇部には頂部に刻目の入る突起がつく。口縁部には入組部に刺突のある入組帯状文を施文する。	LR横位。	46			
		C	平底で、胴部がやや内湾気味に立ち上がり、上部で強く屈曲して口縁部が外反する器形。	1	口唇部に刻目を施し、B突起がつく。口縁部の上下に刺突列をめぐらし、その間に地文の縄文の上から入組連弧文を描く。胴部には縄文を施文する。	LR横位。口縁部と胴部は異原体。			395	
				2	口唇部には頂部に上から刺突を施した3弧一対の小波状突起がつく。口縁部の上下に短沈線列をはさむ2本1組の沈線をめぐらし、その間に向き合う連続二重連弧文を施文する。胴部には縄文を施文する。	LR横位。			396	
				3	口唇部には3個一組の小波状突起がつく。口縁部には三重丸を横に連ね、その間に二重または一重の弧線を配する沈線文を描く。口縁部の下端に刻目文帯をめぐらす。胴部には縄文を施文する。	LR横位。			397	
				4	口縁部には、口唇部に接続する下向きの二重連弧文を描く。胴部には縄文を施文する。	LR横位。			398	
				5	口唇部に細かい刻目を施し、一部にB突起がつく。口縁部は上下を沈線で区画し、内部は無文帯とする。胴部には縄文を施文する。	LR斜位。条が縦走。			399	
		D	平底で、底部から口縁部まで直線的に外反する器形。	1	口唇部に刻目を施す。口縁部に3本の沈線をめぐらし、胴部には縄文を施文する。	LR横位。			400,401	
				2	全面に縄文を施文する。	LR横位が主体。RL横位。			402～405	
				3	無文。	－			406	
				4	全面に縦方向のケズリを施す。	－			407	
		E	平底で、底部から口縁部までゆるやかに内湾して立ち上がる器形。	1	口唇部に2個一組の突起と3個一組の突起を交互に配置する。口縁部の上端は2段の刻目文帯で縁取る。口縁部は縄文帯で、その中に沈線区画内を磨消した入組三叉文を描く。口縁部の下端も貼瘤をはさむ2段の刻目文帯をめぐらす。	LR横位。	58		408	
				2	口縁部には口唇部に接続する下向きの二重連弧文を描く。二重の弧線と口唇部にはさまれた部分の一部に縄文を施文する。口縁部の下端に2本の沈線ではさんだ短沈線列をめぐらす。胴部には縄文を施文する。	LR横位。			409	
				3	口唇部には細かい刻目を施す。口縁部は上下を沈線ではさんだ短沈線列を2段めぐらす。胴部には縄文を施文する。	RL横位。			410	
				4	口唇部には細かい刻目を施す。口縁部には3本の沈線をめぐらす。胴部には縄文を施文する。	LR横位。			411	
				5	口唇部の1箇所に2個一組のB突起がつく。無文。	－			412,413	
				6	全面に縄文を施文する。	LR横位・RL横位・RL斜位（条縦走）			414～420	
				7	口縁部に二重連弧文を描く。胴上半部には縄文を施文する。胴下半部は無文。	LR横位。			421	
				8	口唇部に2個一対のB突起がつく。口縁部には刻目文帯にはさまれた変形入組帯状文を施文する。	RL横位。			137	
	壺	A	丸底または径の小さい平底で、最大径が胴部中央から下半にある球形の胴部に、内頸する長い頸部がつき、口縁部が外反する器形。	1	器表面を研磨した胴部全面に菱形文、剣菱文等を施文する。	－			422	
				2	口唇部の4箇所に2個一対のB突起がつく。口唇部内側に1本の沈線をめぐらす。器表面を研磨した無文の頸部の下端に2段の刻目文帯をめぐらし、4箇所に縦のB突起を貼付ける。胴部には雲形文を施文する。	－			423	
				3	器表面を研磨した無文の頸部の下端に2本の隆線をめぐらし、4箇所を縦のB突起で連結する。胴部は無文。胴部に2条の沈線をめぐらすものもある。	－			424～427	

第3表　土器分類表⑦　　V　群

群	器種	器形	器形の特徴	類	文様等の特徴	縄文原体と回転方向	遺構内土器	K区	L区	M区
V（晩期）	壺	B	平底で、最大径が胴部中央から上半にある球形の胴部に、内傾する短い頸部がつき、皿状の口縁部をもつ器形。	1	無文。	－			428	
		C	丸底に近い平底で、最大径が胴部上半にある細長い胴部に、内傾する長い頸部がつき、外傾する口縁部をもつ器形。	1	口唇部の1箇所に3個一組のB突起がつく。口縁部と肩部にはそれぞれ1段の刻目文帯をめぐらす。胴部には縄文を施文する。	LR横位。			429	
		D	平底で、最大径が胴部上半にある球形の胴部に、内傾する短い頸部がつき、口縁部が外反する器形。	1	口縁部は縄文帯、頸部は無文帯とし、胴部には口縁部と同じ縄文を施文する。各部位の境界には沈線をめぐらす。	LR横位。			430～432	
		E	丸底または径の小さい平底で、最大径が胴部中央から下半にある球形の胴部に、外反する口縁部がつく器形。	1	口唇部の1箇所に2～3個一対のB突起がつく。口唇部の内側に1本の沈線をめぐらす。口縁部は無文で、肩部に縦位のB突起を貼付ける。胴部には縄文を施文する。	LR横位、RL横位。			433,434	
				2	口縁部は無文。肩部全体には角棒状工具の端部による三角形刺突痕列を施す。胴部には縄文を施文する。	RL横位～斜位。			135	
				3	口縁部は無文。胴部には縄文を施文する。	LR横位。	262		435	
				4	無文。	－		274	436,437	
		F	平底で、最大径が胴部中央から下半にあるやや縦長の球形の胴部に、外反する口縁部がつく器形。	1	口縁部の上半は縄文帯、下半は無文帯とし、胴部には口縁部の上半と同じ縄文を施文する。縄文部と無文部の境界は沈線で区画する。	RL斜位（条縦走）。LR横位。			438,439	
				2	無文。	－			440,441	
		G	平底で、最大径が胴部上半にある縦長の楕円球形の胴部に、外反する口縁部がつく器形。	1	口縁部の上半は縄文帯、下半は無文帯とし、胴部には口縁部の上半と同じ縄文を施文する。縄文部と無文部の境界は沈線で区画する。	RL横位。LR横位。			442～444	
				2	口縁部は無文。胴部には縄文を施文する。	LR横位。LR斜位（条縦走）。LR縦位。			445～447	
		H	平底で、細長い胴部に、外反する口縁部がつく器形。	1	口縁部の上半は縄文帯、下半は無文帯とし、胴部には口縁部の上半と同じ縄文を施文する。	LR横位。			448～450	
				2	無文。	－			451	
		I	平底で、胴部はやや縦長の球形で、直立気味の短い口縁部が付く器形。	1	口縁部の上半は縄文帯、下半は無文帯とし、胴部には口縁部の上半と同じ縄文を施文する。縄文部と無文部の境界は沈線で区画する。	LR横位。			452	
				2	無文。	－		275	453～455	
	注口	A	丸底で、丸味を帯びた肩部から口頸部が内傾し、外反する口縁部がつかない器形。	1	頸部に入組三叉文、渦巻文等を施文する。底面には注口部の下部に渦巻状の文様を施す。	－		92	126,456	
				2	口頸部に羊歯状文を施文する。底面には注口部の下部に弧線文を施す。	－			127	
				3	正面の口唇部に5個一組のB突起がつく。口頸部に羊歯状文を施文する。肩部の3箇所と、注口部の周りを取り囲む菱形の隆線の頂点にB突起をつける。底面は注口部の下部に沈線文を施す。	－		93		
		B	丸底で、明確な稜をもつ肩部から内傾する頸部が外湾気味に立ち上がり、皿状の短い口縁部がつく器形。	1	正面の口唇部にB突起を組み合わせた突起がつく。口唇部には細かい刻目を施す。頸部には横位に連続する雲形文を施文し、肩部にはB突起の連続による装飾を施す。胴部から底面にかけては雲形文を施文する。注口部の周りを取り囲む菱形の隆線の頂点と注口部の上下にB突起がつく。	LR横位。			128～131 457,458	

第3表　土器分類表⑧　　V　群

群	器種	器形	器形の特徴	類	文様等の特徴	縄文原体と回転方向	遺構内土器	K区	L区	M区
V（晩期）	注口	C	底径の大きい平底で、下半部が直線的に外反し、上半部は内傾する算盤玉形の胴部に、直線的で短い頸部がつき、外反する口縁部をもつ器形。	1	正面の口唇部にB突起を組み合わせた装飾を施す。頸部は無文。肩部と胴部に雲形文を施文する。	LR横位。			132	
		D	内傾する直線的な頸部に、大型の皿状に内湾する口縁部がつく器形。（頸部以下は不明。）	1	口唇部に隆線で装飾した大型のB突起がつく。口縁部外面には凹凸の激しい刻目文や横位隆線文等を施す。	－			133	
	香炉形土器		2箇所に大円孔のある胴上半部が強く内傾し、胴部が算盤玉形の器形。（胴下半部以下は不明。）	1	大円孔の端部には刻目とB突起を施す。大円孔の周囲には十字形の透かしを入れる。胴中央部の屈曲部には連続するB突起による装飾を施す。	－		276	136	

群	帰属群の推定	類	器種	器形・文様等の特徴	遺構内出土土器	K区	L区	M区
VI	Ⅳ～Ⅴ	1	皿	薄手で器形は不整形。表裏両面に手づくねの指頭押圧痕を顕著に残す。焼成は良好。			140	
		2	鉢	胴部が内湾して立ち上がる片口のつく鉢。口縁部は平縁で、胴部にはLR横位回転の縄文を施文する。			138	
		3	深鉢	わずかに内湾して立ち上がる器形である。器面を縦に分割して、集合沈線による縦方向の入組流水文、縄文、無文の三種の異なる文様等を施文する。縄文はRL縦位回転である。			102	
		4	多孔底土器	底部に焼成前の穿孔が多数ある小型の土器。丸底のものと、低い台のつくものがある。	26		139	219、220

	種類	遺構内	遺構外 K区	遺構外 L区	遺構外 M区
土製品	中実の土偶		88	147	224～230
	中空の土偶			145a・b、146、461	
	スタンプ状土製品			142	
	鐸形土製品			144	
	蓋形土製品				221
	耳飾り			143	222、223
	円盤状土製品	27.63	87	148～158	231～243
	不明土製品				218

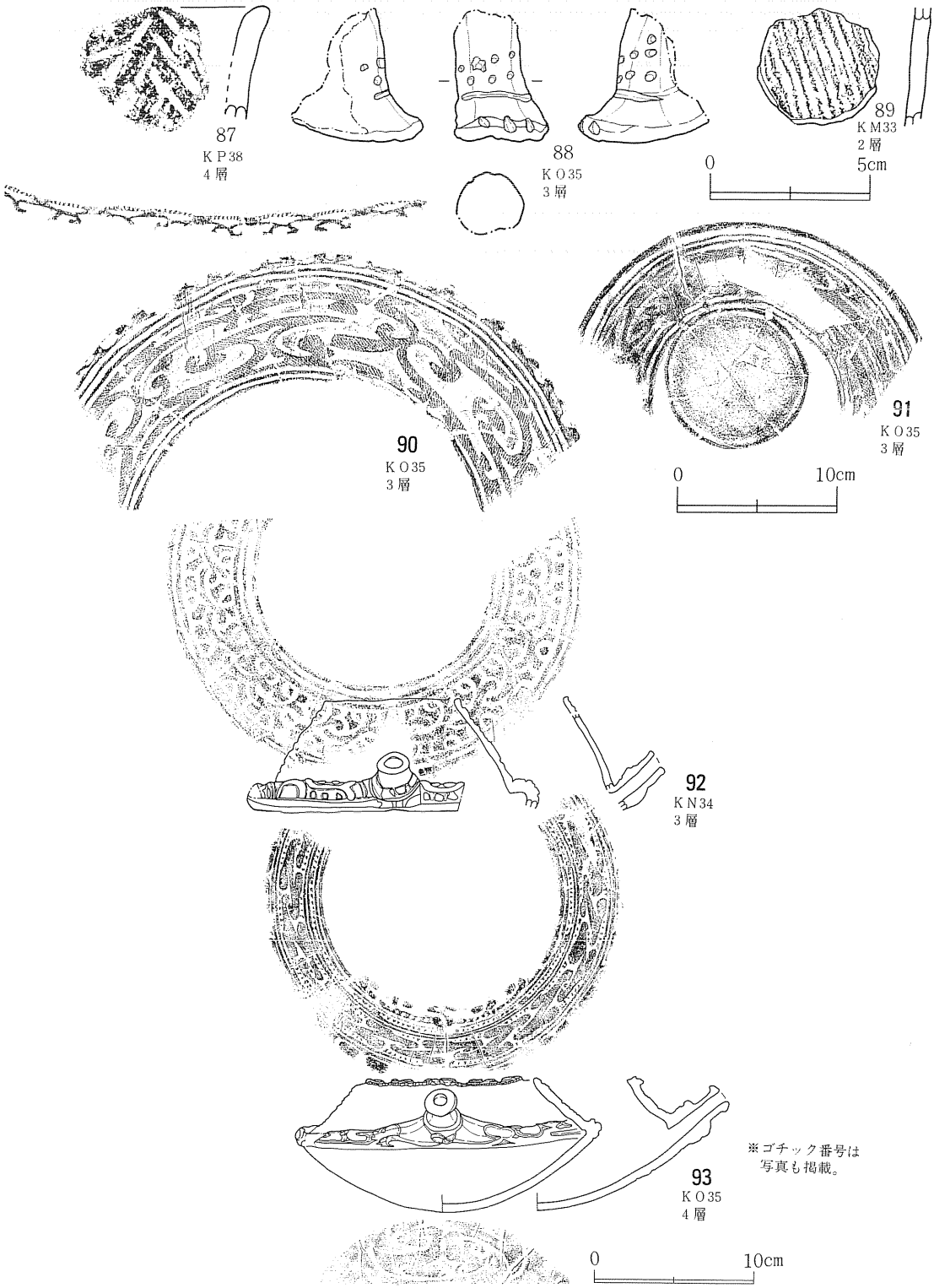
第3表　土器分類表⑨　　V　群、VI　群、　土製品

Ⅳ群型式名等 ＼ 器種 / 器形	皿	鉢						深鉢							壺						注口						有孔土器	香炉形土器
	A	A	B	C	D	E	F	A	B	C	D	E	F	G	H	A	B	C	D	E	F	A	B	C	D	E	F	
(三十稲場式)															5													
「十腰内Ⅰ」								1																				
「十腰内Ⅱ」(加曽利Ｂ２式)			1						1						1												1	
「十腰内Ⅲ」				1 2					2				1		3					1 2	1							
「十腰内Ⅳ」										1 2 3 4 5	1				2	1 2	1	1	1			1 3		1				
「十腰内Ⅴ」(新地式)										6 8													1 3				1		
不　　明	1 2	1 2	2			1	1	1		7		1 2 3		1	4	3		2				2	2	2	1	1			1

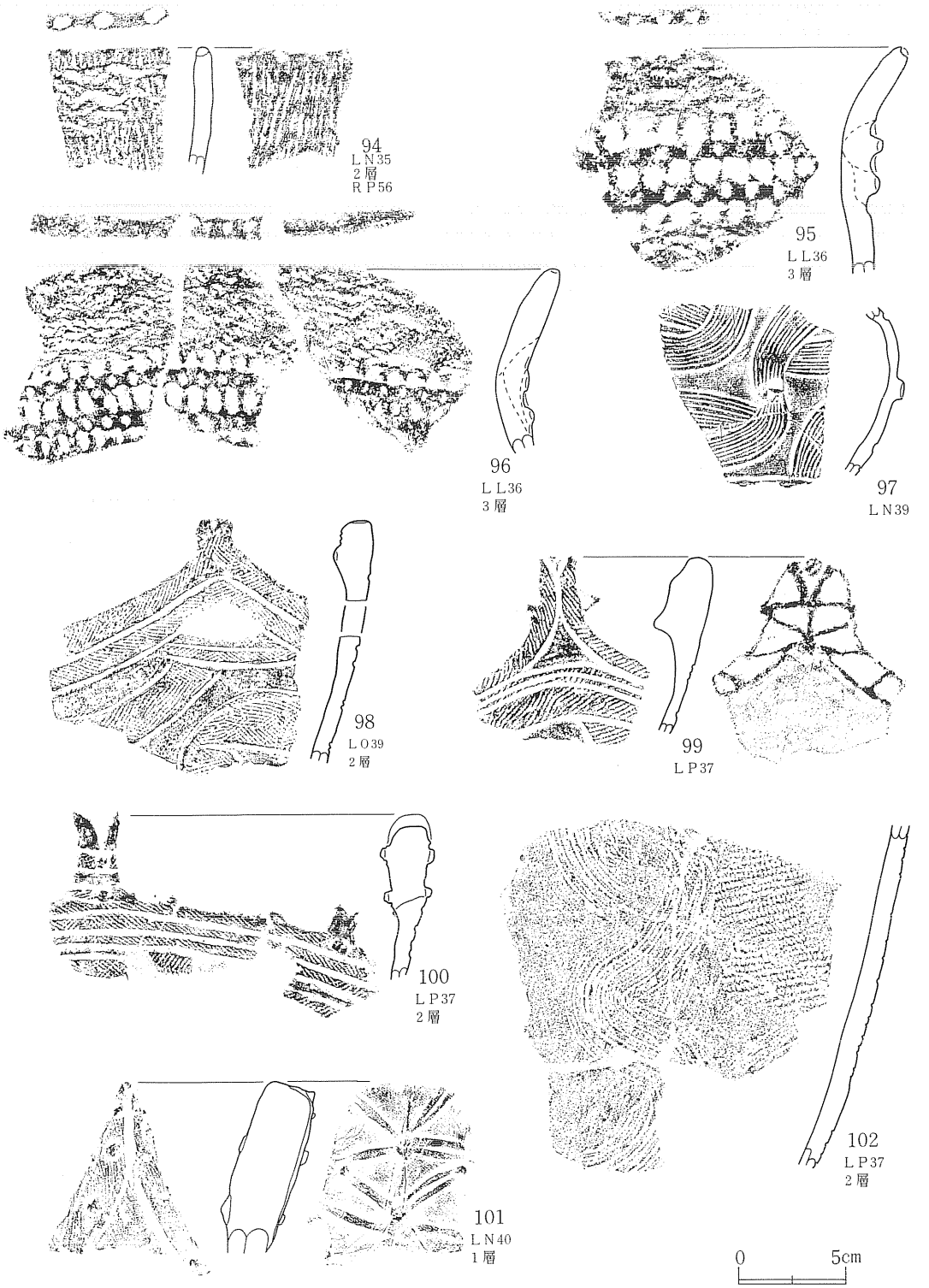
表中の数字は類をあらわす。( )は推定。

V群型式名等 ＼ 器種 / 器形	皿					台付皿			鉢					台付鉢							深鉢					壺									注口				香炉形土器
	A	B	C	D	E	A	B	C	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	F	G	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	F	G	H	I	A	B	C	D	
大洞Ｂ式				1	1	1		1	1 2 6 8		1 (8)			1 2										1 8										1				
大洞ＢＣ式	1 2		1	2			1		3	1 (2)	2 3 6 7	1		3	1 2	1		(1)	1	1		1 (2) 4	1 2 3 4		2 (5) 7	1 2	1	(1)						2 3			(1)	(1)
大洞Ｃ１式	3 4 5 6	1	2					2	4		4 5				3	2 3 4			2 3				5		3	(3)									1				
大洞Ｃ２式		2							5	(3) 4			1 2			5	1 2 3				1			1	4				1 2							1		
不　　明									7	5	9 10											3		2 3 4	6				1	3 4	1 2	1 2	1 2	1 2					

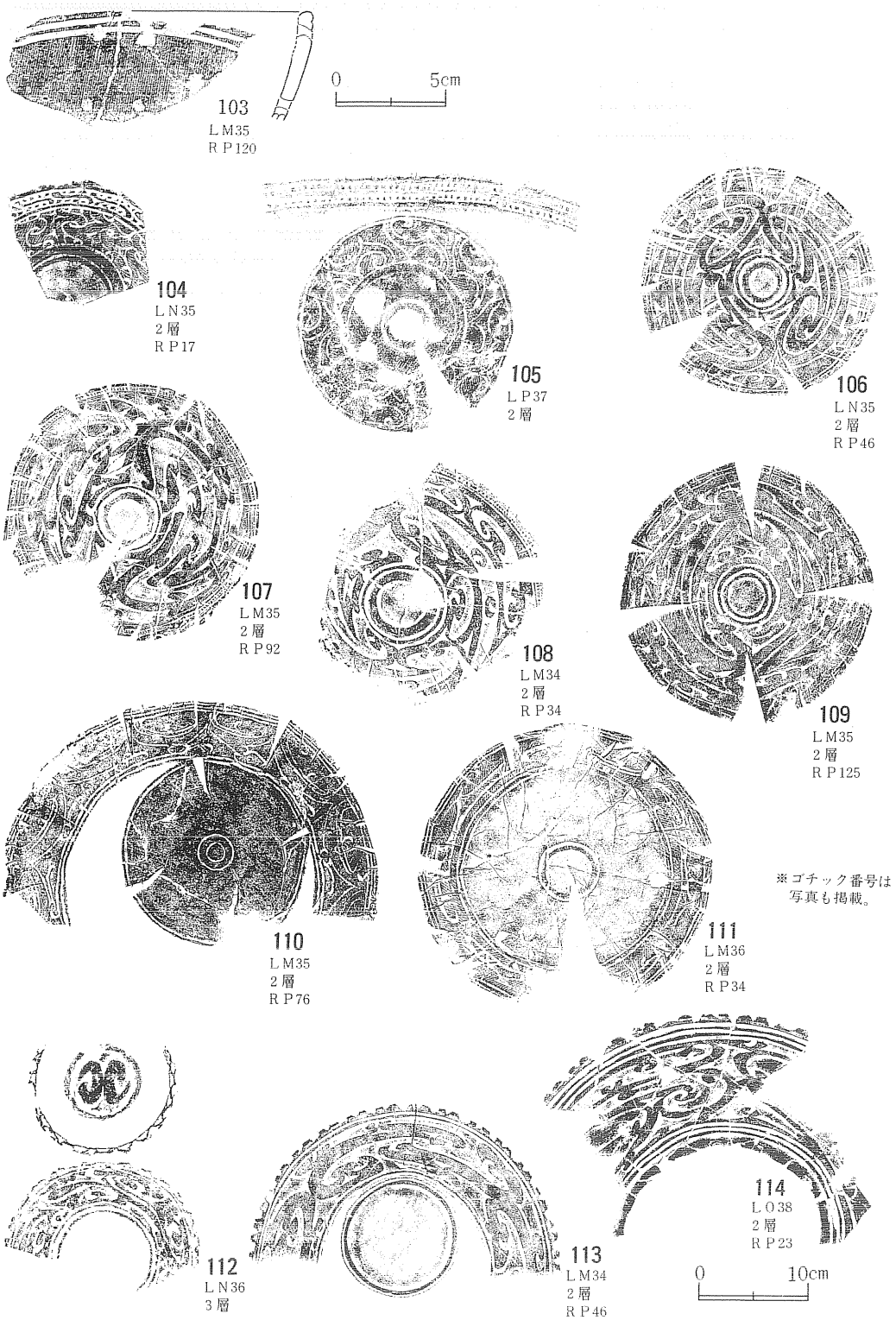
第5表　Ⅳ群・Ⅴ群　各類別型式対応表



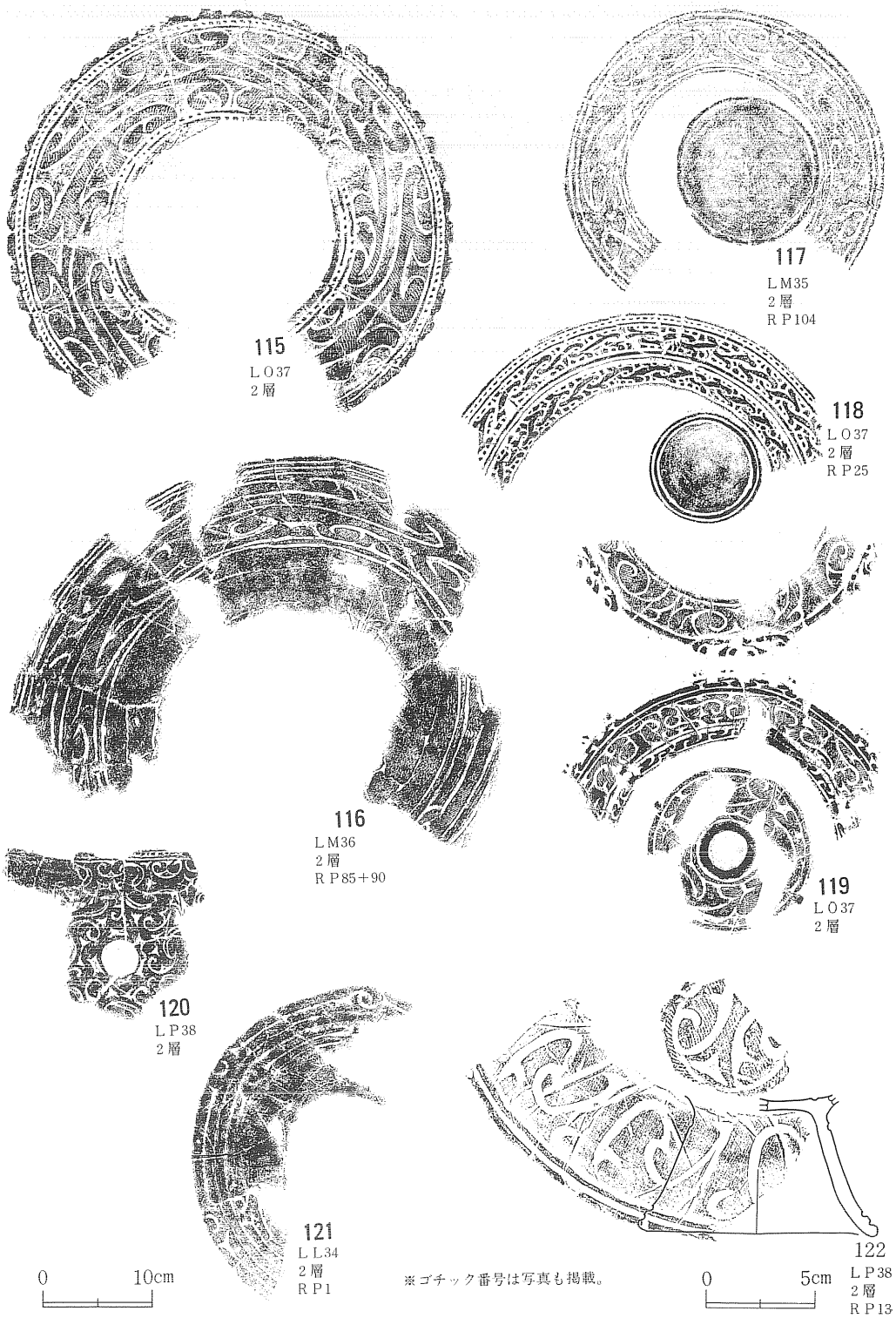
第21図　遺構外出土土器・土製品(1)　Ｋ区



第22図　遺構外出土土器・土製品(2)　Ｌ区①

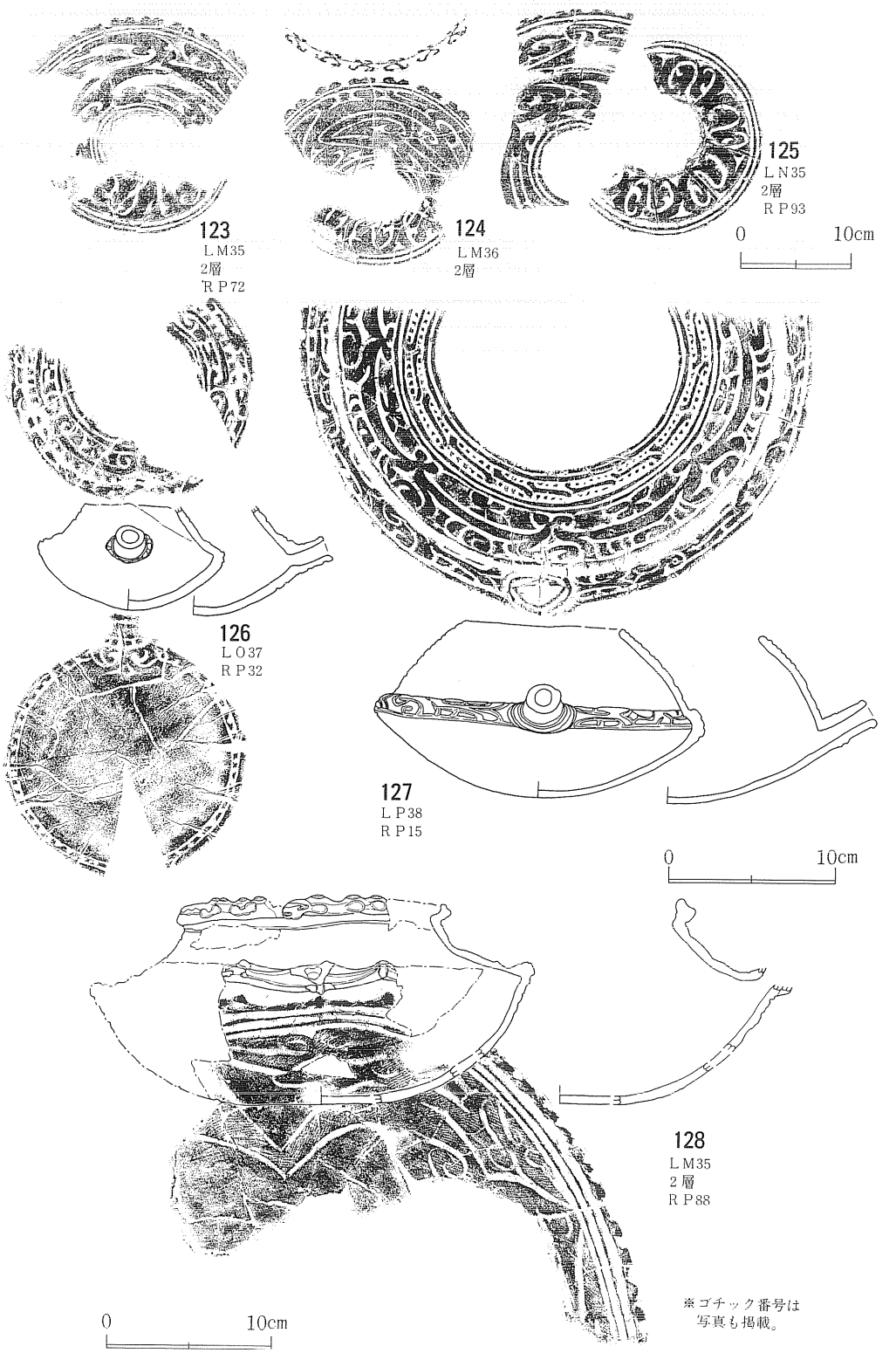


第23図　遺構外出土土器・土製品(3)　Ｌ区②



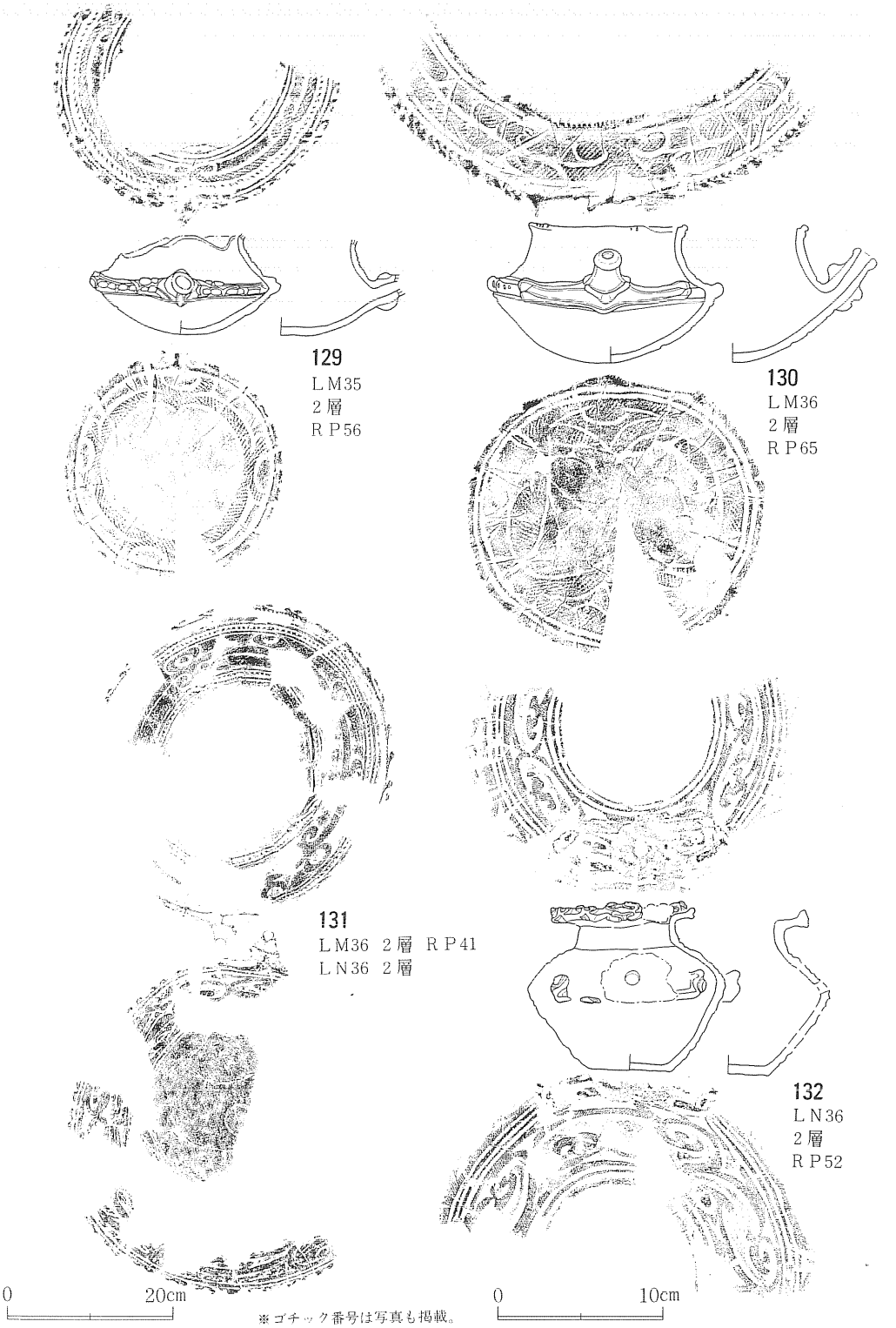
※ゴチック番号は写真も掲載。

第24図　遺構外出土土器・土製品(4)　Ｌ区③



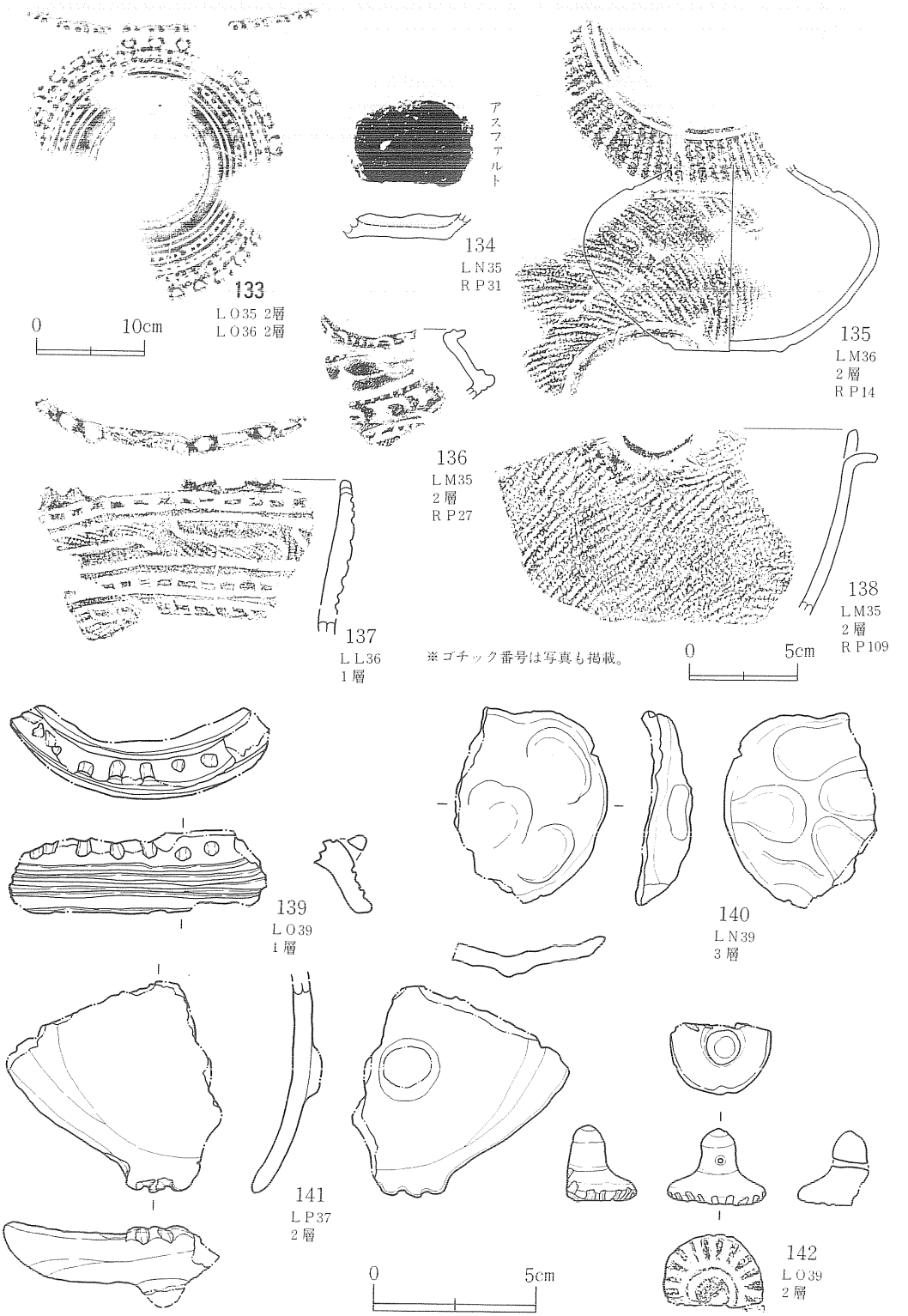
※ゴチック番号は
写真も掲載。

第25図　遺構外出土土器・土製品(5)　Ｌ区④

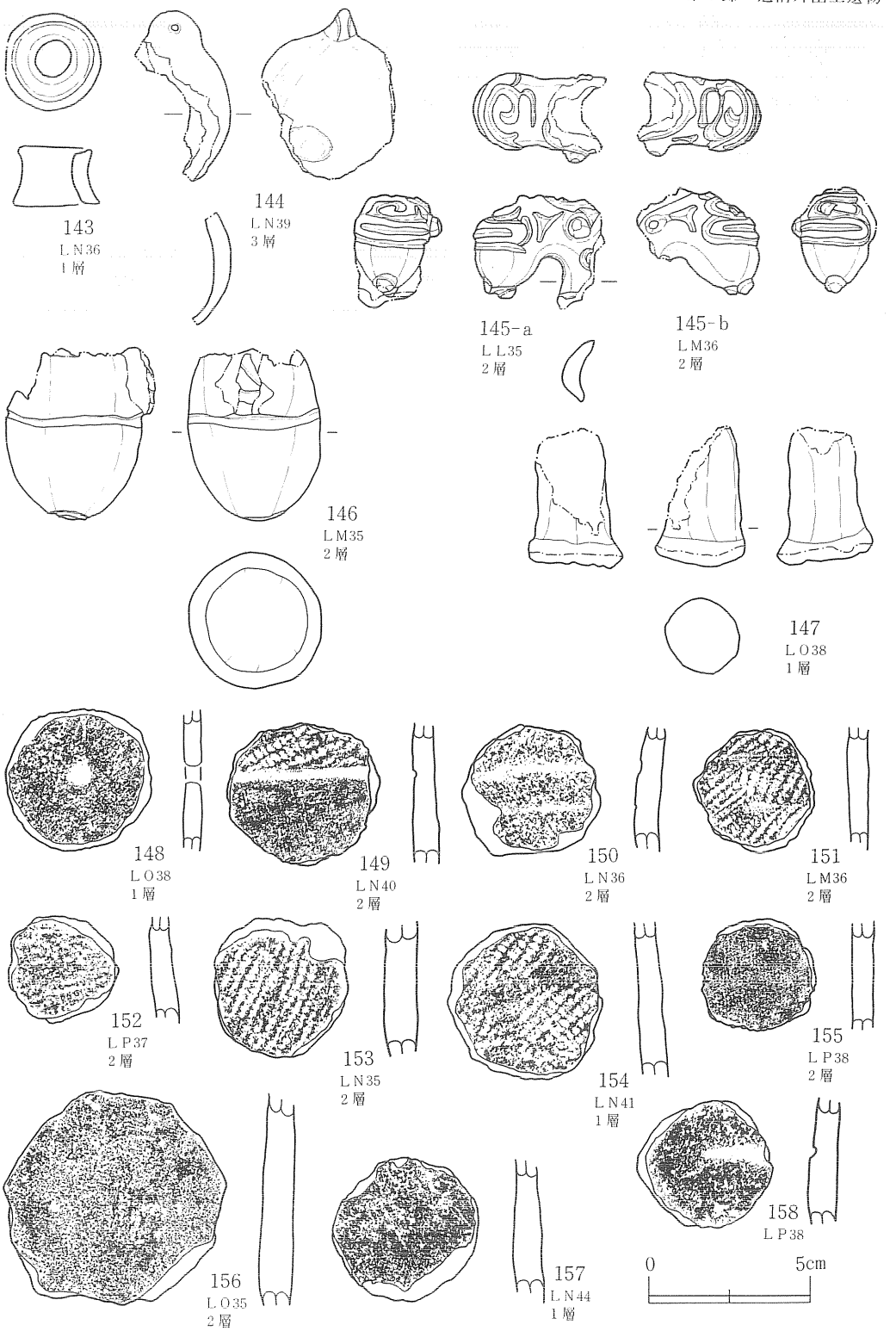


※ゴチック番号は写真も掲載。

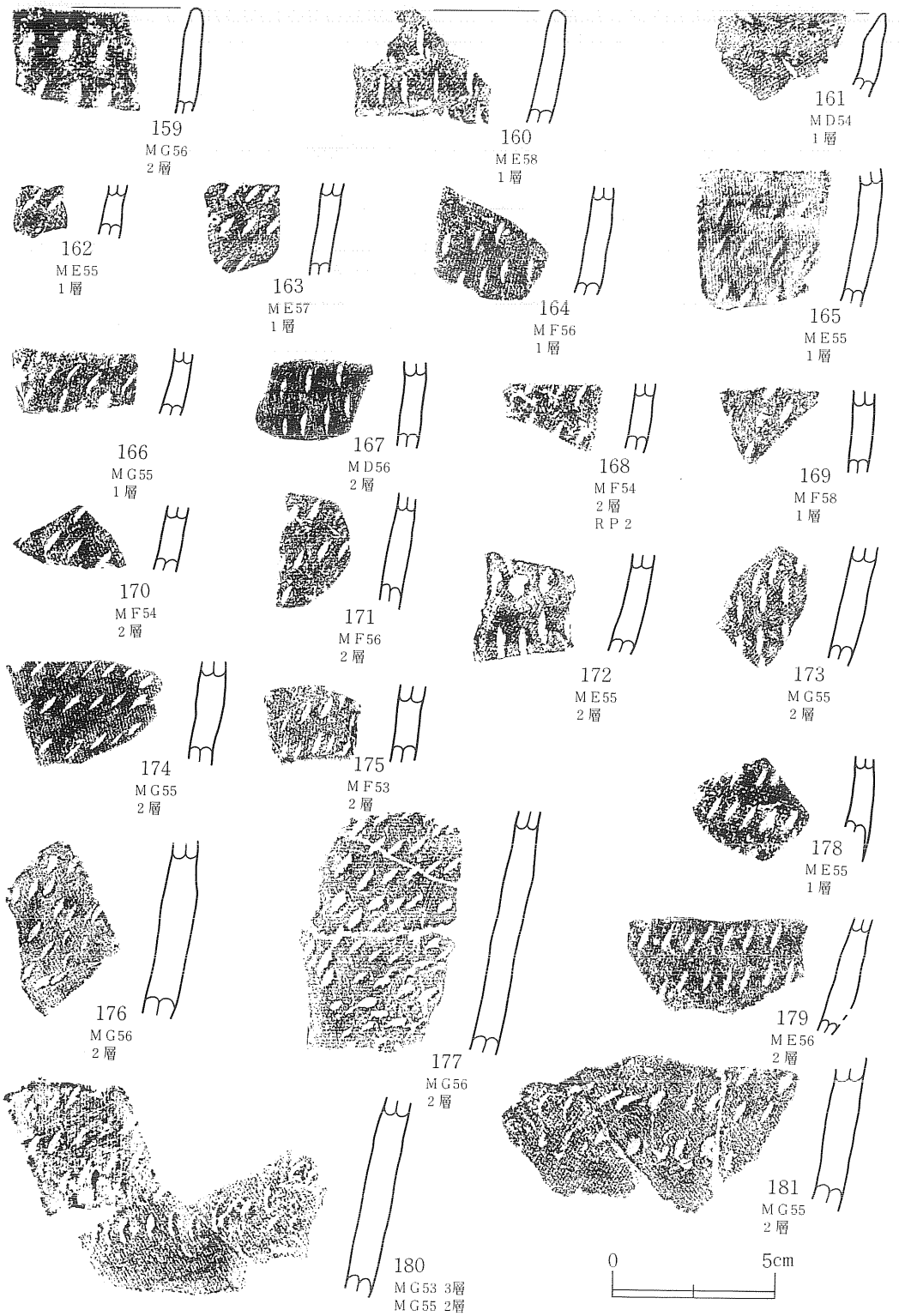
第26図　遺構外出土土器・土製品(6)Ｌ区⑤



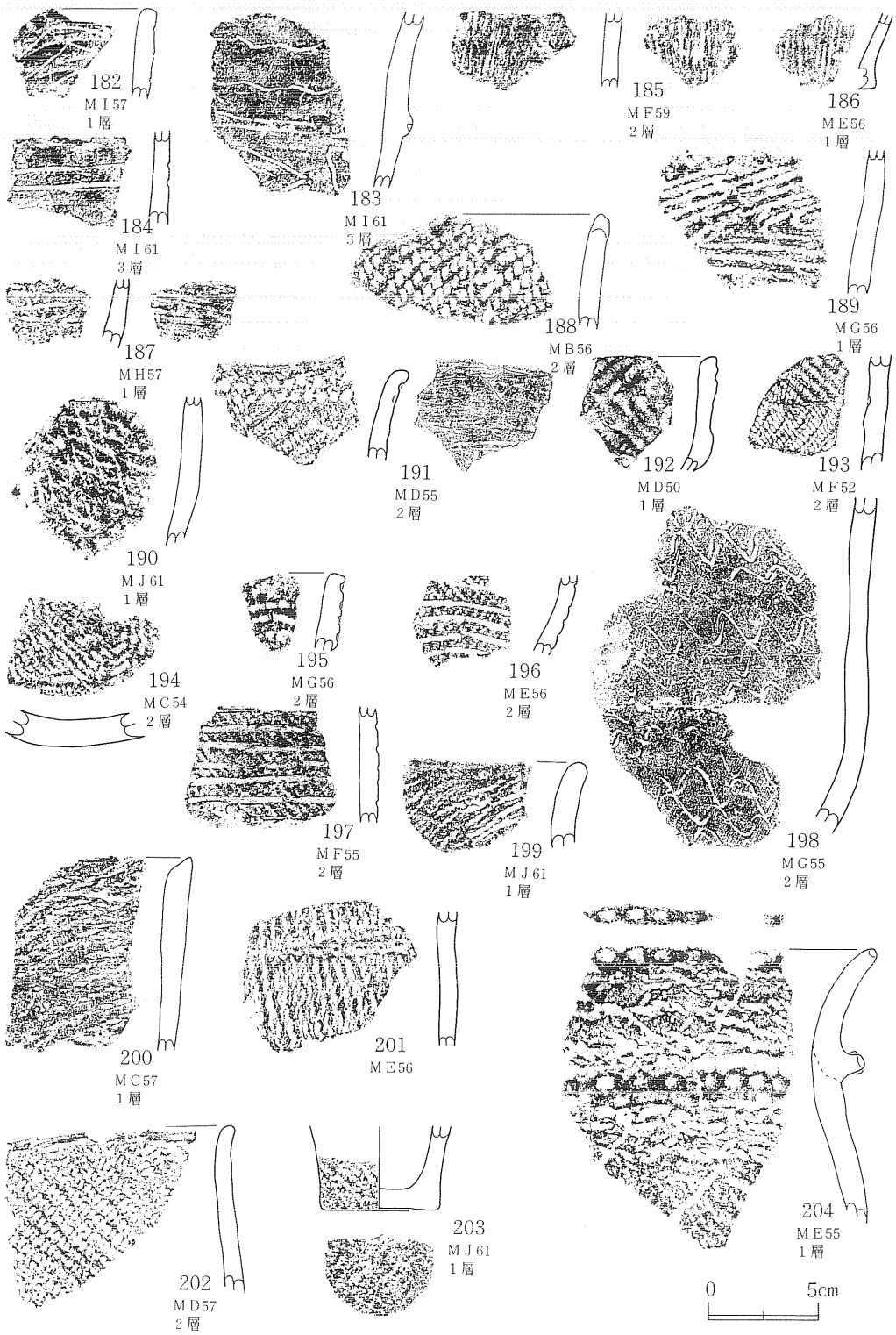
第27図　遺構外出土土器・土製品(7)　Ｌ区⑥



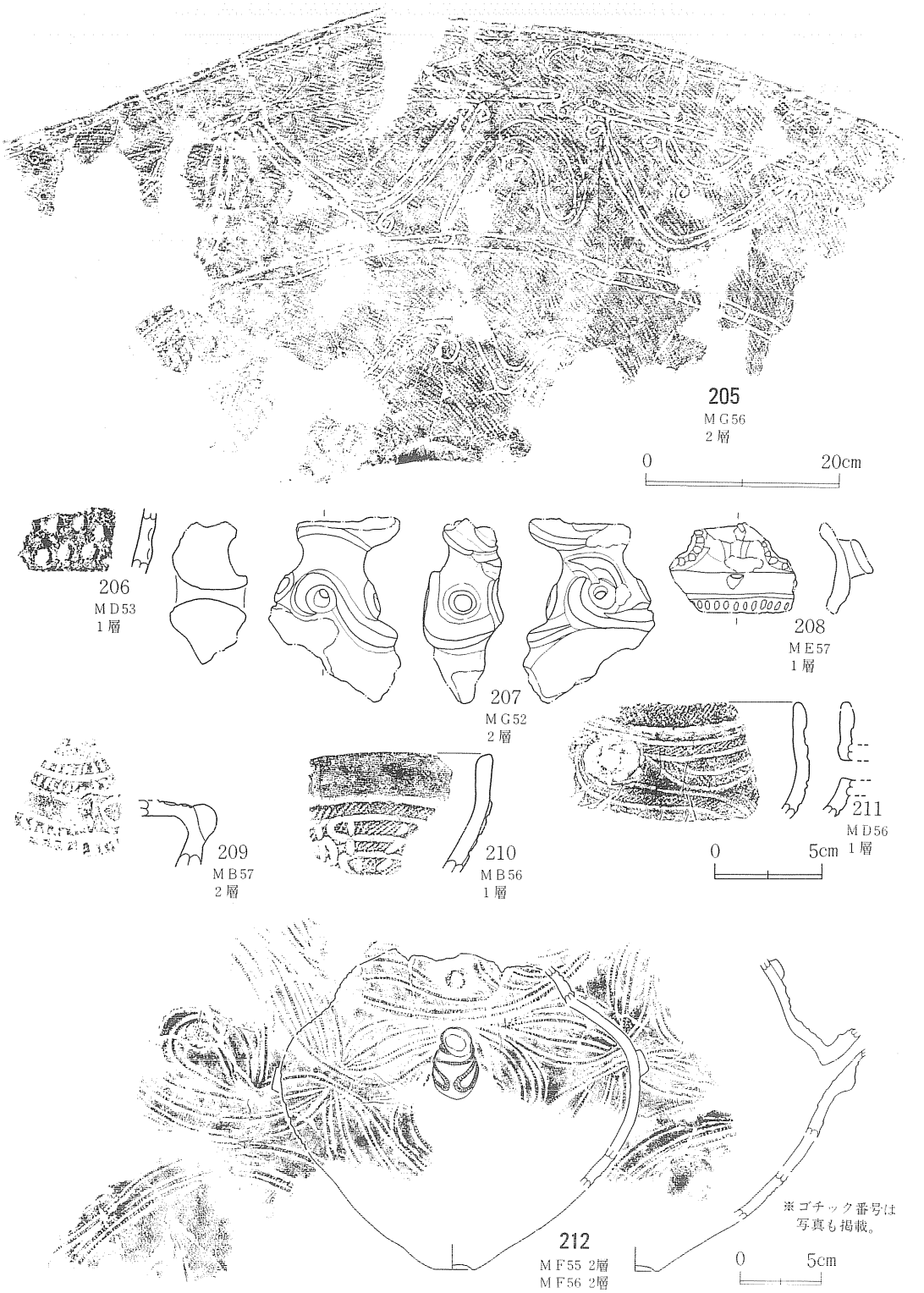
第28図　遺構外出土土器・土製品(8)　L区⑦



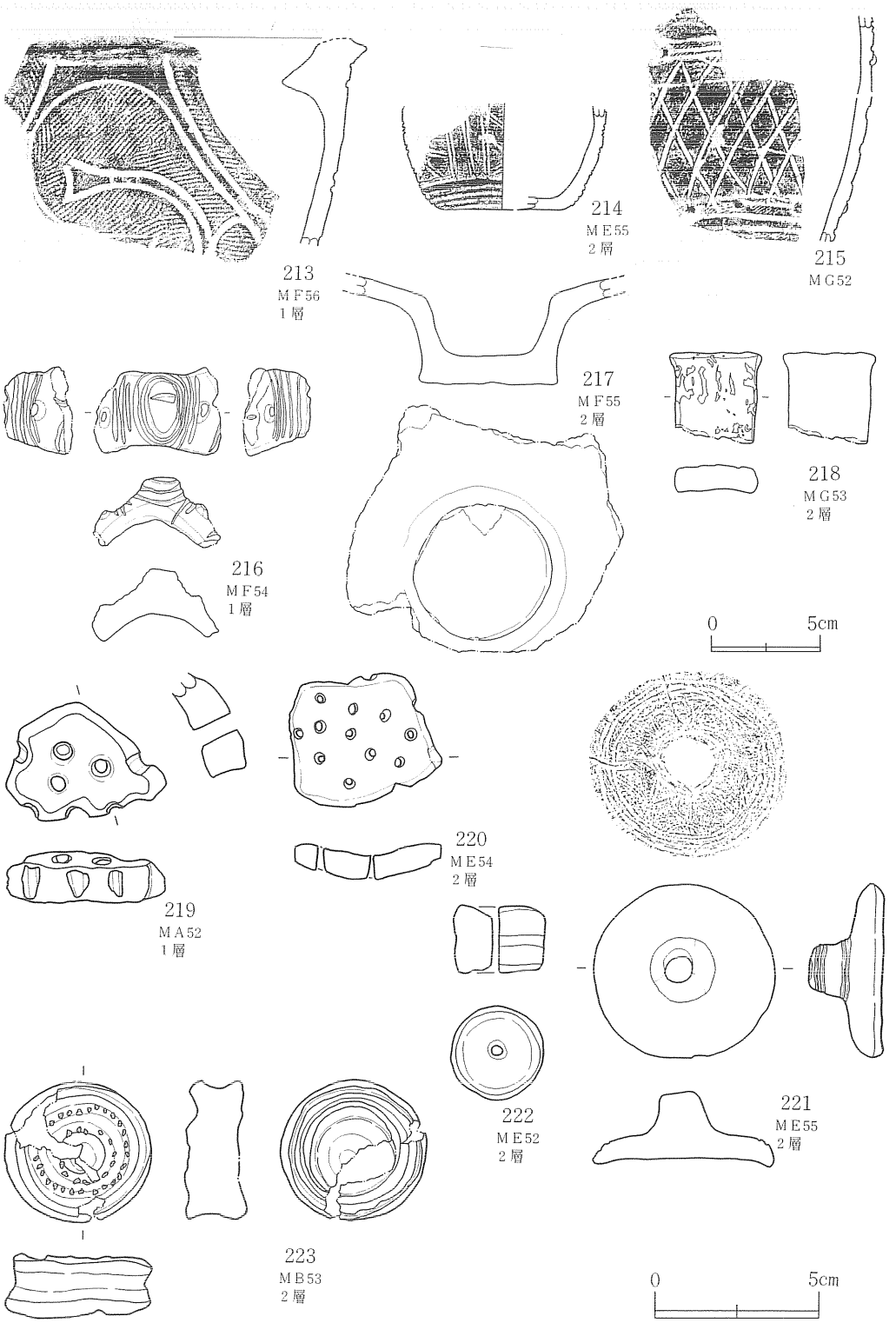
第29図　遺構外出土土器・土製品(9)　Ｍ区①



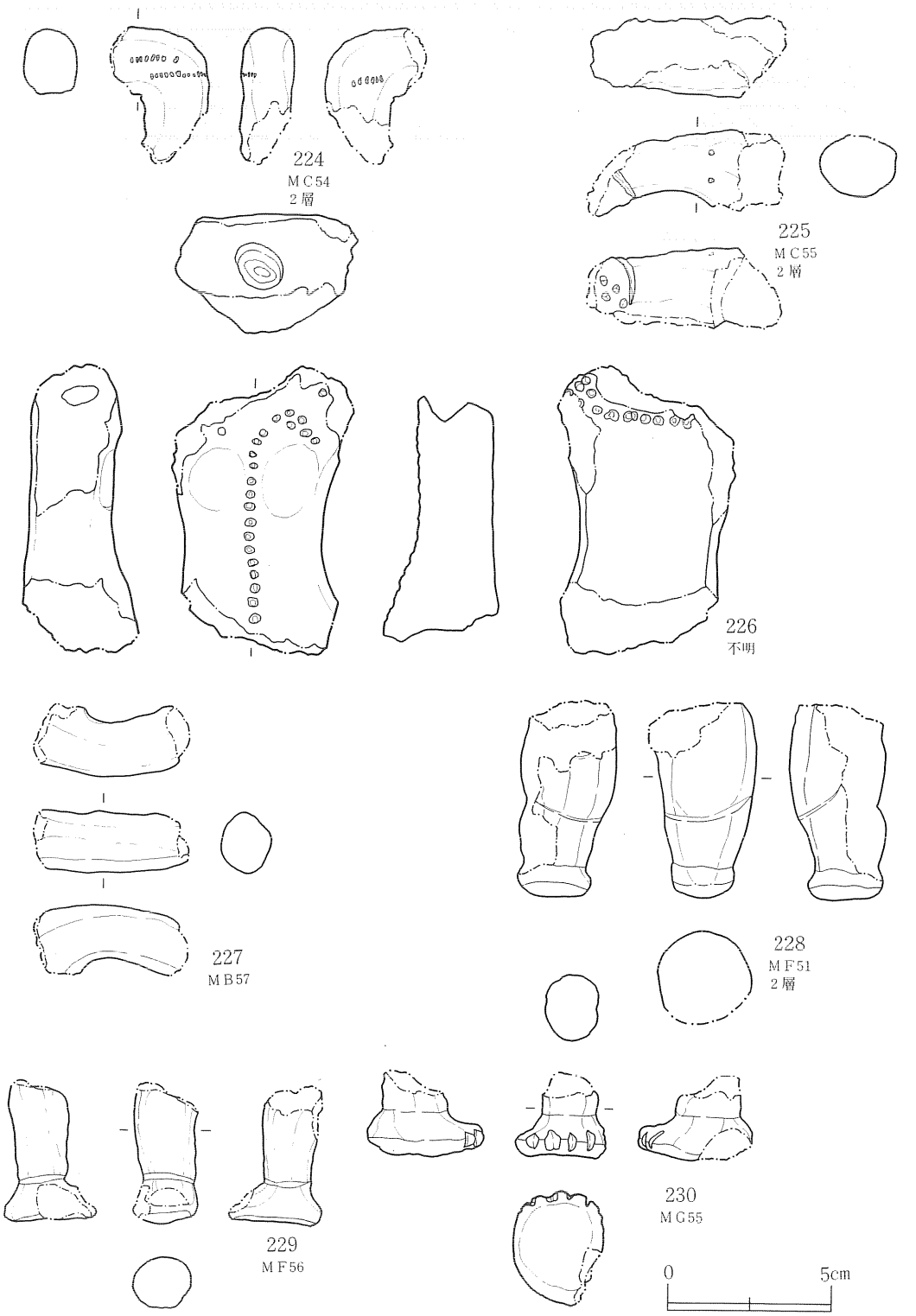
第30図　遺構外出土土器・土製品(10)　Ｍ区②



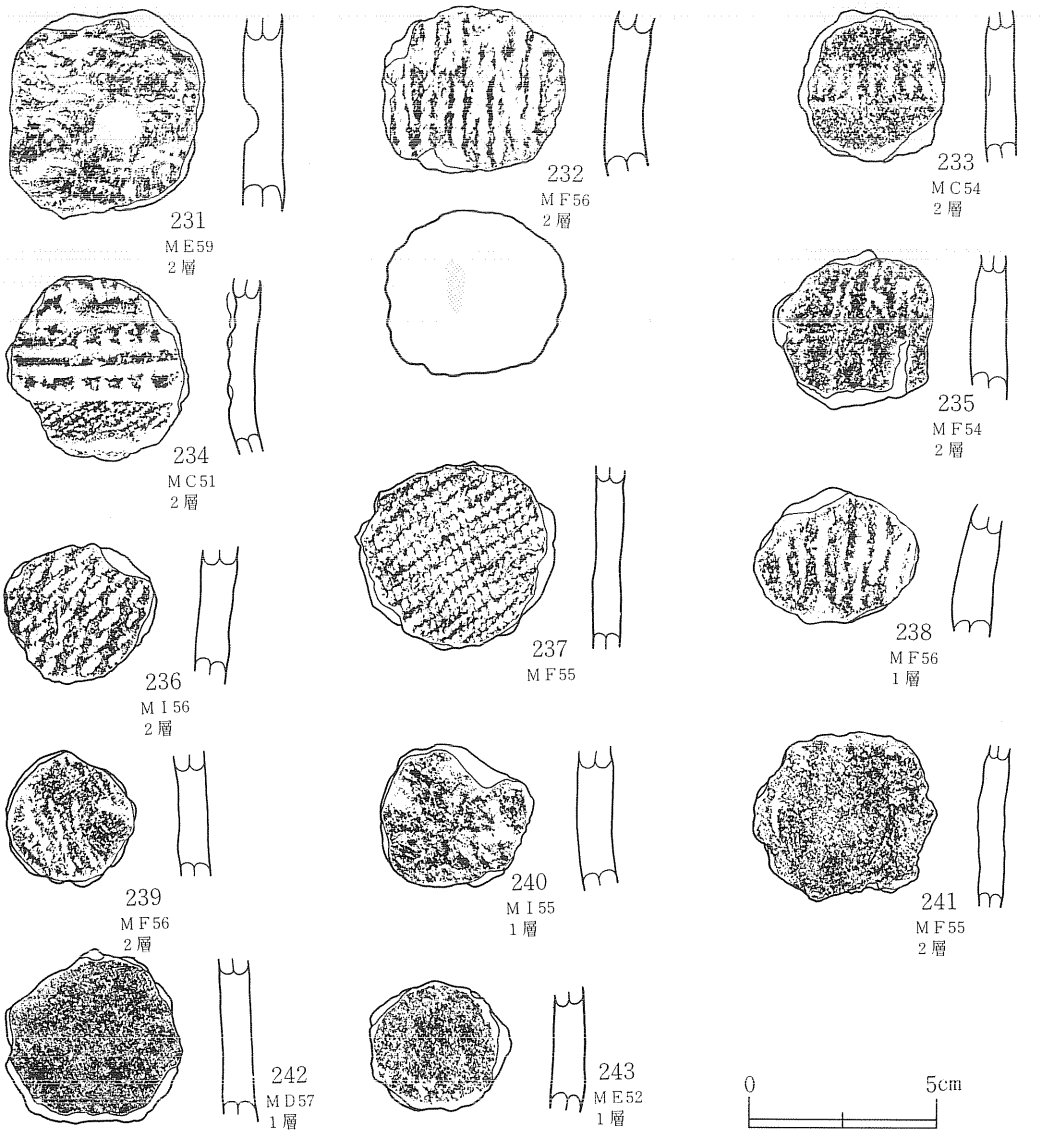
第31図　遺構外出土土器・土製品(11)　Ｍ区③



第32図　遺構外出土土器・土製品(12)　Ｍ区④



第33図　遺構外出土土器・土製品⑬　Ｍ区⑤



第34図　遺構外出土土器・土製品⑭　Ｍ区⑥

番号	出土地点	口径（cm）	底径（cm）	最大径（cm）	器高（cm）	群	器種	器形	分類
90	KO35 3層	26.4	15.6	26.4（口）	5.8～6.0	V	皿	B	1
91	KO35 3層	17.2	9.0	26.4（口）	3.2～4.4	V	皿	B	2
92	KN34 3層	8.4	――	18.4（胴）	(6.4～6.9)	V	注口	A	1
93	KO35 4層	11.3～11.8	――	19.5（肩）	7.8～8.1	V	注口	A	3
104	LO35 2層 RP17	18.2	8.0	18.2（口）	3.7～4.1	V	皿	A	1
105	LP37 2層	17.2～18.0	4.8	18.0（口）	6.3	V	皿	A	2
106	LN35 2層 RP46	14.9～15.3	3.3	15.8（口）	5.5～7.0	V	皿	A	3
107	LM35 2層 RP92	18.0	3.6	18.0（口）	4.9～6.5	V	皿	A	3
108	LM34 2層 RP34	18.6	4.4～4.6	19.2（口下）	7.0	V	皿	A	3
109	LM35 2層 RP125	17.7～18.4	3.7	18.7（口下）	5.3～5.8	V	皿	A	3
110	LM35 2層 RP76	19.8	3.4	20.4（口下）	7.2～7.4	V	皿	A	4
111	LM36 2層 RP34	20.4	5.4	20.7（口下）	6.1～6.6	V	皿	A	4
112	LN36 3層	13.6	6.4～6.7	13.6（口）	3.7～4.2	V	皿	B	1
113	LM34 2層 RP46	19.5	10.2～10.5	19.5（口）	5.5～5.8	V	皿	B	1
114	LO38 2層 RP23	31.6	12.8～13.1	31.6（口）	8.2～9.5	V	皿	B	1
115	LO37 2層	33.6	――	33.6（口）	(7.5)	V	皿	B	1
116	LM36 2層 RP90,RP85	37.8	19.2	37.8（口）	9.1～9.5	V	皿	B	2
117	LM35 2層 RP104	21.0～21.2	13.3～13.6	21.2（口）	4.0～4.3	V	皿	B	2
118	LO37 2層 RP25	16.8	9.4～9.6	16.8（口）	5.9～6.1	V	皿	C	1
119	LO37 2層	23.4	3.7～3.9	23.4（口）	5.0～6.2	V	皿	C	2
120	LP38 2層	11.7	7.2～7.4	12.8（口下）	4.9～5.0	V	皿	D	2
121	LL34 2層 RP1	21.8	（台）7.6 ――	21.8（口）	(7.8)	V	台付皿	A	1
123	LM35 2層 RP72	20.6	（台）4.4～4.6 8.7	20.6（口）	10.0～10.7	V	台付皿	C	2
124	LM36 2層	19.6	（台）4.6 9.0	19.6（口）	7.7～8.8	V	台付皿	C	2
125	LN35 2層 RP93	25.6	（台）5.1 11.5	25.6（口）	10.3～11.4	V	台付皿	C	2
126	LO37 RP32	6.2	――	11.7（胴）	(5.9～6.0)	V	注口	A	1
127	LP38 RP15	9.5～9.6	――	19.9（胴）	10.5	V	注口	A	2
128	LM35 2層 RP88	17.0	――	27.6（肩）	12.0	V	注口	B	1
129	LM35 2層 RP56	――	――	11.5（肩）	(6.0)	V	注口	B	1
130	LM36 2層 RP65	9.3～9.4	――	14.5（肩）	7.8～8.0	V	注口	B	1
131	LM36 LN36 2層 RP41	20.5～20.8	――	32.0（肩）	16.7～17.2	V	注口	B	1
132	LN36 2層 RP52	8.3～8.5	5.5	12.1（肩）	9.9～10.3	V	注口	C	1
133	LO35、LO36 2層	18.0～18.2	――	――	(4.2)	V	注口	D	1
135	LM36 2層 RP14	――	4.8	――	(9.6)	V	壺	E	2
205	MG56 2層	26.8～29.7	13.3	29.7（口）	45.0～45.7	Ⅳ	深鉢	A	1
212	MF55・56 2層	――	――	22.3（胴）	(18.7)	Ⅳ	注口	C	2

第5表　土器計測表①

番号	出土地点	口径（cm）	底径（cm）	最大径（cm）	器高（cm）	群	器種	器形	分類
244	SI42　炉埋設土器	――	――	――	(19.7)	Ⅲ	深鉢		3
245	SI42　ピット内	25.8～27.2	10.2	27.2（口）	33.6～35.7	Ⅲ	深鉢		1
246	SI42　北東端 横倒し土器	31.0～31.8	11.8～11.9	31.8（口）	37.5～38.5	Ⅲ	深鉢		1
247	SI43　炉埋設土器	――	――	――	(24.2)	Ⅲ	深鉢		2
248	SI544　炉埋設土器	――	12.0～12.2	――	(19.2)	Ⅲ	深鉢		9
249	SI551　複式炉A 埋設土器	19.7～20.1	――	20.4（胴）	21.0～22.2	Ⅲ	深鉢		9
250	SI551　複式炉B 埋設土器	――	――	――	(11.5)	Ⅲ	深鉢		6
251	SI562	10.7～11.1	5.1～5.2	11.1（口）	9.3～10.3	Ⅳ	深鉢	G	1
252	SI562	8.5	2.2～2.6	8.5（口）	2.8～3.2	Ⅳ	皿	A	2
253	SI563　RP1	16.3	7.7～7.9	16.3（口）	17.1～20.4	Ⅲ	深鉢		4
254	SI565　複式炉 埋設土器	――	――	――	(35.5)	Ⅲ	深鉢		9
255	SI570	――	――	13.6（肩）	(9.2)	Ⅳ	注口	B	1
256	SI571　炉埋設土器	22.1～23.7	――	――	(12.0)	Ⅲ	深鉢		9
257	SI572	11.4	5.7～6.0	13.4（胴）	11.5～12.3	Ⅳ	深鉢	E	3
258	SI572	――	――	――	(31.4)	Ⅳ	深鉢	E	2
259	SI587　RP1	――	10.5	――	(15.3)	Ⅲ	深鉢		9
260	SI582	28.6	――	28.6（口）	(21.2)	Ⅲ	深鉢		9
261	SI567　複式炉 埋設土器	――	――	――	(22.1)	Ⅲ	深鉢		9
262	SK33　埋土上部	――	3.0	9.2（胴）	(6.7)	Ⅴ	壺	E	3
263	SK499 埋土	37.2～38.0	――	38.5（肩）	(31.0～31.3)	Ⅳ	深鉢	E	2
264	SQ220 確認面	5.8	2.6	10.0	9.7～10.4	Ⅳ	注口	A	3
265	SQ294 埋土	14.4	5.3	14.4（口）	9.7～10.4	Ⅳ	鉢	E	1
266	SQ297	3.5	――	7.2（胴）	(5.8)	Ⅳ	鉢	A	1
267	SQ527	――	6.2～6.7	――	(7.3)	Ⅳ	壺	B	1
268	SQ548	12.4	(4箇所に突出部あり)	12.4（口）	5.3	Ⅴ	皿	D	3
269	SQ702	――	5.5	――	6.5	Ⅴ	台付鉢	F	3
270	SR158　RP3	47.5～48.0	――	48.0（口）	(28.0～30.0)	Ⅱ	深鉢		3
271	SR158　RP3，RP6	33.2～34.0	15.0～16.0	34.0（口）	33.9～34.8	Ⅱ	深鉢		9
272	SR619 埋設土器	7.6	5.6～5.8	8.5（胴）	14.3～14.6	Ⅳ	有孔土器		1
273	SD620	17.1～17.5	――	17.8～8.2（胴）	(8.1)	Ⅲ	深鉢		5
274	KO36　3層	7.2	――	10.5（胴）	8.8	Ⅴ	壺	E	4
275	KN33　4層	7.1～7.3	4.8～4.9	8.2～8.4（胴）	8.6～8.8	Ⅴ	壺	I	2

第5表　土器計測表②

番号	出土地点	口径(cm)	底径(cm)	最大径(cm)	器高(cm)	群	器種	器形	分類
276	KN35 2層	――	――	14.5(胴)	(7.4)	V	香炉形		1
277	LO39 2層	7.4~7.6	1.7~1.8	7.6(口)	2.4~2.6	Ⅳ	皿	A	1
278	LP38 RP10	8.9~9.0	――	9.0(口)	3.0~3.5	Ⅳ	皿	A	1
279	LO37 2層	4.4	――	4.4(口)	1.6~2.8	Ⅳ	皿	A	2
280	LN39 2層 RP5	4.4~4.6	1.5	5.7(胴)	3.3~3.9	Ⅳ	鉢	A	1
281	LN39 2層 RP6	4.9~5.3	――	6.5(胴)	4.2~4.7	Ⅳ	鉢	A	1
282	LN36 2層 RP11	36.6	――	36.6(口)	(16.2~23.7)	Ⅳ	深鉢	C	1
283	LN36 2層 RP11	25.2	5.1~5.7	25.2(口)	17.1~20.8	Ⅳ	深鉢	C	2
284	LN39 2層 RP35	24.8~25.4	――	25.4(口)	(7.7~9.6)	Ⅳ	深鉢	C	2
285	LN39 2層	――	4.4~4.5	――	(9.3)	Ⅳ	深鉢	C	2
286	LN39 2層 RP31,RP35	23.0~23.8	6.0	23.8(口)	18.8~20.1	Ⅳ	深鉢	C	3
287	LN39 2層 RP31	18.6	6.0	18.6(口)	17.4~18.5	Ⅳ	深鉢	C	4
288	LO39 2層 RP6	19.6	5.6	19.6(口)	14.9~16.6	Ⅳ	深鉢	D	1
289	LN39 2層 RP4	24.8~26.5	8.4~8.5	26.8(胴)	23.6~24.2	Ⅳ	深鉢	E	1
290	LN40 RP3	37.8	――	41.4(胴)	37.1	Ⅳ	深鉢	E	2
291	LN37 2層	4.7	4.5~4.8	6.3(胴)	6.8~7.1	Ⅳ	壺	A	3
292	LO39 2層	2.2~2.3	1.1~1.2	5.0(胴)	6.4~6.5	Ⅳ	壺	C	1
293	LN39 1-g層,LP38 2層	8.3~8.5	――	――	(5.2)	Ⅳ	壺	D	1
294	LO39 2層 RP3	2.9	4.0	10.4(胴)	9.9~10.8	Ⅳ	注口	A	1
295	LP37 2層	4.6	2.6	8.3(胴)	8.3~9.0	Ⅳ	注口	A	2
296	LN39 2層	5.7	1.2~1.3	9.0(胴)	9.1~9.8	Ⅳ	注口	B	1
297	LO37 2層	6.5	1.5	11.5(肩)	(12.5)	Ⅳ	注口	D	1
298	LO38 3層	――	1.9	14.5(胴)	(10.2)	Ⅳ	注口	E	1
299	LO39 2-b 層	5.9	――	――	(5.1)	Ⅳ	壺	F	1
300	LM36 2層 RP89	18.8	5.0	18.8(口)	6.1	V	皿	A	3
301	LO38 2層 RP1	20.7	4.5	21.2(口下)	7.2~8.1	V	皿	A	3
302	LP38 2層 RP6	21.4	5.9	22.0(口下)	8.8	V	皿	A	3
303	LM36 2層 RP35	17.6	3.4	18.0(口下)	5.6~6.3	V	皿	A	4
304	LM36 2層 RP61	25.0	7.2	25.2(口下)	8.0~8.3	V	皿	A	4
305	LN35 2層 RP41	16.7~16.9	6.4	16.9(口)	4.3~4.7	V	皿	A	5
306	LM35 2層 RP86	21.2	6.9	21.8(口下)	7.7~8.0	V	皿	A	5
307	LM38 3層	12.4~12.6	3.0	12.6(口)	3.5~3.8	V	皿	A	5

第5表　土器計測表③

番号	出土地点	口径(cm)	底径(cm)	最大径(cm)	器高(cm)	群	器種	器形	分類
308	LP37 2層	14.6	3.3~3.5	14.6(口)	3.8~4.5	V	皿	A	5
309	LM35 2層 RP19	17.8	3.5	17.8(口)	5.7	V	皿	A	6
310	LM35 2層 RP37	22.3~22.5	7.0	22.5(口)	7.5~9.2	V	皿	A	6
311	LN36 2層	23.0	6.5	23.0(口)	6.4~8.1	V	皿	A	6
312	LO38 2層 RP17	21.6	12.5	21.6(口)	(5.4)	V	皿	B	1
313	LM36 2層 RP19	23.2	11.4~11.6	23.2(口)	7.2~7.6	V	皿	B	1
314	LN37 2層 RP10	25.6	13.4	25.6(口)	4.7~5.6	V	皿	B	1
315	LL37 LN37 2層 RP4	22.6	14.6~14.8	22.6(口)	3.5~4.0	V	皿	B	2
316	LN35 2層 RP24	15.5	9.8~10.0	15.5(口)	4.9	V	皿	D	1
317	LO37 2層	19.3~19.6	(台) 6.8 11.9	19.6(口)	8.2~8.9	V	台付皿	B	1
318	LN34 2層 RP25	20.2~20.6	(台) 6.7 ——	20.6(口)	(6.3)	V	台付皿	C	1
319	LO38 2層 RP37	17.2	(台) 3.6~3.9 9.5	19.6(口)	7.9~8.5	V	台付皿	C	2
320	LM36 2層 RP89	9.2	丸底	9.2(口)	4.0~4.1	V	鉢	A	1
321	LP37 2層	16.8	5.5~5.9	16.8(口)	8.8~9.7	V	鉢	A	1
322	LN36 2層 RP2	7.4	4.2	7.4(口)	6.1~6.8	V	鉢	A	2
323	LP38 RP41	10.9~11.1	4.5	11.1(口)	7.6~8.2	V	鉢	A	3
324	LN36 2層 RP27	11.6	2.6~2.8	11.6(口)	6.7~7.0	V	鉢	A	4
325	LM36 2層 RP61	9.4	1.1~1.2	9.6(肩)	4.8~5.2	V	鉢	A	5
326	LO39 2層 RP6	17.3	6.8	17.3(口)	11.2~12.2	V	鉢	A	6
327	LN35 2層 RP19	11.0~11.4	3.2~3.4	11.4(口)	7.0~7.4	V	鉢	A	7
328	LL34 2層 RP10	12.6	丸底	12.6(口)	6.7~7.5	V	鉢	A	7
329	LM35 2層 RP78	10.7~11.0	6.8	12.4(肩)	6.0~6.7	V	鉢	A	7
330	LM33 2層 RP1	——	——	32.8(胴)	(24.9)	V	鉢	A	8
331	LO38 2層 RP14	18.3~18.8	8.8~8.9	18.8(口)	13.1~13.5	V	鉢	B	1
332	LO38 2層 RP33	10.7	3.7~3.8	10.7(口)	8.0~8.7	V	鉢	B	2
333	LP37 2層	10.1~10.5	——	10.5(口)	(7.4~7.7)	V	鉢	B	3
334	LM36 2層 RP18	13.6	4.8	13.6(口)	10.8~11.2	V	鉢	B	4
335	LO38 2層 RP11	19.6~20.0	8.9	20.7(肩)	18.7~19.4	V	鉢	B	5
336	LM34 2層 RP9	11.0	3.5~3.6	11.0(口)	7.2~7.5	V	鉢	C	1
337	LM35 2層 RP84	9.2	3.4~3.5	9.2(口)	5.2~6.2	V	鉢	C	2
338	LP37 2層	12.9~13.4	5.1~5.2	13.6(肩)	9.0~9.3	V	鉢	C	2
339	LN36 2層 RP46	15.8~16.0	4.8	16.0(口)	10.4~10.8	V	鉢	C	2

第5表　土器計測表④

番号	出土地点	口径(cm)	底径(cm)	最大径(cm)	器高(cm)	群	器種	器形	分類
340	LP37 2層 RP37	10.5~10.8	4.5~4.6	12.1(肩)	8.6~9.0	V	鉢	C	2
341	LO37 2層	11.7~11.8	5.8~5.9	11.8(口)	9.0~9.3	V	鉢	C	2
342	LL35 2層 RP14	11.0	5.0	11.5(肩)	11.1~11.8	V	鉢	C	2
343	LN34 2層 RP11	15.4	4.0~4.1	16.0(肩)	10.3~10.9	V	鉢	C	3
344	LO37 RP33	12.8~13.6	3.7	13.8(肩)	6.5~6.9	V	鉢	C	4
345	LN36 2層	11.1~11.3	3.8~3.9	11.3(口)	7.5~8.3	V	鉢	C	5
346	LP38 2層	11.8~12.4	6.0~6.2	13.2(肩)	10.4~10.9	V	鉢	C	5
347	LN34 2層 RP24	11.4~12.3	5.2~5.4	12.3(肩)	5.7~7.0	V	鉢	C	6
348	LP37 2層	15.0	3.8~3.9	15.0(口)	7.5~7.7	V	鉢	C	7
349	LN35 2層 RP54	8.4~8.8	5.1~5.2	8.8(肩)	4.0~5.6	V	鉢	C	8
350	LO37 2層	18.7~19.1	7.0~7.4	19.3(肩)	14.5~15.4	V	鉢	C	9
351	LO37 2層	9.7~9.8	6.7~6.8	10.2(肩)	5.2~6.5	V	鉢	C	9
352	LM35 2層 RP9	11.2~11.7	6.4~6.5	11.8(肩)	7.3~7.5	V	鉢	C	9
353	LP37 3層	11.8~12.2	7.1~7.6	12.4(肩)	6.1~6.6	V	鉢	C	9
354	LO37 2層	13.4~13.7	4.4~4.5	13.9(肩)	6.5~7.0	V	鉢	C	9
355	LP38 2層	15.0~15.4	8.3~8.7	15.7(肩)	10.9~11.3	V	鉢	C	9
356	LO38 2層	8.0	3.7	8.1(肩)	6.2~6.5	V	鉢	C	10
357	LO38 2層 RP5	10.0~11.0	4.8~5.0	11.1(肩)	5.9~6.6	V	鉢	C	10
358	LO37 2層 RP37	13.6	5.2	13.8(肩)	5.4~6.6	V	鉢	C	10
359	LP38 2層	12.7~13.3	6.0	13.3(口)	7.7~8.5	V	鉢	C	10
360	LM35 2層 RP87	14.2	8.6~8.7	14.4(肩)	10.3~10.4	V	鉢	C	10
361	LO38 2層 RP45	13.6~13.8	6.4	13.9(肩)	10.2~11.2	V	鉢	C	10
362	LP38 2層	17.0~18.5	6.6~7.0	18.6(肩)	11.5~12.0	V	鉢	C	10
363	LO35 2層	10.6~10.7	5.7~6.2	10.8(肩)	5.2~5.7	V	鉢	C	10
364	LN34 2層 RP17	10.7~10.9	2.8~3.1	11.0(肩)	4.9~5.2	V	鉢	D	1
365	LO38 3層	12.6~13.1	4.8~4.9	13.2(肩)	7.1~7.6	V	鉢	E	1
366	LN37 2層 RP5	13.2	15.5	13.6(肩)	10.3~10.7	V	鉢	E	1
367	LP38 2層 RP15	13.2	5.2~5.3	14.2(肩)	13.6~13.9	V	鉢	E	1
368	LO37 RP31	8.9~9.3	3.9	9.6(肩)	6.2~7.1	V	鉢	E	2
369	LM36 2層	12.2	(台) 4.0	12.2(口)	8.3~8.9	V	台付鉢	A	1
370	LN35 2層 RP8	14.4	(台) 6.1 6.2	14.4(口)	8.8~9.9	V	台付鉢	A	2
371	LO37 2層	13.8	———	13.8(口)	(7.8~8.2)	V	台付鉢	A	3

第5表　土器計測表⑤

番号	出土地点	口径(cm)	底径(cm)	最大径(cm)	器高(cm)	群	器種	器形	分類
372	LO37 2層	12.8	(台) 4.6~4.7 7.4	13.7 (肩)	9.9~10.2	V	台付鉢	B	1
373	LM34 2層 RP13	14.4	(台) 4.0 ———	16.0 (肩)	(8.4~8.7)	V	台付鉢	B	2
374	LO38 2層 RP44	11.2	(台) 4.3 6.4	11.8 (肩)	8.6~9.0	V	台付鉢	B	3
375	LO37 2層	22.2	———	24.0 (肩)	19.3~19.8	V	台付鉢	C	1
376	LM34 2層 RP38	12.1	(台) 4.6~4.7 6.3	12.1 (口)	10.6~11.8	V	台付鉢	C	2
377	LM35 2層 RP46	9.0	(台) 4.6 5.5	10.2 (肩)	10.3	V	台付鉢	C	3
378	LM35 2層 RP53	15.6	(台) 6.1~6.2 7.8~8.0	16.8 (肩)	15.6~15.8	V	台付鉢	C	4
379	LM35 2層 RP8	15.8	———	15.8 (口)	(14.0~14.3)	V	台付鉢	C	5
380	LO38 2層 RP24	18.6	———	19.0 (肩)	(14.2)	V	台付鉢	D	1
381	LM35 2層 RP123	10.6	(台) 4.5 5.8~5.9	11.1 (肩)	8.9~9.2	V	台付鉢	D	2
382	LM35 2層 RP1	12.2~12.6	(台) 4.9 6.3~6.4	13.8 (肩)	11.8~12.3	V	台付鉢	D	2
383	LN36 2層 RP56	———	(台) 3.8 5.9	8.5 (肩)	(5.9)	V	台付鉢	D	2
384	LN35 2層 RP39	12.4~12.9	(台) 5.3~5.4 7.2~7.3	13.2 (肩)	13.1~13.7	V	台付鉢	D	3
385	LO36 2層 RP47	10.7~11.0	(台) 4.1~4.3 5.7	11.0 (口)	11.3~12.1	V	台付鉢	E	1
386	LO36 2層 RP9	13.8	(台) 4.3~4.5 7.1~7.2	14.2 (肩)	8.1~8.4	V	台付鉢	F	1
387	LL35 2層 RP14	15.6	(台) 4.6 8.2	16.0 (肩)	11.0~11.4	V	台付鉢	F	2
388	LP37 3層	6.7	(台) 2.0~2.1 4.2	6.7 (口)	6.3	V	台付鉢	F	3
389	LP38 2層 RP8	———	(台) 7.7 10.5~10.9	21.8 (肩)	(21.6)	V	台付鉢	G	1
390	LO38 2層 RP49	14.1~14.4	5.6~6.0	14.4 (口)	13.2~13.9	V	深鉢	A	1
391	LP38 2層 RP5	11.3~11.6	5.6	12.6 (肩)	12.9~13.5	V	深鉢	B	1
392	LN36 2層 RP43	11.8~13.5	5.8~6.3	13.5 (胴)	16.4~17.7	V	深鉢	B	2
393	LN34 2層 RP25	14.4	7.0~7.2	15.4 (胴)	16.1~16.6	V	深鉢	B	3
394	LN35 2層 RP69	30.2	———	30.2 (口)	(18.8~19.0)	V	深鉢	B	4
395	LP38 2層 RP21,RP35 RP43,RP44	23.0~24.1	———	12.8 (肩)	(21.0~21.7)	V	深鉢	C	1
396	LO35 2層 RP9,RP10	30.4	———	30.4 (口)	(16.8~17.4)	V	深鉢	C	2
397	LP38 2層, RP16	26.0	———	27.0 (肩)	(12.0~12.5)	V	深鉢	C	3
398	LM34 RP3	16.4	———	16.4 (口)	(10.1~10.4)	V	深鉢	C	4
399	LM34 2層 RP13	22.4	———	23.0 (肩)	(14.4~14.5)	V	深鉢	C	5
400	LO38 2層 RP50	8.3~9.0	3.6~3.7	9.0 (口)	8.7~9.5	V	深鉢	D	1
401	LM34 2層 RP37	18.0	———	18.0 (口)	(23.8)	V	深鉢	D	1
402	LP38 2層	10.6~10.8	4.5	10.8 (口)	9.9~10.3	V	深鉢	D	2
403	LO38 2層 RP42	10.0	4.8~5.0	10.0 (口)	14.6~15.0	V	深鉢	D	2

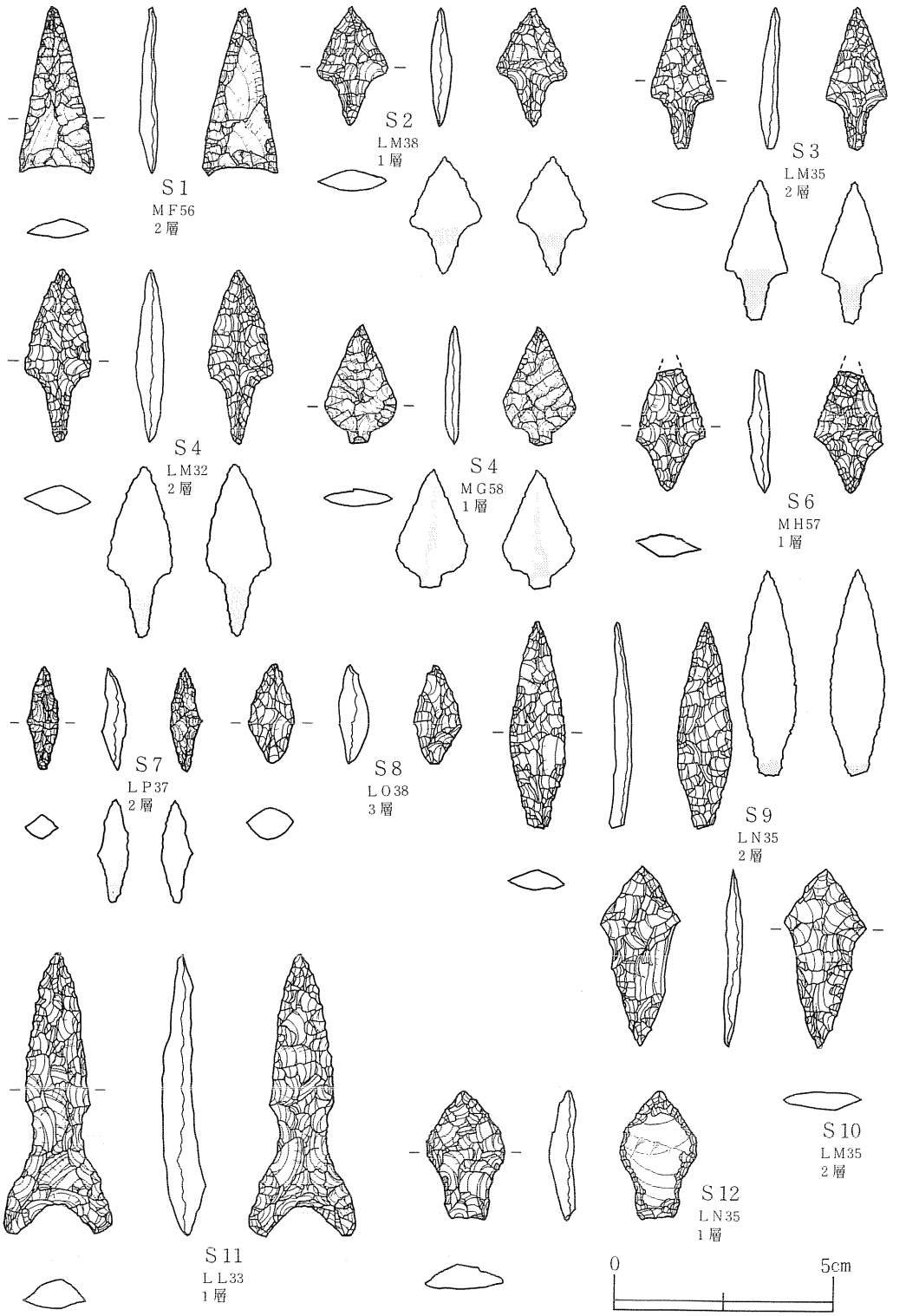
第 5 表　土器計測表⑥

番号	出土地点	口径(cm)	底径(cm)	最大径(cm)	器高(cm)	群	器種	器形	分類
404	LM34 2層 RP33	22.0	7.6~7.9	22.0(口)	25.1	V	深鉢	D	2
405	LN36 2層 RP35	――	6.8~7.0	――	(30.5)	V	深鉢	D	2
406	LO37 2層 RP1	12.5~13.5	5.7~5.9	13.5(口)	11.3~11.8	V	深鉢	D	3
407	LM35 2層 RP75	23.0~24.0	7.2~7.8	24.2(胴)	28.8~29.7	V	深鉢	D	4
408	LP37 2層	29.8	――	29.8(口)	(11.2~12.0)	V	深鉢	E	1
409	LN36 2層 RP19	16.1~16.7	7.3~7.8	17.5(胴)	17.8~18.8	V	深鉢	E	2
410	LO35 2層 RP2	10.0~10.2	6.6	12.0(胴)	14.6~15.2	V	深鉢	E	3
411	LM35 2層 RP5	11.2~13.0	5.6~5.8	13.3(胴)	15.0~15.8	V	深鉢	E	4
412	LL37 2層 RP4	14.0	7.0~7.1	14.7(胴)	19.1~20.0	V	深鉢	E	5
413	LN35 2層 RP14	25.0~25.5	――	26.8(胴)	(32.7~33.2)	V	深鉢	E	5
414	LP38 2層 RP6	8.0~8.5	4.0~4.1	9.4(胴)	9.3~9.7	V	深鉢	E	6
415	LN36 2層 RP34	11.2	4.8~4.9	13.2(胴)	18.1~18.3	V	深鉢	E	6
416	LP38 RP28	13.4~13.7	6.0~6.1	14.1(胴)	15.2~15.7	V	深鉢	E	6
417	LM35 2層 RP133	14.3~15.0	7.0~7.2	15.0(胴)	16.2~16.8	V	深鉢	E	6
418	LO37 2層 RP19	16.1~16.4	7.0~7.1	17.2(胴)	17.1~18.3	V	深鉢	E	6
419	LN37 2層 RP2	23.0	6.8~6.9	23.6(胴)	23.8~24.1	V	深鉢	E	6
420	LN35 2層 RP92	21.2~23.3	8.4	23.8(胴)	25.1~26.7	V	深鉢	E	6
421	LP37 2層	4.9	2.4	5.1(胴)	4.1~4.2	V	深鉢	E	7
422	LO37 2層	――	3.8~3.9	5.5(胴)	(3.4)	V	壺	A	1
423	LO38 3層	5.5~5.8	――	――	(10.5~10.3)	V	壺	A	2
424	LO38 3層	――	1.6	8.2(胴)	(7.7)	V	壺	A	3
425	LO38 2層 RP13	――	2.5~2.6	9.7(胴)	(8.7)	V	壺	A	3
426	LO37 RP36	4.0	2.9	9.9(胴)	10.8	V	壺	A	3
427	LN36 2層	――	――	14.9(胴)	(15.9)	V	壺	A	3
428	LO36 2層 RP6	8.3~8.5	5.3~5.4	12.0(胴)	11.6~11.8	V	壺	B	1
429	LP38 RP29	7.1~7.2	4.1	10.4(胴)	26.2~26.4	V	壺	C	1
430	LM35 2層 RP65	8.2	――	――	(8.1)	V	壺	D	1
431	LP37 2層	7.3	5.2	11.8(胴)	12.4	V	壺	D	1
432	LM35 2層 RP40	10.7~11.2	――	22.8(胴)	(17.3)	V	壺	D	1
433	LM36 2層 RP9	5.4	3.7~3.8	8.9(胴)	8.3~8.6	V	壺	E	1
434	LM36 2層 RP75	7.0~7.1	5.7~5.8	11.7(胴)	11.1~11.4	V	壺	E	1
435	LM36 2層 RP64	7.2	2.3~2.4	11.1(胴)	10.1~10.8	V	壺	E	3

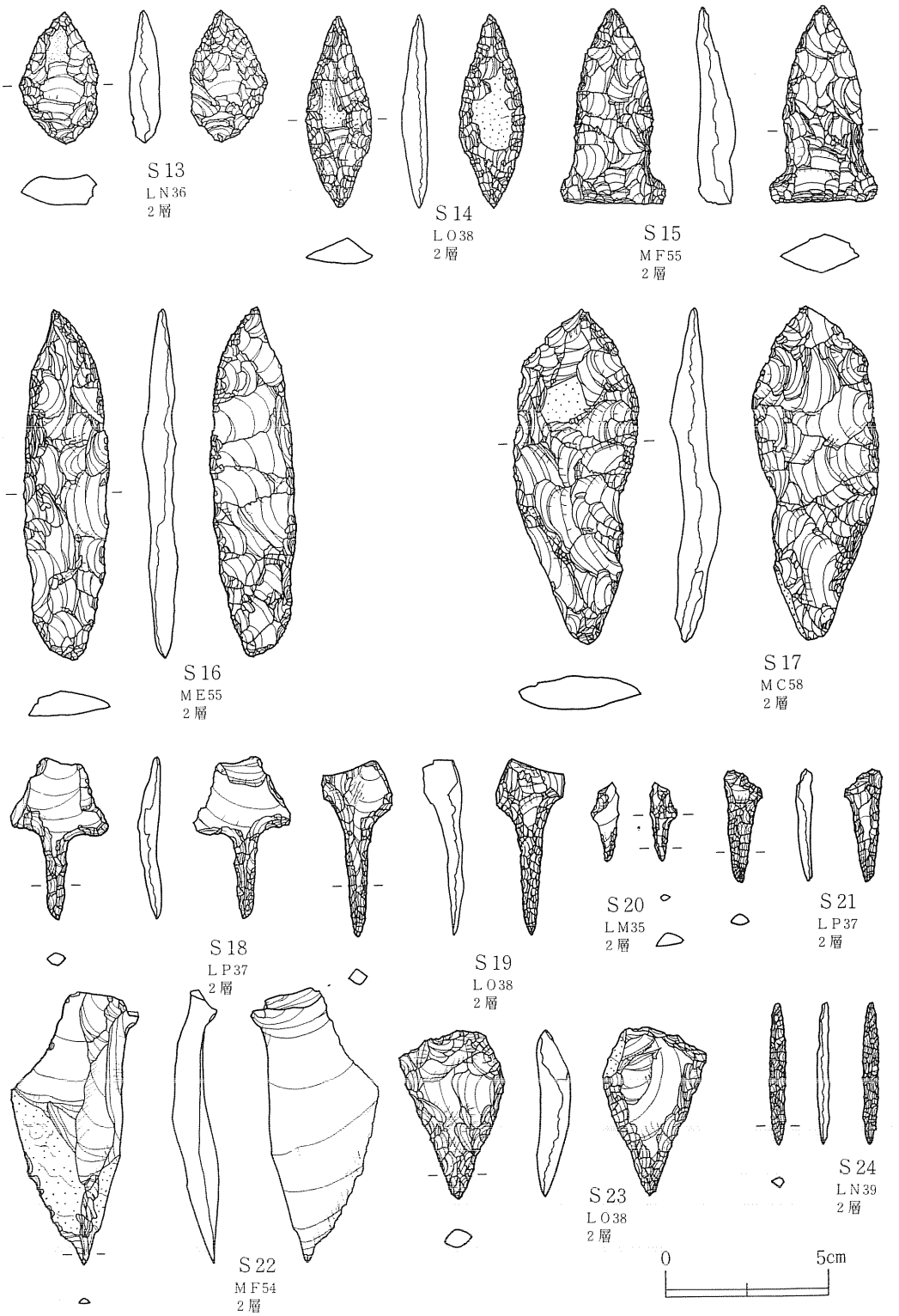
第5表　土器計測表⑦

番号	出土地点	口径(cm)	底径(cm)	最大径(cm)	器高(cm)	群	器種	器形	分類
436	LO37 2層	8.2	――	10.4(胴)	8.0~8.1	V	壺	E	4
437	LP37 2層	8.2	5.8	11.9(胴)	11.2~11.7	V	壺	E	4
438	LM36 2層 RP23	――	4.2~4.3	9.4(胴)	(10.3)	V	壺	F	1
439	LN35 2層 RP25	――	6.3	13.2(胴)	(12.6)	V	壺	F	1
440	LL33 2層 RP12	7.5~7.8	7.3~7.5	12.2(胴)	13.2~13.8	V	壺	F	2
441	LN34 2層	――	4.5~4.8	9.8	9.7	V	壺	F	2
442	LP38 2層 RP10,RP11	12.0~12.4	8.6~8.7	20.4(胴)	26.7~27.4	V	壺	G	1
443	LO35 2層 RP1	10.6		18.7(胴)	(23.5)	V	壺	G	1
444	LM34 2層 RP24	――	7.0~7.1	14.0(胴)	(18.8)	V	壺	G	1
445	LP38 RP13	7.5~8.5	6.9~7.0	12.2(胴)	15.7~15.9	V	壺	G	2
446	LP38 2層	7.8~8.9	6.2~6.6	14.7(胴)	7.1~7.8	V	壺	G	2
447	LM35 2層 RP84	4.6~5.0	3.5~3.6	5.7(胴)	8.8~9.0	V	壺	G	2
448	LP37 2層	7.1~7.3	3.9	7.3(口)	17.6~17.8	V	壺	H	1
449	LO38 2層 RP35	6.0~6.4	5.8~6.0	8.3(胴)	8.7~9.3	V	壺	H	1
450	LM35 2層 RP137	――	5.6~5.7	6.9(胴)	(8.2)	V	壺	H	1
451	LO37 RP34	9.8~9.9	6.4~6.6	11.7(胴)	18.7~19.4	V	壺	H	2
452	LP38 2層	6.5	4.2~4.3	8.7(胴)	8.8	V	壺	I	1
453	LO37 2層	6.3~6.8	5.6	7.9(胴)	9.1~9.7	V	壺	I	2
454	LO37 2層	5.9	5.0~5.2	8.4(胴)	9.2~9.3	V	壺	I	2
455	LM35 2層	7.8~7.9	6.2	10.7(胴)	11.5~11.9	V	壺	I	2
456	LO35 2層 RP13	8.1	――	17.0(胴)	9.2~9.3	V	注口	A	1
457	LN36 2層 RP24	8.6~8.8	――	14.8(肩)	(7.8)	V	注口	B	1
458	LN36 2層 RP21	――	3.4~3.6	16.2(肩)	(6.5)	V	注口	B	1
459	MI60 2層	31.0	――	31.0(口)	(26.3)	III	深鉢		6
460	MH56 2層 RP1	――	8.8	――	(21.3)	IV	深鉢	B	2
462	MF57 3層	――	3.9~4.1	10.1(胴)	(7.1)	IV	壺	A	1
463	MF56 2層	7.2	――	8.0(胴)	(4.6~4.9)	IV	壺	A	2
464	MF56 1層	――	4.8~4.9	12.4(胴)	(8.7)	IV	壺	B	1
465	ME54 2層	4.1	1.3	7.3(胴)	8.9~9.4	IV	壺	C	2
466	MF57 1層	――	――	――	(6.0)	IV	壺	E	1
467	MB55 2層	3.8	1.9	7.5(胴)	8.0~8.3	IV	注口	B	2
468	MF56 1層	――	2.3~2.4	7.7(胴)	(7.0)	IV	注口	B	3
469	MA52 2層	――	1.5~1.6	14.5(肩)	(11.1)	IV	注口	C	2

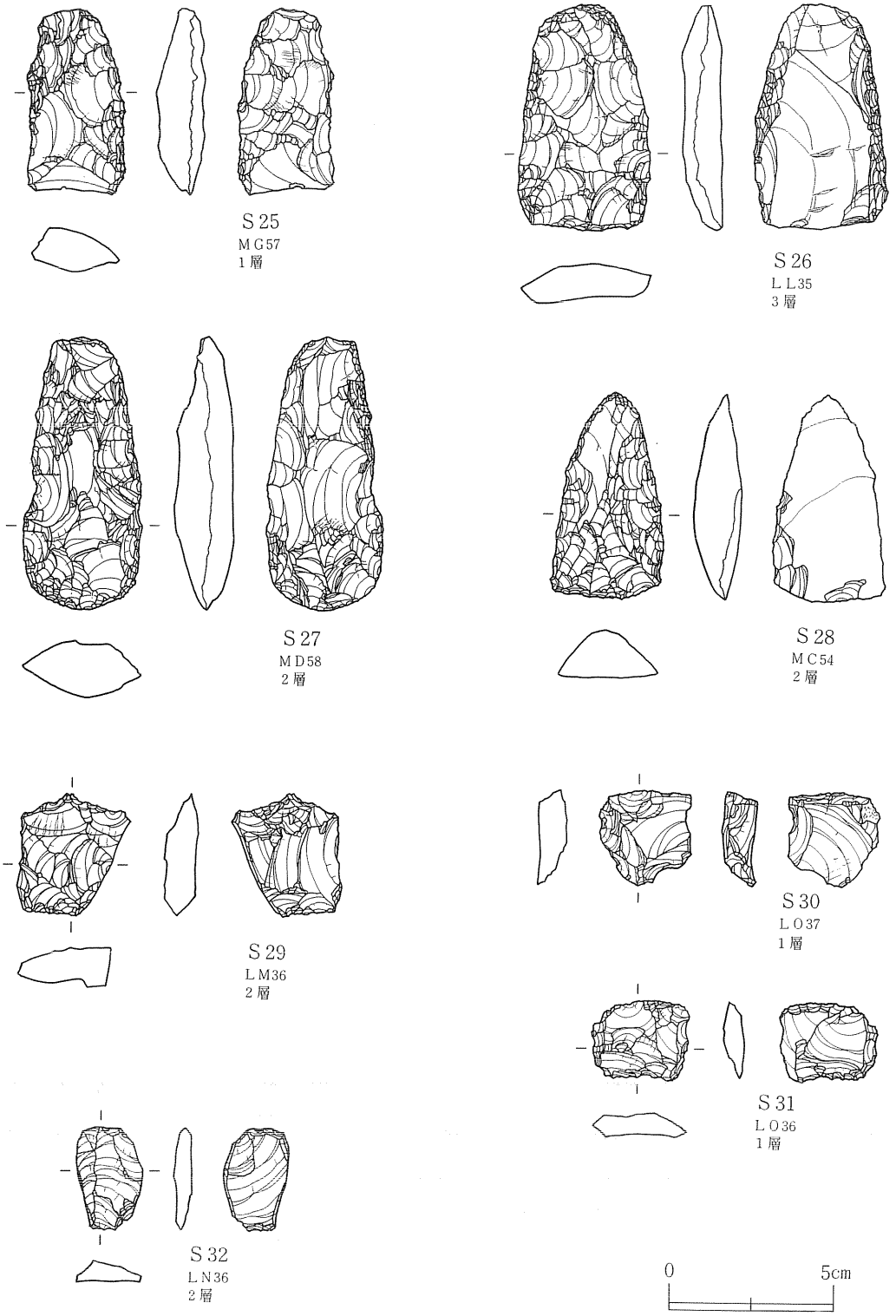
第5表　土器計測表⑧



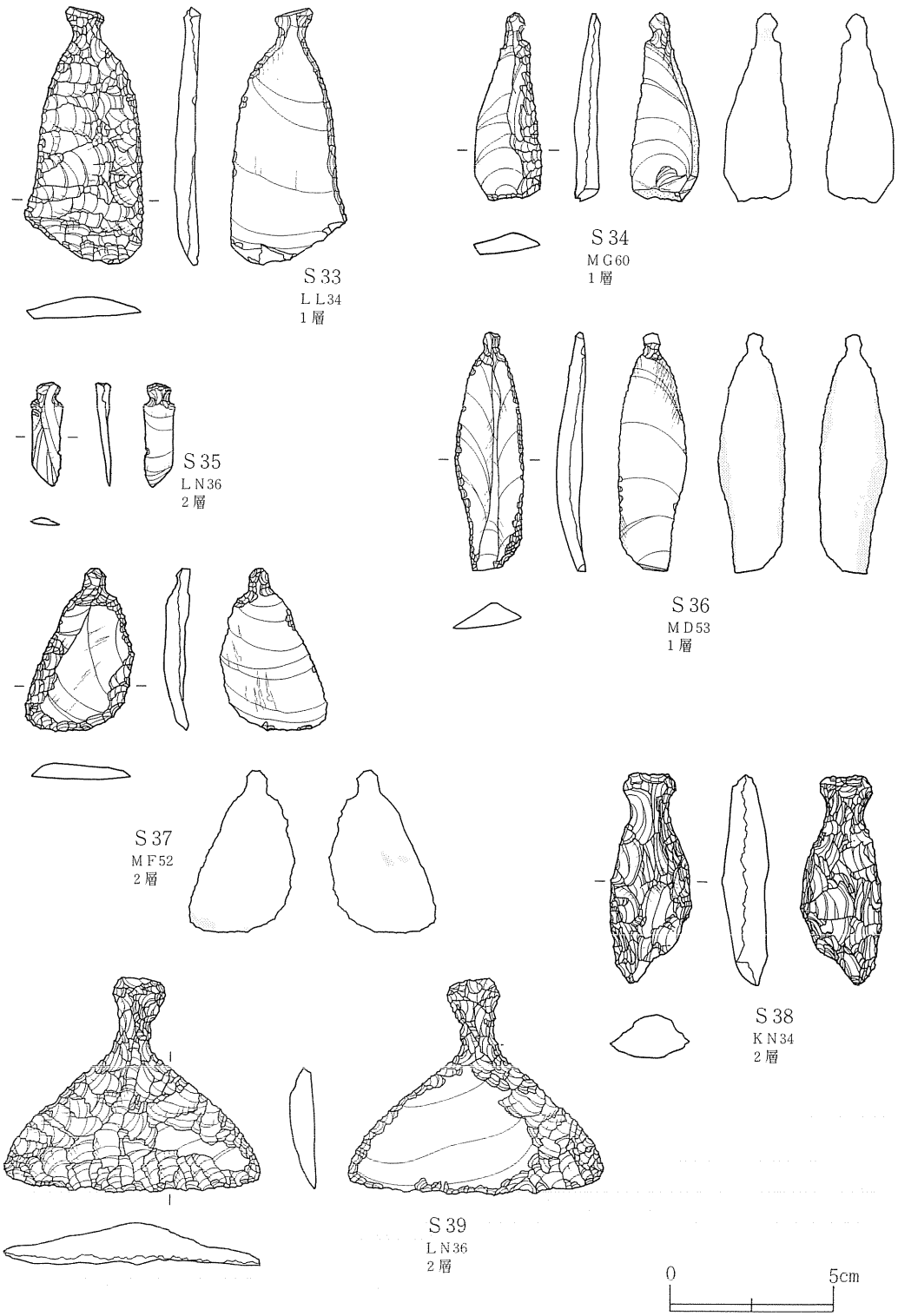
第35図　遺構外出土石器(1)



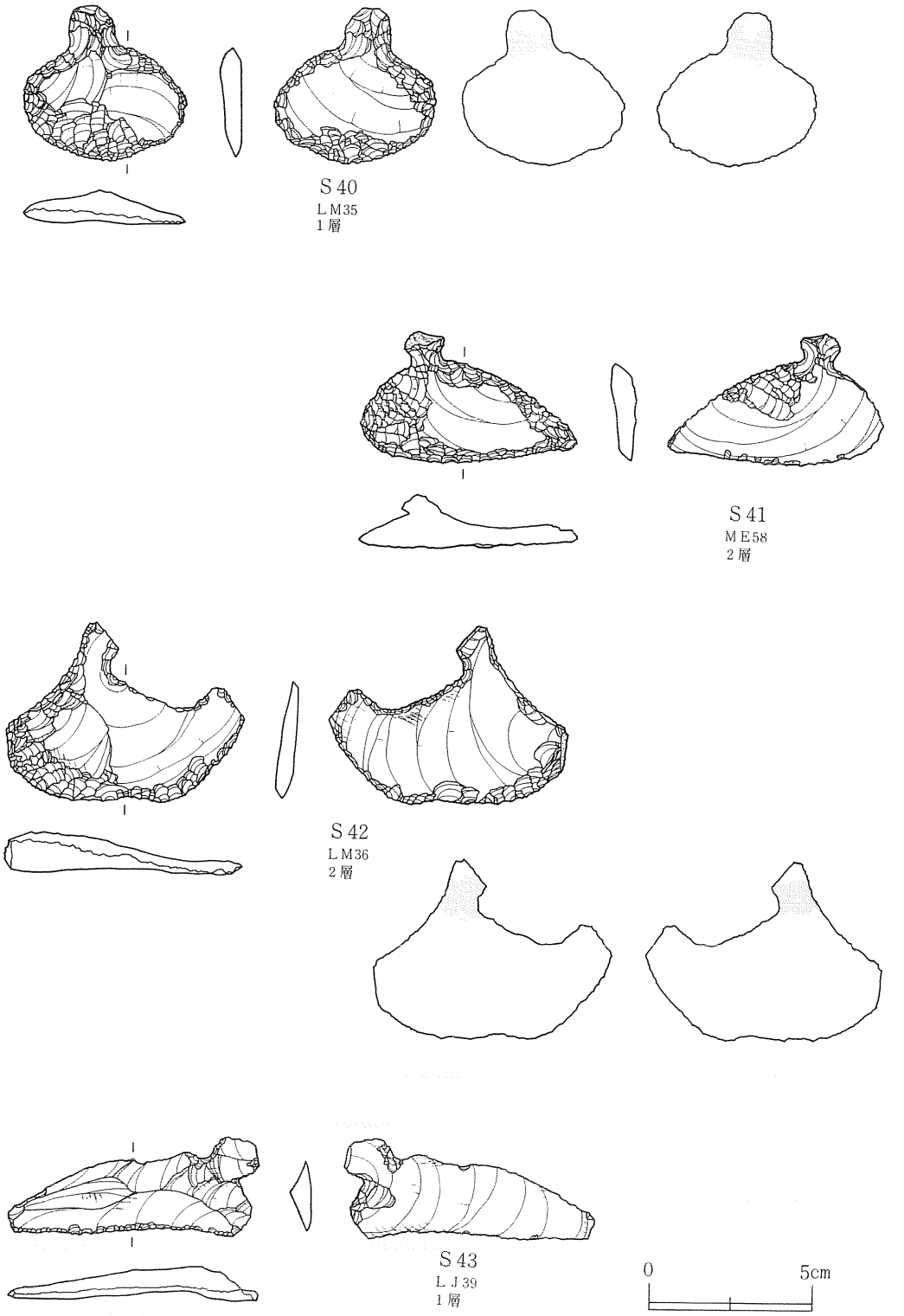
第36図　遺構外出土石器(2)



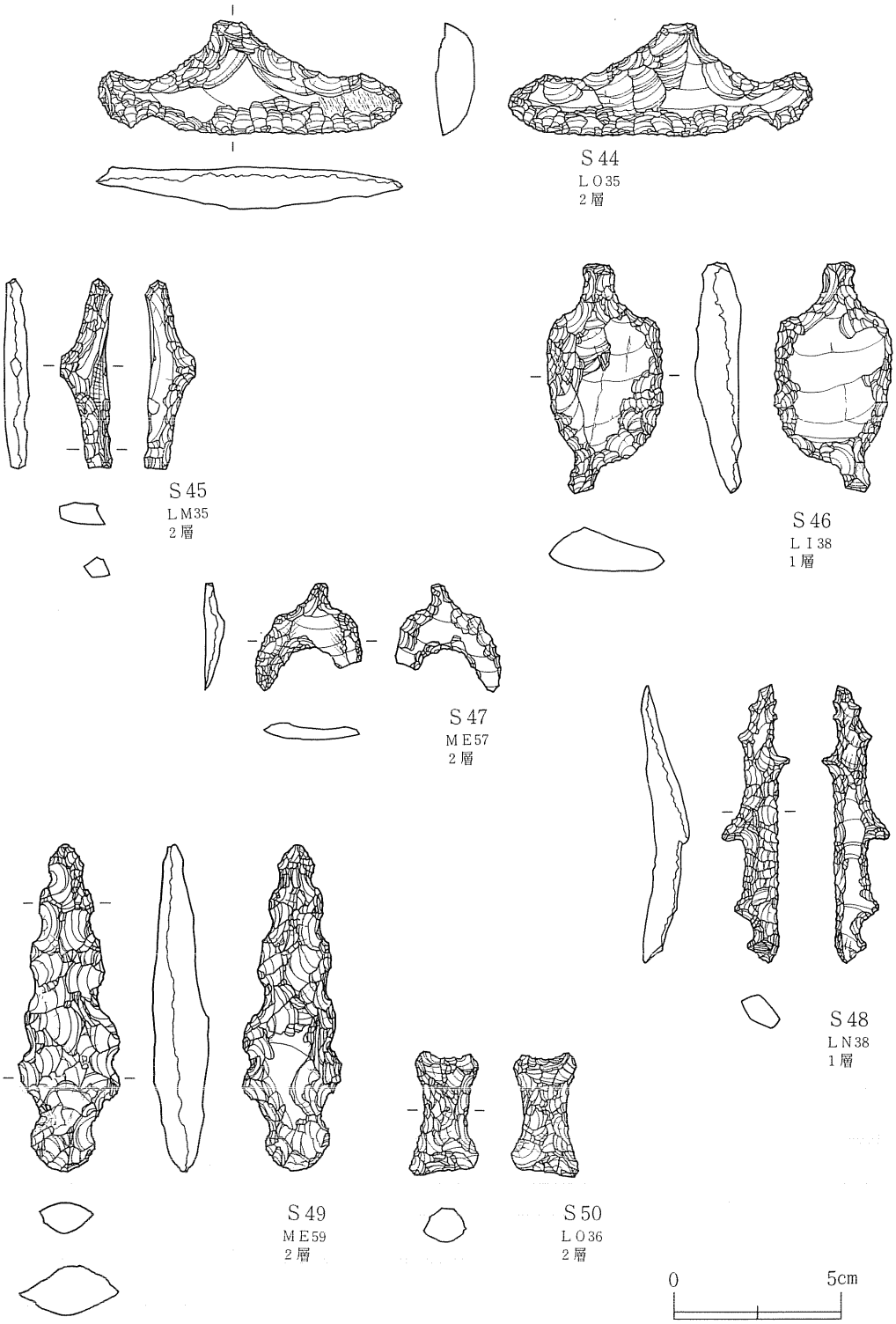
第37図　遺構外出土石器(3)



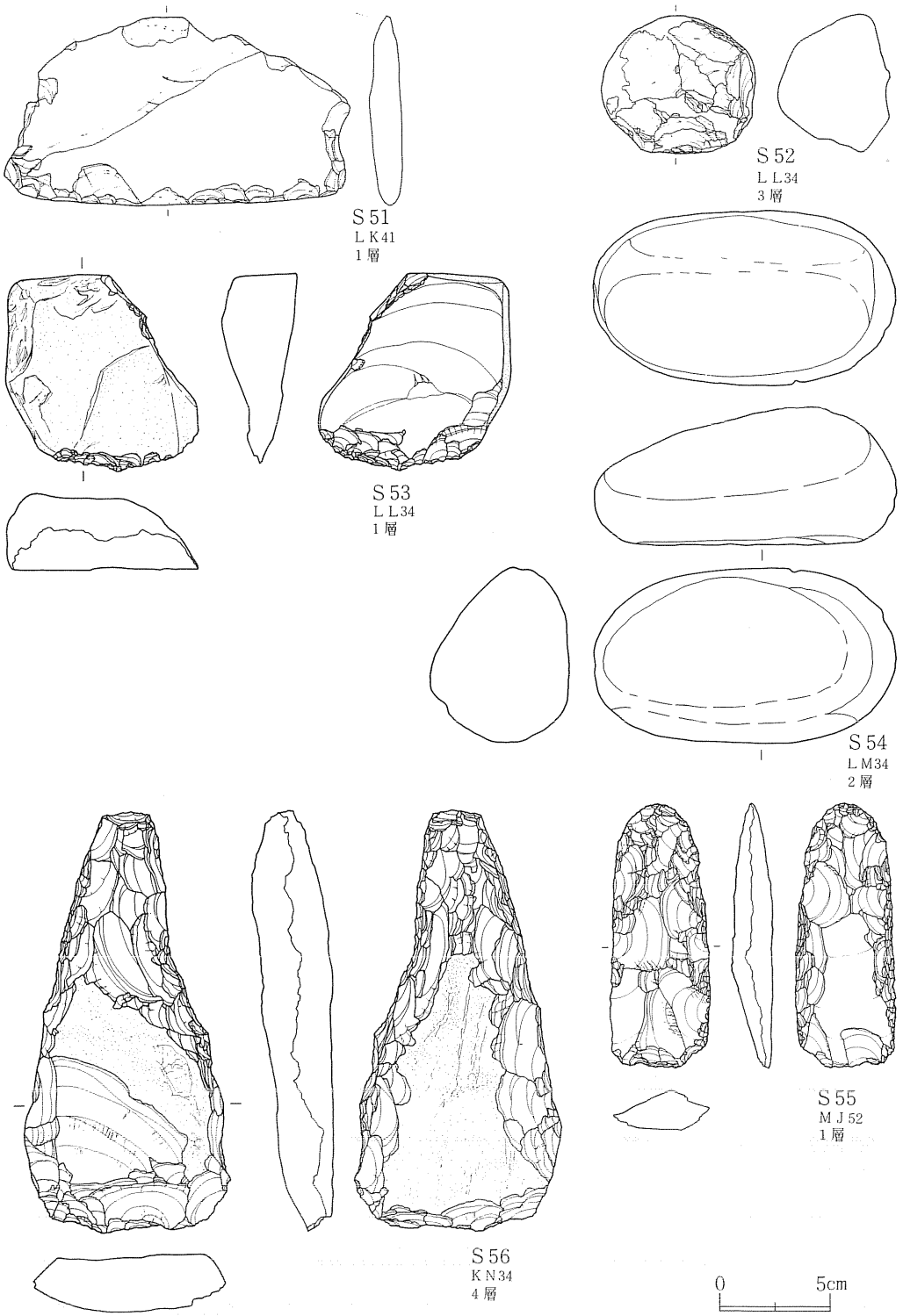
第38図　遺構外出土石器(4)



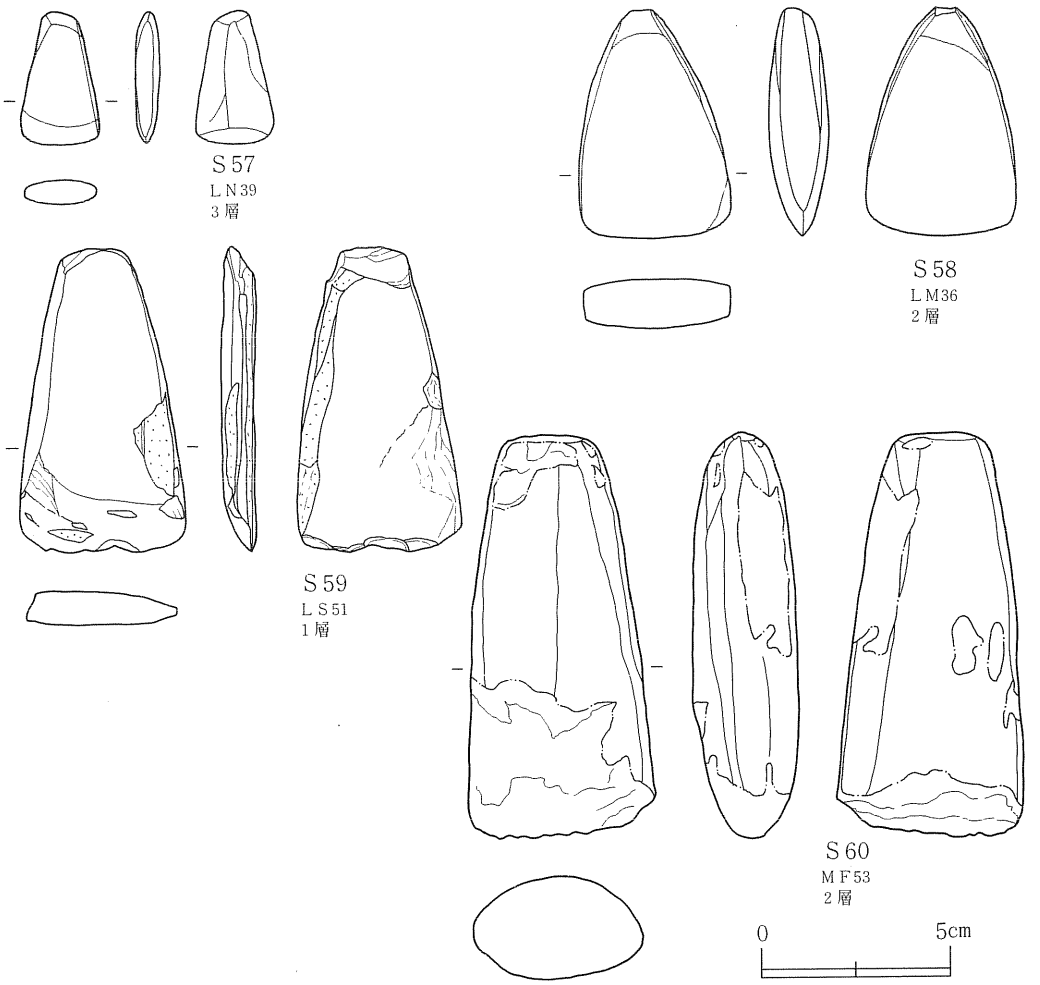
第39図　遺構外出土石器(5)



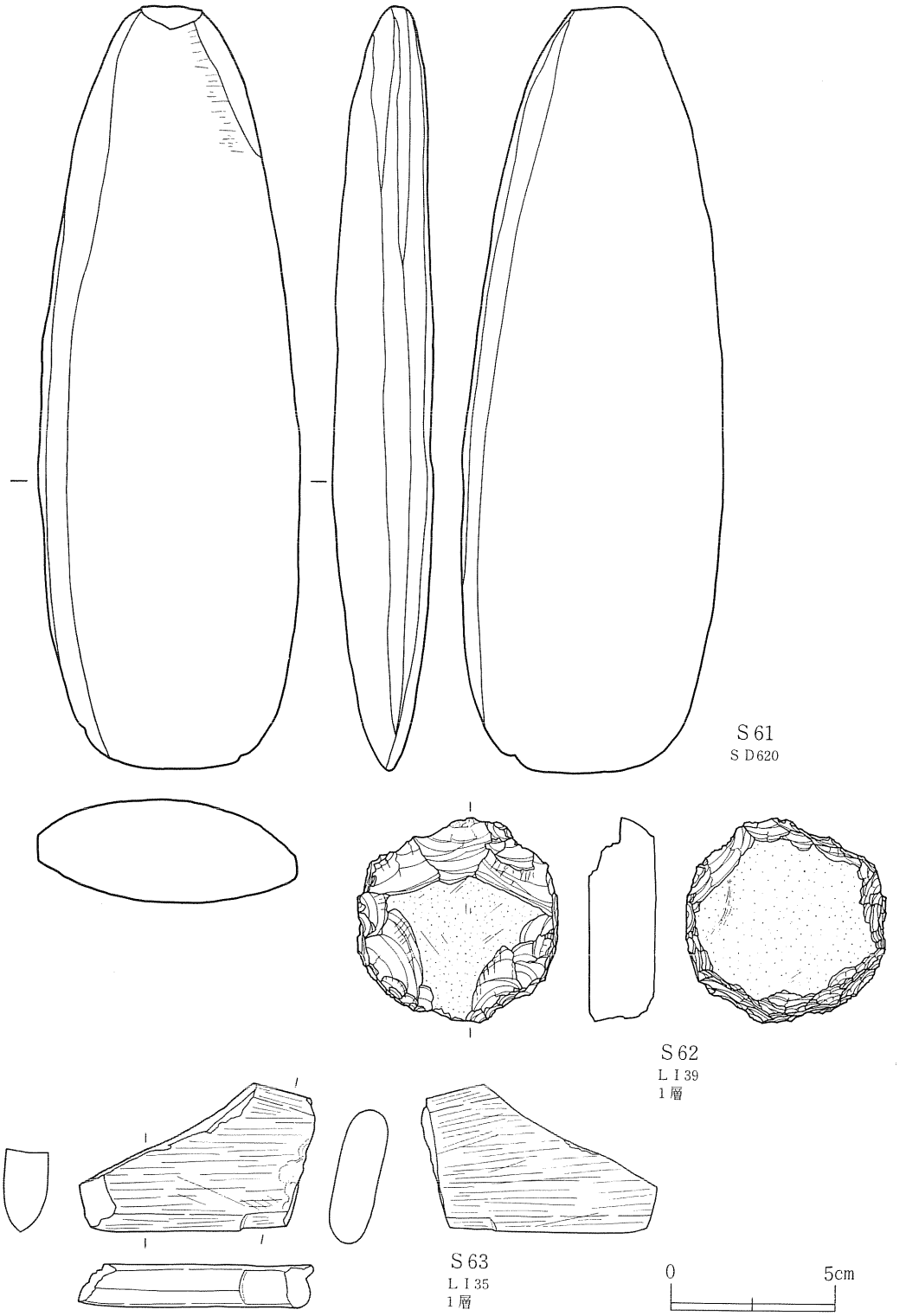
第40図　遺構外出土石器(6)



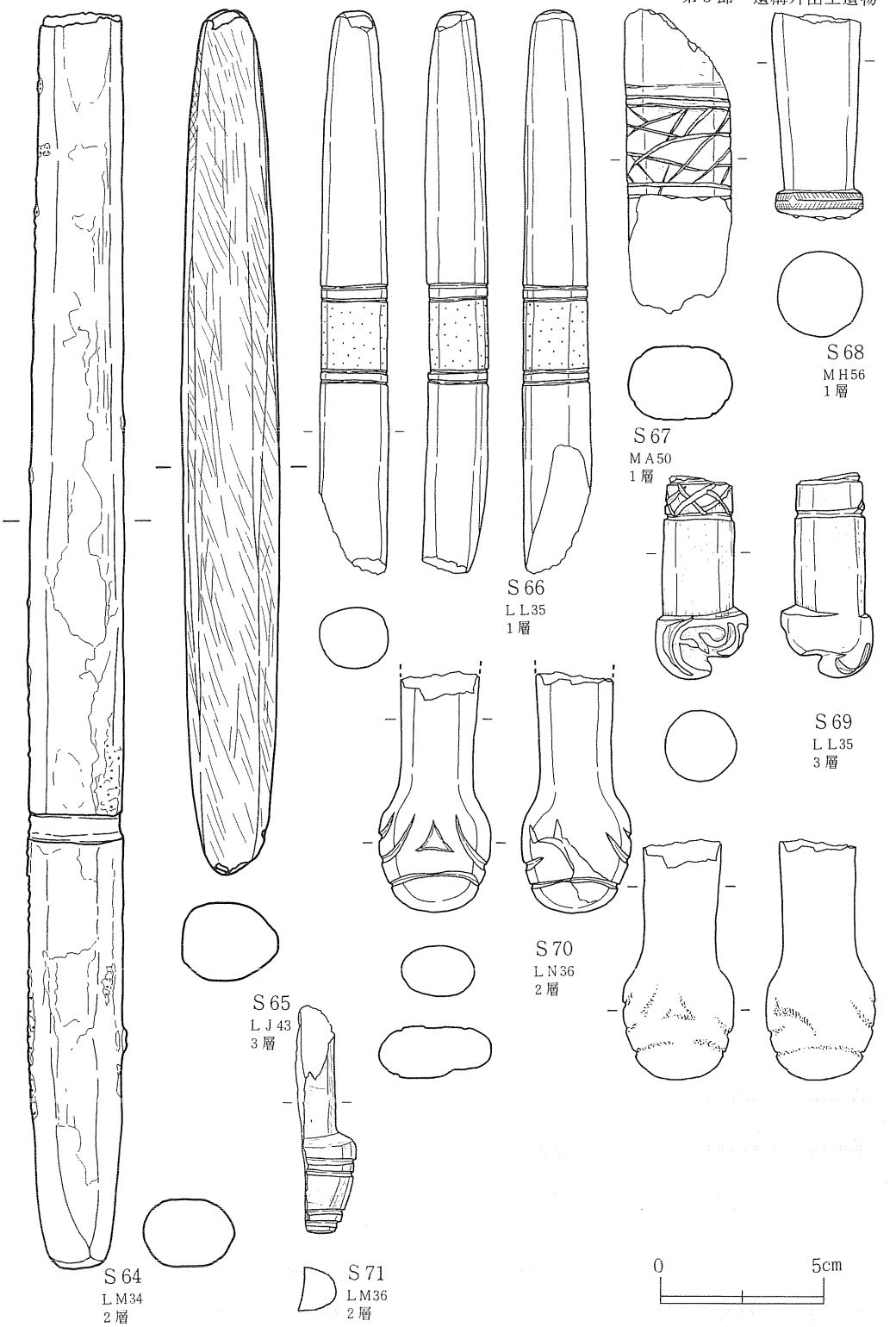
第41図　遺構外出土石器(7)



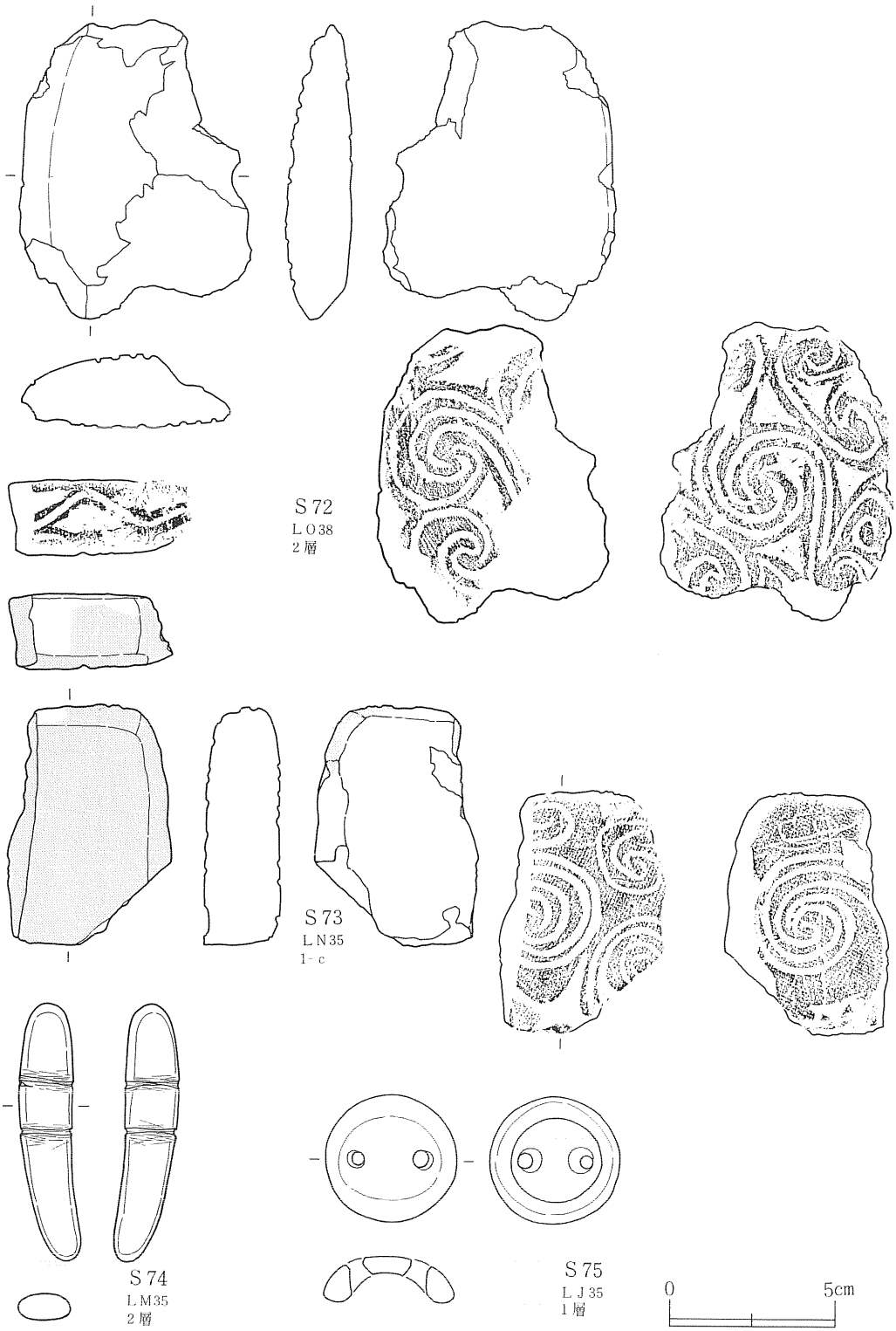
第42図　遺構外出土石器(8)



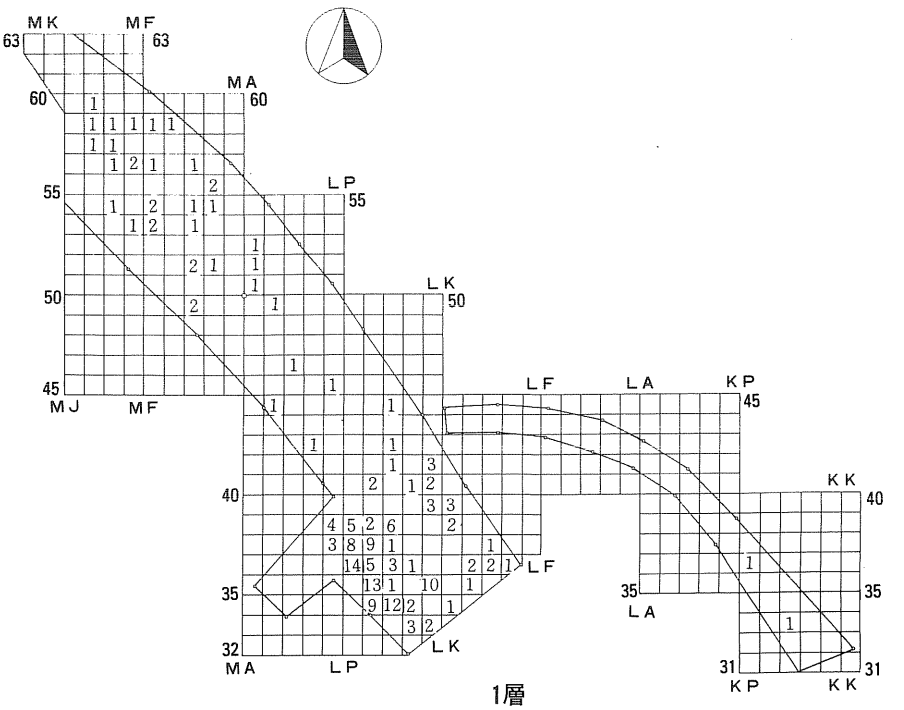
第43図　遺構外出土石器(9)



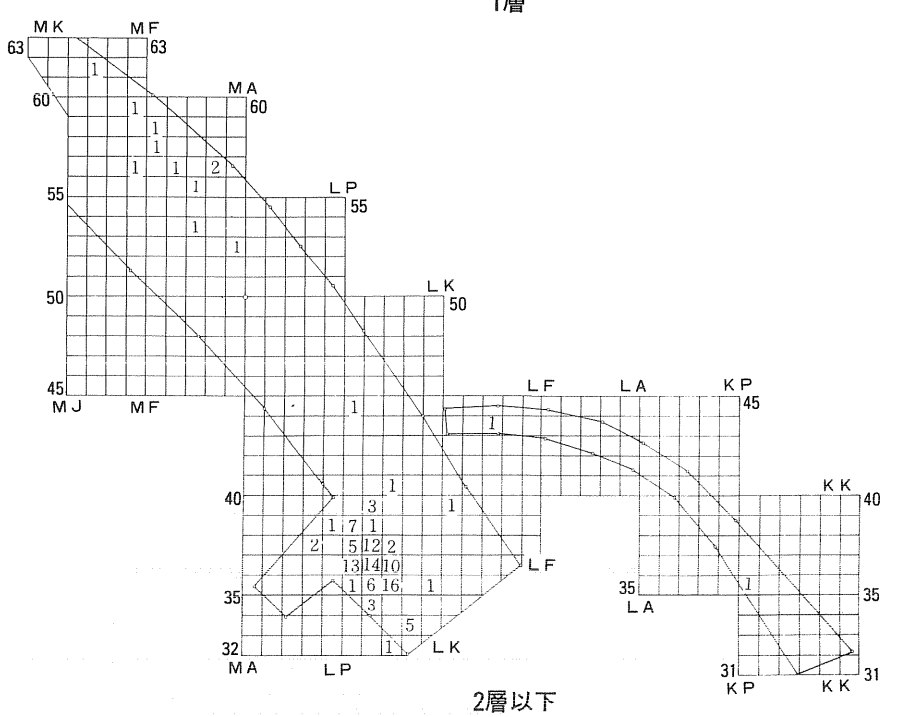
第44図　遺構外出土石器(10)



第45図　遺構外出土石器(11)



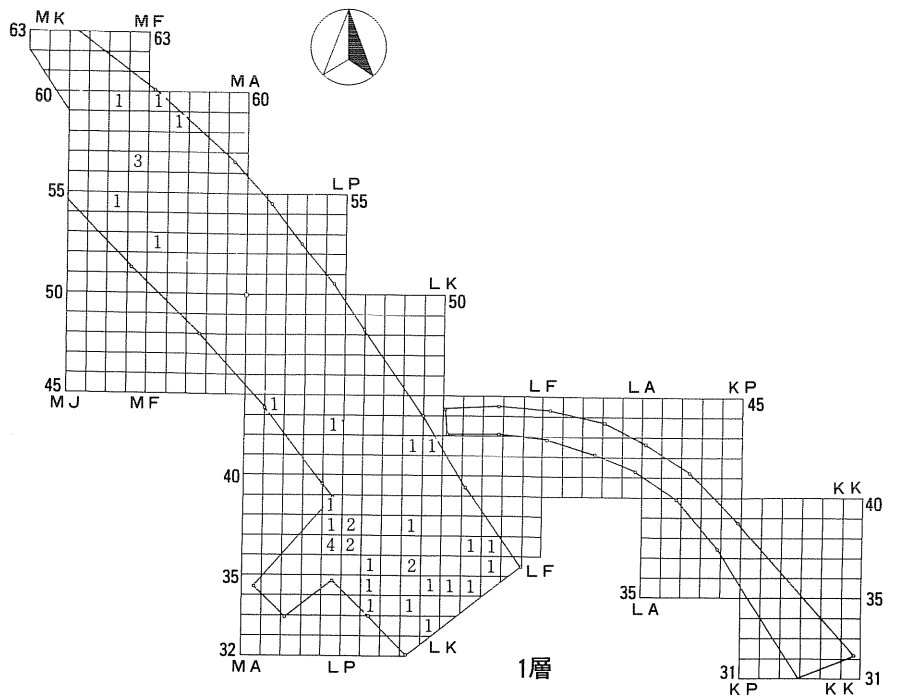
1層

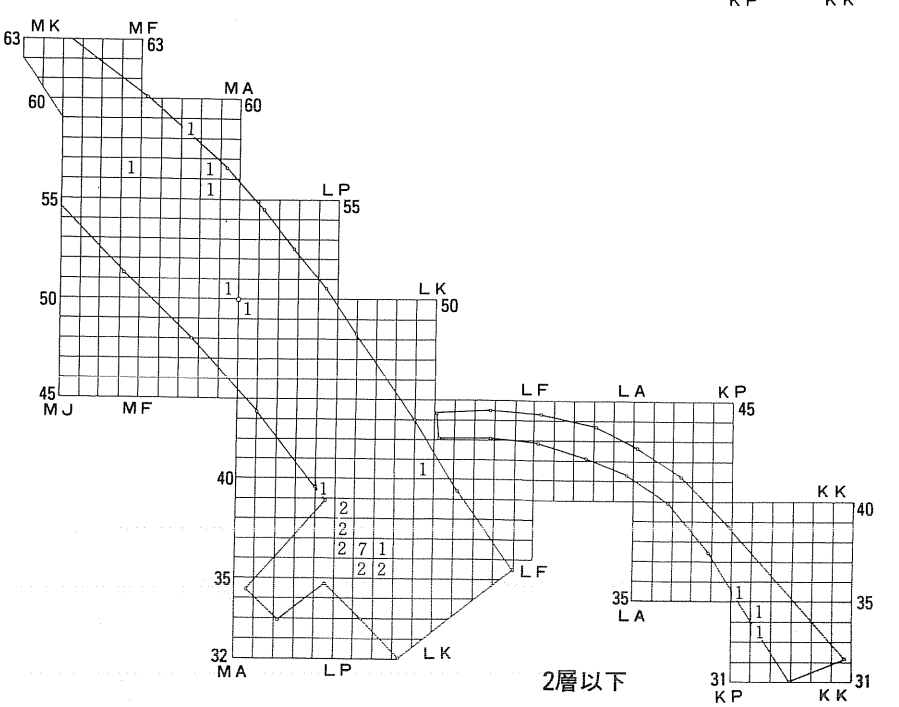


2層以下

0　　20m

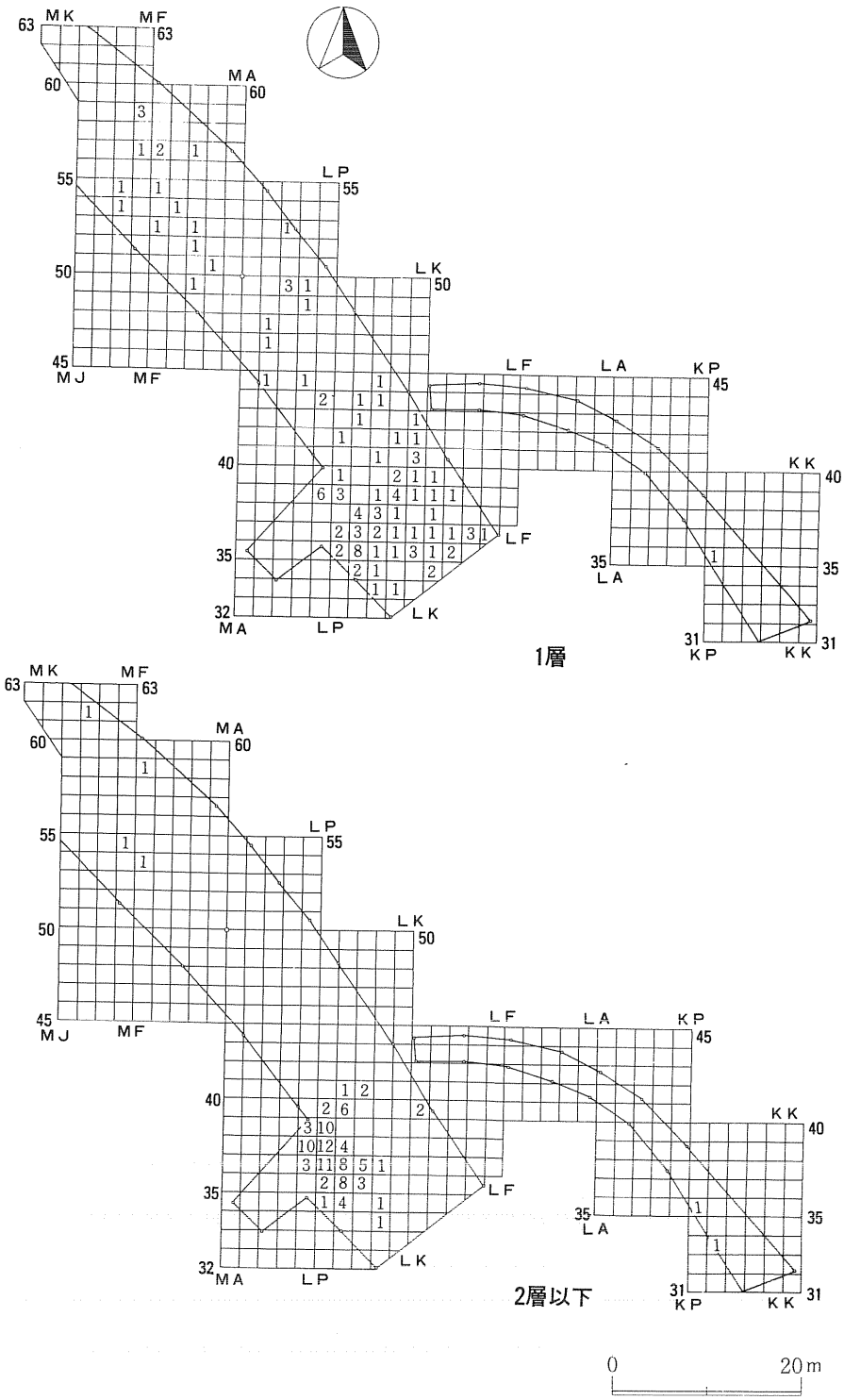
第46図　器種別石器出土分布図(1)　石鏃



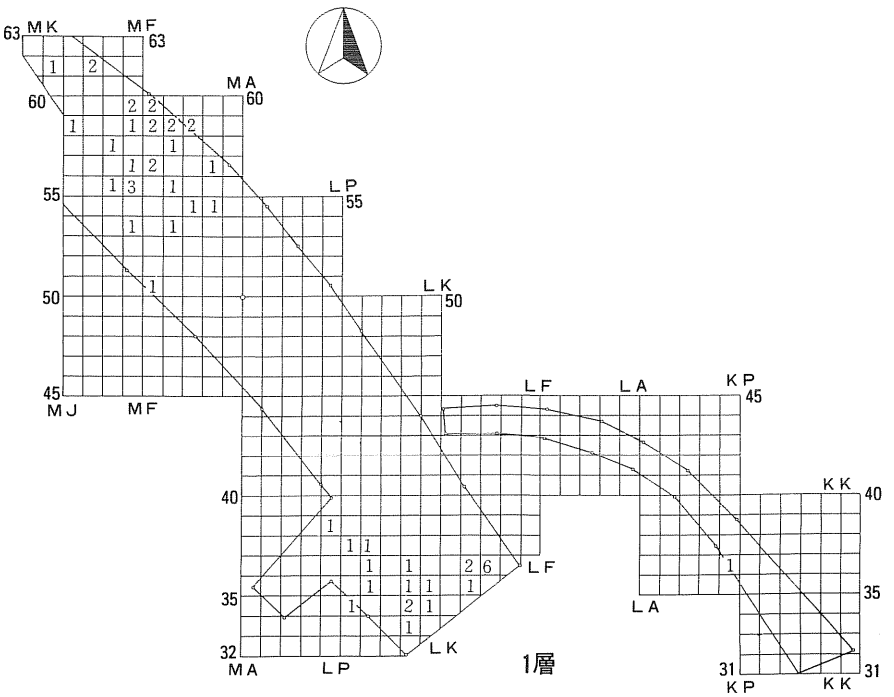


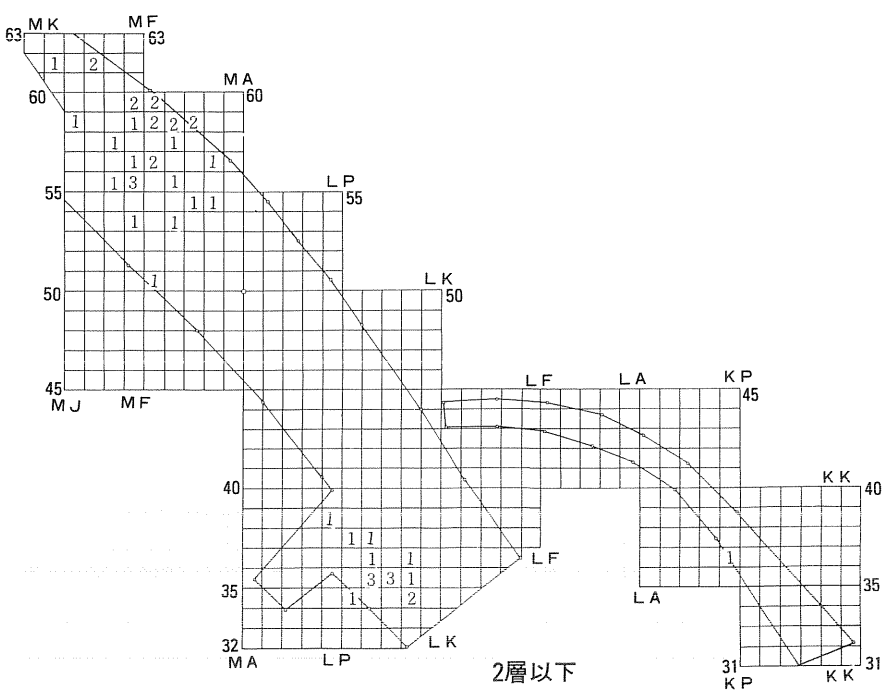
0　20m

第47図　器種別石器出土分布図(2)　石槍



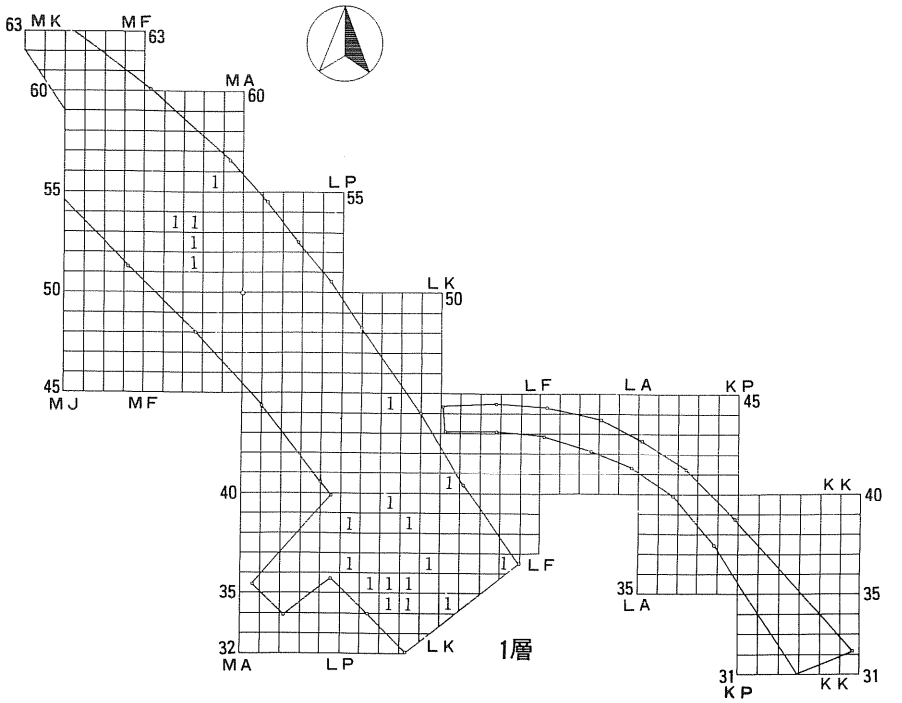
第48図　器種別石器出土分布図(3)　石錐

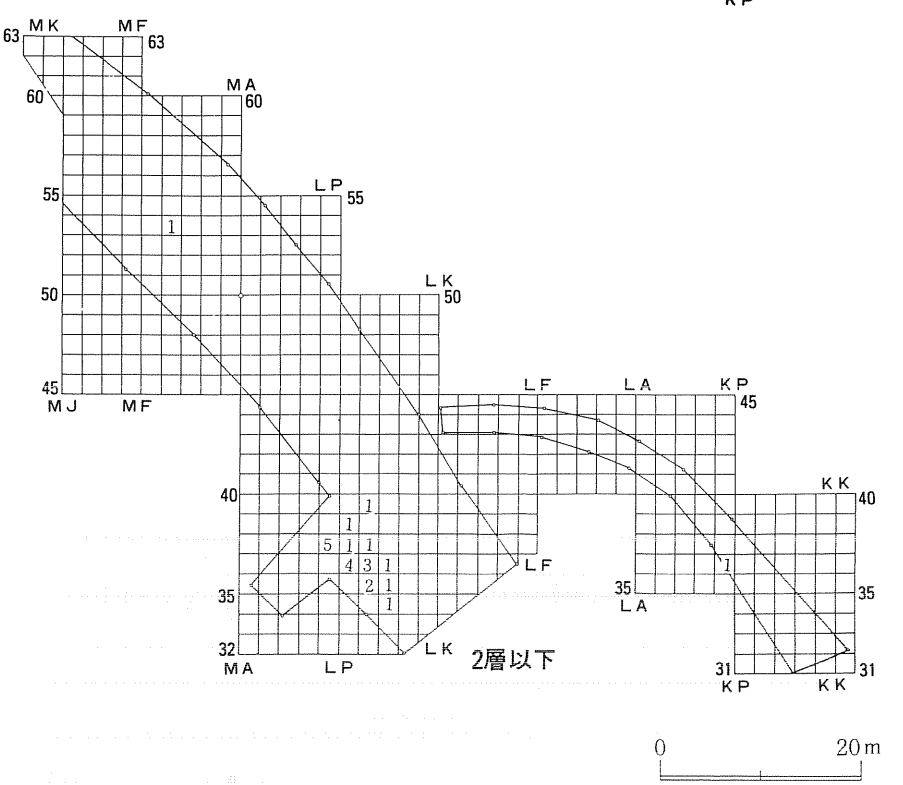




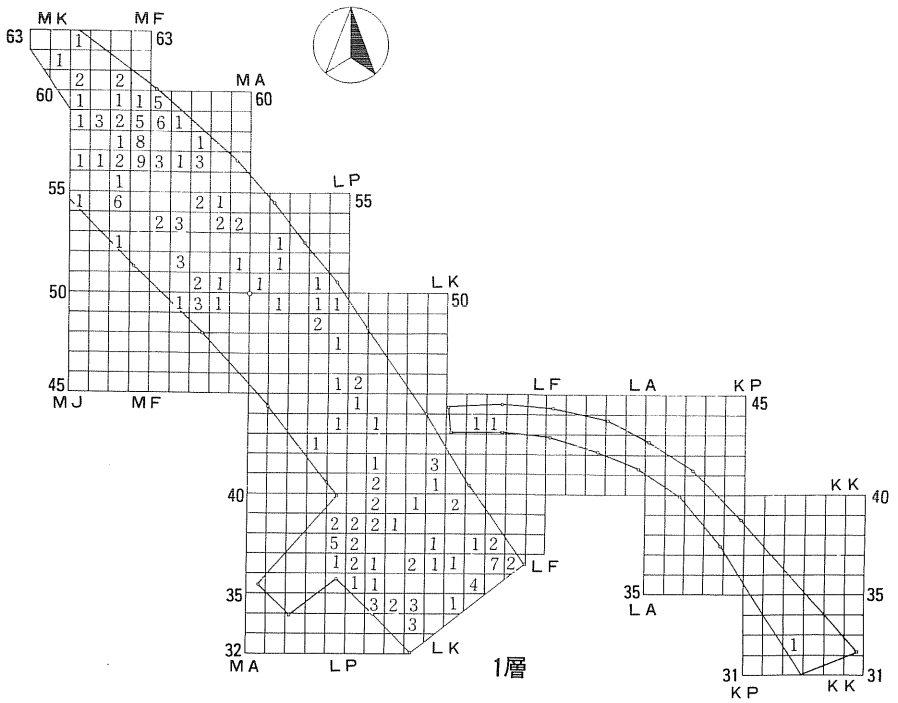
0　20m

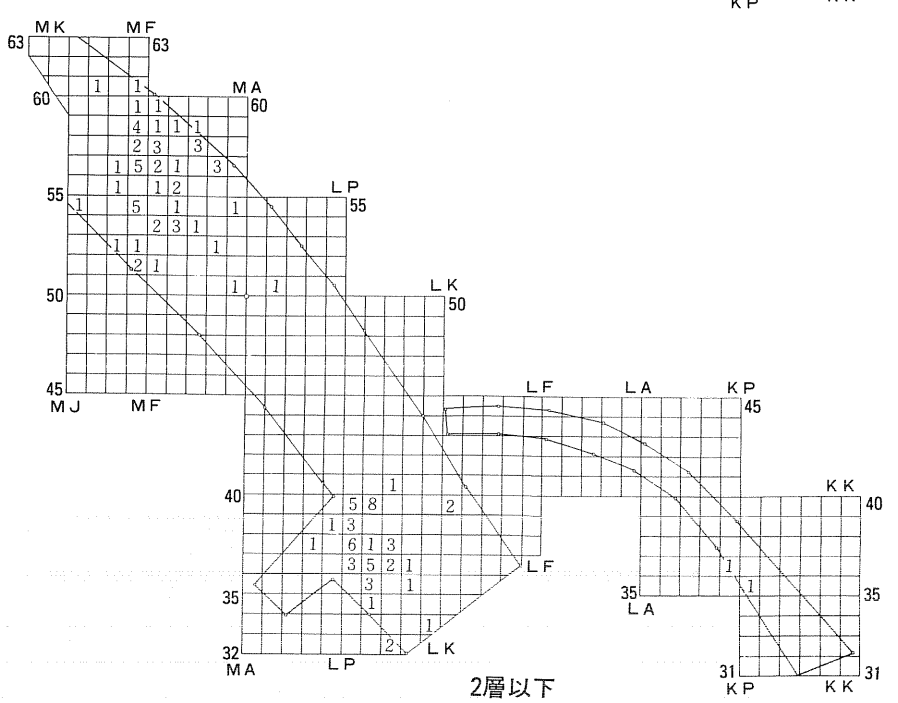
第49図　器種別石器出土分布図(4)　箆状石器





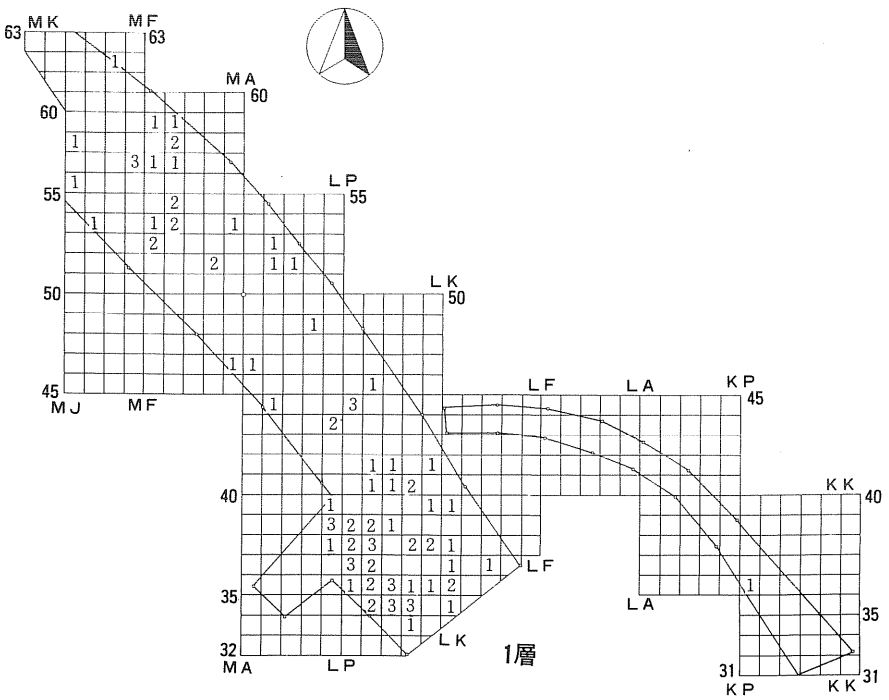
第50図　器種別石器出土分布図(5)　ピエス・エスキーユ

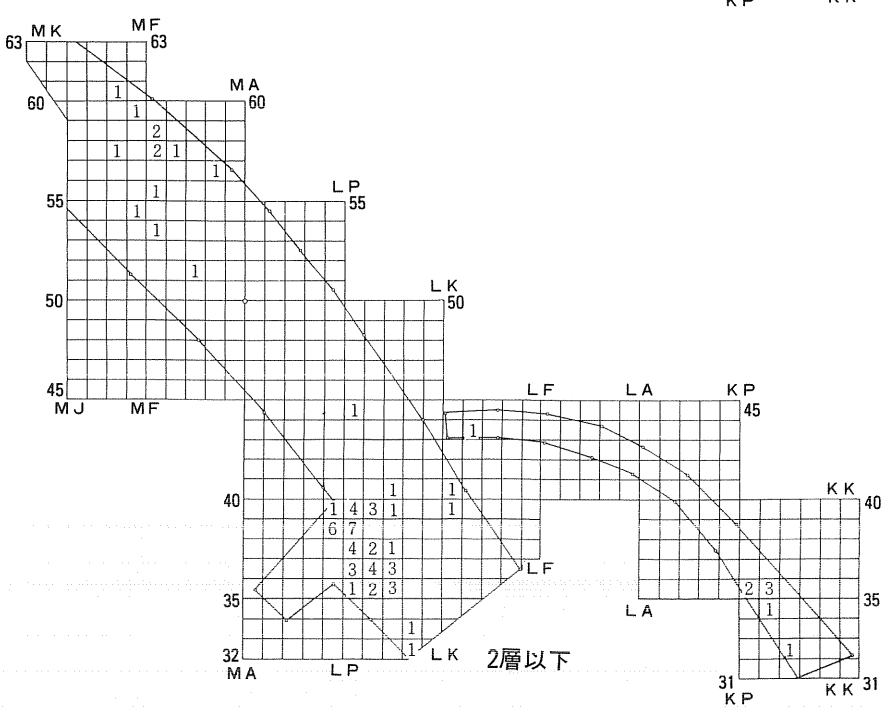




0　20m

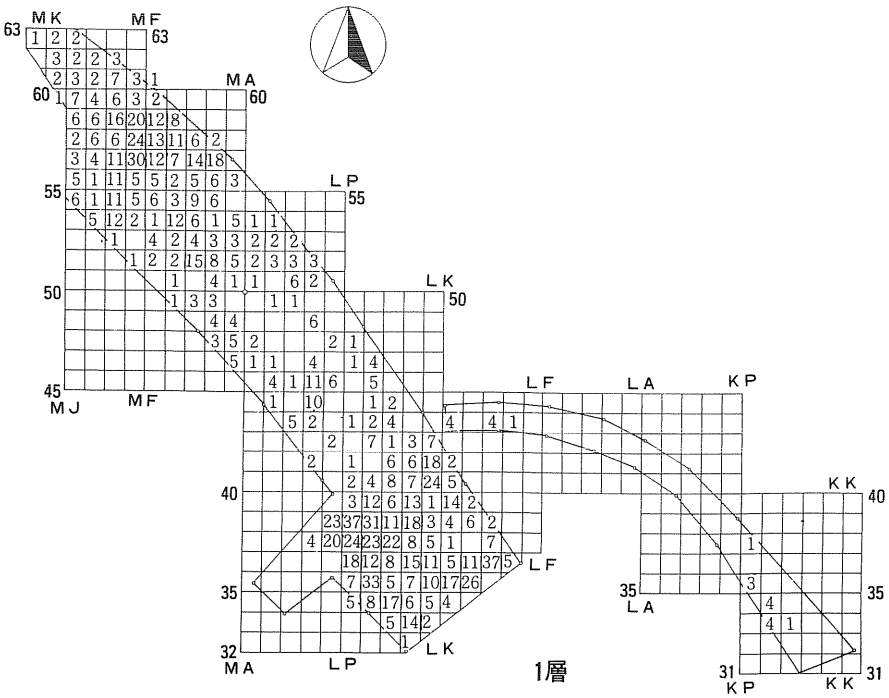
第51図　器種別石器出土分布図(6)　縦型石匙

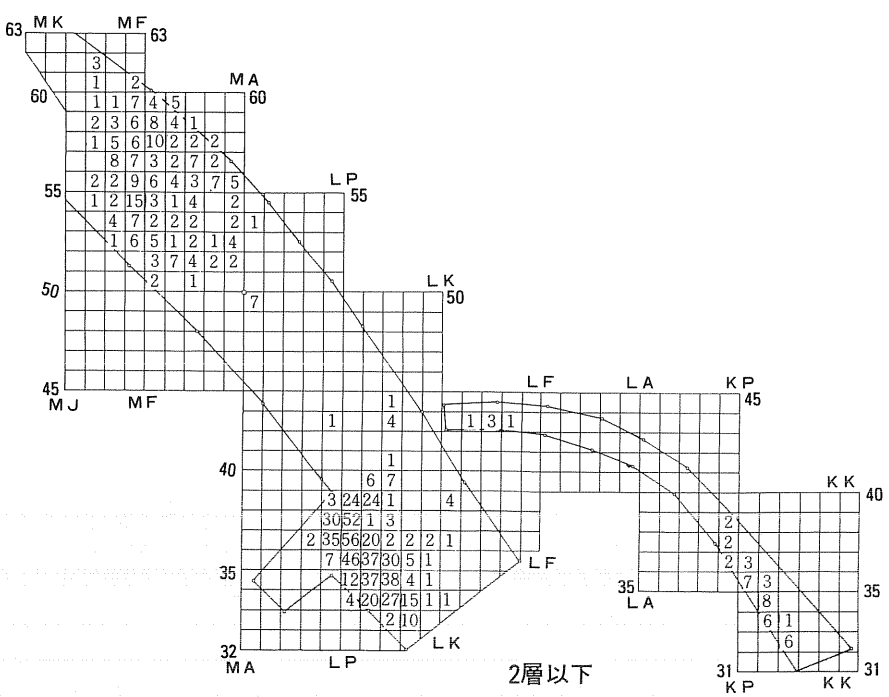




0　20m

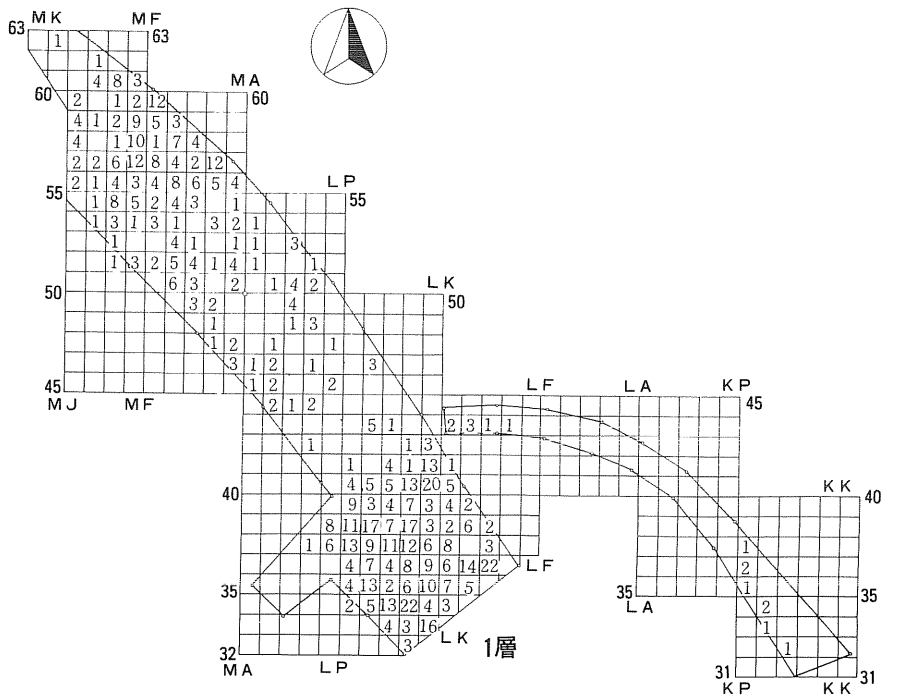
第52図　器種別石器出土分布図(7)　横型石匙

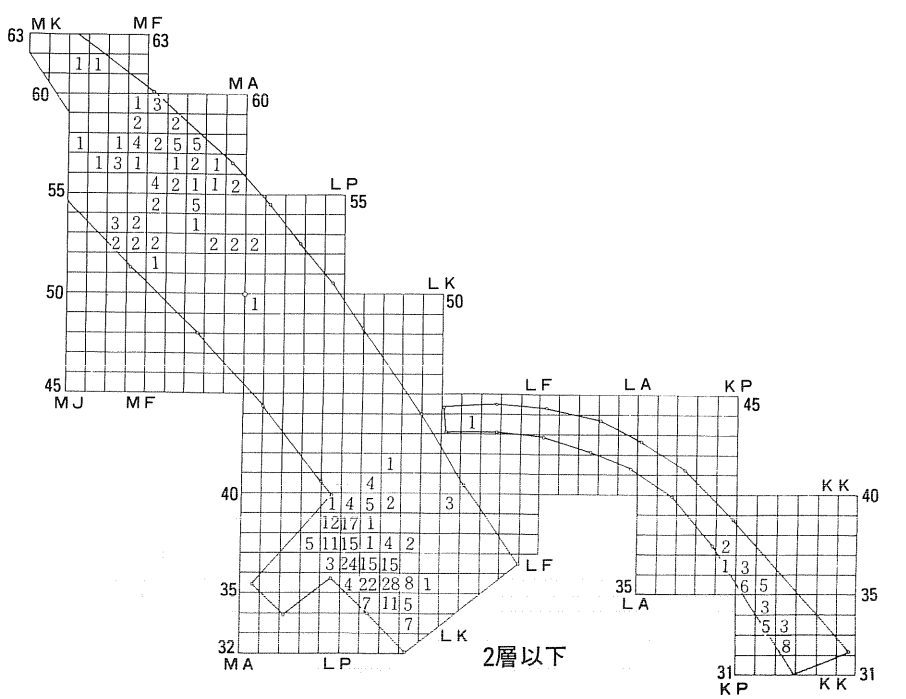




0　20m

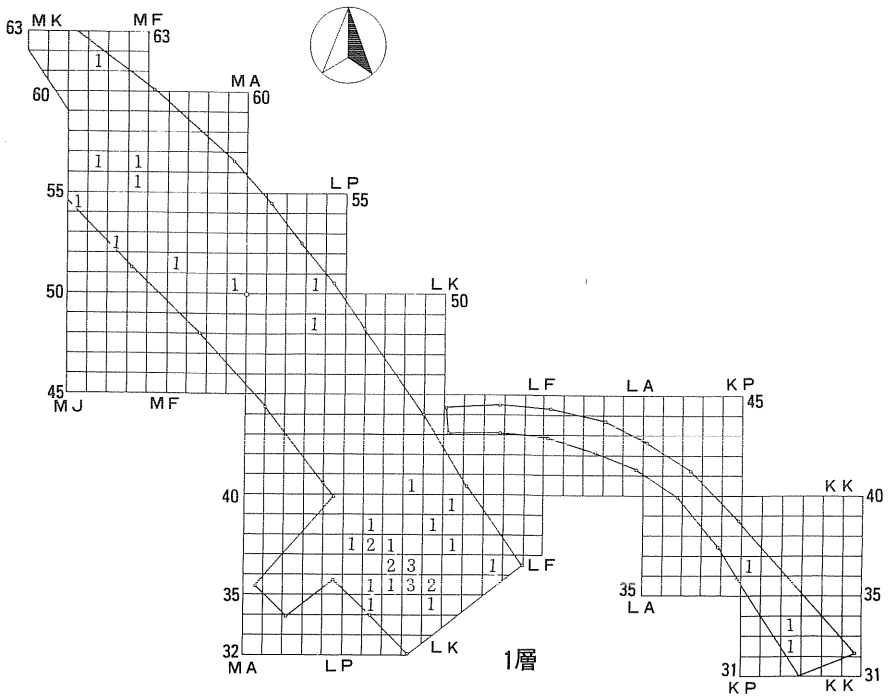
第53図　器種別石器出土分布図(8)　不定形石器

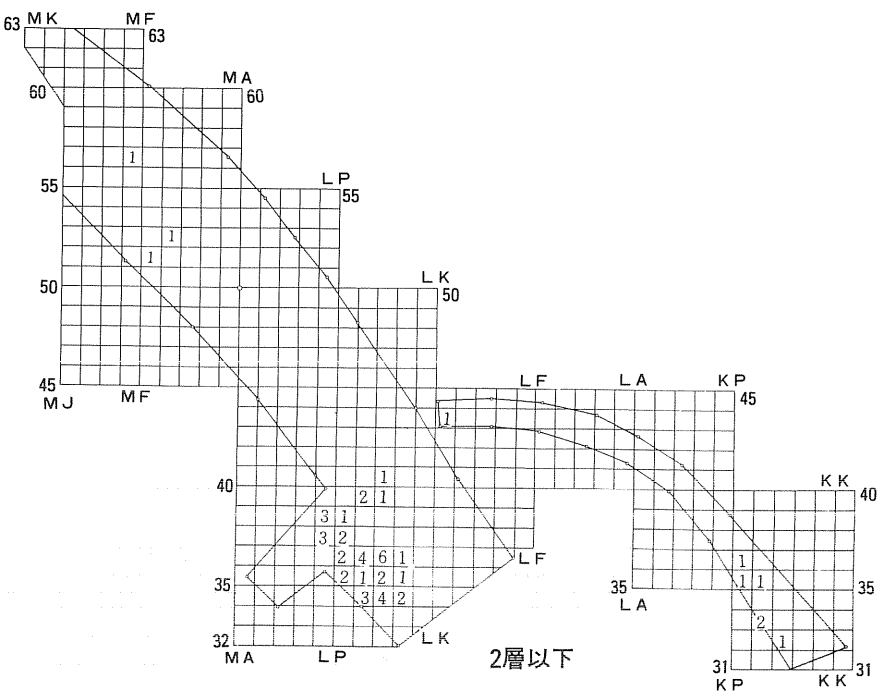




0　20m

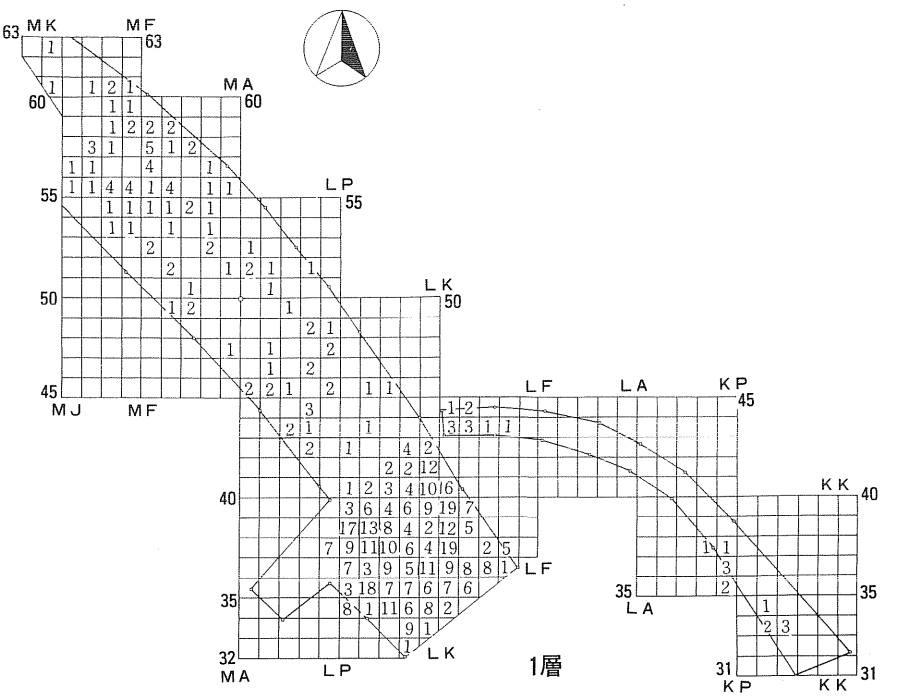
第54図　器種別石器出土分布図(9)　微小剥離痕のある剥片

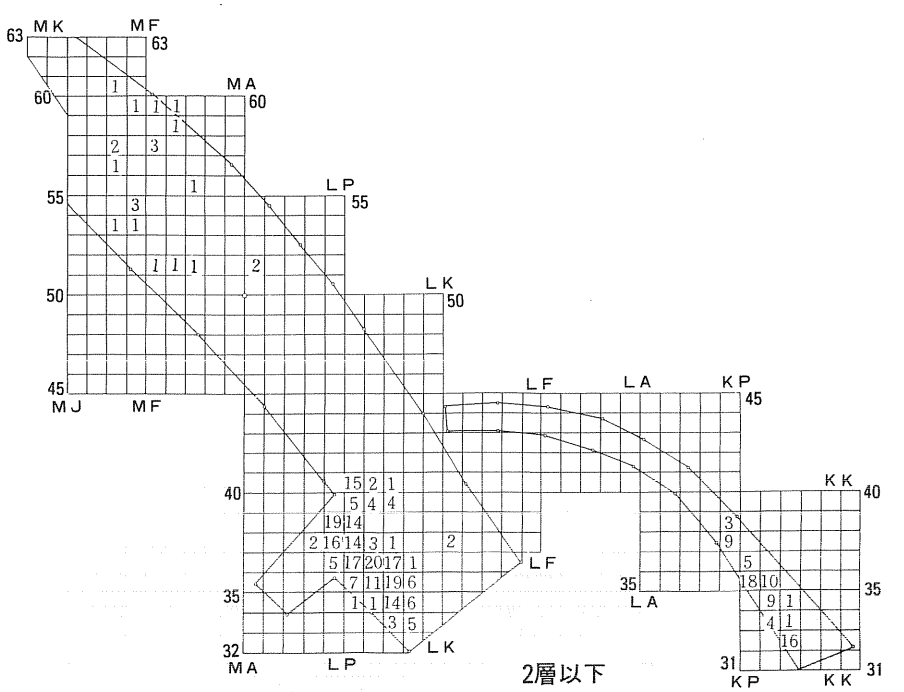




0　　20m

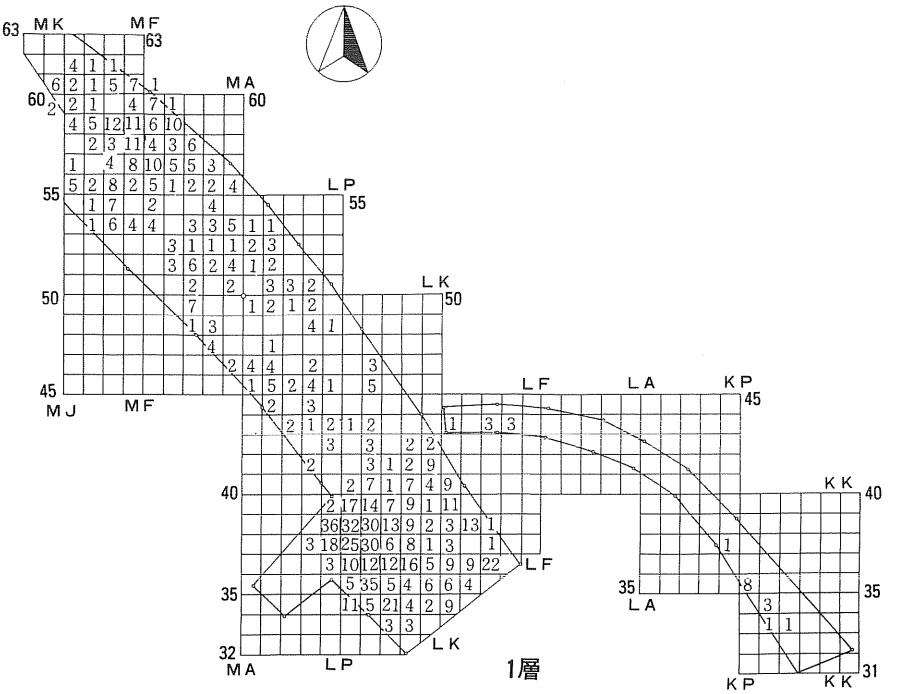
第55図　器種別石器出土分布図⑽　石剣

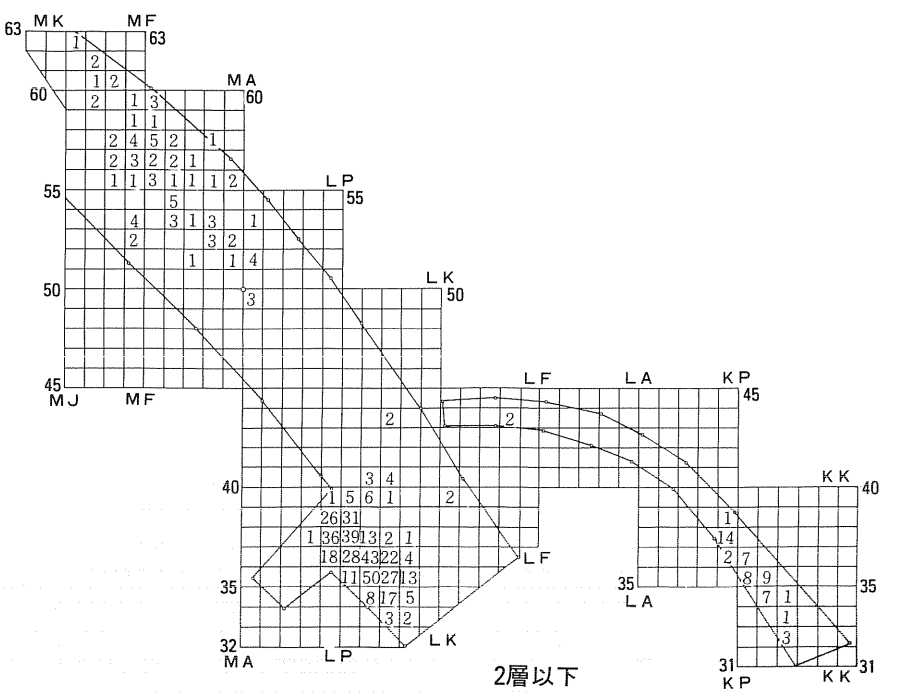




0　20m

第56図　器種別石器出土分布図(11)　二次加工のある剝片





0　20m

第57図　器種別石器出土分布図(12)　石核

トランシェ様石器

グリッド	個数
KO37	1
LI35	1
MG57	1
MH57	1

異形石器

グリッド	個数
LI38	1
LN38	1
LO36	1
LP48	1

磨製石斧

グリッド	個数
LH36	3
LK34	1
LK37	1
LK39	1
LN34	1
LO37	1
LO38	1
LO40	2
LQ46	1
LS51	1
MB51	1
MC51	1
ME57	3
MG55	1

打製石斧

グリッド	個数
LM38	1
LN37	2
MF59	1

半円状偏平打製石器

グリッド	個数
LK41	1

礫器

グリッド	個数
LI38	1
LI43	2
LJ36	1
LK42	1
LL33	1
LL34	2
LL38	4
LO37	2
LQ48	1
MG56	1

砥石

グリッド	個数
LK33	1
LM39	1
LN38	1

磨石

グリッド	個数
KN33	1
KO35	1
KO36	5
LH36	6
LI35	4
LI36	2
LI43	1
LJ34	1
LJ35	1
LJ37	1
LK34	2
LL32	1
LL36	1
LL37	3
LL42	1
LN36	1
LN37	1
LN38	2
LN40	1
LN42	1
LN43	1
LO34	1
LO37	1
LO40	1
LP48	1
LP49	1
LQ44	1
LQ46	1
LR49	1
LT47	1
LT50	3
LT54	2
MA50	3
MA55	2
MB53	1
MB55	1
MB56	1
MC52	3
MC54	2
MD52	1
MD56	1
MD59	1
ME56	3
ME58	1
MF55	1
MF56	1
MF57	2
MF60	1
MG52	1
MG53	2
MG55	3
MG57	2
MG58	2
MI58	2
MJ61	1
MK62	1
MK63	1

凹石

グリッド	個数
KO35	1
KO37	1
LH36	7
LH37	1
LI35	4
LI36	1
LJ35	2
LK33	1
LK34	1
LK35	1
LK37	1
LL33	1
LL34	4
LL40	1
LM33	1
LM38	1
LM40	1
LN43	4
LO36	1
LP38	1
LP49	2
LQ42	1
LQ51	1
LR49	1
LR50	1
LT46	3
MA53	1
MA55	2
MB52	1
MB53	2
MB54	1
MB55	1
MC51	2
MC53	1
MC56	1
MC57	1
MD52	1
ME52	1
ME56	1
ME57	1
MF53	2
MF56	1
MG52	1
MG53	4
MG56	3
MH56	1
MH57	1
MH61	1
MJ60	1

敲打礫

グリッド	個数
LO38	1
MA53	1

凹部礫

グリッド	個数
LM36	1
LP38	1
MB53	1
MC54	1

石皿

グリッド	個数
LJ35	6
LJ39	1
LT51	5
MC50	1
MC56	1
MD57	2
MF60	1

石棒

グリッド	個数
LO44	1
MB51	2
MG56	1

刻線礫

グリッド	個数
MH56	1

岩版

グリッド	個数
LN35	1

有孔礫

グリッド	個数
LJ35	1

円盤状石製品

グリッド	個数
LI39	2
LM33	1
LM36	1

剝片

グリッド	個数
KM32	6
33	46
KN33	28
34	125
KO35	61
36	29
37	19
KP37	9
LG36	57
43	15
LH36	624
37	76
38	24
43	58
LI35	358
36	263
37	2
38	107
39	78
43	31
44	17
LJ34	92
35	145
36	236
37	198
38	126
39	338
40	99
41	2
43	40
44	7
LK33	110
34	95
35	363
36	331
37	177
38	85
39	150
40	187
41	268
42	66
LL32	11
33	160
34	241
35	203
36	302
37	163
38	275
39	180
40	168
41	58
42	86
LM33	66
34	379
35	153
36	300
37	222
38	262
39	100
40	77
41	28
42	9
43	36
44	19
45	6
LN34	158
35	779
36	226
LN37	497
38	470
39	206
40	162
41	19
42	35
43	65
44	29
45	55
46	51
LO34	363
35	130
36	271
37	505
38	630
39	109
40	49
41	35
43	10
44	6
45	13
46	7
48	11
LP35	60
37	491
38	587
39	22
42	35
43	32
45	46
47	59
48	23
49	10
50	3
LQ37	20
41	23
42	20
43	51
44	109
45	50
46	43
47	1
48	92
49	49
50	67
51	19
LR43	58
44	32
45	42
46	8
47	3
48	55
49	52
50	38
51	7
52	43
LS44	47
45	83
46	50
47	12
49	35
50	48
51	35
52	73
53	18
LT45	18
46	19
47	45
49	16
50	34
LT51	19
52	28
53	17
54	11
MA46	38
47	37
48	24
50	50
51	48
52	28
53	49
54	6
55	42
MB47	42
48	32
49	13
50	25
51	48
52	37
53	76
54	85
55	80
56	144
57	30
MC48	3
MC49	135
50	40
51	79
52	65
53	92
54	75
55	60
56	88
57	98
MD49	35
50	65
51	27
52	53
53	76
54	51
55	88
56	122
57	173
58	117
ME50	22
51	17
52	57
53	103
54	68
55	90
56	174
57	126
58	190
59	98
60	12
MF51	19
52	20
53	75
54	49
55	106
56	451
57	303
58	190
59	65
60	47
MG51	4
52	21
53	73
54	131
55	155
MG56	133
57	60
58	148
59	85
60	133
61	28
MH53	29
54	33
55	26
56	54
57	75
58	75
59	53
60	39
61	41
62	8
MI54	38
MI55	73
56	40
57	36
58	109
59	106
60	39
61	47
62	31
MJ59	2
60	38
61	28
62	46
MK62	9
63	24

黒曜石剝片

グリッド	個数
LJ35	1
LJ36	1
LL33	1
LL38	2
LN36	1
LO37	1
LQ50	1
MC54	1
MD55	2
ME54	1
MF56	1
MF57	1
MI54	1

分割礫

グリッド	個数
KM33	1
KN33	1
KN34	2
KO37	1
LH38	1
LI35	1
LI36	1
LI38	1
LJ34	1
LJ35	1
LJ37	1
LJ38	4
LJ39	4
LJ40	1
LK33	1
LK34	1
LK35	3
LK36	3
LK37	4
LK38	1
LK39	2
LK40	1
LK41	2
LK42	2
LL43	3
LL44	5
LL45	5
LL46	10
LL48	6
LL49	6
LL50	3
LL51	3
LM34	4
LM36	2
LM37	2
LM38	6
LM39	3
LM40	2
LN34	4
LN35	6
LN36	4
LN37	2
LN38	8
LN39	2
LN41	2
LN43	5
LO34	7
LO35	4
LO36	2
LO37	5
LO38	8
LO45	1
LP37	2
LP38	4
LP47	1
LQ42	1
LQ48	1
LQ50	1
LQ51	2
LR43	1
LR45	4
LR52	1
LS45	2
LS46	1
LS50	1
LS51	1
LS52	1
LS53	1
MA47	1
MA55	3
MB50	1
MB51	2
MB52	1
MB54	3
MB56	3
MB57	1
MC49	1
MC55	1
MC56	2
MD52	1
MD57	3
ME51	1
ME53	1
ME57	1
ME8	1
MF55	2
MF59	1
MF60	3
MG53	2
MG54	1
MG55	6
MG56	1
MG57	2
MG59	1
MH53	1
MH56	1
MI55	2
MI58	3
MI59	1
MI60	2

第6表　その他の石器出土分布表①　1層

トランシエ様石器

グリッド	個数
MF54	1
MH61	1

異形石器

グリッド	個数
LM35	1
LN36	1
LO35	1
LO36	1
ME57	1
ME59	1

石錘

グリッド	個数
MC55	1

磨製石斧

グリッド	個数
KM32	1
KN33	1
LI43	1
LM33	1
LM34	1
LM36	1
LN39	1
LN40	1
LO35	1
LP37	1
MF53	1
MF55	1

打製石斧

グリッド	個数
KN34	1
LC35	1

礫器

グリッド	個数
KM32	1
LL33	2
LL35	1
LM33	1
LM35	2
LM36	1
LN36	1
LN37	1
LN39	2
LP37	1
LP38	1
ME59	1

擦石

グリッド	個数
LM34	1

磨石

グリッド	個数
KM32	1
KM33	2
KN33	1
KN34	2
KN35	3
KO35	4
KO36	2
KP37	1
KP38	1
LL33	2

グリッド	個数
LL34	1
LL35	2
LL36	11
LM33	2
LM34	7
LM35	9
LM36	9
LN34	1
LN35	10
LN36	9
LN37	1
LN39	3
LN40	1
LO36	1
LO37	1
LO38	4
LO39	2
LP36	1
LP37	4
LP38	3
LS50	1
MA55	1
MC51	1
MC52	1
MC56	1
MC57	5
MD51	3
MD55	1
MD56	1
MD57	2
MD58	2
ME51	1
ME54	1
ME57	4
ME58	2
ME59	2
MF52	3
MF53	2
MF54	1
MF55	6
MG52	1
MG55	1
MG56	1
MG60	1
MH61	4
MI56	1
MI62	1

凹石

グリッド	個数
KM33	2
KM34	1
KN33	1
KO35	4
KO36	2
KP36	1
LJ43	1
LL33	1
LL35	3
LL36	9
LL37	1
LM33	1

グリッド	個数
LM34	8
LM35	13
LM36	11
LN34	2
LN35	4
LN36	5
LN39	4
LO35	1
LO36	1
LO37	2
LO38	2
LO39	1
LP36	1
LP37	4
LS50	1
LT52	1
MA52	1
MA55	1
MB57	1
MC54	3
MC55	2
MC56	2
MC58	1
MD51	1
MD54	1
MD56	1
MD57	1
MD58	3
ME56	1
ME57	1
ME59	3
MF55	4
MF56	2
MG56	1

敲打礫

グリッド	個数
LL34	1
MG61	1

石皿

グリッド	個数
LK36	1
LL33	1
LL36	1
LN34	1
LN36	1

石棒

グリッド	個数
MC54	1
ME57	1

刻線礫

グリッド	個数
LM35	1

岩版

グリッド	個数
LO38	1

円盤状石製品

グリッド	個数
LL34	1
LL36	1
LN34	1

剥片

グリッド	個数
KM32	217
KM33	64
KM34	18
KN33	128
KN34	177
KN35	214
KO35	294
KO36	136
KO37	47
KP36	32
KP37	159
KP38	20
LG43	10
LH43	9
LI43	15
LJ34	2
LJ35	15
LJ37	24
LJ38	3
LJ39	45
LJ40	5
LJ43	3
LK35	15
LK36	3
LK37	8
LK38	25
LK40	1
LL32	10
LL33	107
LL34	134
LL35	166
LL36	91
LL37	39
LL39	1
LL41	1
LL42	2
LL43	2
LM33	61
LM34	603
LM35	910
LM36	564
LM37	55
LM38	41
LM39	24
LM40	88
LM41	3
LM43	62
LM44	1
LN34	236
LN35	920
LN36	957
LN37	337
LN38	16
LN39	336
LN40	100
LO34	73
LO35	209
LO36	974
LO37	886
LO38	803

グリッド	個数
LO39	296
LP36	301
LP37	1,177
LP38	547
LP39	19
LP41	2
LQ37	87
LQ43	2
LS50	5
LS51	2
LS52	17
LT49	16
LT50	39
LT51	41
LT52	15
LT53	9
MA51	24
MA52	26
MA53	22
MA54	20
MA55	33
MB50	1
MB51	27
MB52	16
MB53	10
MB54	6
MB55	53
MB56	44
MB57	14
MC50	4
MC51	43
MC52	10
MC53	33
MC54	44
MC55	35
MC56	46
MC57	39
MC58	8
MD51	58
MD52	28
MD53	33
MD54	29
MD55	38
MD56	33
MD57	45
MD58	61
MD59	12
ME50	19
ME51	14
ME52	34
ME53	39
ME54	54
ME55	78
ME56	106
ME57	101
ME58	82
ME59	64
MF51	11
MF52	70
MF53	85
MF54	112

グリッド	個数
MF55	79
MF56	258
MF57	90
MF58	61
MF59	89
MF60	9
MG52	14
MG53	75
MG54	46
MG55	74
MG56	92
MG57	63
MG58	27
MG59	9
MG60	23
MH54	3
MH55	8
MH56	17
MH57	2
MH58	11
MH59	16
MH60	37
MH61	113
MI54	5
MI55	5
MI56	10
MI57	13
MI58	7
MI59	12
MI60	8
MI61	28
MI62	22
MJ61	10

黒曜石剥片

グリッド	個数
KO36	1
LH35	1
LL35	1
LN35	1
LN36	4
LN37	1
LO36	1

分割礫

グリッド	個数
KM32	3
KM33	3
KN33	3
KN34	5
KN35	7
KO35	9
KO36	5
KP36	1
KP37	4
LJ35	1
LJ39	1
LL33	2
LL34	2
LL35	2
LL36	1
LM34	6
LM35	7

グリッド	個数
LM36	6
LM38	1
LM39	1
LN35	6
LN36	5
LN37	2
LN38	1
LN39	4
LO34	1
LO35	2
LO36	6
LO37	5
LO38	5
LO39	2
LP36	3
LP37	12
LP38	6
MA55	1
MC57	3
MD58	1
ME57	3
MF53	1
MF54	1
MF55	1
MF58	6
MF59	2
MG60	1
MH61	1

有孔礫

グリッド	個数
LL35	1

第６表　その他の石器出土分布表　②　2層以下

種別 / 出土地点			石器 剝片石器 石鏃	石槍	石錐	篦状石器	トランシェ様石器	ピエス・エスキーユ	縦型石匙	横型石匙	不定形石器	微小剝離痕のある剝片	異形石器	礫石器 石錘	磨製石斧	打製石斧	半円状偏平打製石器	礫器	砥石	擦石	磨石	凹石	敲打痕のある礫	皿	石製品 剣	石棒	刻線礫	岩版	有孔石製品	円盤状石製品	二次加工のある剝片	剝片	黒曜石剝片	石核	合計	礫 分割礫	有孔礫	凹部のある礫	総計
遺構内			11	6	8	16	1	3	18		122	66			4			1			15	23		1	2						20	1,755		43	2,115	8			2,123
遺構外	1層	K区	2		1		1		1	1	13	8									7	2			3						13	323		14	389	5			394
		L区	129	20	73	7		11	49	54	605	396	3		7	3	1	13	3		19	11	1	1	22			1	1	4	393	12,534	6	537	14,904	122	1	2	15,029
		中央部	11	2	15	11		1	23	13	135	59	1		2			1			9	9		5	2	1					39	2,298	1	96	2,734	60			2,794
		M区	27	8	15	40	2	5	91	23	483	248			6	1		1			42	32	1	5	8	3	1				70	6,480	7	259	7,850	54		2	7,914
		小計	169	30	104	58	3	17	164	91	1,236	711	4		15	4	1	15	3		77	54	2	11	35	4	1	1	1	4	515	21,635	14	906	25,884	241	1	4	26,131
	2層以下	K区	1	3	2	1		1	2	7	40	36			2	1	1				17	11			6						76	1,506	1	53	1,767	40			1,807
		L区	105	20	100	12		21	50	51	567	228	4		8	1	12			1	83	75	1	5	42		1	1		3	235	11,249	9	423	13,307	90	1		13,398
		中央部	1	1					1	1	10	3									1	2									2	149		8	179				179
		M区	11	5	4	31	2	1	57	13	231	71	2	1	2		1				50	30	1		2	2					20	3,100		73	3,710	21			3,731
		小計	118	29	106	43	2	23	110	72	848	338	6	1	12	2	14			1	151	118	2	5	50	2	1	1		3	333	16,004	10	557	18,948	151	1		19,101
	計		287	59	210	101	5	40	274	163	2,084	1,049	10	1	27	6	15	15	3	1	228	172	4	16	85	6	2	2	1	7	848	37,639	24	1,463	44,832	392	2	4	45,236
不明			2	1	4	2		3	3	2	38	22									7	3									14	607		26	734	10		1	745
合計			300	66	222	119	6	46	295	165	2,344	1,137	10	1	31	6	15	16	3	1	250	198	4	17	87	6	2	2	1	7	882	40,001	24	1,532	47,681	410	2	5	48,104

第 7 表　器種別・地点別石器類出土数一覧表

第５章　残存脂肪分析

桂の沢遺跡の配石遺構に残存する脂肪の分析

㈱ズコーシャ総合科学研究所　中野寛子、明瀬雅子
長田正宏
帯広畜産大学生物資源化学科　中野益男

動植物を構成し義いる主要な生体成分にタンパク質、核酸、糖質（炭水化物）および脂質（脂肪・油脂）がある。これらの生体成分は環境の変化に対して不安定で、圧力、水分などの物理的作用を受けて崩壊してゆくだけでなく、土の中に住んでいる微生物による生物的作用によっても分解してゆく。これまで生体成分を構成している有機質が完全な状態で遺存するのは、地下水位の高い低地遺跡、泥炭遺跡、貝塚などごく限られた場所にすぎないと考えられてきた。

最近、ドイツ新石器時代後期にバター脂肪が存在していたこと[(1)]、古代遺跡から出土した約２千年前のトウモロコシ種子[(2)]、約５千年前のハーゼルナッツ種子[(3)]に残存する脂肪の脂肪酸は安定した状態に保持されていることがわかった。このように脂肪は微量ながら比較的安定した状態で千年・万年という長い年月を経過しても変化しないで遺存することが判明した[(4)]。

脂質は有機溶媒に溶けて、水に溶けない成分を指している。脂質はさらに構造的な違いによって誘導脂質、単純脂質および複合脂質に大別される。これらの脂質を構成している主要なクラス（種）が脂肪酸であり、その種類、含量ともに脂質中では最も多い。その脂肪酸には炭素の鎖がまっすぐに延びた飽和型と鎖の途中に二重結合をもつ不飽和型がある。動物は炭素数の多い飽和型の脂肪酸、植物は不飽和型の脂肪酸を多く持つというように、動植物の種ごとに固有の脂肪酸を持っている。ステロールについても、動物性のものはコレステロール、植物性のものはシトステロール、微生物はエルゴステロールというように動植物に固有の特徴がある。従って、出土遺物の脂質の種類およびそれらを構成している脂肪酸組成と現生動植物のそれとを比較することによって、目に見える形では遺存しない原始古代の動植物を判定することが可能である。

このような出土遺構・遺物に残存する脂肪を分析する方法を「残存脂肪分析法」という。この「残存脂肪分析法」を用いて桂の沢遺跡から出土した配石遺構の性格を解明しようとした。

１．土壌試料

秋田県北秋田郡森吉町に所在する桂の沢遺跡から出土したSQ547配石遺構の埋土を分析し

た。桂の沢遺跡からは縄文時代前期と後期のものと推定されている遺物が出土している。配石遺構内外の土壌試料採取地点を第58図①に示す。試料No.1は遺構内西寄りの下部、No.2は遺構内北西寄りの下部、No.3は遺構内北東寄りの下部、No.4は遺構のほぼ中央底面直下の地山から、各々土壌試料を採取した。

2．残存脂肪の抽出

土壌試料643～977gに3倍量のクロロホルム－メタノール（2：1）混液を加え、超音波浴槽中で30分間処理し残存脂肪を抽出した。処理液を濾過後、残渣に再度クロロホルム－メタノール混液を加え、再び30分間超音波処理をする。この操作をさらに2回繰り返して残存脂肪を抽出した。得られた全抽出溶媒に1％塩化バリウムを全抽出溶媒の4分の1容量加え、クロロホルム層と水層に分配し、下層のクロロホルム層を濃縮して残存脂肪を分離した。

残存脂肪の抽出量を第8表①に示す。抽出率は0.0008～0.0195％、平均0.0098％であった。この値は全国各地の遺跡から出土した土壌、石器、土器等の試料の平均抽出率0.0010～0.0100％の範囲内のものであった。

残存脂肪をケイ酸薄層クロマトグラフィーで分析した結果、脂肪は単純脂質から構成されていた。このうち遊離脂肪酸が最も多く、次いでグリセロールと脂肪酸の結合したトリアシルグリセロール（トリグリセリド）、ステロールエステル、ステロールの順に多く、微量の長鎖炭化水素も存在していた。

3．残存脂肪の脂肪酸組成

分離した残存脂肪に5％メタノール性塩酸を加え、125℃封管中で2時間分解し、メタノール分解によって生成した脂肪酸メチルエステルをクロロホルムで分離し、ヘキサン－エチルエーテル－酢酸（80：30：1）またはヘキサン－エーテル（85：15）を展開溶媒とするケイ酸薄層クロマトグラフィーで精製後、ガスクロマトグラフィーで分析した[5]。

残存脂肪の脂肪酸組成を第58図②に示す。残存脂肪から10種類の脂肪酸を検出した。このうちパルミチン酸（C16:0）、ステアリン酸（C18:0）、オレイン酸（C18:1）、リノール酸（C18:2）、アラキジン酸（C20:0）、エイコサモノエン酸（C20:1）、ベヘン酸（C22:0）、エルシン酸（C22:1）、リグノセリン酸（C24:0）の9種類の脂肪酸をガスクロマトグラフィー－質量分析により同定した。

各試料中での脂肪酸組成パターンを見てみると、遺構内の試料No.1～No.3が同一パターンを示し、遺構外の試料No.4はそれらとは別のパターンを示した。このうち炭素数18までの中級脂肪酸の分布割合について見てみると、遺構内の試料No.1～No.3では主要な脂肪酸はパルミチン酸で約28～31％分布し、次いでオレイン酸、ステアリン酸の順に多く分布していた。遺構外の

試料No.４も主要な脂肪酸はパルミチン酸で約40％分布し、次いでステアリン酸、オレイン酸の順に多く分布していた。一般に考古遺物にはパルミチン酸が多く含まれている。これは長い年月の間にオレイン酸、リノール酸といった不飽和脂肪酸の一部が分解し、パルミチン酸が生成するためで、主として植物遺体の土壌化に伴う腐植物から来ていると推定される。ステアリン酸は動物体脂肪や植物の根に比較的多く分布している。また、オレイン酸の分布割合も高いものとしては、動物性脂肪と植物性脂肪の両方が考えられ、植物性脂肪では特に根、茎、種子に多く分布するが、動物脂肪の方が分布割合は高い。リノール酸は主として植物種子・葉に多く分布する。

一方、高等動物、特に高等動物の臓器、脳、神経組織、血液、胎盤に特徴的にみられる炭素数20以上のアラキジン酸、ベヘン酸、リグノセリン酸などの高級脂肪酸はそれら３つの合計含有量が遺構内試料No.１～No.３で約39～47％、遺構外試料No.４で約20％であった。通常の遺跡出土土壌中でのアラキジン酸、ベヘン酸、リグノセリン酸の高級脂肪酸３つの含有量は約４～10％であるから、すべての試料中で高級脂肪酸は多く含まれていた。特に、遺構内の試料中での高級脂肪酸含有量は非常に多いといえる。中でも試料No.１とNo.２ではリグノセリン酸が約22～24％と、非常に多く含まれていた。リグノセリン酸は高等動物組織の中でも神経組織、特に脳に特徴的に多く含まれる脂肪酸である。また、オレイン酸含量が若干多くはあるが、今回のような遺構内試料が示す谷状の脂肪酸組成パターンは試料中に高等動物の脂肪が残存している場合の典型的なものである。

以上のことから、桂の沢遺跡の遺構内外では脂肪酸組成パターンに明瞭な差異があり、特に、遺構内試料中では高級脂肪酸含量が非常に多いことから、遺構内に動物遺体が存在していたと推定される。遺構外試料中でも高級脂肪酸は通常の腐植土中よりもかなり多く含まれており、この位置にも動物遺体が分布していた可能性がある。

４．残存脂肪のステロール組成

残存脂肪のステロールをヘキサン－エチルエーテル－酢酸（80:30:1）を展開溶媒とするケイ酸薄層クロマトグラフィーで分離・精製後、ピリジン－無水酢酸（1:1）を窒素気流下で反応させてアセテート誘導体にしてからガスクロマトグラフィーにより分析した。残存脂肪の主なステロール組成を第58図③に示す。残存脂肪から15～21種類のステロールを検出した。このうちコレステロール、エルゴステロール、カンペステロール、スチグマステロール、シトステロールなど７種類のステロールをガスクロマトグラフィー－質量分析により同定した。

試料中のステロール組成をみると、動物由来のコレステロールは遺構内試料No.１～No.３で約10～12％、遺構外試料No.４で約15％分布していた。通常一般的な植物腐植土中にはコレステロ

ールは4～8％分布している。従って、すべての試料中でコレステロールは通常の植物腐植土中で見られるよりも多く含まれていたといえる。

植物由来のシトステロールはすべての試料中で約12～28％分布していた。通常の遺跡出土土壌中にはシトステロールは30～40％、もしくはそれ以上分布している。従って、試料中のシトステロール含量は少ないといえる。特に、遺構外試料No.4で約12％と少なかった。

クリ、クルミ等の堅果植物由来のカンペステロール、スチグマステロールは、すべての試料中でカンペステロールが検出されず、スチグマステロールが約4～5％分布していた。通常の遺跡出土土壌中にはカンペステロール、スチグマステロールは1～10％分布している。従って、試料中に含まれている植物性ステロールは、通常の遺跡出土土壌中でよりも少なめといえる。

微生物由来のエルゴステロールはすべての試料中に約2～3％分布していた。これは土壌微生物の存在による結果と思われる。

哺乳動物の腸および糞便中に特異的に分布するコプロスタノールは、いずれの試料からも検出されなかった。通常コプロスタノールが10％以上含まれていると、試料中に残存している脂肪の動物種や性別、また遺体の配置状況などが特定できる場合があるが[6]、今回はコプロスタノールが検出されなかったため、それらの判定はできなかった。

一般に動物遺体の存在を示唆するコレステロールとシトステロールの分布比の指標値は土壙で0.6以上[7]、土器・石器・石製品で0.8～23.5をとる[8・9]。試料中のコレステロールとシトステロールの分布比を第8表②に示す。表からわかるように、分布比は遺構内試料No.1～No.3で0.35～0.58、遺構外試料No.4で1.25を示した。試料No.2は分布比は0.6以下ではあるが0.6に近く、試料No.4と共に動物遺体が存在した可能性がある。

以上のことから、試料中に含まれているコレステロール量からはすべての試料に、コレステロールとシトステロールの分布比からは配石遺構内には動物性脂肪が残存していることを示唆していた。

5．脂肪酸組成の数理解析

残存脂肪の脂肪酸組成をパターン化し、重回帰分析により各試料間の相関係数を求め、この相関係数を基礎にしてクラスター分析を行って各試料間の類似度を調べた。同時に配石遺構が土壙墓であることを想定して、出土土壙を土壙墓と判定した兵庫県寺田遺跡[10]、出土土器を幼児埋葬用甕棺と判定した静岡県原川遺跡[11]、同じ秋田県内の虫内Ⅰ遺跡[12]、ヒトの体脂肪、出土土壙を再葬墓と判定した宮城県摺萩遺跡[13]、人間の骨油試料など、各種遺跡試料や現生試料に残存する脂肪酸の類似度とも比較した。

各試料間の脂肪酸組成の類似度をパターン間距離にして表した代表的な樹状構造図を第58図

④に示す。図からわかるように、桂の沢遺跡の遺構内試料№１～№３は相関行列距離0.05以内で互いに大変よく類似していた。これらの試料は虫内Ｉ遺跡の試料の一部と共に相関行列距離0.1以内でＡ群を形成した。虫内Ｉ遺跡の他の試料は単独でＢ群を形成し、Ａ、Ｂ群は相関行列距離で0.15以内の所にあった。桂の沢遺跡の遺構外試料№４は原川遺跡、寺田遺跡の試料と共に相関行列距離0.1以内でＣ群を形成し、これらＡ、Ｂ、Ｃ群は相関行列距離0.2以内の所にあり、互いに類似していた。他の対照試料はＤ、Ｅ群を形成し、Ａ～Ｃ群とは相関行列距離で0.2以上離れており、類似しているとはいえなかった。

以上のことから、桂の沢遺跡の遺構内外の試料はヒト遺体を直接埋葬したと推定した遺跡試料に類似していることがわかった。

６．脂肪酸組成による種特異性相関

残存脂肪の脂肪酸組成から種を特定するために、中級脂肪酸（炭素数16のパルミチン酸から炭素数18のステアリン酸、オレイン酸、リノール酸まで）と高級脂肪酸（炭素数20のアラキジン酸以上）との比をＸ軸に、飽和脂肪酸と不飽和脂肪酸との比をＹ軸にとり種特異性相関を求めた。この比例配分により第１象限の原点から離れた位置に高等動物の血液、脳、神経組織、臓器等に由来する脂肪、第１象限から第２象限の原点から離れた位置にヒト胎盤、第２象限の原点から離れた位置に高等動物の体脂肪、骨油に由来する脂肪がそれぞれ分布する。第２象限から第３象限にかけての原点付近に植物と微生物、原点から離れた位置に植物腐植、第３象限から第４象限に移る原点から離れた位置に海産動物が分布する。

土壌試料の残存脂肪から求めた相関図を図58図⑤に示す。図からわかるように、遺構内試料№１～№３は第１象限内の広い範囲に分布し、Ａ群を形成した。遺構外試料№４は同じ第１象限内のＹ軸に近い位置に分布し、Ｃ群を形成した。これら両群の分布位置は試料中に高等動物に由来する脂肪が残存していることを示唆している。

７．総括

桂の沢遺跡から出土した配石遺構の性格を判定するために、遺構内外の試料中の残存脂肪分析を行った。残存する脂肪酸分析の結果、試料中にはパルミチン酸が主要な脂肪酸として分布しており、高級脂肪酸含量は遺構内試料中で特に多く、すべての試料中に動物遺体が存在していた可能性があった。

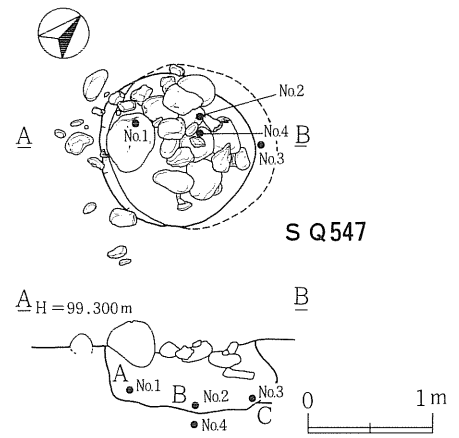
脂肪酸組成の分布に基づく数理解析の結果、クラスター分析では桂の沢遺跡の試料はヒト遺体を直接埋葬したことに関わる試料と類似していた。また、種特異性相関からもすべての試料に高等動物由来の脂肪が残存していることがわかった。

残存するステロール分析の結果、すべての試料中で、動物性コレステロール含量が一般腐植土中でよりも多く、試料№.2と№.4ではコレステロールとシトステロールの分布比も0.6以上で、高等動物遺体の存在を示唆するものであった。ステロール分析に関しては、遺構の中央底面直下の試料№.4の方が動物遺体の存在を示す高い値をとっていた。

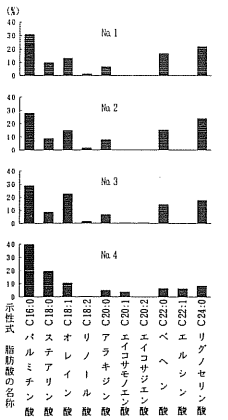
以上の成績から、桂の沢遺跡から出土した配石遺構はヒト遺体を直接埋葬した土壙墓である可能性が高く、特に、試料№.1と№.2採取地点付近にヒト遺体の頭部が存在していた可能性がある。遺構外の中央底面直下の試料中にも高等動物の脂肪が残存していることから、遺構底面の確認面の下にまで分布していた。より正確なヒトの判定には脂肪酸分析とステロール分析の他に動物種特有の抗原抗体反応を用いた免疫試験が必要である。

参考文献

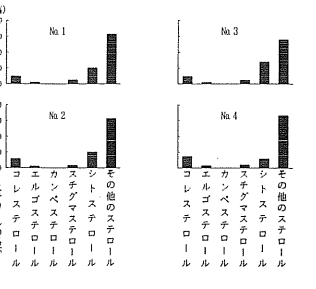
(1) R.C.A.Rottländer and H.Schlichtherle:「Food identification of samples from archaeological sites」『Archaeo Physika』, 10巻, 1979, pp260.
(2) D.A.Priestley, W.C.Galinat and A.C.Leopold:「Preservation of polyunsaturated fatty acid in ancient Anasazi maize seed」,『Nature』,292巻,1981,pp146.
(3) R.C.A.Rottländer and H.Schlichtherle :「Analyse frühgeschichtlicher Gefä β-inhalte」,『Naturwissenschaften』,70巻,pp33.
(4) 中野益男：「残存脂肪分析の現状」,『歴史公論』, 第10巻 (6), 1984, pp124.
(5) M.Nakano and W.Fischer:「The Glycolipids of Lactobacillus casei DSM 20021」,『Hoppe-Seyler's Z.Physion.chem.』,358巻,1977,pp1439.
(6) 中野益男：「残存脂肪酸による古代復元」,『講演収録集－新しい研究法は考古学に何をもたらしたか』, 第3回「大学と科学」公開シンポジウム組織委員会編, 1989, pp114.
(7) 中野益男, 伊賀　啓, 根岸　孝, 安本教博, 畑　宏明, 矢吹俊男, 佐原　真, 田中　琢：「古代遺跡に残存する脂質の分析」,『脂質生化学研究』, 第26巻, 1984, pp40.
(8) 中野益男：「真脇遺跡出土土器に残存する動物油脂」,『真脇遺跡－農村基盤総合設備事業能都東地区真脇工区に係わる発掘調査報告書』, 能都町教育委員会・真脇遺跡発掘調査団, 1986, pp401.
(9) 中野益男, 根岸　孝, 長田正宏, 福島道広, 中野寛子：「ヘロカルウス遺跡の石器製品に残存する脂肪の分析」,『ヘロカルウス遺跡』, 北海道文化財研究所調査報告書, 第3集, 1987, pp191.
(10) 中野益男, 中野寛子, 福島道広, 長田正宏：「寺田遺跡土壙墓状遺構に残存する脂肪の分析」,『未発表』, 兵庫県芦屋市教育委員会.
(11) 中野益男, 幅口　剛, 福島道広, 中野寛子, 長田正宏：「原川遺跡の土器棺に残存する脂肪の分析」,『原川遺跡Ⅰ－昭和62年度袋井バイパス（掛川地区）埋蔵文化財発掘調査報告書』, 第17集, (財)静岡県埋蔵文化財調査研究所, 1988, pp79.
(12) 中野寛子, 明瀬雅子, 長田正宏, 中野益男：「虫内Ⅰ遺跡から出土した遺構に残存する脂肪の分析」,『未発表』, 秋田県埋蔵文化財センター.
(13) 中野益男, 福島道広, 中野寛子, 長田正宏：「摺萩遺跡の遺構に残存する脂肪の分析」,『未発表』, 宮城県教育委員会.



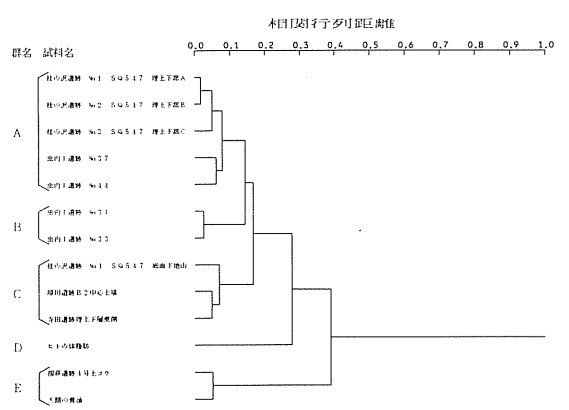
① S Q547　A－B
1．暗褐色土(10Y R3/3)しまりあり。細砂質シルト。
径20mm以下の小礫を少量含み、ほぼ均
質に黄褐色粗砂が少量混じる。



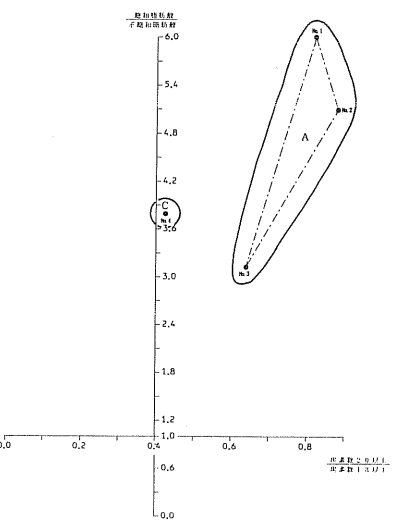
② 試料中に残存する脂肪の脂肪酸組成



③ 試料中に残存する脂肪のステロール組成



④ 試料中に残存する脂肪の脂肪酸組成樹状構造図



⑤ 試料中に残存する脂肪酸組成による種特異性相関

第58図　残存脂肪分析関係図

①　試料の残存脂肪抽出量

試料No.	試料名		湿重量(g)	全脂質(mg)	抽出率(%)
1	S Q547	埋土下部A	976.9	190.9	0.0195
2	〃	埋土下部B	643.2	112.8	0.0175
3	〃	埋土下部C	904.4	13.7	0.0015
4	〃	底面下地山	780.9	6.3	0.0008

②　試料中に分布するコレステロールとシトステロールの割合

試料No.	コレステロール(%)	シトステロール(%)	コレステロール／シトステロール
1	9.61	20.27	0.47
2	11.67	20.21	0.58
3	9.60	27.79	0.35
4	14.70	11.78	1.25

第８表　残存脂肪分析関係表

第6章　まとめ

1．遺物について

①器面全面に爪形文を施文する土器

第Ⅰ群1類の爪形文土器は、文様は盛岡市大館遺跡群[1]や青森県鴨平遺跡[2]で出土した草創期の爪形文土器に似る。しかし、胎土・焼成の感じは早期貝殻沈線文土器に酷似する。草創期の土器はやや砂質で薄く、焼成が良好で硬質感があり、色調は褐色を呈する。本遺跡の爪形文土器はきめの細かい粘土を用い、微砂を少量含むが、ザラザラした感じはしない。色調は明黄褐色～黄橙色で、器表面は強く水洗するとしだいに溶けて白濁する。県内では草創期の爪形文土器は飛鳥平遺跡[3]、岩瀬遺跡[4]の2例が知られているが、いずれとも類似しない。一方、早期の貝殻文土器の中には、白浜式やムシリⅠ式にみられる刺突文の中に、工具の他、爪や指頭押圧によるものも散見される[5]。白浜式の中には胴部下半まで生体の爪による刺突が施されるものが青森県館平遺跡[6]、千歳遺跡(13)[7]等で出土しており、それらとの類似点も認められる。このようなことから、本類は、現段階では草創期爪形文土器とするのは躊躇せざるをえない。白浜式期からムシリⅠ式の頃の貝殻文土器に伴う土器の可能性もあると考えられる。類例の増加を待ちたい。

②前期前葉の大木式土器

第Ⅱ群5類、6類は大木2ａ式、8類は大木2ｂ式に特徴的な文様の施文された土器で、米代川流域では類例のないものである。茂屋下岱遺跡の報告書[8]では大木2ａ式らしき土器片が出土した旨の記載がある。写真で見ると不整撚糸文の施文された土器のようであるが詳細は不明である。茂屋下岱遺跡と同様に、桂の沢遺跡では、同じ区域で北東北でも編年の不明確な撚糸文土器や縄文土器も出土しており、円筒下層式以前の貴重な資料群といえる。尚、本遺跡に次いで、平成5年度の発掘調査で鹿角市天戸森遺跡から大木2ａ式の深鉢が出土し、胴部下端から口縁部まで復元された。今後の発掘調査や過去の出土資料の再整理等によって、米代川流域でも前期大木式土器の出土例が増えることが予想される。

③茂屋下岱式の共伴資料

ＳＲ158土器埋設遺構では、茂屋下岱式土器群の、器形、文様、大きさの異なる2種類の土器が共伴した。茂屋下岱式、深郷田式、円筒下層ａ式、ｂ式の各時期では、良好な一括資料がなく土器型式研究の障害となっているが、本例は、器形や大きさのセット関係も考慮に入れて該期の土器型式を把える必要性を換起する資料として貴重である。

④円筒上層ｃ式の共伴資料

円筒上層ｃ式でもＳＩ42竪穴住居跡で、形態と文様の異なる２種の土器が共伴した。③と同様に円筒土器の確実な共伴資料として重要である。

⑤後期後葉の土器群

ＬＮ39、ＬＯ39グリッド付近で出土した「十腰内Ⅳ群」類似土器は、器形と文様が異なる土器が近接してまとまって出土した。これまで、南東北の西の浜式に並行する土器は、北東北では青森県と岩手県では遺構を伴って豊富に出土していたが[9]、秋田県では少なかった[10]。これらよりやや古い時期の共伴資料は中小坂遺跡[11]から出土している。桂の沢遺跡出土土器はそれに後続し、瘤付き土器に先行する土器群として、秋田県では貴重な土器群である。

⑥晩期中葉を主体とする多量の土器

県北の米代川流域では、これまで晩期前葉の土器が大量に出土する遺跡や、遺構が集中する遺跡は数箇所知られていたが、晩期中葉の資料がこれほどまとまって出土した例は少ない。Ｌ区、Ｋ区とも「捨て場」と考えられる包含層中からの出土である。出土土器の主体は大洞Ｃ１式である。次いで大洞Ｃ２式の前半部分、さらに大洞ＢＣ式の順で、大洞Ｂ式の後半から、大洞Ｃ２式の前半の幅で収まる土器群である。時間的余裕がなく、本報告書では出土状況を詳細に検討し同時廃棄の可能性の高い遺物群を抽出することはできなかった。残された課題のひとつである。

⑦最大級の遮光器土偶

図版30－461の大型中空土偶は、文様、形態から、大洞Ｃ１式期の土偶と考えられる。近年、主に金子昭彦氏による遮光器土偶の研究[12]や、土偶研究会による集成資料の作成、シンポジウムの開催など[13]研究の進展が著しい分野であるだけに、今後の研究の進展に寄与するものと思われる。

２．遺構群の変遷について

遺構群の変遷は次のように推測される。

◎早期以前

明らかに早期以前と判断できる遺構は抽出できなかったが、Ｍ区の多数の土坑の中に早期以前の土坑が含まれている可能性はある。

◎前期

初頭～前葉の遺構は、Ｍ区では早期以前と同様で抽出できなかった。しかし、Ｍ区には土器が広く分布し、量も比較的多いので、多数の遺構の中にこの時期のものが含まれている可能性は早期以前よりも高い。Ｌ区には竪穴住居跡と土器埋設遺構が構築され、茂屋下岱式期の小集

落があったことが明らかになった。米代川流域では初めてである。この竪穴住居跡の埋没状況は、あたかも配石遺構のように多数の大礫を竪穴に入れた人為堆積である。竪穴住居の廃絶に伴って何らかの祭祀が行われたのであろう。

桂の沢遺跡は、北東北の土器である「早稲田６類」、茂屋下岱式、南東北の土器である大木２式土器が持ち込まれており、南北の情報が交差する場所であったともいえる。

◎中期

Ｌ区、中央区に中葉の円筒上層ｂ式期、円筒上層ｃ式期の小集落が営まれる。その後Ｍ区に地点を移して円筒上層ｄ式期の小集落が営まれる。後葉の大木９式期、中の岱Ⅲ式期にはＭ区で複式炉をもつ竪穴住居跡が合計10軒営まれる。中にはＳＩ555竪穴住居跡のような大型のものや、ＳＩ551Ａ・Ｂ竪穴住居跡のように炉の重複があって、同一地点での建て替えが行われたものもある。阿仁川流域における拠点的集落の一つだったのであろう。

◎後期

中期末に集落が廃絶するようで、中期末から後期前葉の遺物はきわめて少ない。そして、土坑の多くが中期後葉の竪穴住居跡を切っていること、遺構群の分布と「十腰内Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ群」の分布が重なること、Ｍ区には晩期の土器はほとんど分布しないことから、Ｍ区の遺構の多くが中葉から後葉に帰属すると推測される。また、Ｌ区西部には小規模な「捨て場」が形成された。Ｍ区遺構群とＬ区「捨て場」の中間にある中央区の多数の土坑群も、柱穴となる土坑が多いこと、北西側ではＭ区土坑群と連続して分布することから、この時期の土坑が多数含まれていると思われる。したがって、舌状台地の先端から台地中央部にかけての約100ｍの範囲に、同時期または多少前後して、竪穴住居跡、土坑、配石遺構、焼土遺構、大型建物跡、墓坑が繰り返し構築され、居住、祭祀、葬送の機能を合わせ持つ米代川流域の該期における中心的な集落が展開していたことになる。

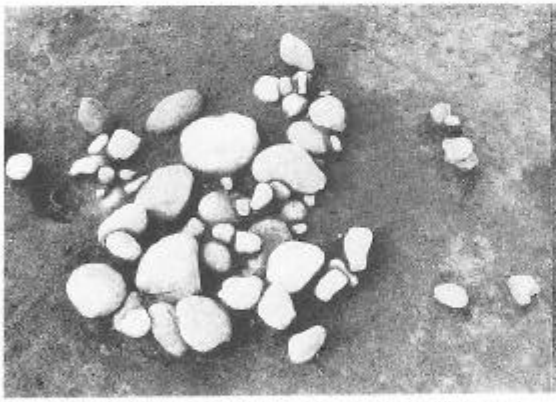
◎晩期

後期末から晩期初頭には調査区の全域でほとんど遺物がなく、前後の時期と大きく異なる。調査区の範囲内では一時人間活動が途絶えたことを暗示している。そして、大洞Ｂ式期の後半頃から大洞ＢＣ式期にＫ区とＬ区に「捨て場」が形成され始め、大洞Ｃ１式期に最も大量の土器、石器類が廃棄される。しかし遺物があるのは大洞Ｃ２式期の前半までで、大洞Ｃ２式の後半段階の遺物はほとんどなく、工字文系の土器は皆無である。桂の沢遺跡は、晩期の中頃で完全に廃絶してしまうのである。

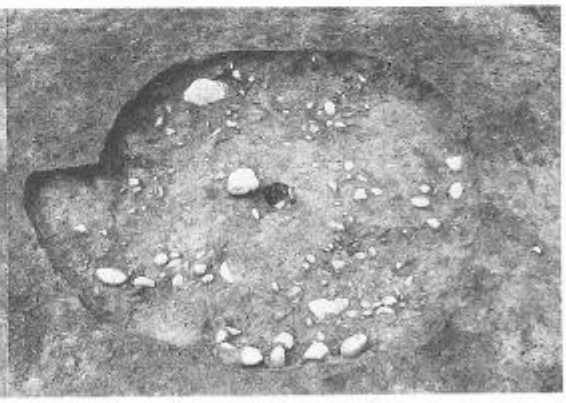
(1)盛岡市教育委員会　『大館遺跡群（大新町遺跡）－昭和56年度発掘調査概報－』　1982（昭和57年）
盛岡市教育委員会　『大館遺跡群（大新町遺跡・大館町遺跡）－昭和60年度発掘調査概報－』　1986（昭和61年）

盛岡市教育委員会　『大館遺跡群（大新町遺跡）－昭和61年度発掘調査概報－』1987（昭和62年）
盛岡市教育委員会　『大館遺跡群（大新町遺跡・大館町遺跡）－昭和62年度発掘調査概報－』　1989（昭和63年）
盛岡市教育委員会　『大館遺跡群（大新町遺跡）－平成元年度発掘調査概報－』　1990（平成２年）
(2)青森県教育委員会　『鴨平（２）遺跡発掘調査報告書－東北縦貫自動車道八戸線関係埋蔵文化財調査報告書Ⅳ－』　青森県埋蔵文化財調査報告書第73集　1983（昭和58年）
(3)秋田県教育委員会　「飛鳥平遺跡」『東北縦貫自動車道発掘調査報告書Ⅲ』　秋田県文化財調査報告書第89集　1982（昭和57年）
(4)平成５年度発掘調査。
(5)青森県教育委員会　『表館（１）遺跡発掘調査報告書Ⅲ・発茶沢（１）遺跡発掘調査報告書Ⅳ』　青森県埋蔵文化財調査報告書第120集　1989（平成元年）
青森県教育委員会　『売場遺跡発掘調査報告書（第１次～第４次調査）・大タルミ遺跡発掘調査報告書－一般国道45号八戸北バイパス建設に係る埋蔵文化財発掘調査報告書－』　青森県埋蔵文化財調査報告書第93集　1983（昭和58年）
(6)杉山武　「白浜式・小舟渡平式土器にかかわる館平遺跡出土の早期貝殻文土について」『奥南』　創刊号　1980（昭和55年）
杉山武　「白浜式・小舟渡平式土器にかかわる館平遺跡出土の早期貝殻文土器について（２）」『奥南』第２号　1982（昭和57年）
杉山武　「青森県浪岡町細野遺跡出土の早期貝殻文土器・石器」『奥南』　第３号　1984（昭和59年）
(7)青森県教育委員会　『千歳遺跡（13）発掘調査報告書－むつ小川原地域の開発に伴う新市街地Ａ住区造成予定地内埋蔵文化財発掘調査－』　青森県埋蔵文化財調査報告書第27集　1976（昭和51年）
(8)秋田県立大館鳳鳴高等学校社会部考古学班　『茂屋下岱式土器群』1971（昭和46年）
(9)青森県教育委員会　『金木町明神町遺跡　国営小田川農業水利事業関係文化財発掘調査報告書』　青森県埋蔵文化財調査報告書第58集　1980（昭和55年）
青森県教育委員会　『馬場瀬（１）（２）遺跡発掘調査報告書－東北縦貫自動車道八戸線関係Ⅱ昭和56年度－』青森県埋蔵文化財調査報告書第70集　1982（昭和57年）
八戸市教育委員会　『丹後谷地遺跡発掘調査報告書』　八戸市埋蔵文化財調査報告書第15集　1986（昭和61年）
大鰐町教育委員会　『上牡丹森遺跡遺跡発掘調査報告書』　大鰐町文化財調査報告書第１集　1986（昭和61年）
八戸市教育委員会　『八戸市内遺跡発掘調査報告書２風張（１）遺跡』　八戸市埋蔵文化財調査報告書第40集　1991（平成３年）
（財）　岩手県埋蔵文化財センター　『君成田Ⅳ遺跡発掘調査報告書　東北縦貫自動車道関連発掘調査』　岩手県埋文センター文化財調査報告書第62集　1983（昭和58年）
（財）　岩手県埋蔵文化財センター　『国道４号川口バイパス関連遺跡発掘調査　川口Ⅱ遺跡発掘調査報告書』　岩手県埋文センター文化財調査報告書第84集　1985（昭和60年）
（財）　岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター　『東北縦貫自動車道建設関連遺跡発掘調査　九戸郡軽米町馬場野Ⅱ遺跡発掘調査報告書』　岩手　県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第99集　1986（昭和61年）
（財）　岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター　『大日向Ⅱ遺跡発掘調査報告書　東北縦貫自動車道建設関連遺跡発掘調査』　岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第100集　1986（昭和61年）
(10)高橋忠彦　「秋田県の縄文時代後期の土器」『秋田県埋蔵文化財センター研究紀要』　第４号　秋田県埋蔵文化財センター　1989（平成元年）
(11)秋田県教育委員会　『中小坂遺跡発掘調査報告書－高速交通関連道路整備事業に係る埋蔵文化財発発掘調査－』　秋田県文化財調査報告書第177 集　1988（昭和63年）
(12)金子昭彦　「いわゆる遮光器土偶の編年について（１）」『岩手考古学』　第２号　1990（平成２年）
金子昭彦　「いわゆる遮光器土偶の編年について（２）」　『北奥古代文化』　第21号　1991（平成３年）
金子昭彦　「「小型」遮光器土偶の構造」『縄文時代』　4　1993（平成５年）
金子昭彦　「「小型」遮光器土偶の編年」『よねしろ考古』第８号　1993（平成５年）
(13)『土偶とその情報』研究会　『土偶シンポジウム２秋田大会東北・北海道の土偶Ⅰ（土偶の出現から遮光器土偶の成立前まで）』、『同シンポジウム発表要旨』　1994（平成６年）

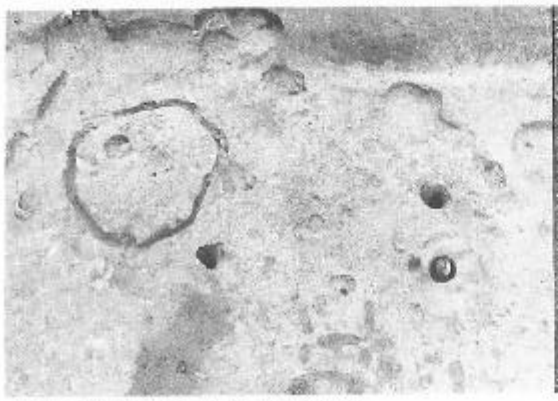
1 桂の沢遺跡の立地状況と調査区(上が南東)



2 SI159竪穴住居跡の埋土上の配石(南から)



3 SI159竪穴住居跡(南西から)



4 SI42竪穴住居跡(北西から)

5 SI555竪穴住居跡(北西から)

図版 2

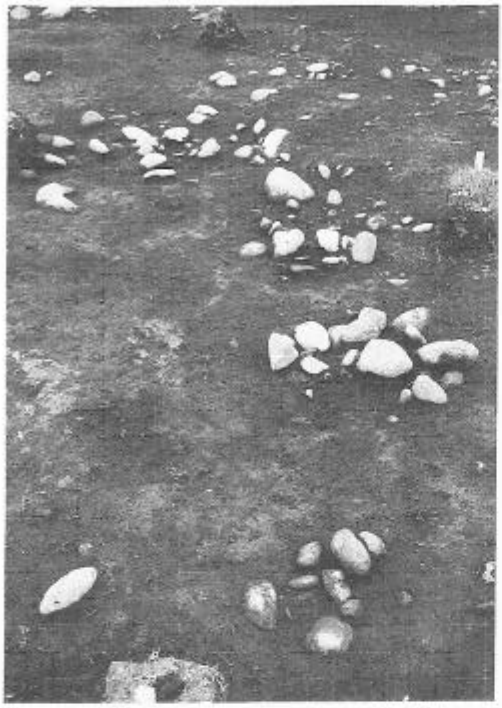
1 SI588竪穴住居跡(南西から)

2 SI572竪穴住居跡(南西から)

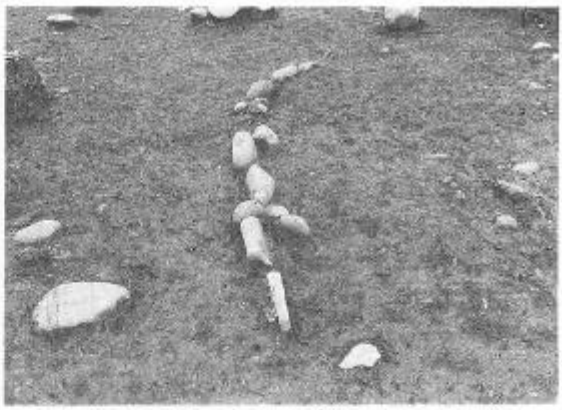
3 M区配石遺構群(上が南西)

4 M区配石遺構群SQ524・532・533・526(東から)

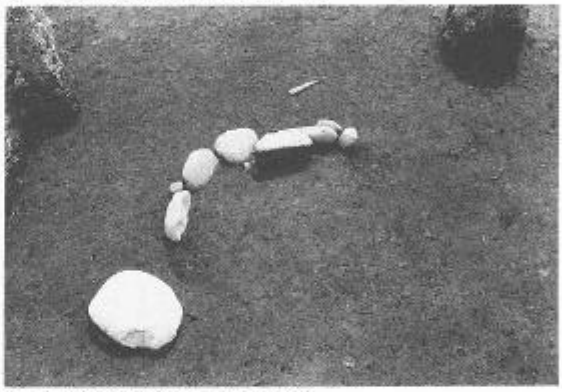
5 M区配石遺構群SQ514・538(南から)



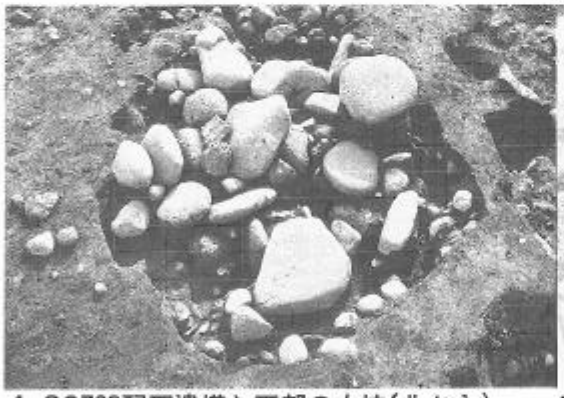
1 M区配石遺構群SQ280・527・528・529(南から)



2 SQ208配石遺構(南から)

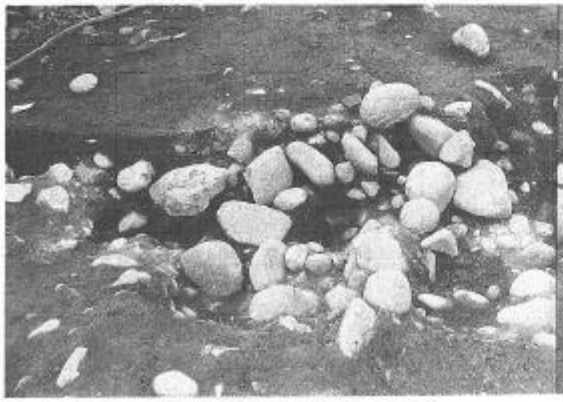


3 SQ19配石遺構(西から)



4 SQ709配石遺構と下部の土坑(北から)

5 SQ547配石遺構断面土層(南西から)

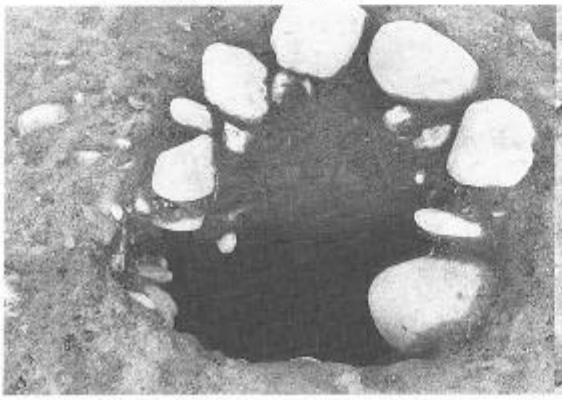


6 SQ716配石遺構断面土層(南から)

7 SQ702配石遺構断面土層(南から)

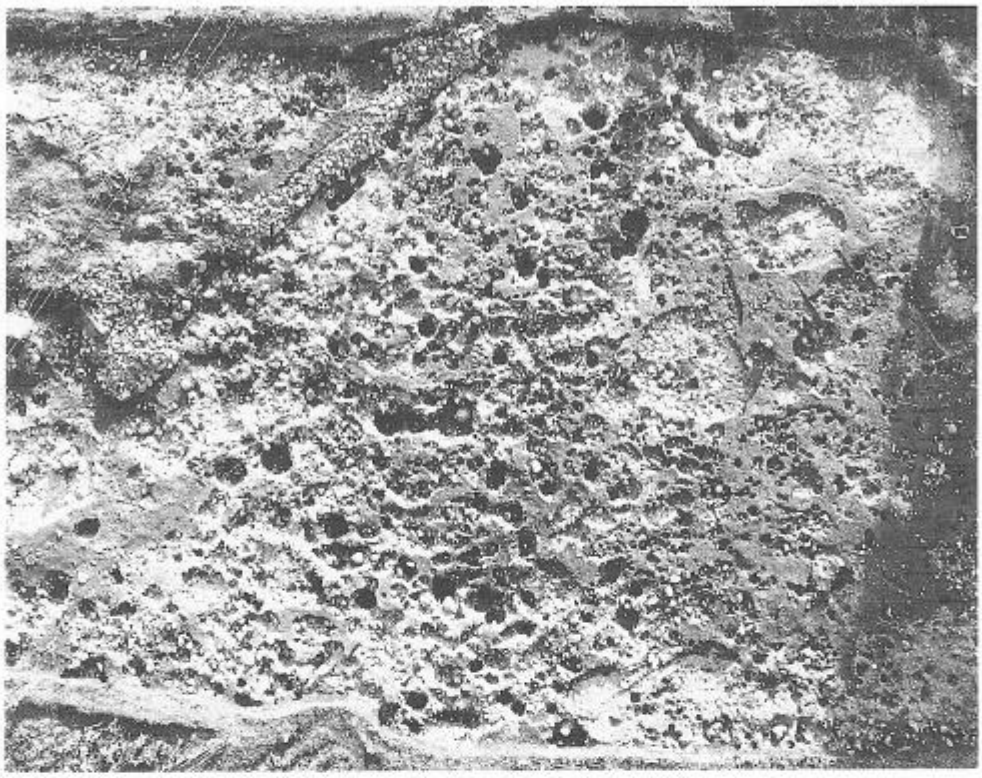
図版 4

1 M区遺構群(上が北西)



2 SQ538配石遺構と下部の土坑(南西から)

3 SQ547配石遺構と下部の土坑(南東から)



1 M区遺構群南東部(上が南西)

2 A建物跡(SK69・86・89・92)(南から)

3 B建物跡(SQ520・538、SK653・884)、D建物跡(SK661・854・868・975)(上が北西)

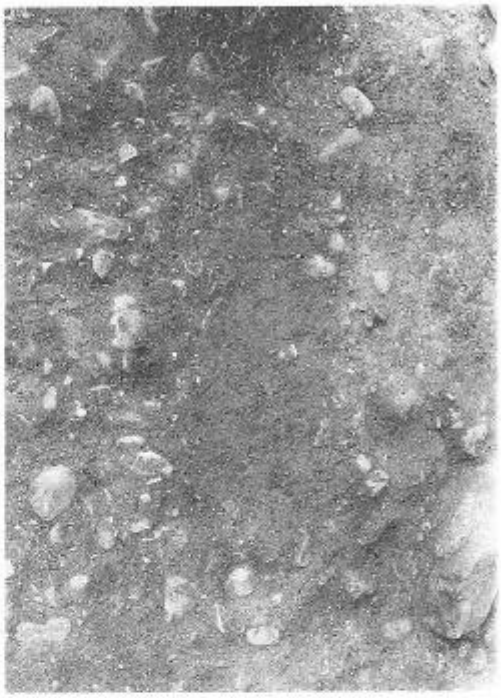
4 C建物跡(SQ258、SK761・1010・1023)(上が北)

5 SI566竪穴住居跡(上が北)

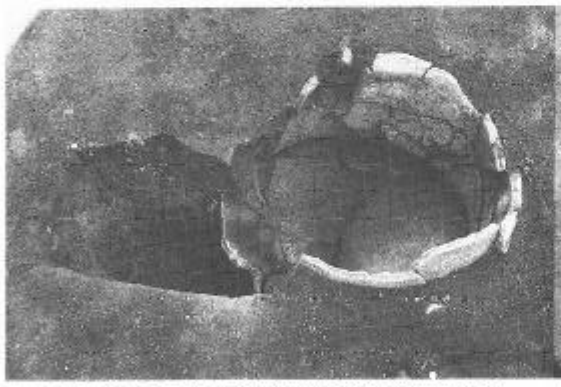
図版6

1 SK62土坑断面土層(南から)

2 SK62土坑完掘状況(南から)



3 SK70土坑確認状況(南西から)



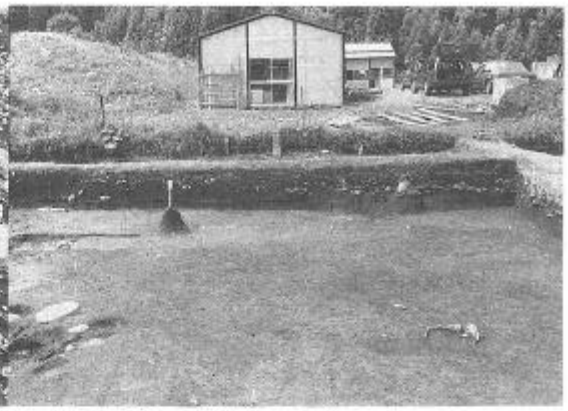
4 SR158土器埋設遺構精査状況(北から)

5 SR158土器埋設遺構側面の状況(西から)

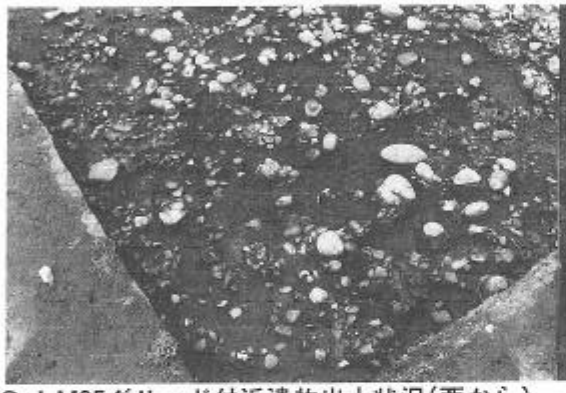
6 SR619土器埋設遺構精査状況(北東から)

7 LN39グリッドⅣ群土器出土状況(南から)

1 L区遺物集中出土区域(南から)



2 L区土層A-B(北東から)

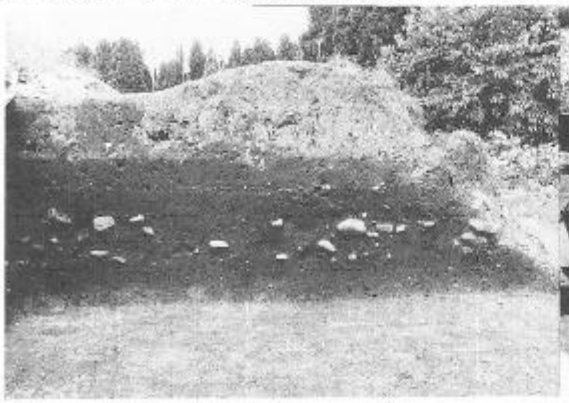


3 LM35グリッド付近遺物出土状況(西から)

4 LP38グリッド遺物出土状況(南から)

5 LM34グリッド付近遺物出土状況(東から)

6 LM36グリッド付近遺物出土状況(北から)



7 K区土層B-C(南東から)

8 発掘調査風景(右はブライアン・トム氏)

244
S I 42
炉

245
S I 42
ピット内

246
S I 12
横倒し土器

247
S I 43
炉埋設

248
S I 544
炉埋設

250
S I 551
炉B埋設

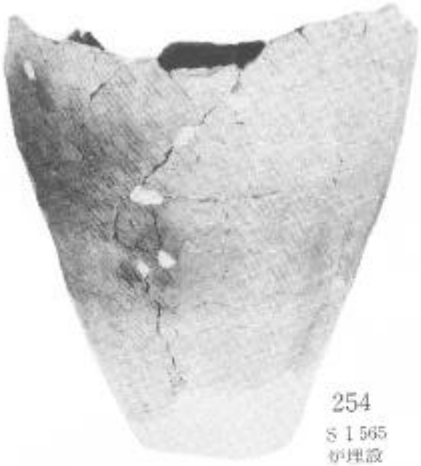
249
S I 551
炉A埋設

253
S I 563
R P 1

251
S I 562

252
S I 562

遺構内出土土器(1)

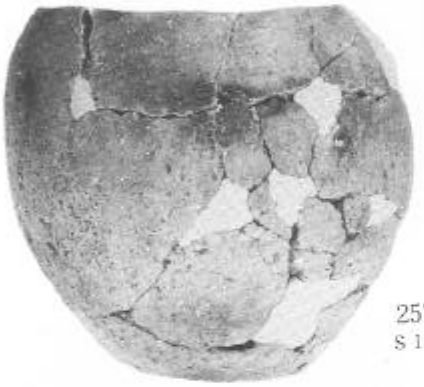


254
S I 565
炉埋設

255
S I 570

256
S I 571
炉埋設

258
S I 572



257
S I 572

260
S I 582

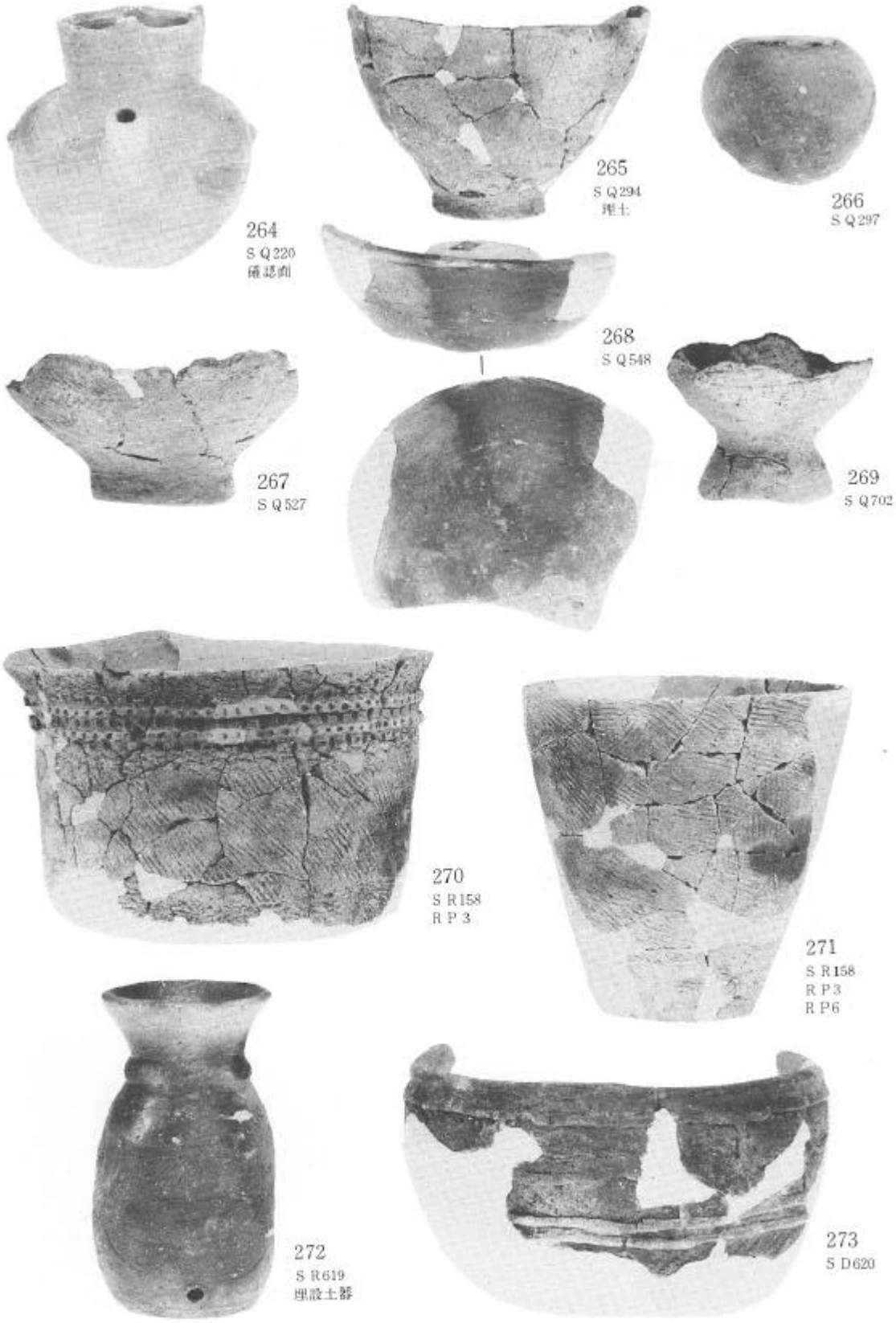
259
S I 587
R P1

261
S I 567
炉埋設

262
S K 33
埋土

263
S K 499
埋土

遺構内出土土器(2)


264
S Q 220
確認面
265
S Q 294
埋土
266
S Q 297
268
S Q 548
267
S Q 527
269
S Q 702
270
S R 158
R P 3
271
S R 158
R P 3
R P 6
272
S R 619
埋設土器
273
S D 620

遺構内出土土器(3)

90
KO35
3層

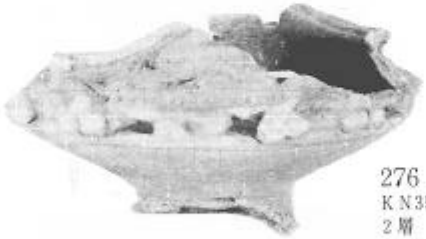
91
KO35
3層

274
KO36
3層

275
KN33
4層

92
KN34
3層

93
KO35
4層



276
KN35
2層

277
LO39
2層

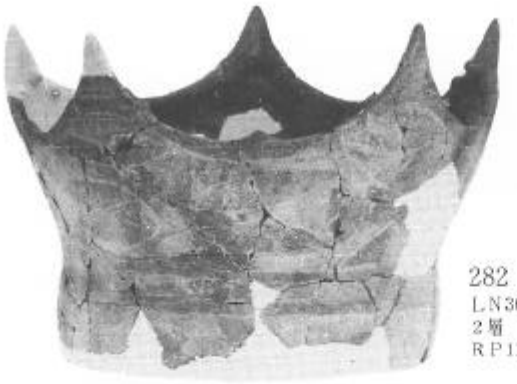
279
LO37
2層

281
LN39
2層
RP6

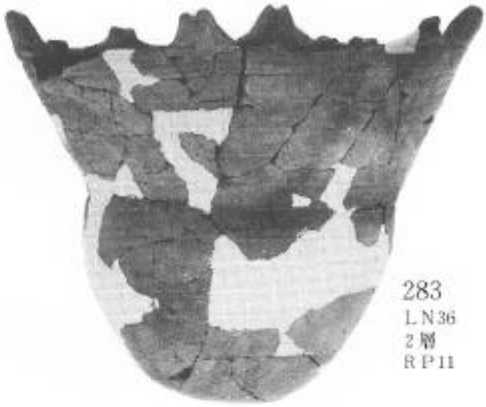
278
LP38
RP10

280
LN39
2層
RP5

遺構外出土土器(1)



282
LN36
2層
RP11



283
LN36
2層
RP11

284
LN39
2層
RP35

285
LN39
2層

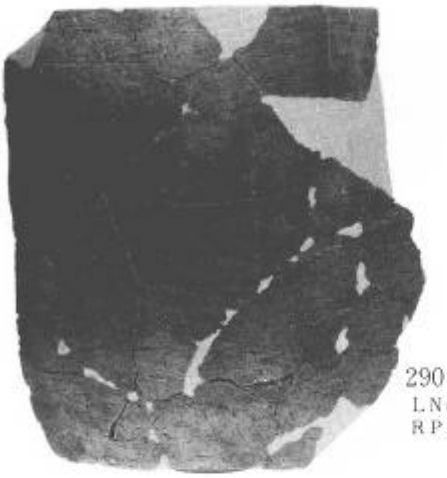
286
LN39
2層
RP31.35

287
LN39
2層
RP31

288
LO39
2層
RP6

289
LN39
2層
RP4

遺構外出土土器(2)

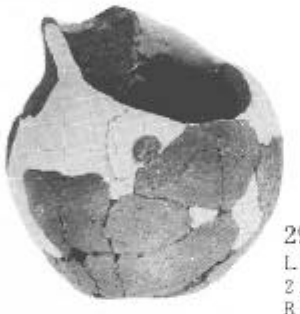


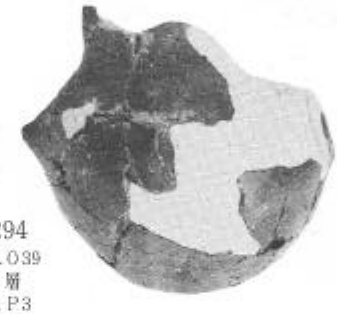
290
L N40
R P 3

291
L N37
2 層

292
L O39
2 層

293
L N39 1-g層
L P38 2層

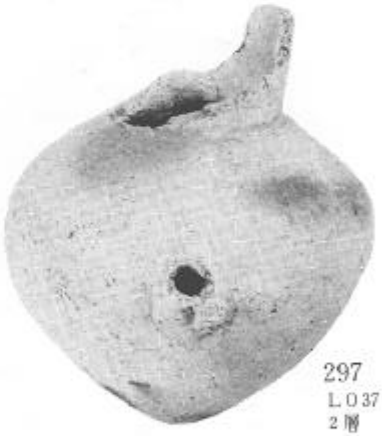




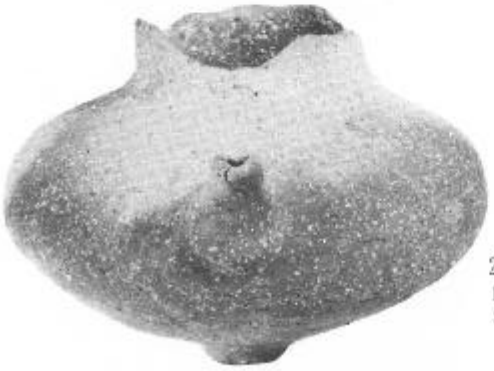
294
L O39
2 層
R P3

295
L P37
2 層

296
L N39
2 層



297
L O37
2 層



298
L O38
2 層

299
L O39
2-b層

遺構外出土土器(3)

図版 14

104
LO35
2層
RP1

105
LP37
2層

106
LN35
2層
RP46

107
LM35
2層
RP92

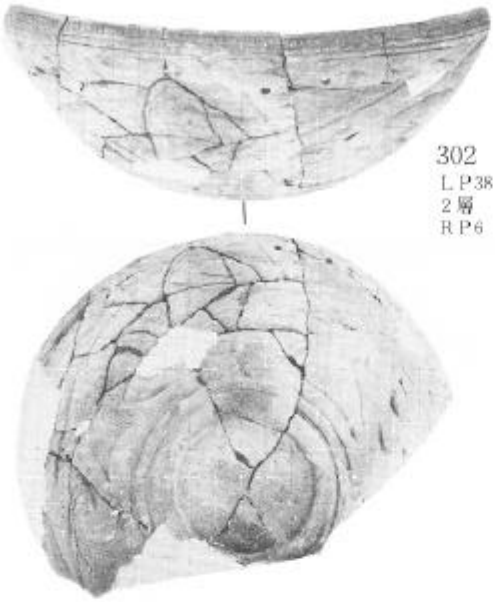
300
LM36
2層
RP89

108
LM34
2層
RP34

301
LO38
2層
RP1

109
LM35
2層
RP125

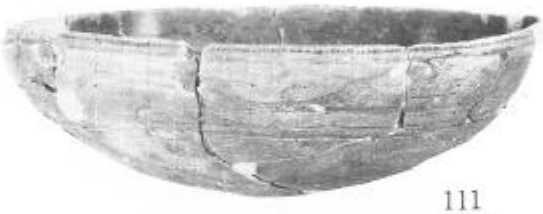
遺構外出土土器(4)



302
L P38
2 層
R P6

303
M L36
2 層
R P35

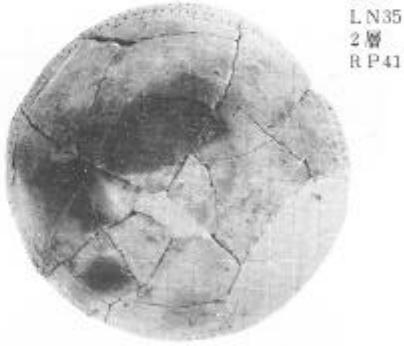
110
L M35
2 層
R P76



111
L M36
2 層
R P34

305
L N35
2 層
R P41

304
L M36
2 層
R P61



306
L M35
2 層
R P86

遺構外出土土器(5)

307
LM38
3層

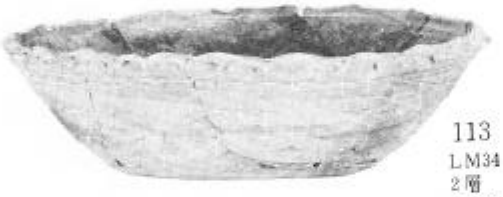
308
LP37
2層

309
LM35
2層
RP19

310
LM35
2層
RP37

311
LN36
2層

112
LN36
3層



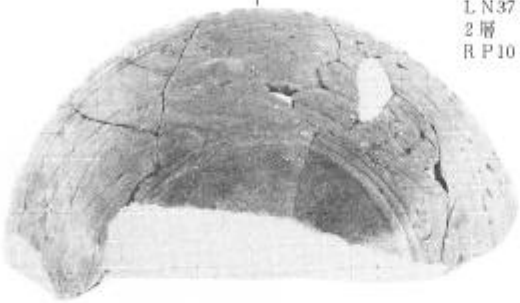
113
LM34
2層
RP46

312
LO38
2層
RP17

313
LM36
2層
RP19

114
LO38
2層
RP23

遺構外出土土器(6)



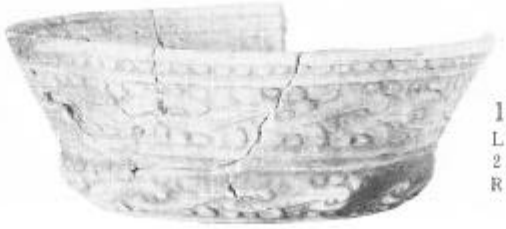
314
L N37
2 層
R P10

115
L O37
2 層

315
L L37
L N37
2 層
R P4

116
L M36
2 層
R P85.90

117
L M35
2 層
R P104



118
L O37
2 層
R P25

遺構外出土土器(7)

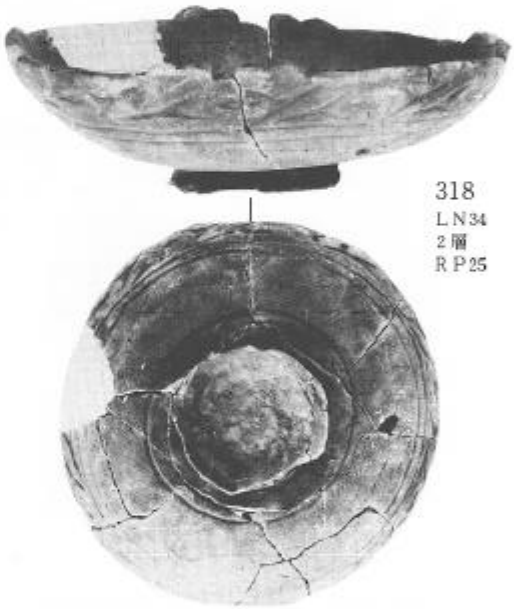
119
LO37
2層

316
LN35
2層
RP24

120
LP38
2層

121
LL34
2層
RPI

317
LO37
2層



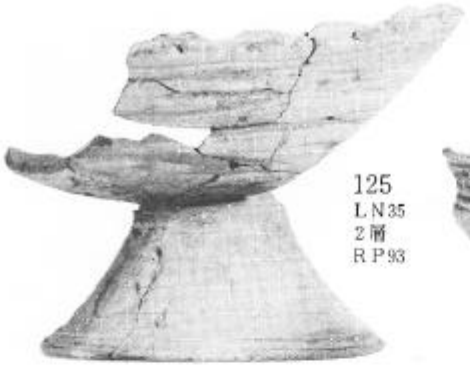
318
LN34
2層
RP25

319
LO38
2層
RP37

123
LM35
2層
RP72

124
LM36
2層

遺構外出土土器(8)



125
L N35
2層
R P93

320
L M36
2層
R P89

321
L P37
2層

322
L N36
2層
R P2

323
L P38
R P41

324
L N36
2層
R P27

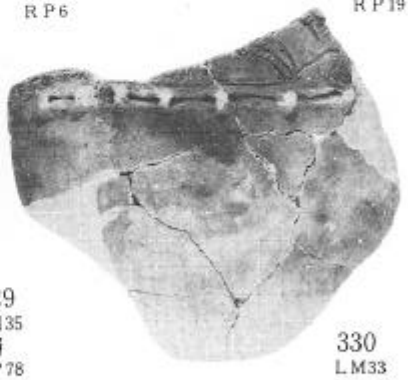
325
L N36
2層
R P61

326
L O39
2層
R P6

327
L N35
2層
R P19

328
L L34
2層
R P10

329
L M35
2層
R P78



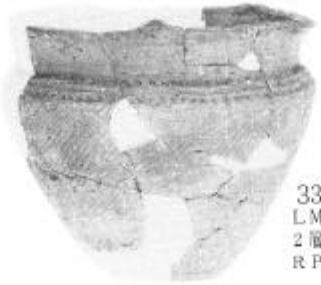
330
L M33
2層
R P I

331
L O38
2層
R P14

332
L O38
2層
R P33

遺構外出土土器(9)

333
L P37
2 層

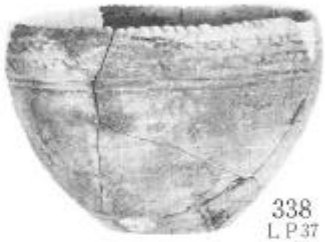


334
L M36
2 層
R P18

335
L O38
2 層
R P11

336
L M34
2 層
R P9

337
L M35
2 層
R P84



338
L P37
2 層

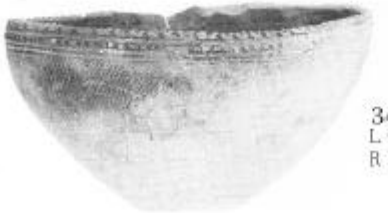
339
L N36
2 層
R P46

340
L P37
2 層
R P37

341
L O37
2 層

342
L L35
2 層
R P14

343
L N34
2 層
R P11



344
L O37
R P33

345
L N36
2 層

遺構外出土土器(10)

346
L P38
2 層

347
L N34
2 層
R P24

348
L P37
2 層

349
L N35
2 層
R P54

350
L O37
2 層

351
L O37
2 層

352
L M35
2 層
R P9

353
L P37
3 層

354
L O37
2 層

355
L P38
2 層

356
L O38
2 層

357
L O38
2 層
R P5

358
L O37
2 層
R P37

359
L P38
2 層

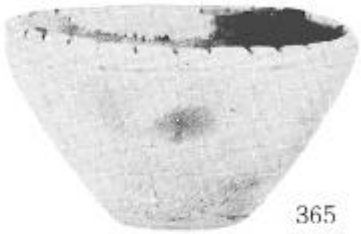
遺構外出土土器(1)

360
L M35
2 層
R P87

361
L O38
2 層
R P45

362
L P38
2 層

363
L O35
2 層



365
L O38
3 層

364
L N34
2 層
R P17

366
L N37
2 層
R P5

367
L P38
2 層
R P15

368
L O37
R P31

369
L M36
2 層

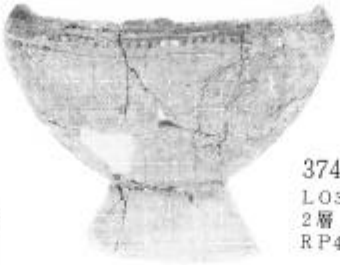
370
L N35
2 層
R P8

371
L O37
2 層

372
L O37
2 層

遺構外出土土器(12)

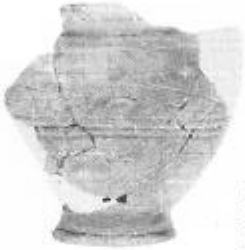
373
L M34
2 層
R P13



374
L O38
2 層
R P44

375
L O37
2 層

376
L M34
2 層
R P38



377
L M35
2 層
R P46

378
L M35
2 層
R P53

379
L M35
2 層
R P8

380
L O38
2 層
R P24

381
L M35
2 層
R P123

382
L M35
2 層
R P1

384
L N35
2 層
R P39

383
L N36
2 層
R P56

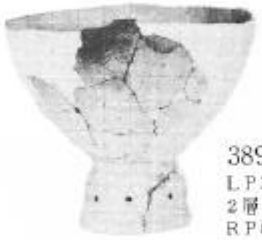
385
L O36
2 層
R P47

遺構外出土土器(13)

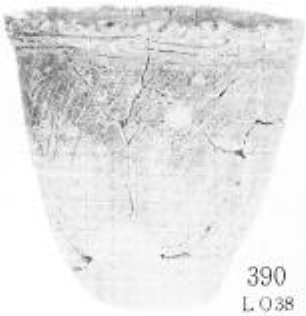
386
L O36
2 層
R P9

387
L L35
2 層
R P14

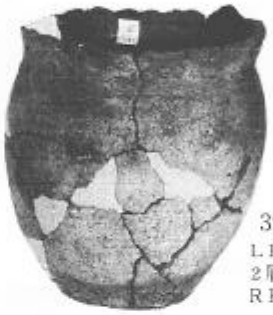
388
L P37
3 層



389
L P38
2 層
R P8



390
L O38
2 層
R P49

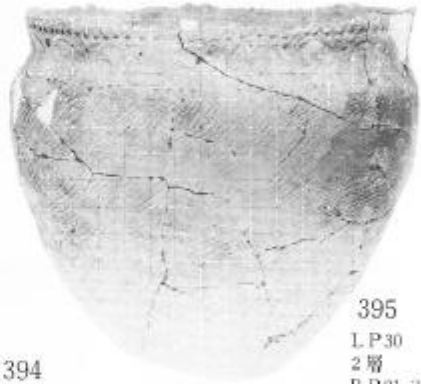


391
L P38
2 層
R P5

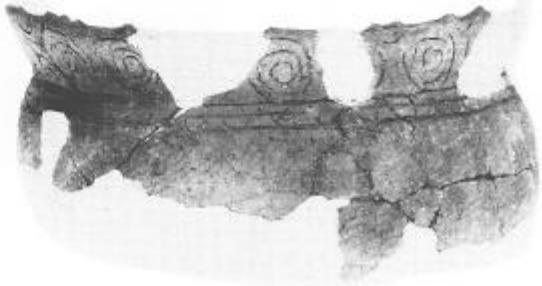
392
L N36
2 層
R P43

393
L N34
2 層
R P25

394
L N35
2 層
R P69

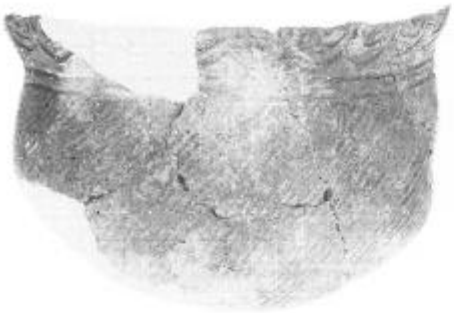


395
L P30
2 層
R P21.35
R P43.44

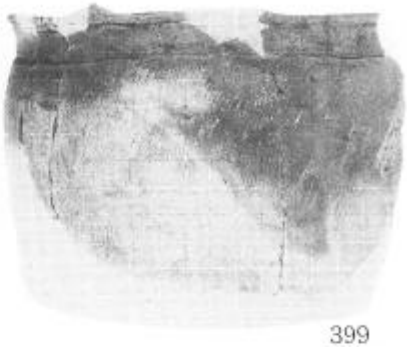


397
L P38
2 層
R P16

遺構外出土土器(14)



398
L M34
R P3



399
L M34
2 層
R P13

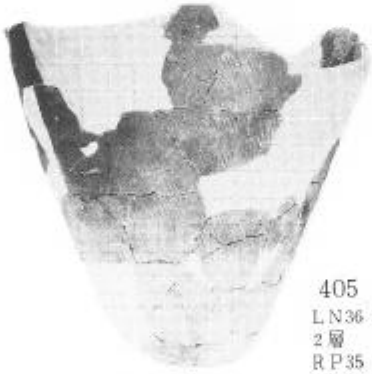
400
L O38
2 層
R P50

401
L M34
2 層
R P37

402
L P38
2 層

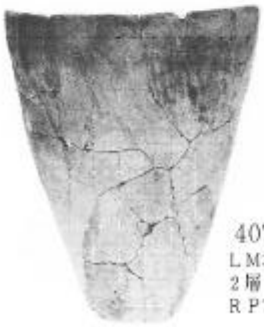
403
L O38
2 層
R P42

404
L M34
2 層
R P33

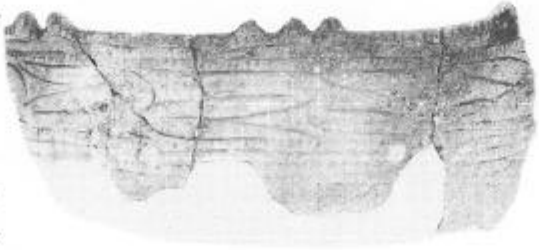


405
L N36
2 層
R P35

406
L O37
2 層
R P1



407
L M35
2 層
R P75



408
L P37
2 層

409
L N36
2 層
R P19

遺構外出土土器(15)

410
L O35
2層
R P2

411
L M35
2層
R P5

412
L L37
2層
R P4

413
L N35
2層
R P14

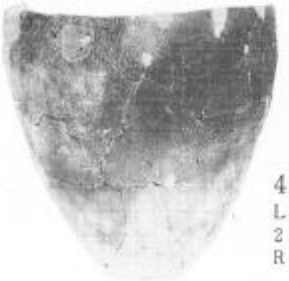
414
L P38
2層
R P6

415
L N36
2層
R P34

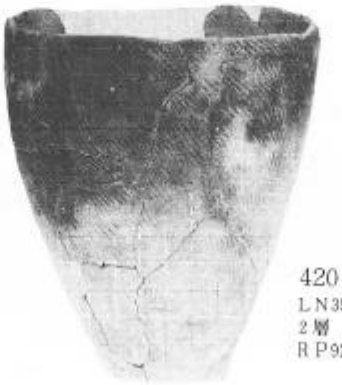
416
L P38
R P28

417
L M35
2層
R P133

418
L O37
2層
R P19



419
L N37
2層
R P2



420
L N35
2層
R P92

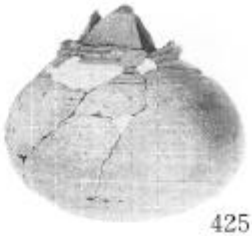
421
L P37
2層

遺構外出土土器(16)

422
L O37
2 層

423
L O38
3 層

424
L O38
3 層



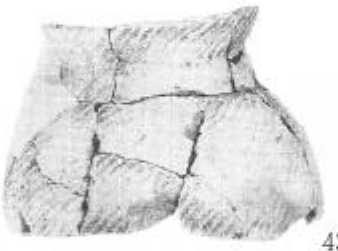
425
L O38
2 層
R P13

426
L O37
R P36

427
L N36
2 層

428
L O36
2 層
R P6

429
L P38
R P29



430
L M35
2 層
R P65

431
L P37
2 層

433
L M36
2 層
R P9

435
L M36
2 層
R P64

432
L M35
2 層
R P40

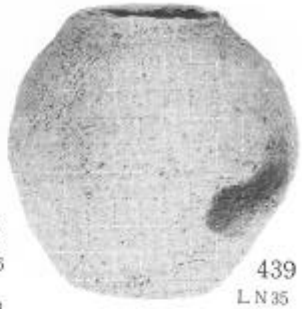
434
L M36
2 層
R P75

遺構外出土土器(17)

436
L O 37
2 層

437
L P 37
2 層

438
L M 36
2 層
R P 23



439
L N 35
2 層
R P 25

440
L L 33
2 層
R P 12

441
L N 34
2 層

442
L P 38
2 層
R P 10, 11

443
L O 35
2 層
R P 1

444
L M 34
2 層
R P 24

445
L P 38
R P 13

446
L P 38
2 層

447
L M 35
2 層
R P 84

448
L P 37
2 層

449
L O 38
2 層
R P 35

450
L M 35
2 層
R P 137

451
L O 37
R P 34

452
L P 38
2 層

453
L O 37
2 層

454
L O 37
2 層

455
L M 35
2 層

遺構外出土土器(18)

126
LO37
RP32

456
LO35
2層
RP13

127
LP38
RP15

128
LM35
2層
RP88

129
LM35
2層
RP56

457
LN36
2層
RP24

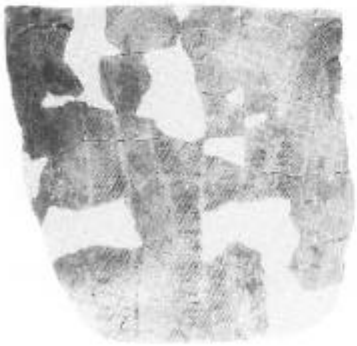
130
LM36
2層
RP65

458
LN36
2層
RP21

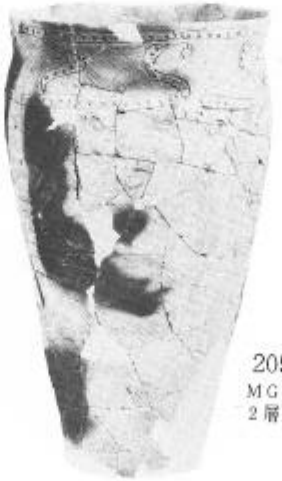
131
LM36
LN36
2層
RP41

132
LN36
2層
RP52

133
LO35,36
2層



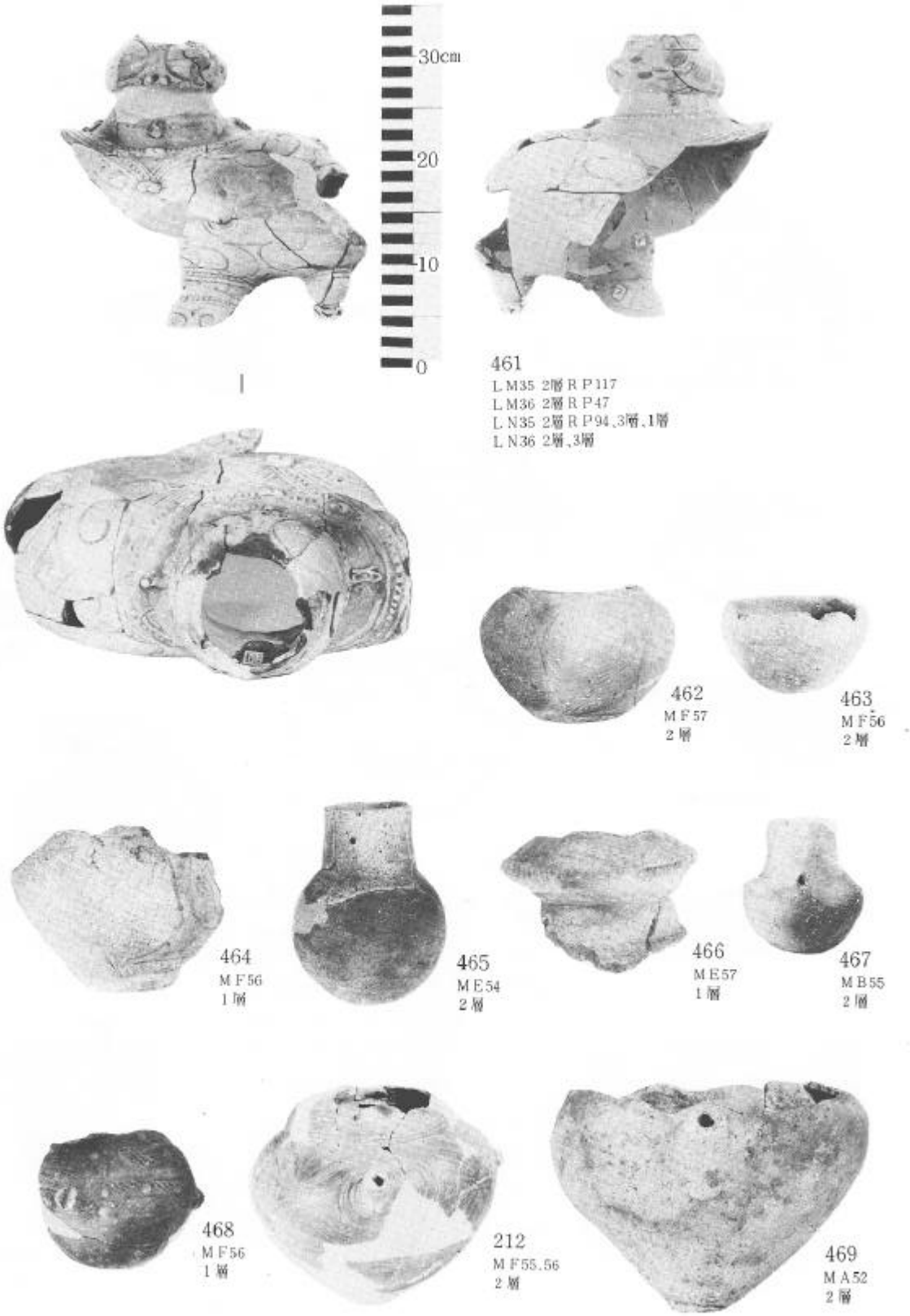
459
MH60
2層



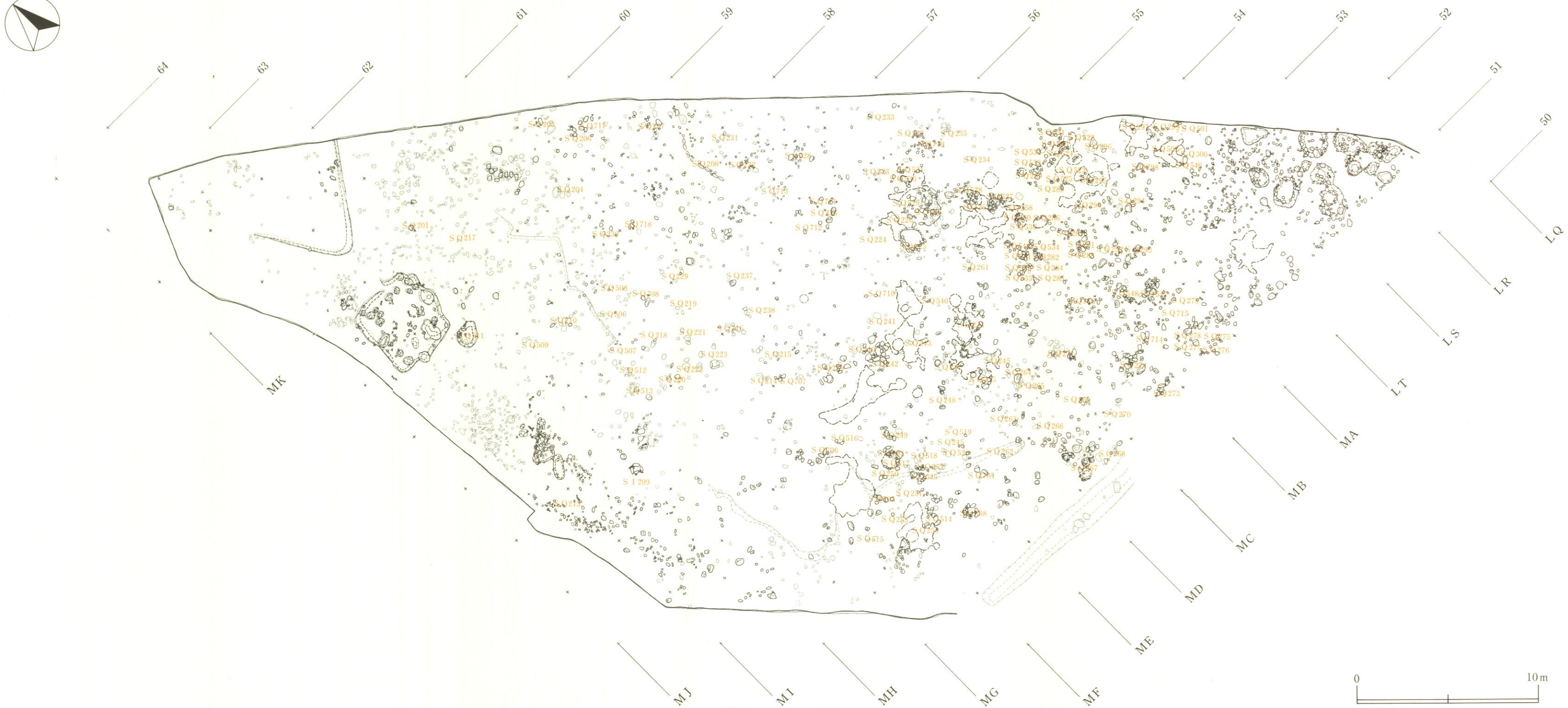
205
MG56
2層

460
MH56
2層
RP1

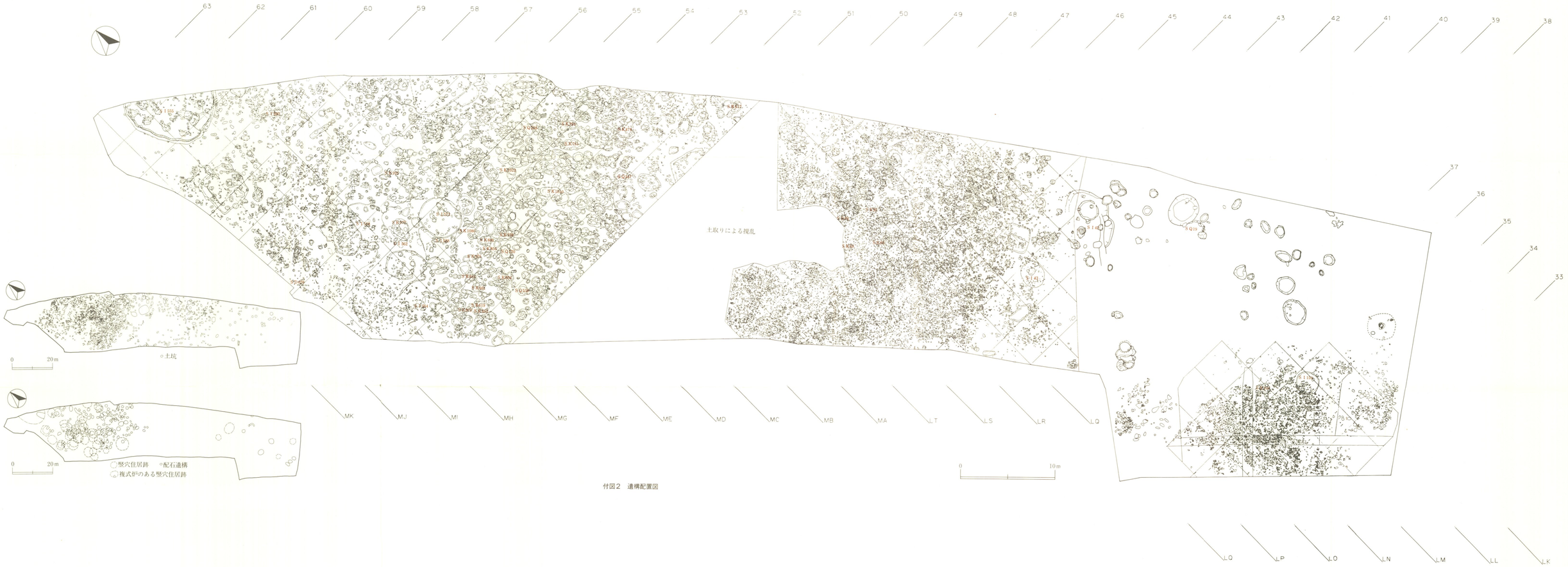
遺構外出土土器(19)



遺構外出土土器・土製品(20)



付図１　M区配石遺構配置図



付図2　遺構配置図